

平成26年度
市民意識調査結果報告書

平成27年3月
恵那市

■■ 目 次 ■■■

1 回答者について	1	7 個別施策について	87
(1) 性別について	1	(1) 人口減少対策について	87
(2) 年齢について	1	(2) 健康づくりについて	88
(3) 居住地について	2	(3) 子育てについて	92
(4) 職業について	3	(4) 生活環境について	93
(5) 居住年数について	4	(5) 防災・消防について	95
(6) 居住形態について	5	(6) 公共交通について	97
(7) 家族構成について	6	(7) 産業振興について	98
(8) 同居家族について	7	(8) 学校教育について	99
2 調査結果の要旨	8	(9) 生涯学習について	100
(1) 施策の満足度・重要度について	8	(10) 市民参加・市民協働について	101
(2) 個別施策について	9	(11) 行財政運営について	106
3 施策の満足度・重要度について	14	(12) 市議会の活動について	107
(1) 全57施策の満足度(今回調査一覧)	14	(13) 避難行動について	110
(2) 全57施策の重要度(今回調査一覧)	16	(14) 男女共同参画社会について	113
4 分野別施策満足度の経年比較について	18	8 その他意見・自由回答について	124
(1) 健康福祉分野	18	(1) その他意見について	124
(2) 生活環境分野	19	(2) 自由回答について	134
(3) 都市・交流基盤分野	20		
(4) 産業振興分野	21		
(5) 教育・文化分野	22		
(6) 住民参画分野	23		
5 分野別施策重要度の経年比較について	24		
(1) 健康福祉分野	24		
(2) 生活環境分野	25		
(3) 都市・交流基盤分野	26		
(4) 産業振興分野	27		
(5) 教育・文化分野	28		
(6) 住民参画分野	29		
6 求められるまちづくりの方向性について	30		
(1) 満足度・重要度の上位10項目	30		
(2) 年齢別の上位10項目	31		
(3) 居住地別の上位10項目	37		
(4) 全施策マトリックス図	50		
(5) 分野別施策マトリックス図	52		
(6) 年齢別施策マトリックス図	58		
(7) 居住地別施策マトリックス図	64		
(8) 個別施策の満足度・不満度・重要度	77		
(9) 個別施策の満足度指数・重要度指数	83		

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市のこれまでの取り組みに対する市民の評価と、これからのまちづくりに対する考えを把握し、今後の市政運営の基礎資料とするため実施しました。その調査結果については、今後の施策の達成度を測る指標とし、市民が満足する市政の実現に向けて活用することを目的としています。

2. 調査地域

恵那市全域

3. 調査対象者

市民（20歳以上）：2,500人（住民基本台帳より無作為抽出）

4. 調査の方法と期間

本調査は郵便による送・返信での質問紙調査法により、平成27年1月9日から平成27年1月22日までの期間で実施しました。

【アンケート回収状況】

	発送数 (A)	回収数 (B)	回収率 (B/A)	有効回答数* (C)	有効回答率 (C/A)
今回調査	2,500件	1,451件	58.0%	1,451件	58.0%
参考：前回調査 (平成25年度)	2,500件	1,375件	55.0%	1,375件	55.0%

※無効回答とする全ての設問に回答がないものは0件でした。

5. 表記方法

単数回答の集計にあたっては、原則として小数点以下第2位を四捨五入したうえで、割合の合計が100.0%になるように調整しています。一方、複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定条件に該当する人）を表しています。

各設問のクロス集計表においては、上位1位は濃い網かけ、上位2位は薄い網掛けとし、なおかつ上位1位、2位の数値を太字で表記しています。

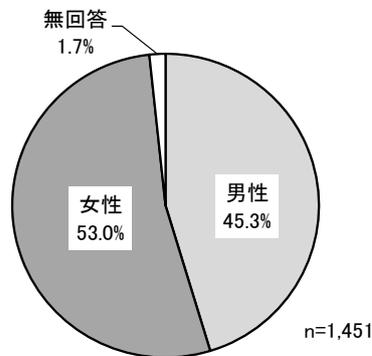
1 回答者について

(1) 性別について

【問1】 あなたの性別は次のどちらですか。

〈単数回答〉

全体では「男性」が45.3%、「女性」が53.0%と、女性の回答者が半数以上を占めています。

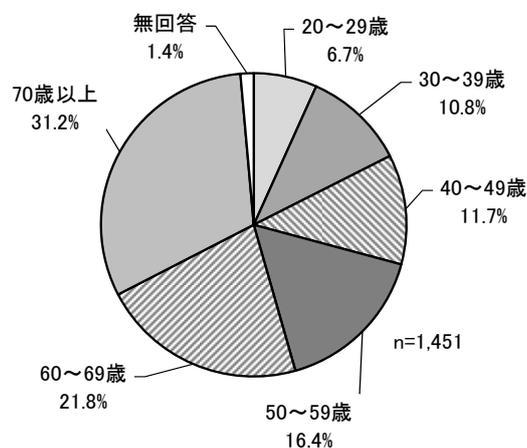


(2) 年齢について

【問2】 あなたの年齢は次のどの区分に該当しますか。(1月1日現在)

〈単数回答〉

全体では「70歳以上」が31.2%と最も高く、次いで「60歳代」が21.8%、「50歳代」が16.4%の順となっています。



(3) 居住地について

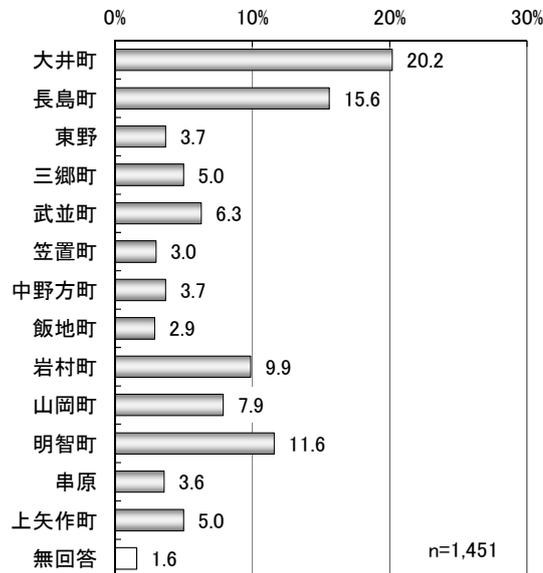
【問3】あなたのお住まいは、どの地区にありますか。

〈単数回答〉

全体では「大井町」が20.2%と最も高く、次いで「長島町」が15.6%、「明智町」が11.6%の順となっています。

性別でみると、男女を問わず、「大井町」が最も高くなっています。

年齢別でも、全ての年齢層で「大井町」が最も高くなっています。



	大井町	長島町	東野	三郷町	武並町	笠置町	中野方町	飯地町	岩村町	山岡町	明智町	串原	上矢作町	無回答	
全体(n=1,451)	20.2	15.6	3.7	5.0	6.3	3.0	3.7	2.9	9.9	7.9	11.6	3.6	5.0	1.6	
性別	男性(n=657)	19.9	15.8	3.8	5.5	6.7	3.7	3.5	2.9	9.3	8.7	3.3	5.3	0.8	
	女性(n=770)	21.0	15.7	3.6	4.8	6.1	2.6	3.9	3.0	10.6	7.5	3.8	4.4	0.5	
年齢別	20～29歳(n=97)	22.6	18.6	5.2	3.1	9.3	3.1	3.1	1.0	12.4	6.2	11.3	1.0	3.1	0.0
	30～39歳(n=156)	25.6	18.6	2.6	5.8	6.4	1.9	3.2	0.6	13.5	7.1	7.7	1.9	3.2	1.9
	40～49歳(n=170)	26.5	19.4	2.9	3.5	7.6	2.4	1.8	2.4	9.4	7.1	9.4	2.9	4.7	0.0
	50～59歳(n=238)	19.9	15.5	3.8	5.5	6.7	2.9	3.8	2.5	9.2	9.2	12.6	3.4	4.2	0.8
	60～69歳(n=317)	19.6	14.8	4.1	5.7	6.3	3.2	3.5	2.5	8.2	9.5	12.3	4.4	5.0	0.9
	70歳以上(n=452)	16.8	13.5	4.0	5.1	5.3	3.8	5.1	4.4	10.2	7.3	13.3	4.6	6.4	0.2

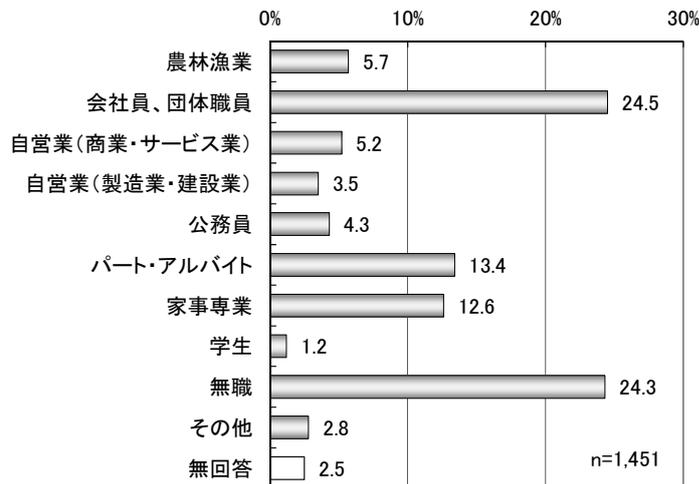
(4) 職業について

【問4】あなたの職業は、次のうちどれに該当しますか。 〈単数回答〉

全体では「会社員、団体職員」が24.5%と最も高く、次いで「無職」が24.3%「パート、アルバイト」が13.4%の順となっています。

性別で見ると、男性では「会社員、団体職員」、女性では「家事専業」、年齢別では20歳代から50歳代は「会社員、団体職員」、60歳代以上は「無職」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

居住地別で見ると、東野、中野方町では「家事専業」、串原では「農林漁業」の割合が他の地区に比べ高くなっています。



		農林漁業	会社員、 団体職員	自営業 (商業・ サービス 業)	自営業 (製造業・ 建設業)	公務員	パート・ア ルバイト	家事専業	学生	無職	その他	無回答
全体(n=1,451)		5.7	24.5	5.2	3.5	4.3	13.4	12.6	1.2	24.3	2.8	2.5
性別	男性(n=657)	9.0	34.7	6.2	6.5	6.7	6.4	0.3	1.2	25.6	2.3	1.1
	女性(n=770)	3.0	16.4	4.5	1.0	2.5	19.6	23.5	1.0	23.4	3.2	1.9
年齢別	20～29歳(n=97)	1.0	50.5	2.1	1.0	5.2	9.3	10.3	17.5	3.1	0.0	0.0
	30～39歳(n=156)	0.6	47.5	5.8	4.5	7.7	14.1	11.5	0.0	3.2	5.1	0.0
	40～49歳(n=170)	1.2	49.9	1.8	2.4	11.8	22.9	4.1	0.0	2.4	2.9	0.6
	50～59歳(n=238)	1.7	37.5	6.7	6.7	8.8	22.7	9.2	0.0	2.5	2.5	1.7
	60～69歳(n=317)	7.6	16.1	6.9	3.5	1.6	17.7	18.3	0.0	23.9	2.8	1.6
	70歳以上(n=452)	10.6	1.5	5.3	2.7	0.0	3.3	14.8	0.0	56.4	2.7	2.7
居住地別	大井町(n=292)	0.0	26.4	5.1	4.8	5.8	13.4	14.7	0.7	25.0	3.4	0.7
	長島町(n=226)	1.8	28.8	8.0	2.2	3.5	15.9	13.7	1.3	21.7	2.7	0.4
	東野(n=54)	11.1	22.1	3.7	1.9	1.9	9.3	16.7	5.6	22.1	3.7	1.9
	三郷町(n=73)	11.0	23.2	5.5	1.4	8.2	12.3	8.2	0.0	23.3	5.5	1.4
	武並町(n=92)	5.4	35.8	4.3	3.3	2.2	13.0	10.9	3.3	19.6	1.1	1.1
	笠置町(n=44)	11.4	27.3	2.3	6.8	6.8	6.8	9.1	0.0	25.0	0.0	4.5
	中野方町(n=54)	7.4	25.9	3.7	5.6	0.0	7.4	18.5	1.9	25.9	0.0	3.7
	飯地町(n=42)	7.1	19.0	0.0	4.8	0.0	11.9	14.3	0.0	35.8	7.1	0.0
	岩村町(n=143)	6.3	15.4	6.3	4.9	6.3	16.1	15.4	0.0	24.4	3.5	1.4
	山岡町(n=115)	9.6	26.0	5.2	7.0	4.3	12.2	8.7	0.9	20.0	3.5	2.6
	明智町(n=169)	4.7	21.3	7.1	1.8	4.1	14.8	11.2	2.4	30.2	1.2	1.2
	串原(n=52)	19.2	21.2	1.9	0.0	7.7	7.7	7.7	0.0	30.8	3.8	0.0
	上矢作町(n=72)	12.5	22.2	2.8	0.0	1.4	19.4	9.7	0.0	25.0	1.4	5.6

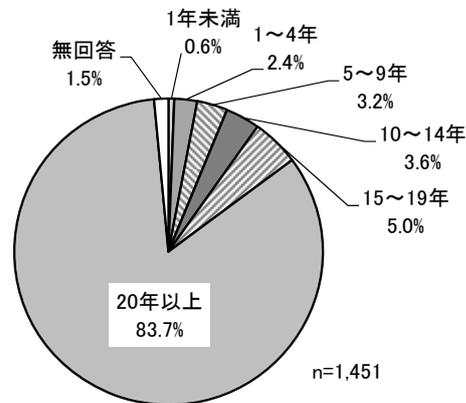
(5) 居住年数について

【問5】 あなたの恵那市での居住年数（通算）は、何年になりますか。

〈単数回答〉

全体では「20年以上」の居住年数が83.7%と8割以上を占めており、次いで「15～19年」が5.0%、「10～14年」が3.6%の順となっています。

年齢別でみると、20歳代と40歳代は「15～19年」、30歳代は「1～4年」「5～9年」「10～14年」の割合がそれぞれ他の年代に比べ高くなっています。



		1年未満	1～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20年以上	無回答
全体(n=1,451)		0.6	2.4	3.2	3.6	5.0	83.7	1.5
性別	男性(n=657)	0.5	2.4	2.7	2.6	4.6	86.9	0.3
	女性(n=770)	0.8	2.5	3.6	4.5	5.5	82.5	0.6
年齢別	20～29歳(n=97)	3.1	2.1	7.2	3.1	14.4	70.1	0.0
	30～39歳(n=156)	2.6	8.3	9.0	9.0	5.1	66.0	0.0
	40～49歳(n=170)	1.2	2.9	5.3	5.3	15.3	70.0	0.0
	50～59歳(n=238)	0.0	1.7	1.7	3.4	4.6	88.6	0.0
	60～69歳(n=317)	0.0	2.2	2.2	1.9	2.2	91.2	0.3
	70歳以上(n=452)	0.0	0.9	0.9	2.7	1.5	92.5	1.5
居住地別	大井町(n=292)	0.3	3.8	6.5	3.4	5.5	80.5	0.0
	長島町(n=226)	1.8	3.5	2.7	5.3	7.5	79.2	0.0
	東野(n=54)	0.0	1.9	7.4	0.0	3.7	85.1	1.9
	三郷町(n=73)	0.0	5.5	1.4	2.7	5.5	84.9	0.0
	武並町(n=92)	1.1	2.2	4.3	1.1	6.5	83.7	1.1
	笠置町(n=44)	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	97.7	0.0
	中野方町(n=54)	0.0	0.0	3.7	1.9	5.6	86.9	1.9
	飯地町(n=42)	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	97.6	0.0
	岩村町(n=143)	1.4	2.8	2.8	7.0	5.6	79.7	0.7
	山岡町(n=115)	0.0	1.7	0.0	2.6	3.5	92.2	0.0
	明智町(n=169)	0.0	1.8	1.8	3.6	3.6	88.6	0.6
	串原(n=52)	1.9	0.0	0.0	7.7	7.7	82.7	0.0
	上矢作町(n=72)	0.0	0.0	2.8	2.8	2.8	87.4	4.2

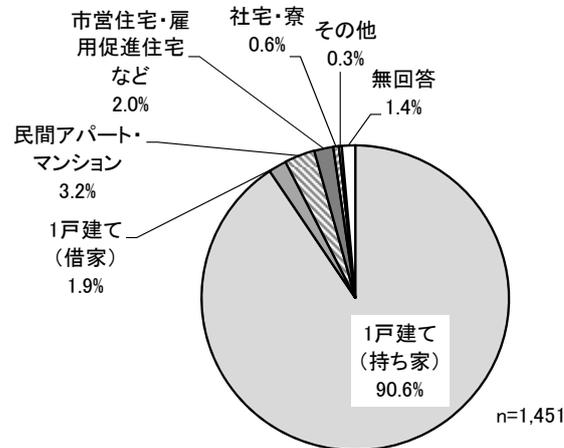
(6) 居住形態について

【問6】あなたのお住まいの形態は、次のうちどれにあたりますか。

〈単数回答〉

全体では「1戸建て(持ち家)」に住む方が90.6%と約9割を占めており、次いで「民間アパート・マンション」が3.2%、「市営住宅・雇用促進住宅」が2.0%の順となっています。

年齢別でみると、30歳代では「民間アパート・マンション」の割合が他の年代に比べ高くなっています。居住地別でみると、大井町では「民間アパート・マンション」の割合が他の地区に比べ高くなっています。



		1戸建て(持ち家)	1戸建て(借家)	民間アパート・マンション	市営住宅・雇用促進住宅など	社宅・寮	その他	無回答
全体(n=1,451)		90.6	1.9	3.2	2.0	0.6	0.3	1.4
性別	男性(n=657)	90.7	2.3	3.5	1.7	0.5	0.8	0.5
	女性(n=770)	91.8	1.7	3.0	2.3	0.8	0.0	0.4
年齢別	20～29歳(n=97)	87.7	1.0	8.2	2.1	1.0	0.0	0.0
	30～39歳(n=156)	80.2	1.3	11.5	3.8	1.3	1.3	0.6
	40～49歳(n=170)	90.0	4.7	3.5	0.6	1.2	0.0	0.0
	50～59歳(n=238)	92.9	2.5	1.7	2.1	0.4	0.4	0.0
	60～69歳(n=317)	93.5	2.5	0.6	2.2	0.6	0.3	0.3
	70歳以上(n=452)	94.7	0.7	1.8	1.5	0.2	0.2	0.9
居住地別	大井町(n=292)	82.3	3.4	9.9	2.7	0.7	0.7	0.3
	長島町(n=226)	91.2	1.3	5.3	1.8	0.4	0.0	0.0
	東野(n=54)	96.2	0.0	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0
	三郷町(n=73)	95.9	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	武並町(n=92)	96.7	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	2.2
	笠置町(n=44)	97.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3
	中野方町(n=54)	98.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
	飯地町(n=42)	97.6	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	岩村町(n=143)	88.8	1.4	2.8	4.2	2.1	0.7	0.0
	山岡町(n=115)	94.8	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.9
	明智町(n=169)	95.2	1.8	0.0	1.8	0.6	0.6	0.0
	串原(n=52)	94.3	3.8	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0
上矢作町(n=72)	90.2	5.6	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	

(7) 家族構成について

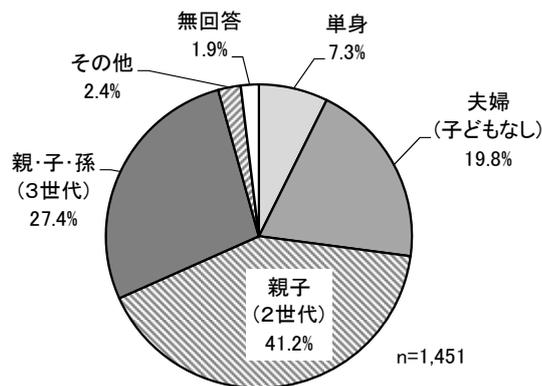
【問7】あなたの同居している家族構成は、次のうちどれですか。

〈単数回答〉

全体では「親子(2世代)」が41.2%と最も高く、次いで「親・子・孫(3世代)」が27.4%、「夫婦(子どもなし)」が19.8%の順となっています。

年齢別でみると、60歳代以上では「夫婦(子どもなし)」、70歳代以上では「単身」の割合が他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、長島町、大井町では「夫婦(子どもなし)」の割合が他の地区に比べ高くなっています。



		単身	夫婦(子どもなし)	親子(2世代)	親・子・孫(3世代)	その他	無回答
全体(n=1,451)		7.3	19.8	41.2	27.4	2.4	1.9
性別	男性(n=657)	7.3	21.3	43.1	25.7	2.0	0.6
	女性(n=770)	7.4	19.1	40.5	29.1	2.7	1.2
年齢別	20～29歳(n=97)	8.2	1.0	45.4	43.3	2.1	0.0
	30～39歳(n=156)	5.8	7.1	53.1	30.8	2.6	0.6
	40～49歳(n=170)	2.9	5.3	58.3	32.9	0.6	0.0
	50～59歳(n=238)	5.0	18.9	46.8	27.7	0.8	0.8
	60～69歳(n=317)	5.4	28.7	41.0	20.5	3.8	0.6
	70歳以上(n=452)	11.9	28.6	28.5	26.1	2.9	2.0
居住地別	大井町(n=292)	11.3	24.0	47.9	14.4	1.7	0.7
	長島町(n=226)	10.2	27.4	39.0	21.7	1.3	0.4
	東野(n=54)	3.7	16.7	40.7	38.9	0.0	0.0
	三郷町(n=73)	8.2	19.2	38.4	26.0	6.8	1.4
	武並町(n=92)	2.2	19.6	42.3	32.6	3.3	0.0
	笠置町(n=44)	2.3	6.8	47.7	43.2	0.0	0.0
	中野方町(n=54)	7.4	16.7	27.8	38.8	3.7	5.6
	飯地町(n=42)	4.8	21.4	42.8	28.6	2.4	0.0
	岩村町(n=143)	2.8	15.4	50.3	30.1	0.7	0.7
	山岡町(n=115)	4.3	16.5	40.0	35.7	2.6	0.9
	明智町(n=169)	5.9	18.3	36.8	32.5	4.1	2.4
	串原(n=52)	11.5	17.3	48.1	21.2	1.9	0.0
	上矢作町(n=72)	9.7	16.7	26.4	40.2	5.6	1.4

(8) 同居家族について

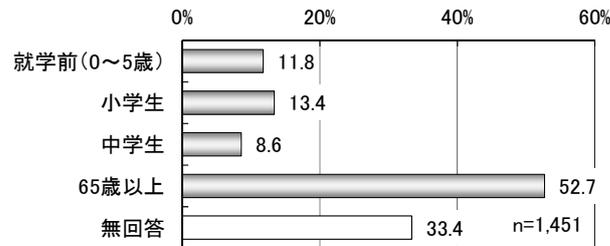
【問8】あなたの同居家族に次の方はいますか。

〈複数回答：該当するものすべて〉

全体では「65歳以上」が52.7%と最も高く、次いで「小学生」が13.4%、「就学前(0～5歳)」が11.8%の順となっています。

年齢別でみると、30歳代では「就学前(0～5歳)」、40歳代では「中学生」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、笠置町では「65歳以上」、中野方町では「就学前(0～5歳)」「小学生」の割合が、それぞれ他の地区に比べ高くなっています。



		就学前(0～5歳)	小学生	中学生	65歳以上	無回答
全体(n=1,451)		11.8	13.4	8.6	52.7	33.4
性別	男性(n=657)	11.4	13.9	8.5	54.5	31.5
	女性(n=770)	12.5	13.4	9.0	52.1	33.5
年齢別	20～29歳(n=97)	15.5	5.2	4.1	47.4	37.1
	30～39歳(n=156)	41.0	35.3	7.1	44.2	18.6
	40～49歳(n=170)	15.3	27.6	30.6	50.0	16.5
	50～59歳(n=238)	5.9	4.2	5.0	51.3	41.2
	60～69歳(n=317)	10.4	12.6	6.0	55.5	36.0
	70歳以上(n=452)	4.2	7.7	5.5	58.0	36.1
居住地別	大井町(n=292)	12.0	13.7	6.5	37.3	43.2
	長島町(n=226)	13.3	11.5	8.4	44.2	40.7
	東野(n=54)	9.3	11.1	5.6	64.8	24.1
	三郷町(n=73)	12.3	9.6	6.8	54.8	34.2
	武並町(n=92)	15.2	12.0	9.8	53.3	32.6
	笠置町(n=44)	9.1	13.6	9.1	79.5	20.5
	中野方町(n=54)	22.2	22.2	7.4	55.6	27.8
	飯地町(n=42)	7.1	16.7	9.5	64.3	21.4
	岩村町(n=143)	14.0	14.0	7.7	56.6	26.6
	山岡町(n=115)	13.9	17.4	10.4	60.9	26.1
	明智町(n=169)	7.1	12.4	12.4	60.4	28.4
	串原(n=52)	3.8	9.6	5.8	67.3	26.9
上矢作町(n=72)	9.7	15.3	15.3	63.9	25.0	

2 調査結果の要旨

市民意識調査結果の要旨を以下に整理します。

(1) 施策の満足度・重要度について

総合計画の各施策に対する満足度や重要度を57項目で調査した結果を以下のように整理しました。

満足度の最も高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」

満足度（「満足」と「やや満足」の合算）の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「ごみ減量化と資源リサイクル化」などとなっています。

不満度の最も高い施策は、「商店街のにぎわい」

不満度（「やや不満」と「不満」の合算）の高い施策は、「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「バスの便利さ」などとなっています。

重要度の最も高い施策は、「医療機関（病院・診療所）」

重要度（「高い」と「やや高い」の合算）の高い施策は、「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「ごみ収集と処理サービス」などとなっています。

医療、防災、環境、道路整備、公共交通、雇用、行政改革などが今後の重点課題

満足度と重要度を指数化し評価したところ、『重点課題』に該当したのは、健康福祉分野の「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」、生活環境分野の「地震・災害に対する安心感」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」、都市・交通基盤分野の「幹線道路(国道・県道など)の整備」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「段差や道幅など歩道の安全性」「JR中央線の便利さ」、産業振興分野の「魅力ある働く場の確保」、市民参画分野の「健全な財政運営」「行政改革の推進」の10項目です。これらは全て、前回調査時の『重点課題』12項目にあった施策であり、満足度の向上につながるよう、今後も重点的な取り組みの推進が求められています。

(2) 個別施策について

今回の調査では「人口減少対策」「健康づくり」「子育て」「生活環境」「防災・消防」「公共交通」「産業振興」「学校教育」「生涯学習」「市民参加・市民協働」「行財政運営」「市議会の活動」「避難行動」「男女共同参画社会」の14項目について調査した結果を以下のように整理しました。

▶ 人口減少対策について

「少子化対策」が7割弱、「雇用対策」が6割強

人口減少対策として、「少子化対策（結婚支援、子育て支援サービス、産科・小児科の充実など）」が68.2%と最も高く、次いで「雇用対策（雇用の確保、起業・就職支援、農林業の活用など）」が64.4%と高くなっています。

▶ 健康づくりについて

健康づくりの充実を図るために必要なことは、「医療施設の充実や救急診療、休日・夜間診療体制の充実」が4割強

「医療施設の充実や救急診療、休日・夜間診療体制の充実」が41.7%と最も高く、次いで「運動習慣を身につけるため手軽にスポーツに親しむことができる環境づくり」が36.5%、「健康診査事業の充実」が30.2%、「生活習慣病の予防など健康づくり事業の充実」が28.7%の順となっています。

健康だと思う人が5割、健康でないと思う人が2割弱

「健康だと思う」が20.3%、「まあまあ健康だと思う」が31.0%で、合わせて健康だと思う人が約5割を占めています。一方、「あまり健康でないと思う」が12.0%、「健康でないと思う」が4.7%で、合わせて健康でないと思う人が約17%です。

健康上の問題で日常生活に影響が「ある」が2割強

健康上の問題で日常生活に影響が「ある」が22.5%、「ない」が75.8%です。

日常生活に健康上の問題の影響があるのは「仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）」と「日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など）」が4割弱

「仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）」が37.3%、「日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など）」が37.0%とほぼ並んでいます。次いで、「運動（スポーツを含む）」が26.3%、「外出（時間や作業量などが制限される）」が24.8%となっています。

▶ 子育てについて

安心して子どもを生み育てるために必要なことは、「産科・小児科医療の充実」が5割強

「産科・小児科医療の充実」が54.1%と最も高く、次いで「乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が47.3%、「子育て家庭に対する経済的な支援」が28.6%の順となっています。

▶ 生活環境について

市の生活環境を快適なものにするために必要なことは、「安全安心な居住環境の整備と定住促進」が4割弱

「安全安心な居住環境の整備と定住促進」が38.5%と最も高く、次いで「生活道路（コミュニティ道路）や安全な歩道の整備」が37.4%、「山林や里山の整備や自然環境の保全」が30.7%の順となっています。

重点的に取り組むべき地球温暖化対策は、「太陽光発電や小水力発電など自然エネルギーの活用」が5割強

「太陽光発電や小水力発電など自然エネルギーの活用」が52.0%と最も高く、次いで「下水道汚泥や木質バイオマスなどの未利用資源の有効活用」が25.7%、「市民や事業者が行う地球温暖化対策への助成事業の充実」が24.5%の順となっています。

▶ 防災・消防について

災害に対する不安内容は、「大地震により建物・家屋が倒壊すること」が7割弱

「大地震により建物・家屋が倒壊すること」が65.5%と最も高く、次いで「災害発生時に地滑り・がけ崩れが起ること」が29.6%、「災害発生時における家族との連絡（安否確認など）方法のこと」が19.4%、「災害に対しての地域の取り組みが希薄なこと」が18.0%の順となっています。一方、「特に不安はない」は2.2%とわずかです。

火災や救急に対する不安内容は、「初期消火に自信がないこと」が3割弱

「初期消火に自信がないこと」が27.1%と最も高く、次いで「応急手当に自信がないこと」が25.9%、「搬送先の病院が希望どおりでない場合があること」が19.2%の順となっています。一方、「特に不安はない」は8.6%となっています。

▶ 公共交通について

充実してほしい公共交通サービスは、「市が経営負担をして運行している自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る」が4割強

「市が経営負担をして運行している自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る」が42.8%と最も高く、次いで「乗合タクシー、有償ボランティア輸送など民間の活力を利用した交通手段を導入する」が34.7%、「JR、民間バスの利便性の向上を図る」が32.1%の順となっています。

▶ 産業振興について

「活力あるまち」にするために、重要な取り組みは、「地産地商(消)や観光との連携などによる農林業の活性化を進める」が3割強

「地産地商(消)や観光との連携などによる農林業の活性化を進める」が30.5%と最も高く、次いで「自然環境や歴史文化など地域資源を生かした観光振興を進め、恵那市に訪れる交流人口を増やす」と「工業団地を整備し、企業などを誘致する」が28.0%の順となっています。

➤ 学校教育について

小中学校教育を充実するために、力を入れるべきことは、「子どもの道徳心やしつけの向上」が4割強

「子どもの道徳心やしつけの向上」が43.1%と最も高く、次いで「教職員の資質・指導力の向上」が29.4%、「いじめや不登校への対応」が22.7%の順となっています。一方、「特に問題を感じない」は2.3%とわずかです。

➤ 生涯学習について

生涯を通じた学習を充実させるために特に力を入れるべきことは、「子どものころからの社会体験や自然体験、交流体験などの体験学習機会の充実」が5割弱

「子どものころからの社会体験や自然体験、交流体験などの体験学習機会の充実」が46.2%と最も高く、次いで「コミュニティセンター（公民館）、図書館等を活用した生涯学習講座の充実」が35.0%、「指導者の育成などの生涯学習体制の充実」が24.2%の順となっています。

➤ 市民参加・市民協働について

市民と行政の協働による地域づくりの進捗状況は、「どちらともいえない」が5割弱

「どちらともいえない」が45.1%と最も高くなっています。「進んでいると思う」「どちらかと言えば、進んでいると思う」を合わせると17.5%となっています。一方、「進んでいない」「どちらかと言えば、進んでいないと思う」を合わせると30.3%となっています。

地域づくり活動への参加意向は、「自ら進んで積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合わせると4割強

「自ら進んで積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合わせた参加意向のある人は41.8%となっています。一方、「参加したくない」「どちらかというとなら参加したくない」を合わせた参加意向のない人は16.6%となっています。

市政情報の取得手段は、「市の発行する広報紙」が約7割

「市の発行する広報紙」が69.5%と最も高く、次いで「自治会の回覧等」が34.8%「告知放送」が31.4%の順となっています。

市広報誌の発行回数は「今のままでよい」が8割弱、情報量は「今のままでよい」が約7割

発行回数については「多い」が16.8%、「今のままでよい」が77.3%、「少ない」が1.4%となっています。情報量については、「多い」が3.4%、「今のままでよい」が69.1%、「少ない」が10.4%となっています。

市民の意見を市政に反映するために必要なことは、「庁内で行われている会議の内容を市民が知ることができる機会を充実する」が3割、「市長や議員が多くの方と対話集会する機会を充実する」が3割弱

「庁内で行われている会議の内容を市民が知ることができる機会を充実する」が30.0%と最も高く、次いで「市長や議員が多く市民と対話集会する機会を充実する」が26.8%、「アンケート調査、意見箱の設置など多数の意見を聞く機会を増やす」が25.0%、「市民参加で計画づくりや設計を行える機会を充実する」が23.2%の順となっています。一方、「今のままで良い」は9.6%となっています。

▶ 行政運営について

効率的な行財政運営のために今後さらに進めなければならないことは、「行政内部の経費（職員給与、事務経費など）の適正化・削減を徹底する」が約3割

「行政内部の経費（職員給与、事務経費など）の適正化・削減を徹底する」が29.8%と最も高く、次いで「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」が24.8%、「行政組織を簡素・合理化する」が22.5%の順となっています。

▶ 市議会の活動について

市議会活動情報の取得手段は、「広報紙「えな議会だより」」が7割強

「広報紙「えな議会だより」」が73.0%と最も高く、次いで「各議員が発行する議員だより等」が27.8%、「ケーブルテレビ（えなっコチャンネル）市議会中継」が15.9%、「新聞記事」が15.8%の順となっています。一方、「特になし」は12.0%となっています。

市議会中継のインターネット配信の周知度は、「知らない」が6割弱

「知らない」が58.8%と最も高く、次いで「知っているが見たことはない」が22.4%、「見たことがある」が14.7%の順となっています。

市議会・議員の活動への期待は、「議会報告等、市民への説明責任」と「行政とのパイプ役」が3割強

「議会報告等、市民への説明責任」が33.1%と最も高く、次いで「行政とのパイプ役」が32.2%、「行政のチェック機能」が28.1%、「地域での相談、調整役」が26.9%の順となっています。

▶ 避難行動について

台風や豪雨等により避難情報が発令された場合の避難行動は、避難する人は8割弱

「避難準備情報（避難に時間を要する方が避難を開始する時期）」が8.8%、「避難勧告（通常の避難行動ができる方が避難を開始する時期）」が27.4%、「避難指示（誰もが直ちに避難行動を開始する時期）」が41.9%で、合わせて避難する人は約78%となっています。「避難はしない」が9.0%、「避難したくても一人では避難できない」が4.1%、「わからない」が4.3%となっています。

避難するという人の最初の避難場所は「その時の状況により避難場所を決める」が4割弱

避難するという人のうち、「その時の状況により避難場所を決める」が35.1%と最も高く、次いで「市が開設する避難所に避難する」が31.2%、「隣人宅や最寄りの集会所等に避難する」が16.9%、

「自宅内の安全な場所に避難する」が15.2%の順となっています。

避難はしない人の理由は、「自宅はハザードマップ等で危険な場所ではないと確認しているため」が3割弱

避難はしない人のその理由は、「自宅はハザードマップ等で危険な場所ではないと確認しているため」が26.9%と最も高く、次いで「自宅が被害を受けるとは思えないため」が24.6%、「避難経路が危険なため」が16.2%の順となっています。

▶ 男女共同参画社会について

「男性は仕事、女性は家庭」という考えについては、「男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」が8割弱

「男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」が76.3%と圧倒的に高くなっています。「男性は仕事、女性は家庭」でよい」が5.8%、「男女とも仕事をするが、家庭・育児・介護は女性の役割である」が4.1%、「女性は仕事、男性は家庭」でもよい」が3.6%の順となっています。

①～⑧の場面による男女の優遇差については、②職場での待遇、⑥社会通念・習慣・しきたり、⑦政治の場、⑧社会全体としては、男性が優遇されているが約6割

②職場での待遇、⑥社会通念・習慣・しきたり、⑦政治の場、⑧社会全体としてでは、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた男性の方が優遇されているが55%から61%と高くなっています。次いで、①家庭生活、③地域活動の場、⑤法律や制度上では、男性の方が優遇されているが30%から46%となっています。④学校教育の場では「平等である」が50.2%と高く男性の方が優遇されているは10.2%と低くなっています。⑤法律上や制度上と③地域活動の場でも「平等である」が30%前後となっています。「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは、①家庭生活において10.6%とほかの項目に比べ高くなっています。

男女共同参画社会の実現に必要なことについては、「保育、介護サービスなどの充実」が4割強

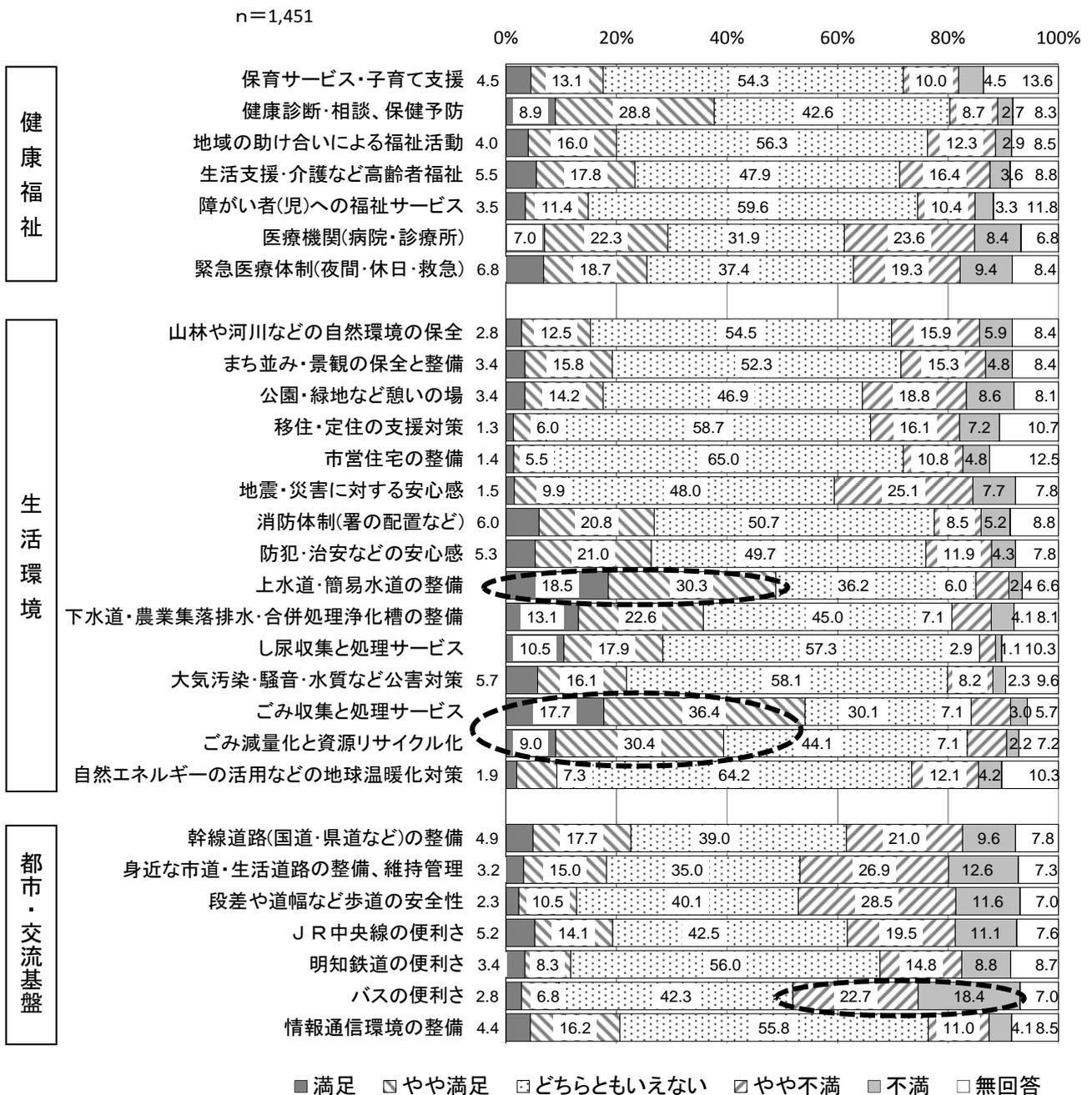
「保育、介護サービスなどの充実」が42.9%と最も高くなっています。次いで、「男女共同参画活動等についての幅広い情報提供」が27.5%、「男女平等と相互理解・協力についての学習の充実」が27.4%、「審議会等の委員など、政策決定の場への女性の積極的な登用」が19.0%、「各種団体や地域で活躍する女性人材の育成」が18.5%の順となっています。一方、「特になし」は7.1%となっています。

3 施策の満足度・重要度について

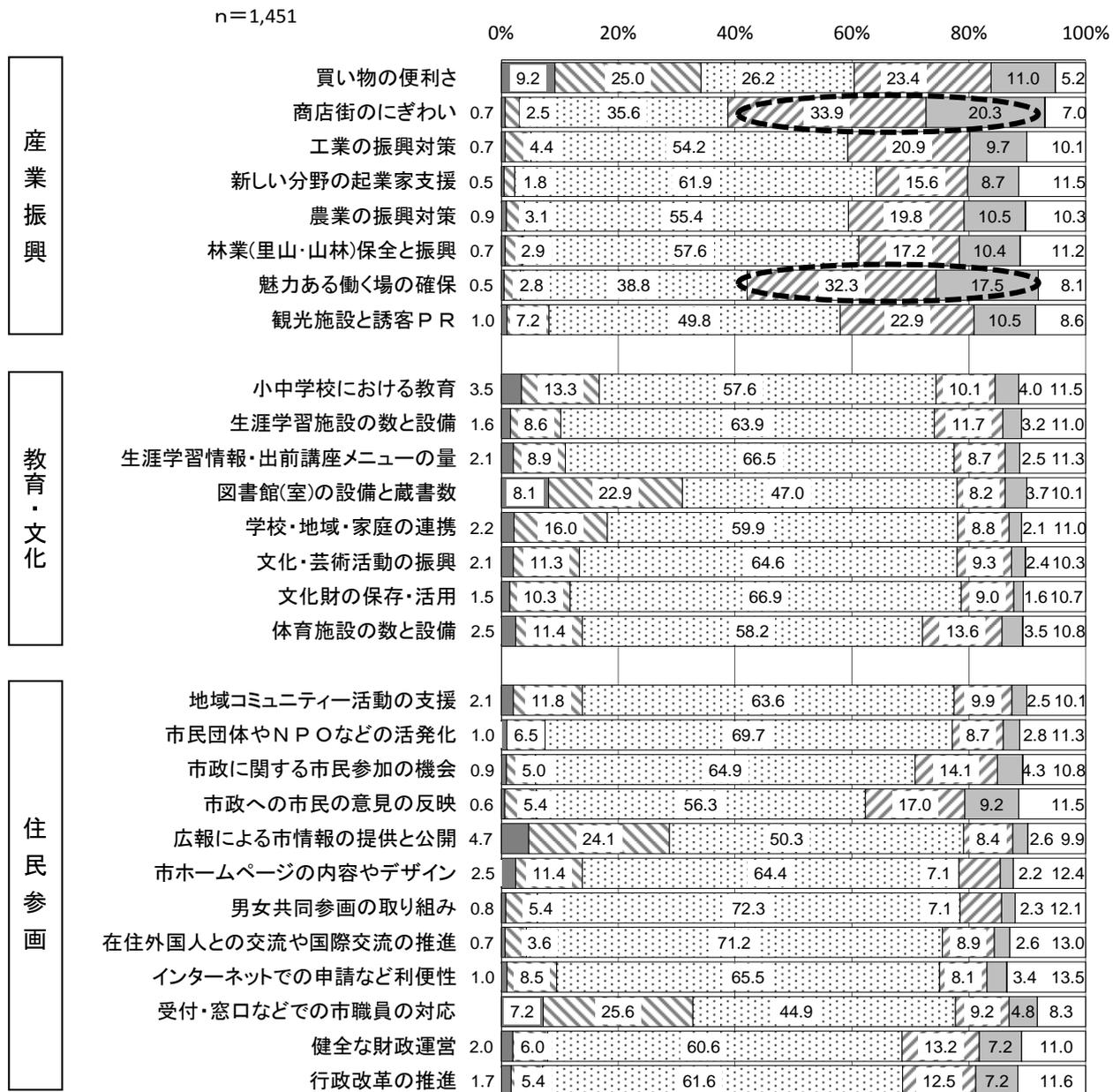
(1) 全57施策の満足度（今回調査一覧）

【問9】「1」～「57」のすべての項目について(1)『満足度』の1～5の中から1つに○印、(2)『重要度』の1～5の中から1つに○印を付けてください。
 （単数回答）

満足度（「満足」と「やや満足」の合算）の高い施策は、「ごみ収集と処理サービス」が54.1%、「上水道・簡易水道の整備」が48.8%、「ごみ減量化と資源リサイクル化」が39.4%となっています。



また、不満度（「やや不満」と「不満」の合算）の高い施策は、「商店街のにぎわい」が54.2%、「魅力ある働く場の確保」が49.8%、「バスの便利さ」が41.1%となっています。

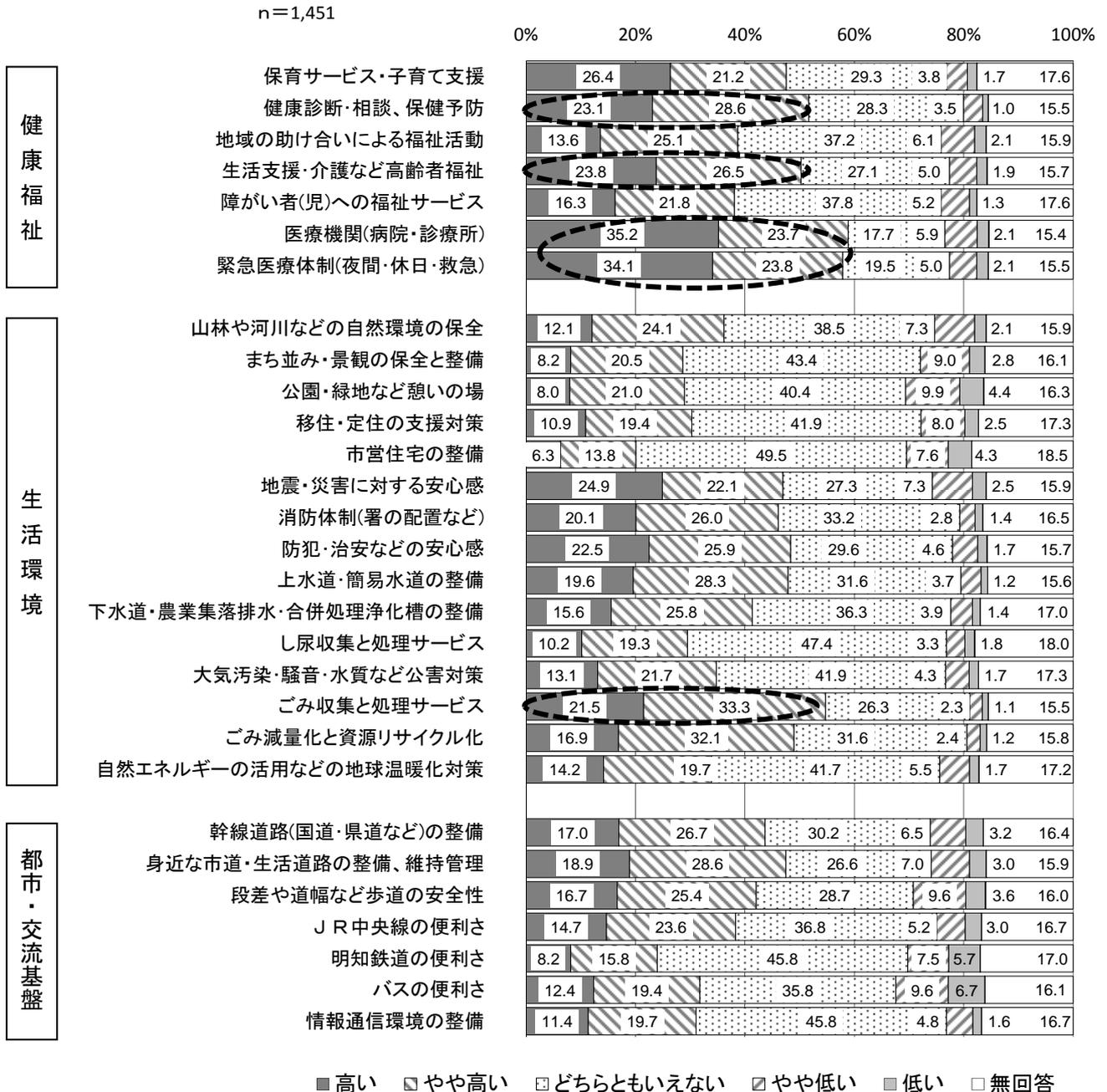


■満足 □やや満足 □どちらともいえない □やや不満 ■不満 □無回答

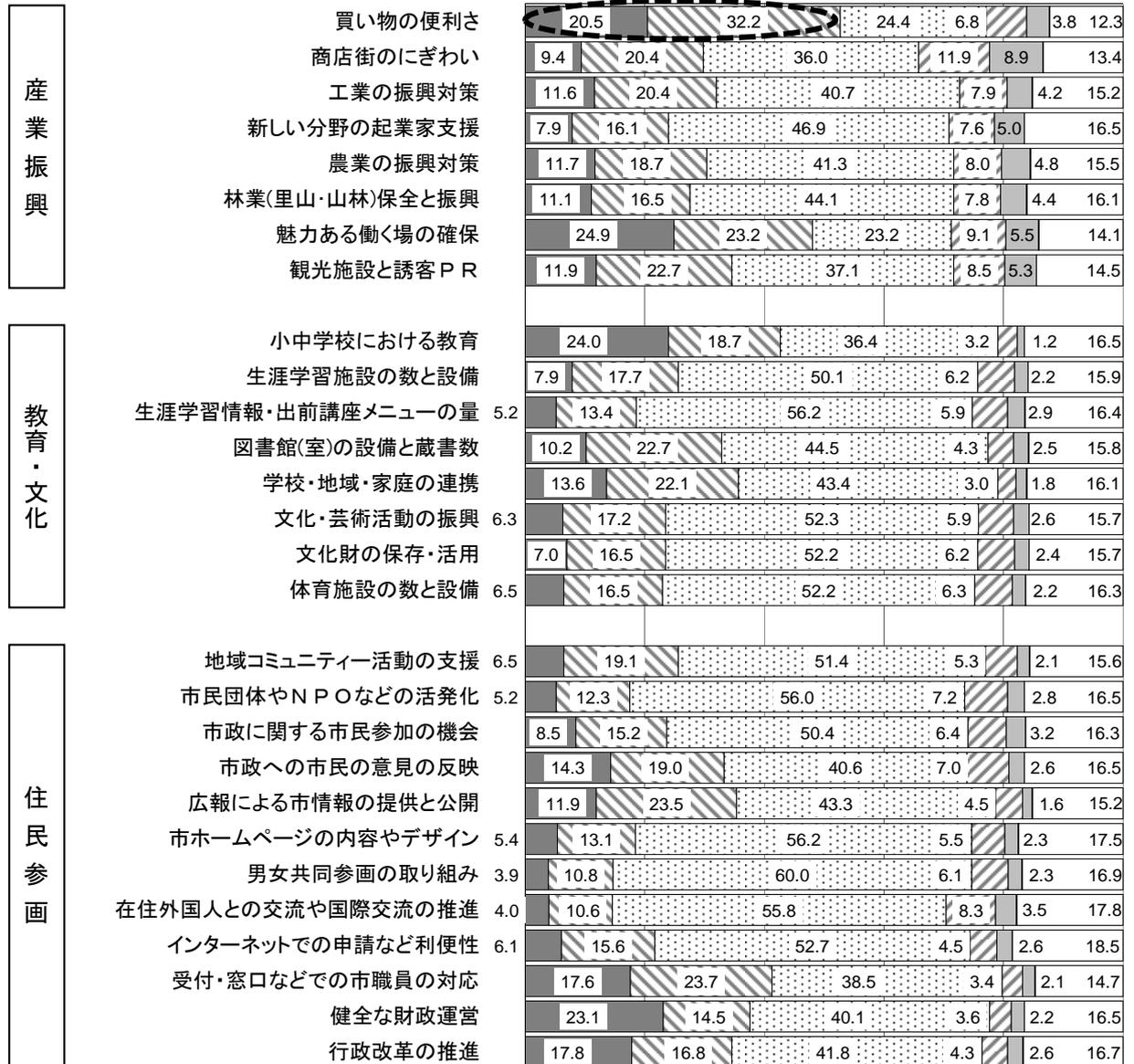
(2) 全57施策の重要度（今回調査一覧）

【問9】「1」～「57」のすべての項目について(1)『満足度』の1～5の中から1つに○印、(2)『重要度』の1～5の中から1つに○印を付けてください。
 （単数回答）

重要度（「高い」と「やや高い」の合算）の高い施策は、「医療機関(病院・診療所)」が58.9%、「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」が57.9%、「ごみ収集と処理サービス」が54.8%、「買い物の便利さ」が52.7%、「健康診断・相談、保健予防」が51.7%、「生活支援・介護などの高齢者福祉」が50.3%となっています。



n=1,451



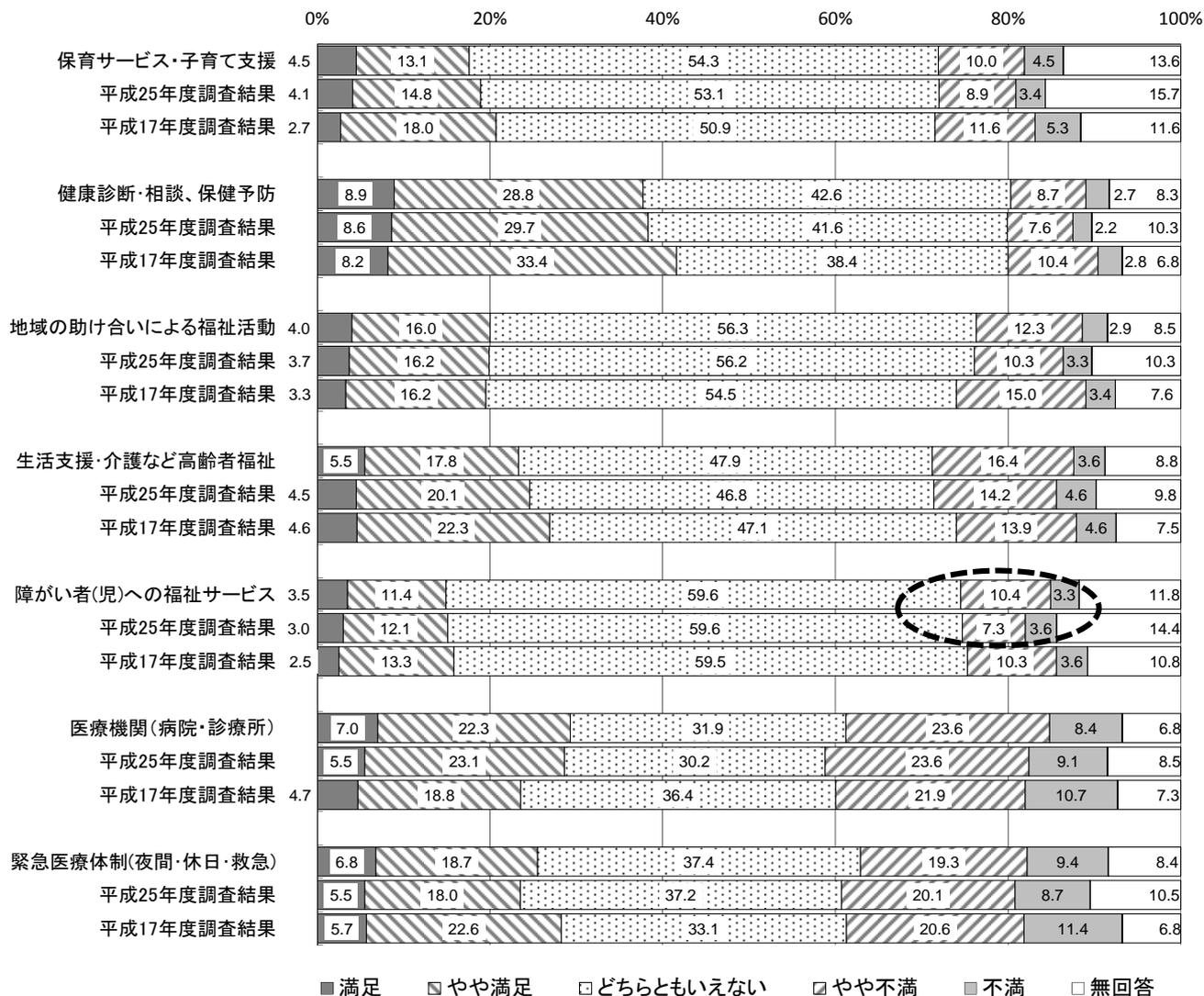
■ 高い □ やや高い □ どちらともいえない □ やや低い ■ 低い □ 無回答

4 分野別施策満足度の経年比較について

(1) 健康福祉分野

健康福祉分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「障がい者（児）への福祉サービス」で2.8ポイントとやや上昇しています。

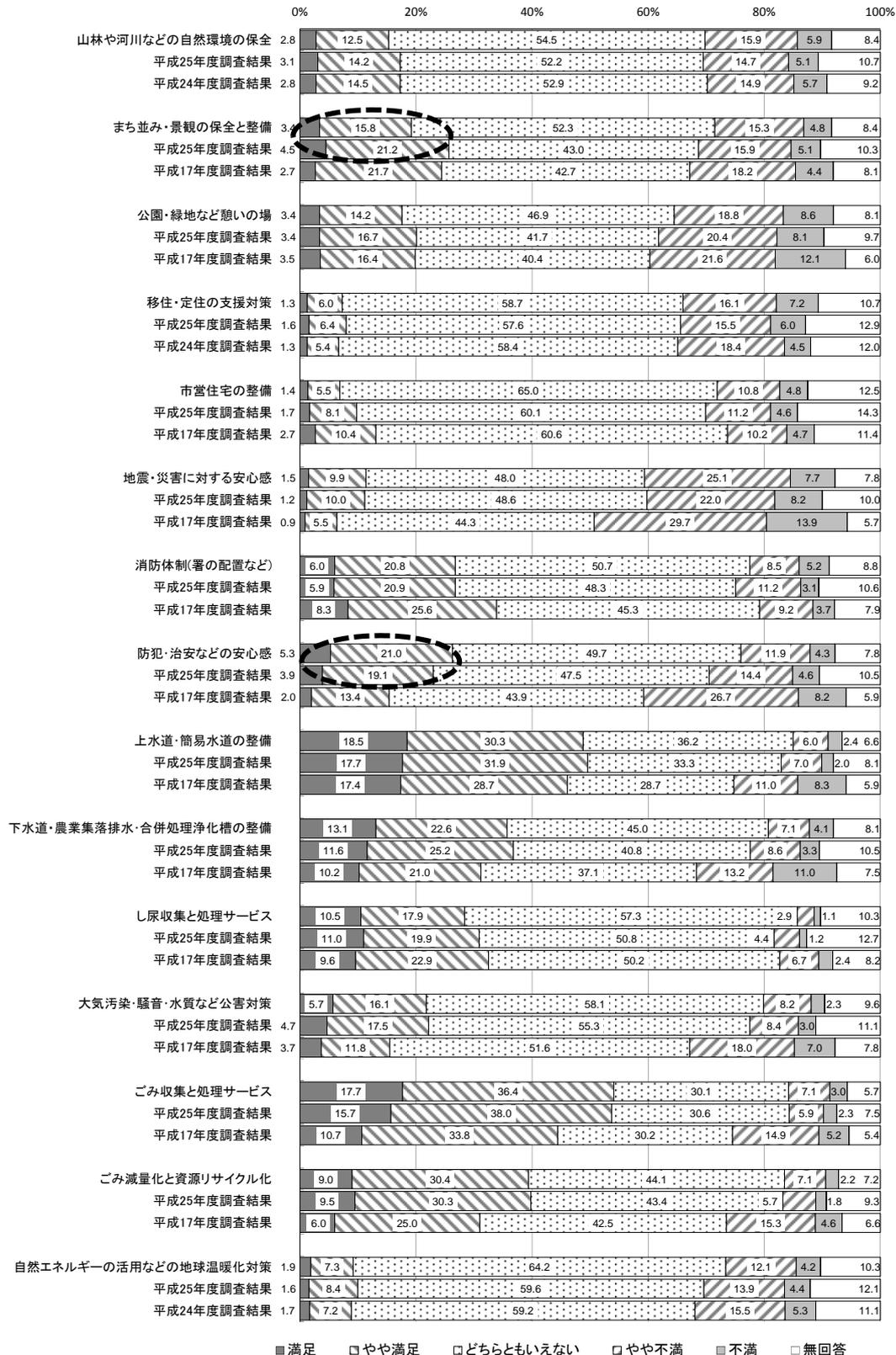
n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)



(2) 生活環境分野

生活環境分野の満足度を前年度と比較すると、「防犯・治安などの安心感」で3.3ポイント上昇し、「まち並み・景観の保全と整備」で6.5ポイント低下しています。不満度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありません。

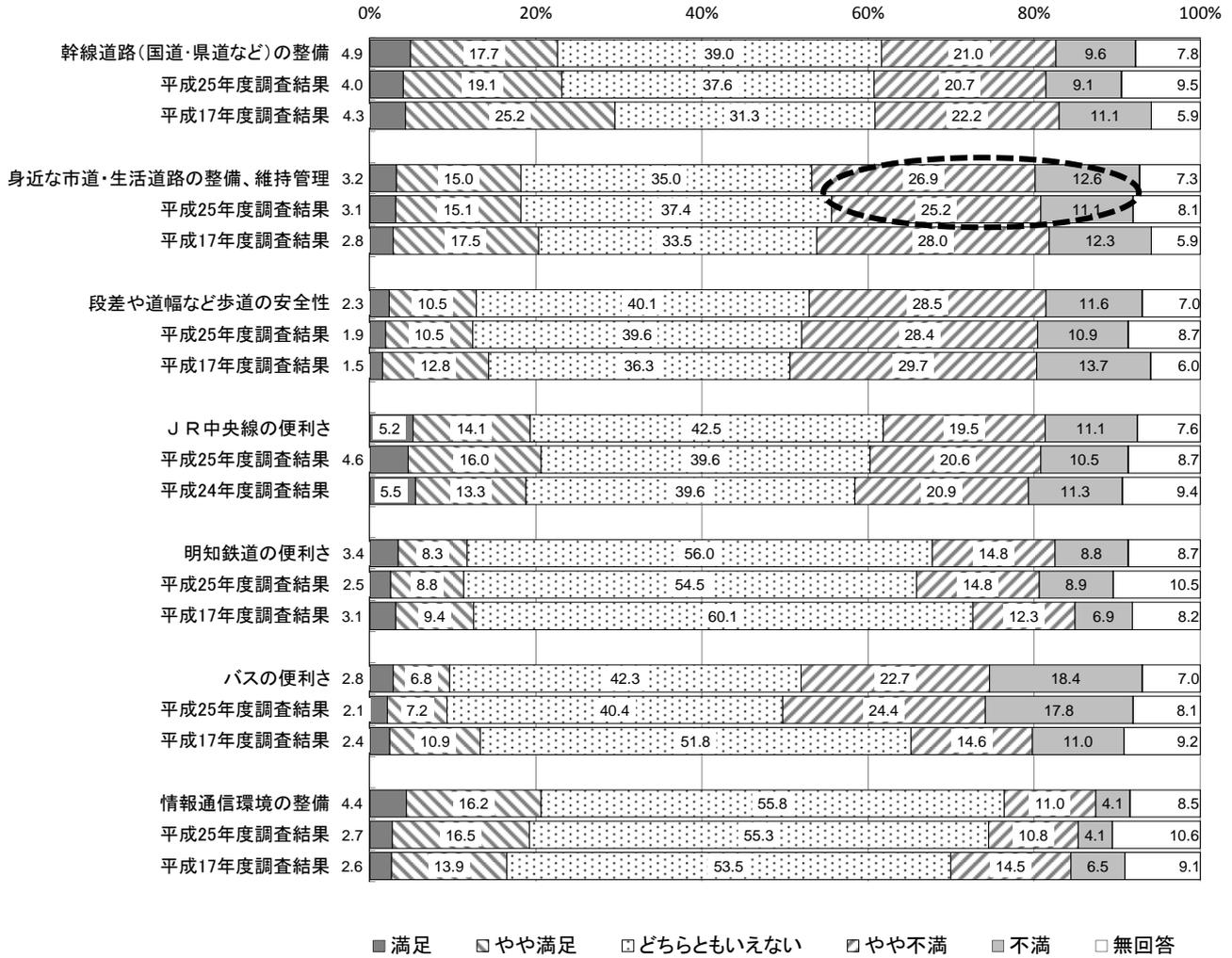
n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)



(3) 都市・交流基盤分野

都市・交流基盤分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」で3.2ポイント上昇しています。

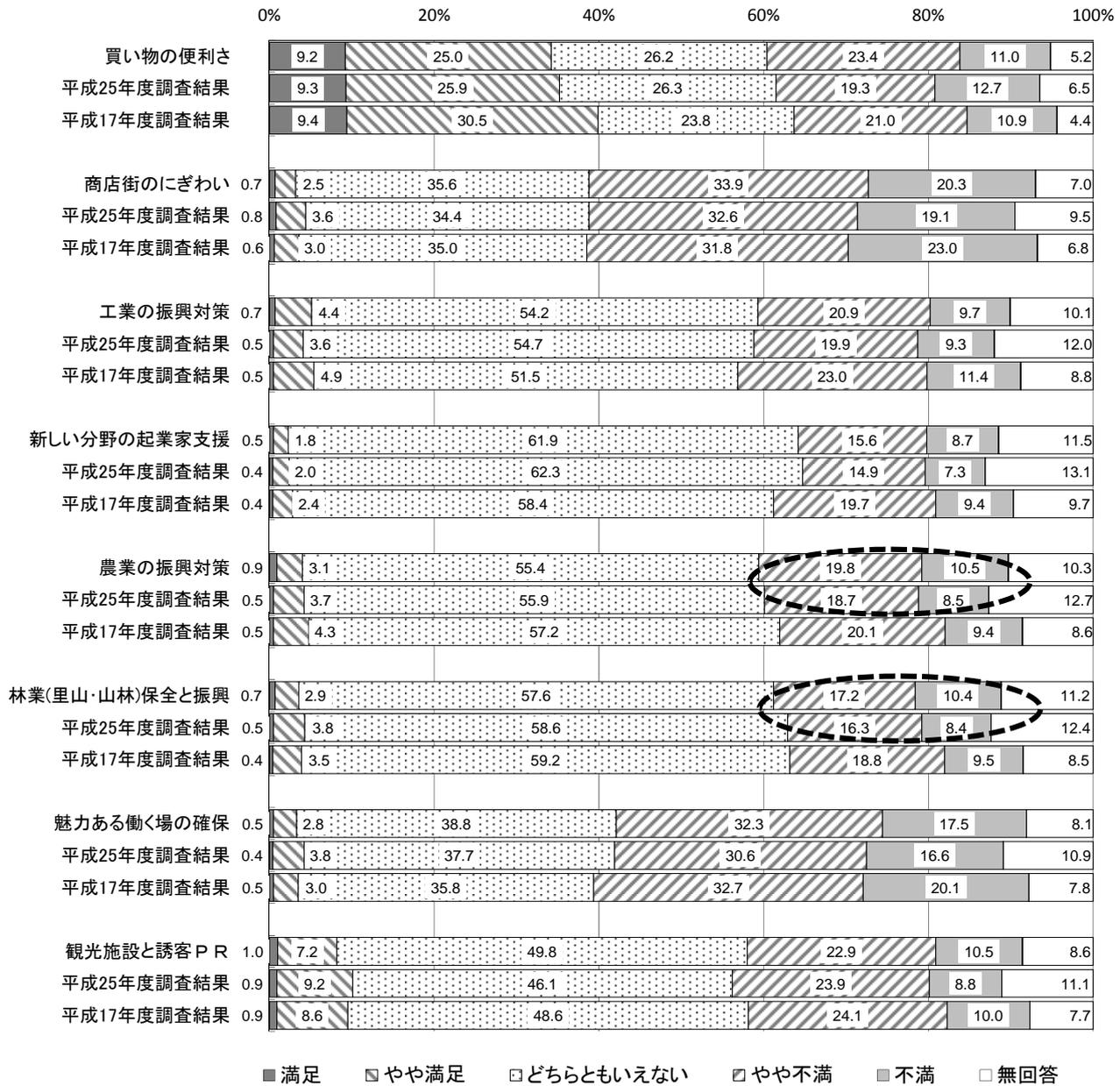
n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)



(4) 産業振興分野

産業振興分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「農業の振興対策」で3.1ポイントと上昇し、「林業（里山・山林）の保全と振興」で2.9ポイントとやや上昇しています。

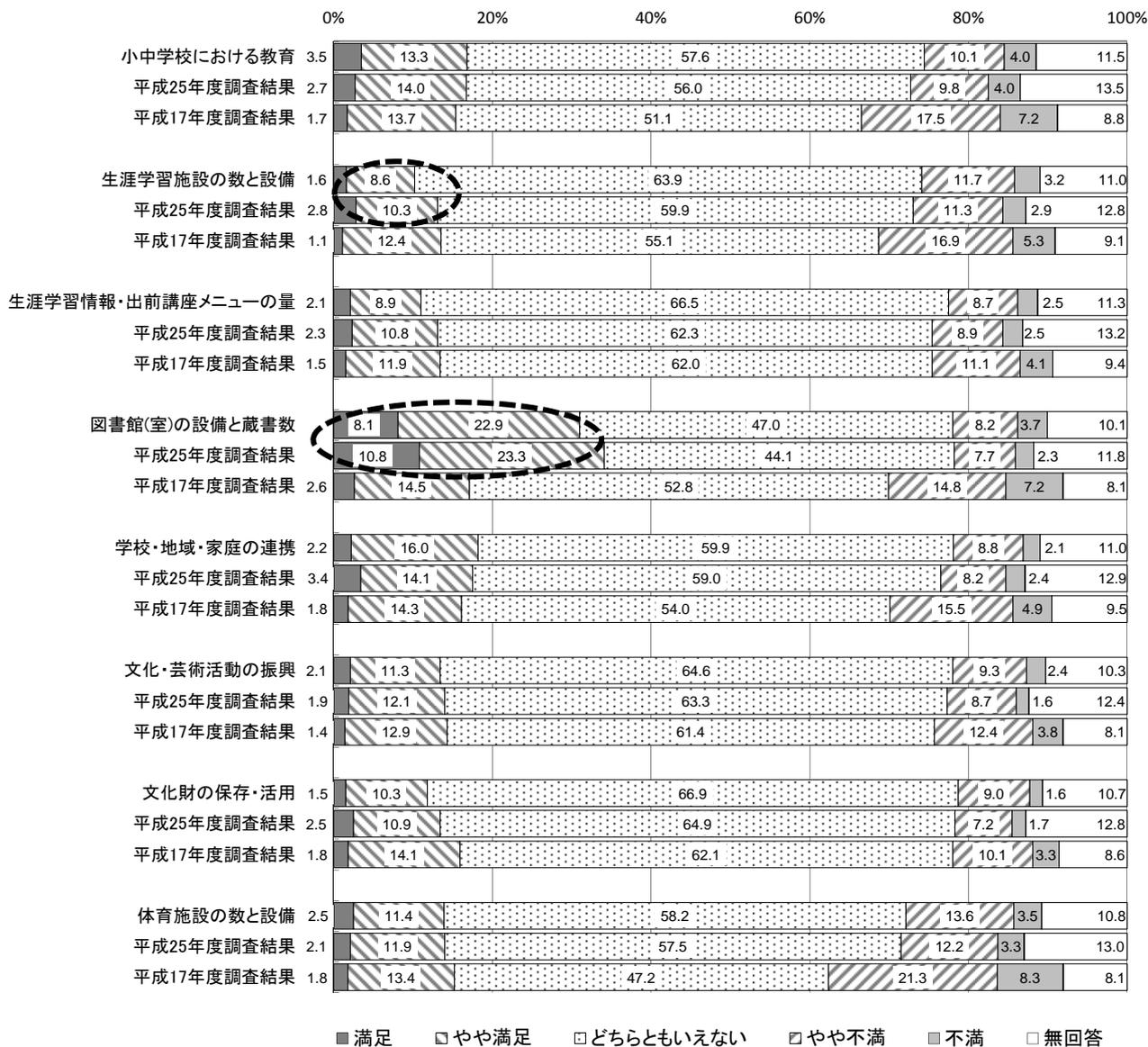
n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)



(5) 教育・文化分野

教育・文化分野の満足度を前年度と比較すると、「図書館（室）の整備と蔵書数」が3.1ポイントと低下し、「生涯学習施設の数と設備」が2.9ポイントとやや低下しています。また、不満度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。

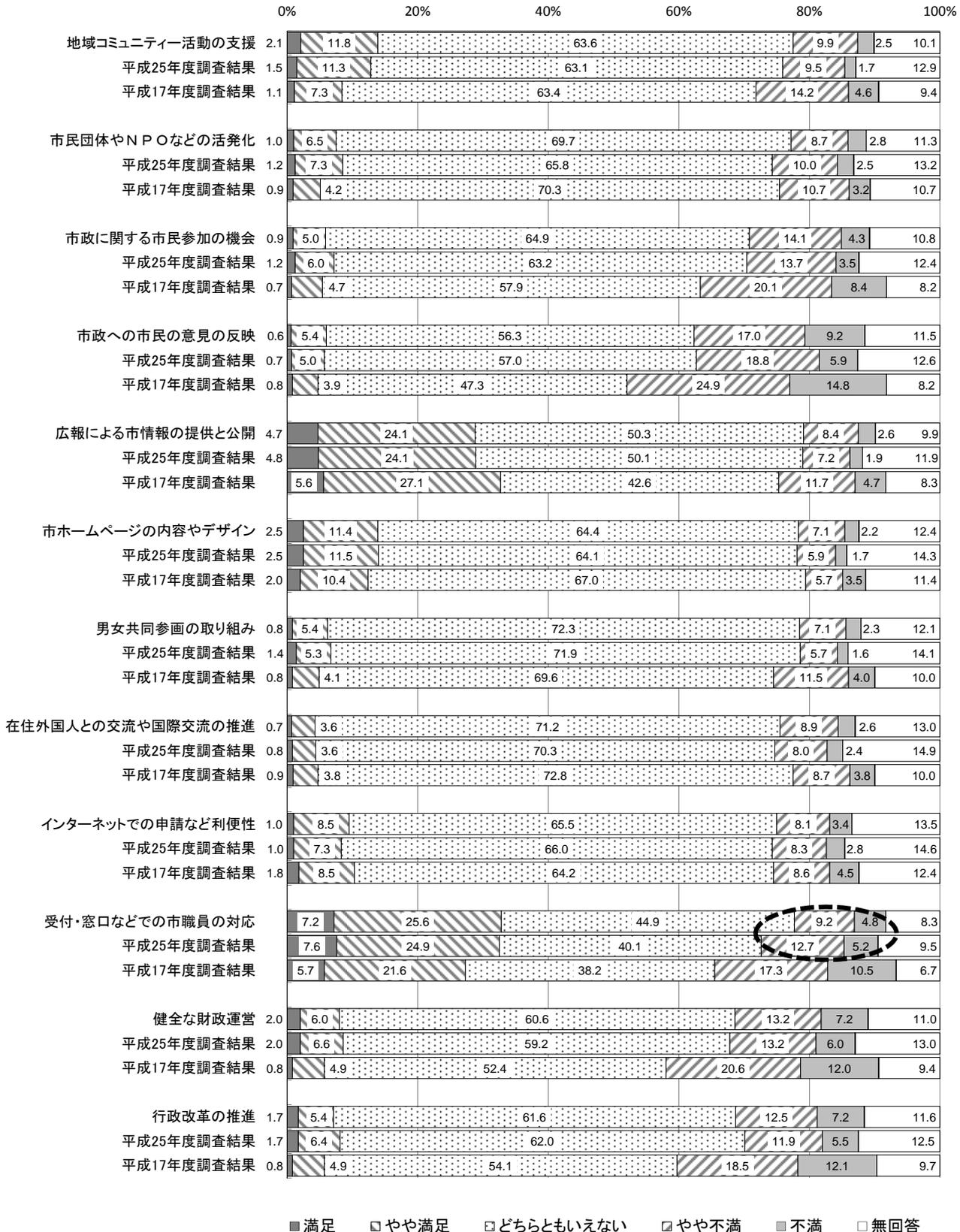
n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)



(6) 住民参画分野

住民参画分野の満足度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。不満度を前年度と比較すると、「受付・窓口などでの市職員の対応」で3.9ポイント低下しています。

n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)

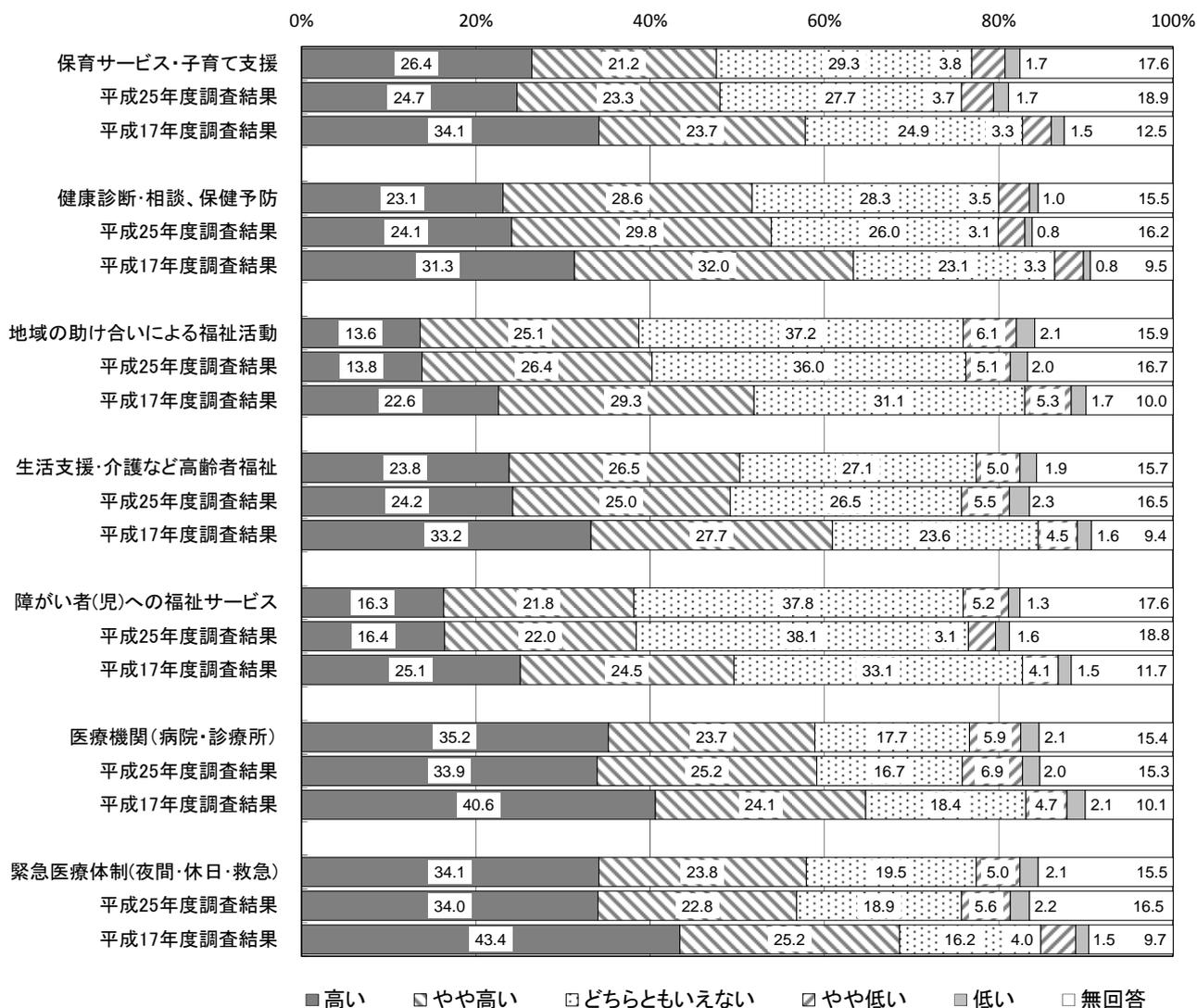


5 分野別施策重要度の経年比較について

(1) 健康福祉分野

健康福祉分野の重要度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。

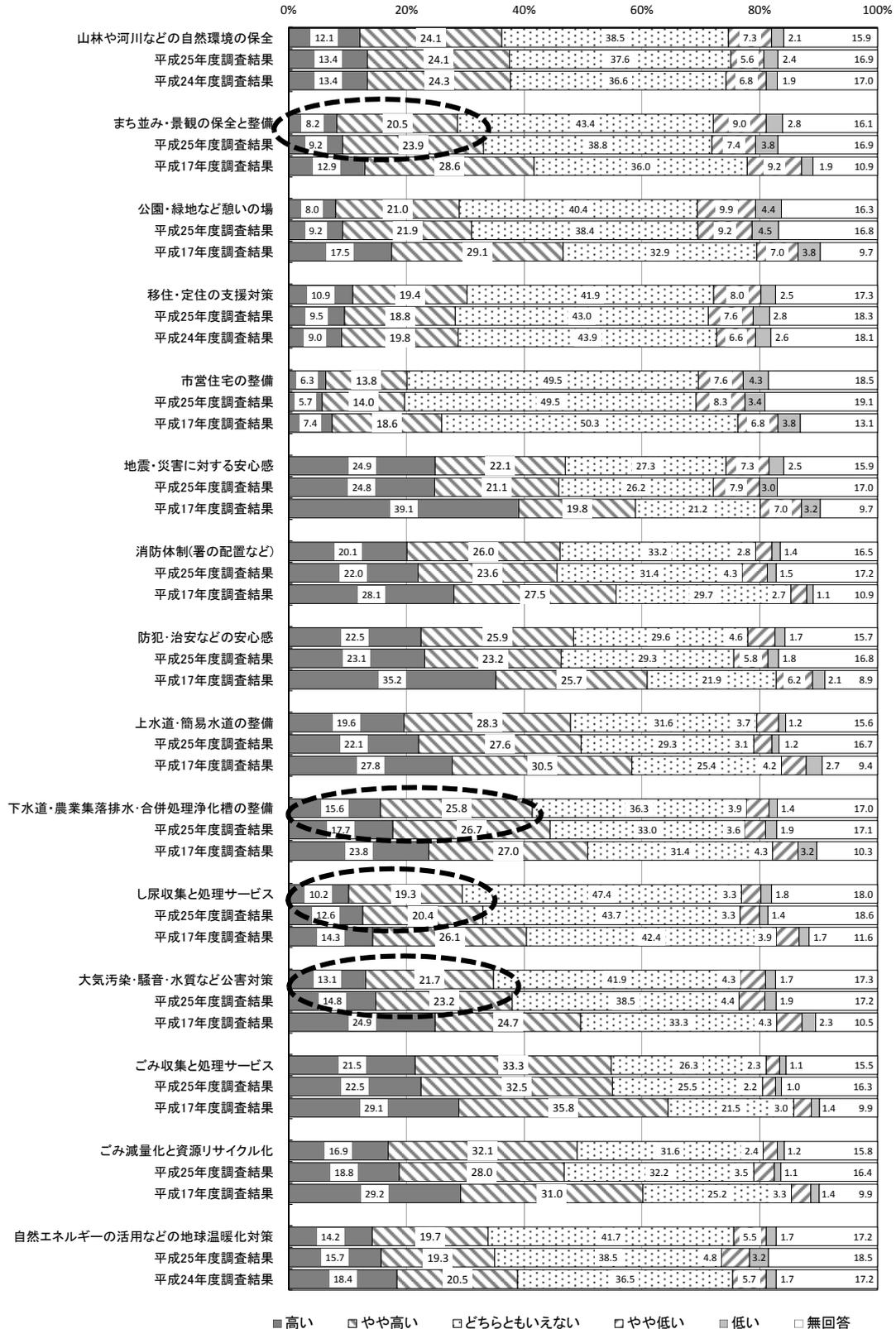
n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)



(2) 生活環境分野

生活環境分野の重要度を前年度と比較すると、「まちなみ・景観の保全と整備」で4.4ポイント、「し尿収集と処理サービス」で3.5ポイント、「大気汚染・騒音・水質などの公害対策」で3.2ポイント、「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」で3.0ポイント低下しています。

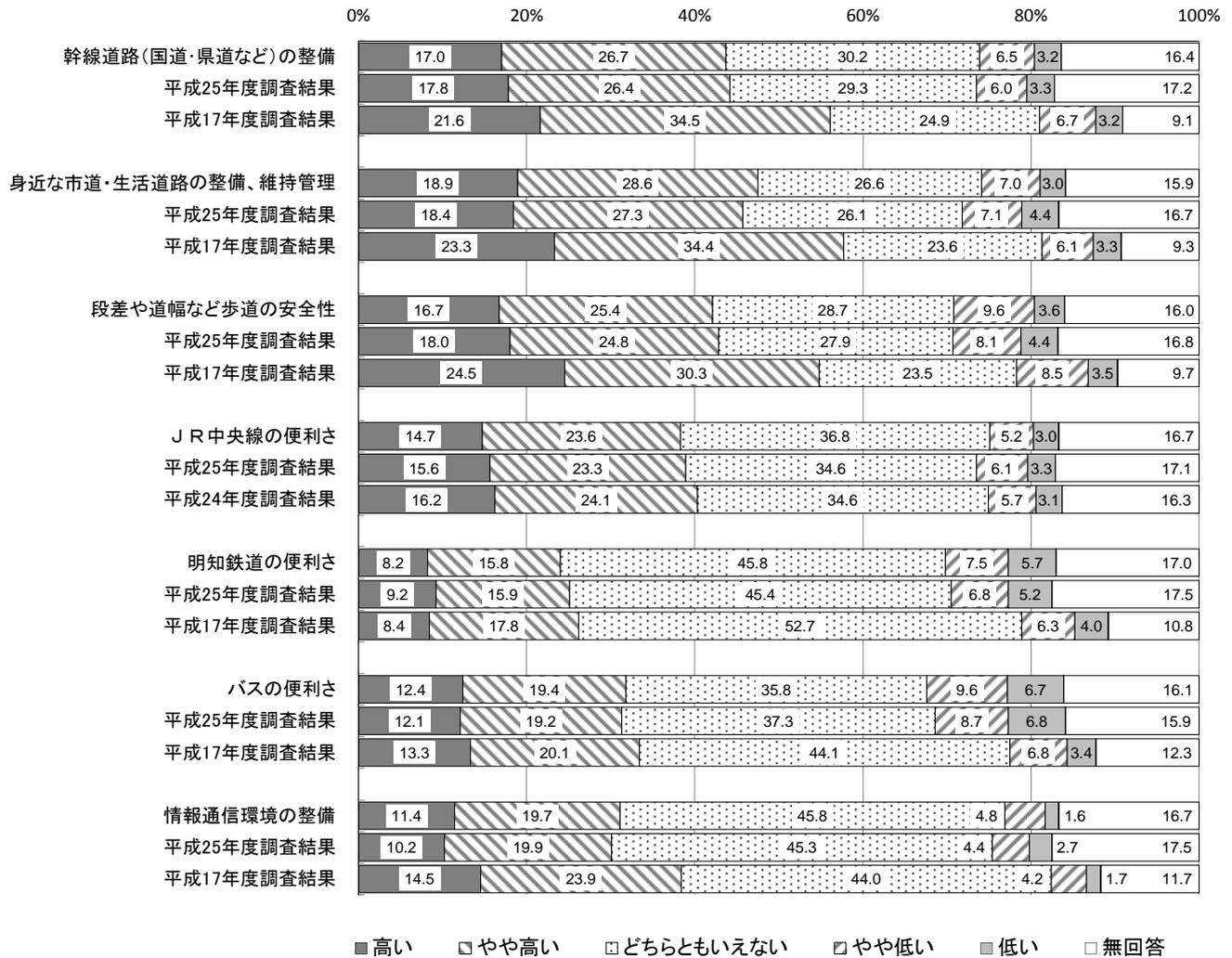
n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,411(H24年度)、n=1,688(H17年度)



(3) 都市・交流基盤分野

都市・交流基盤分野の重要度を前年度と比較すると、ほとんど変化がありませんでした。

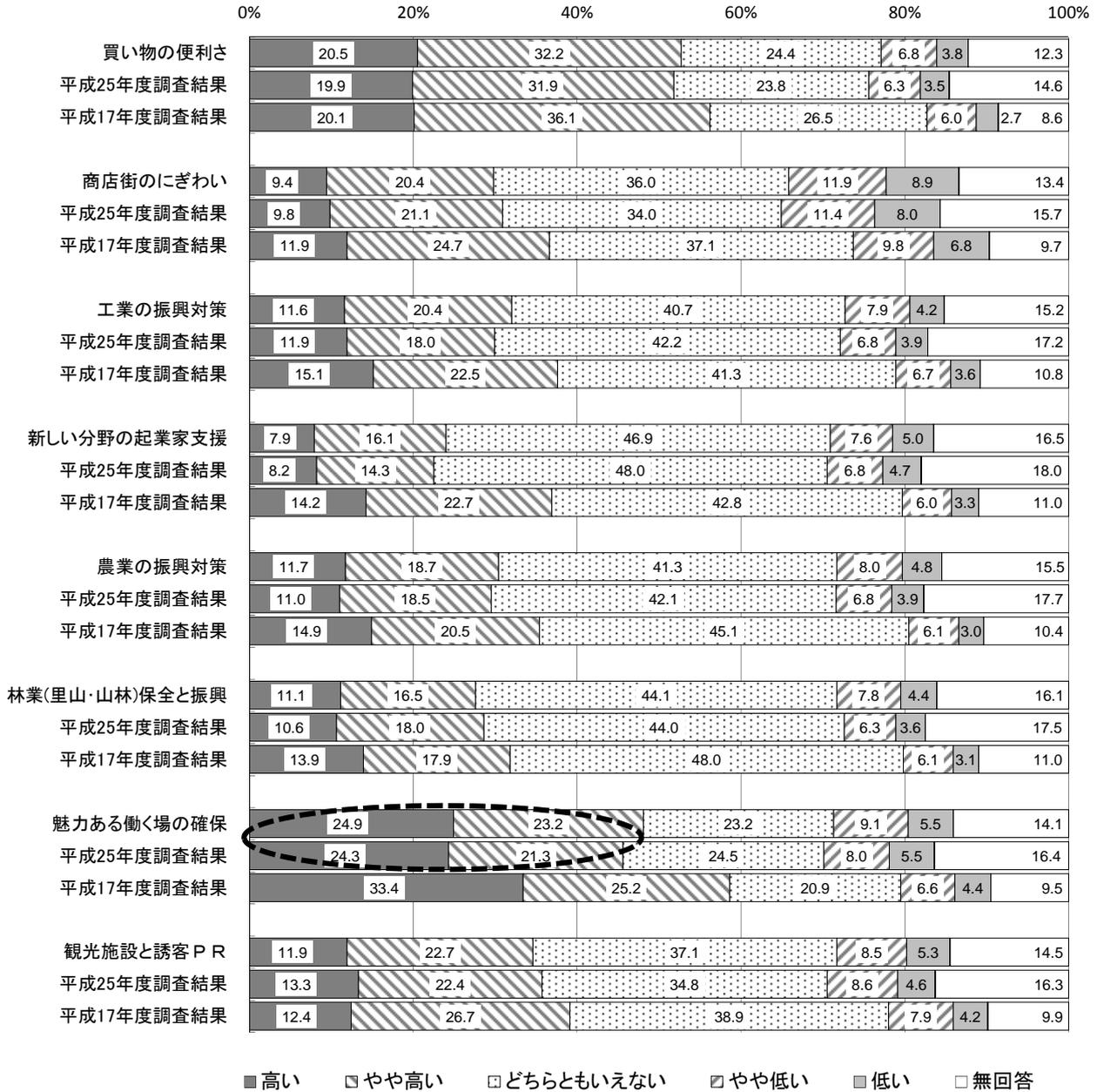
n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)



(4) 産業振興分野

産業振興分野の重要度を前年度と比較すると、「魅力ある働く場の確保」で2.5ポイントとやや上昇しています。

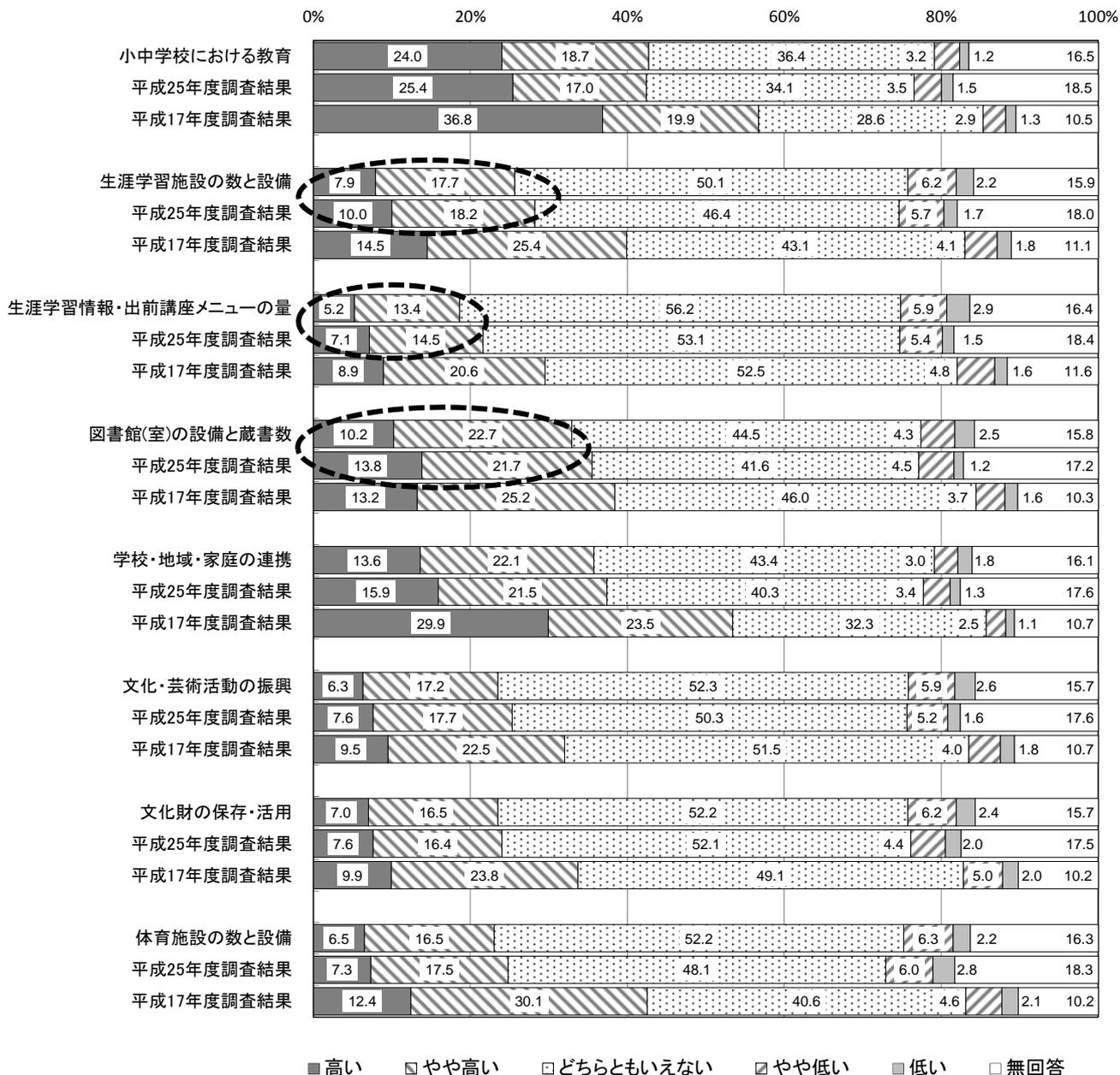
n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)



(5) 教育・文化分野

教育・文化分野の重要度を前年度と比較すると、「生涯学習情報・出前講座のメニューの量」で3.0ポイントと低下し、「生涯学習施設の数と設備」と「図書館(室)の設備と蔵書数」で2.6ポイントとやや低下しています。

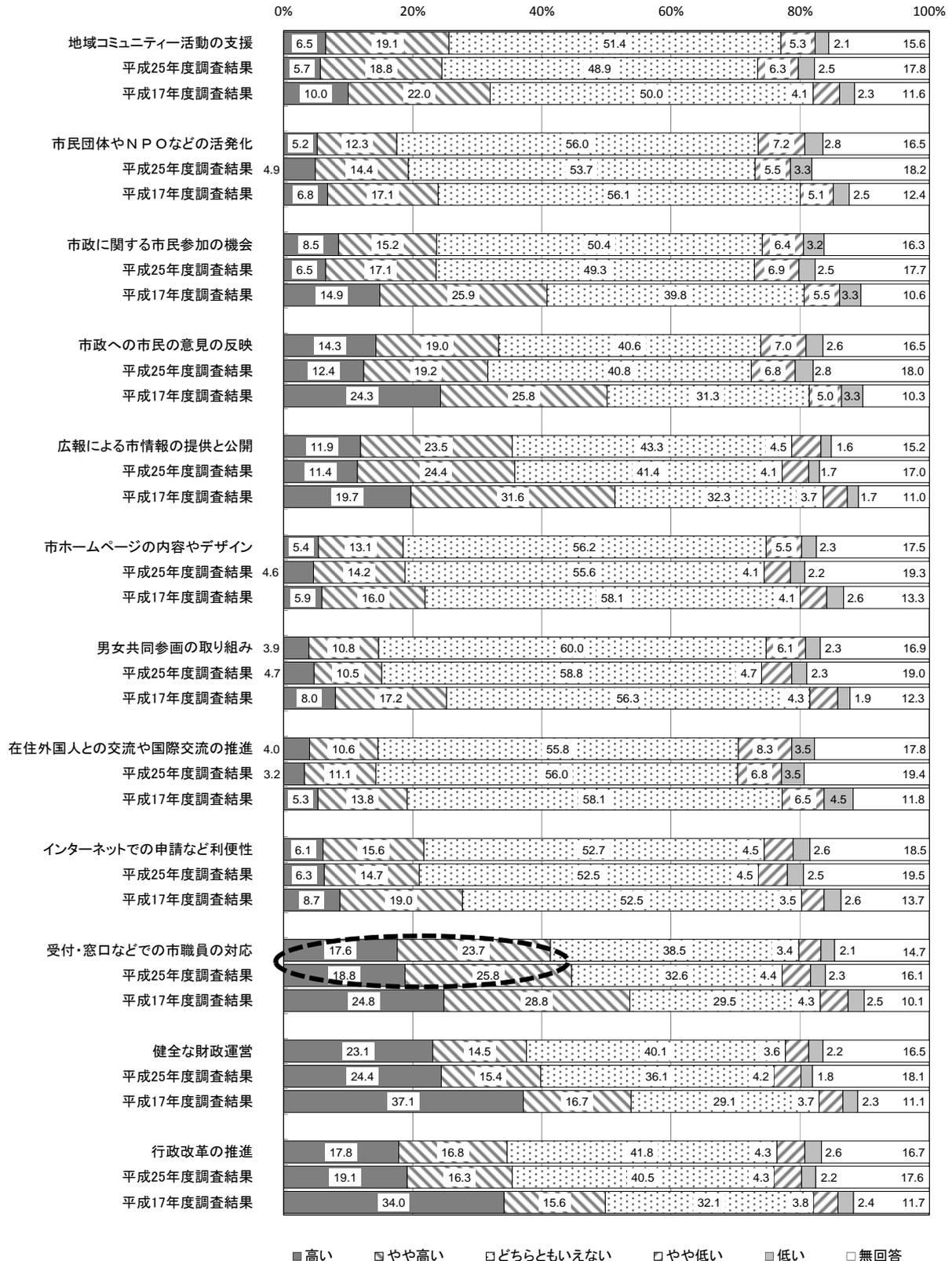
n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)



(6) 住民参画分野

住民参画分野の重要度を前年度と比較すると、「受付・窓口などでの市職員の対応」で3.3ポイント低下しています。

n=1,451(H26年度)、n=1,375(H25年度)、n=1,688(H17年度)



6 求められるまちづくりの方向性について

(1) 満足度・不満度・重要度の上位10※項目

満足度の高い施策では、上位10項目のうち、「ごみの収集と処理サービス」と「受付・窓口などでの市職員の対応」「医療機関（病院・診療所）」の3項目で前回調査時より満足度が高まっていますが、ほかの7項目で満足度が低くなっています。

不満度の高い施策では、上位12項目（10位が同じ割合で3項目のため）のうち「バスの便利さ」と「医療機関（病院・診療所）」「JR中央線の便利さ」の3項目で前回調査時より不満度が低くなっていますが、ほかの9項目で不満度が高くなっています。

重要度の高い施策では、上位10項目のうち、「緊急医療体制（夜間・休日・救急）」と「買い物の便利さ」など6項目で重要度が高まっています。前回上位10項目より下位だった「魅力ある働く場の確保」が今回は上位10項目に入り、「保育サービス・子育て支援」（前回8位）が上位10項目には入りませんでした。

◇満足度の高い施策

n= 1,451

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	54.1【↑】	53.7(1)
2	上水道・簡易水道の整備	48.8【↓】	49.6(2)
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	39.4【↓】	39.8(3)
4	健康診断・相談、保健予防	37.7【↓】	38.3(4)
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	35.7【↓】	36.8(5)
6	買い物の便利さ	34.2【↓】	35.2(6)
7	受付・窓口などでの市職員の対応	32.8【↑】	32.5(8)
8	図書館(室)の設備と蔵書数	31.0【↓】	34.1(7)
9	医療機関(病院・診療所)	29.3【↑】	28.6(11)
10	広報による市情報の提供と公開	28.8【↓】	28.9(10)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	商店街のにぎわい	54.2【↑】	51.7(1)
2	魅力ある働く場の確保	49.8【↑】	47.2(2)
3	バスの便利さ	41.1【↓】	42.2(3)
4	段差や道幅など歩道の安全性	40.1【↑】	39.3(4)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	39.5【↑】	36.3(5)
6	買い物の便利さ	34.4【↑】	32.0(8)
7	観光施設と誘客PR	33.4【↑】	32.7(6)
8	地震・災害に対する安心感	32.8【↑】	30.2(10)
9	医療機関(病院・診療所)	32.0【↓】	32.7(6)
10	幹線道路(国道・県道など)の整備	30.6【↑】	29.8(11)
10	JR中央線の便利さ	30.6【↓】	31.1(9)
10	工業の振興対策	30.6【↑】	29.2(12)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	医療機関(病院・診療所)	58.9【↓】	59.1(1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	57.9【↑】	56.8(2)
3	ごみ収集と処理サービス	54.8【↓】	55.0(3)
4	買い物の便利さ	52.7【↑】	51.8(5)
5	健康診断・相談、保健予防	51.7【↓】	53.9(4)
6	生活支援・介護など高齢者福祉	50.3【↑】	49.2(7)
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	49.0【↑】	46.8(9)
8	防犯・治安などの安心感	48.4【↑】	46.3(10)
9	魅力ある働く場の確保	48.1【↑】	45.6(13)
10	上水道・簡易水道の整備	47.9【↓】	49.7(6)

※今回調査結果の【 】内は、前回調査時からのポイントの上下を指す。

※前回調査結果の()内は、前回順位を指す。

※同率順位が2項目以上ある場合は、10項目を超える場合あり。(以下同様)

(2) 年齢別の上位10項目

【20歳代】

20歳代の満足度の高い施策は「買い物の便利さ」「上水道・簡易水道の整備」「ごみ収集と処理サービス」、不満度の高い施策は「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「バスの便利さ」、重要度の高い施策は「買い物の便利さ」「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」となっています。(n=97)

◇満足度の高い施策

n= 97

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	買い物の便利さ	40.2【↑】	31.3(6)
2	上水道・簡易水道の整備	37.1【↑】	32.3(5)
2	ごみ収集と処理サービス	37.1【↓】	43.8(2)
4	図書館(室)の設備と蔵書数	35.0【↓】	46.9(1)
5	健康診断・相談、保健予防	31.0【↑】	29.2(8)
6	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	29.9【↑】	21.9(18)
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	29.9【↓】	39.6(4)
8	防犯・治安などの安心感	28.9【↑】	28.1(9)
9	JR中央線の便利さ	27.9【↑】	24.0(12)
10	幹線道路(国道・県道など)の整備	26.8【↑】	24.0(12)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	商店街のにぎわい	56.7【↑】	55.2(2)
2	魅力ある働く場の確保	50.5【↓】	62.5(1)
3	バスの便利さ	47.4【↓】	55.2(2)
4	段差や道幅など歩道の安全性	46.4【↑】	35.4(9)
5	JR中央線の便利さ	42.3【↓】	44.8(4)
5	買い物の便利さ	42.3【↓】	42.8(5)
7	明知鉄道の便利さ	39.2【↑】	37.5(7)
8	地震・災害に対する安心感	38.2【↑】	31.3(11)
9	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	36.1【↑】	29.2(13)
10	公園・緑地など憩いの場	35.1【↑】	33.3(10)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	買い物の便利さ	80.5【↑】	68.8(5)
2	医療機関(病院・診療所)	78.4【↑】	75.0(1)
3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	73.2【↓】	75.0(1)
4	魅力ある働く場の確保	72.2【↑】	67.8(7)
5	保育サービス・子育て支援	68.0【↓】	70.9(4)
5	JR中央線の便利さ	68.0【↑】	64.5(8)
7	地震・災害に対する安心感	67.0【↓】	72.9(3)
8	生活支援・介護など高齢者福祉	64.9【↑】	59.3(15)
9	幹線道路(国道・県道など)の整備	61.8【↑】	60.4(14)
9	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	61.8【↓】	63.5(9)

【30歳代】

30歳代の満足度の高い施策は「図書館(室)の設備と蔵書数」「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」、不満度の高い施策は「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「医療機関(病院・診療所)」、重要度の高い施策は「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「保育サービス・子育て支援」となっています。(n=156)

◇満足度の高い施策

n= 156

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	図書館(室)の設備と蔵書数	41.1【 ↓ 】	46.8 (1)
2	ごみ収集と処理サービス	41.0【 ↑ 】	37.5 (2)
3	上水道・簡易水道の整備	37.8【 ↑ 】	35.1 (4)
4	買い物の便利さ	30.8【 ↓ 】	34.4 (5)
5	防犯・治安などの安心感	28.9【 ↑ 】	24.2 (12)
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	28.8【 ↓ 】	36.8 (3)
7	受付・窓口などでの市職員の対応	27.0【 ↑ 】	20.3 (19)
8	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	26.9【 ↑ 】	26.6 (9)
8	幹線道路(国道・県道など)の整備	26.9【 ↑ 】	25.0 (10)
10	消防体制(署の配置など)	25.0【 ↑ 】	24.3 (11)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	商店街のにぎわい	54.5【 ↑ 】	53.1 (1)
2	魅力ある働く場の確保	46.2【 ↓ 】	52.3 (2)
3	医療機関(病院・診療所)	41.7【 ↓ 】	45.3 (5)
4	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	41.0【 ↓ 】	46.9 (4)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	40.3【 ↓ 】	40.6 (7)
5	段差や道幅など歩道の安全性	40.3【 ↓ 】	42.2 (6)
7	買い物の便利さ	38.4【 ↑ 】	37.5 (10)
8	JR中央線の便利さ	37.8【 ↓ 】	40.6 (7)
9	バスの便利さ	35.9【 ↓ 】	49.2 (3)
10	地震・災害に対する安心感	32.7【 ↑ 】	26.6 (13)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	医療機関(病院・診療所)	73.0【 ↓ 】	80.6 (1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	71.0【 ↓ 】	76.5 (3)
3	保育サービス・子育て支援	64.7【 ↓ 】	76.6 (2)
4	魅力ある働く場の確保	63.5【 ↑ 】	62.5 (7)
5	買い物の便利さ	60.3【 ↓ 】	65.6 (5)
6	地震・災害に対する安心感	59.6【 ↓ 】	63.3 (6)
7	防犯・治安などの安心感	55.8【 ↓ 】	57.7 (12)
8	小中学校における教育	55.1【 ↓ 】	62.4 (8)
9	健康診断・相談、保健予防	53.8【 ↓ 】	67.9 (4)
9	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	53.8【 ↓ 】	55.4 (15)

【40歳代】

40歳代の満足度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「図書館(室)の設備と蔵書数」「上水道・簡易水道の整備」、不満度の高い施策は「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「医療機関(病院・診療所)」、重要度の高い施策は「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「保育サービス・子育て支援」となっています。(n=170)

◇満足度の高い施策

n= 170

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	48.1【 ↓ 】	52.2 (1)
2	図書館(室)の設備と蔵書数	45.3【 ↑ 】	39.4 (3)
3	上水道・簡易水道の整備	41.8【 ↓ 】	43.6 (2)
4	健康診断・相談、保健予防	35.3【 ↓ 】	38.8 (4)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	33.5【 ↓ 】	36.4 (7)
6	消防体制(署の配置など)	32.9【 ↑ 】	26.1 (11)
7	受付・窓口などでの市職員の対応	31.8【 ↑ 】	23.6 (14)
8	まち並み・景観の保全と整備	30.0【 ↓ 】	30.3 (9)
8	買い物の便利さ	30.0【 ↓ 】	37.0 (5)
10	保育サービス・子育て支援	29.4【 ↑ 】	25.5 (12)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	商店街のにぎわい	58.8【 ↓ 】	59.5 (1)
2	魅力ある働く場の確保	52.9【 ↑ 】	50.3 (2)
3	医療機関(病院・診療所)	44.7【 ↑ 】	38.8 (6)
4	バスの便利さ	44.1【 ↓ 】	46.6 (3)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	43.0【 ↑ 】	34.5 (12)
6	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	40.6【 ↑ 】	36.9 (8)
7	段差や道幅など歩道の安全性	40.0【 ↓ 】	40.6 (4)
8	買い物の便利さ	36.4【 ↑ 】	35.1 (11)
9	観光施設と誘客PR	35.3【 ↓ 】	35.8 (9)
10	JR中央線の便利さ	34.7【 ↓ 】	38.8 (6)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	医療機関(病院・診療所)	72.3【 ↓ 】	73.4 (1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	69.4【 ↓ 】	72.1 (2)
3	保育サービス・子育て支援	67.1【 ↑ 】	63.6 (5)
4	防犯・治安などの安心感	62.3【 ↑ 】	60.0 (7)
5	魅力ある働く場の確保	61.2【 ↑ 】	59.4 (8)
6	地震・災害に対する安心感	61.1【 ↑ 】	57.6 (12)
7	生活支援・介護など高齢者福祉	60.6【 ↑ 】	58.2 (9)
8	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	60.0【 ↑ 】	57.7 (10)
9	小中学校における教育	59.4【 ↑ 】	55.8 (14)
10	健康診断・相談、保健予防	58.2【 ↓ 】	65.5 (3)

【50歳代】

50歳代の満足度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「ごみ減量化と資源リサイクル化」、不満度の高い施策は「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「バスの便利さ」、重要度の高い施策は「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「魅力ある働く場の確保」となっています。(n=238)

◇満足度の高い施策

n= 238

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	45.4【↑】	45.1(2)
2	上水道・簡易水道の整備	35.2【↓】	45.5(1)
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	30.3【↓】	39.1(3)
4	買い物の便利さ	30.2【↓】	34.8(4)
5	図書館(室)の設備と蔵書数	26.1【↓】	30.1(5)
6	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	25.2【↓】	29.7(6)
7	広報による市情報の提供と公開	24.7【↓】	25.8(9)
8	健康診断・相談、保健予防	23.5【↓】	29.2(7)
9	防犯・治安などの安心感	18.9【→】	18.9(16)
9	受付・窓口などでの市職員の対応	18.9【↓】	27.9(8)
9	まち並み・景観の保全と整備	18.9【↓】	19.8(14)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	商店街のにぎわい	60.1【↑】	57.1(1)
2	魅力ある働く場の確保	58.8【↑】	53.7(2)
3	バスの便利さ	50.8【↑】	48.1(3)
4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	48.4【↑】	37.7(7)
5	医療機関(病院・診療所)	47.1【↑】	45.9(4)
6	段差や道幅など歩道の安全性	45.4【↑】	41.2(5)
7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	39.9【↑】	35.2(10)
8	地震・災害に対する安心感	39.5【↑】	36.1(8)
8	JR中央線の便利さ	39.5【↑】	36.0(9)
10	観光施設と誘客PR	38.2【↑】	37.8(6)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	医療機関(病院・診療所)	70.6【↑】	67.4(1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	70.2【↑】	66.1(2)
3	魅力ある働く場の確保	63.9【↑】	57.5(8)
4	生活支援・介護など高齢者福祉	62.6【↓】	63.1(3)
5	買い物の便利さ	62.3【↑】	58.8(6)
6	健康診断・相談、保健予防	60.2【↑】	59.2(5)
7	防犯・治安などの安心感	59.6【↑】	56.6(9)
7	ごみ収集と処理サービス	59.6【↓】	61.8(4)
9	地震・災害に対する安心感	58.4【↑】	57.9(7)
10	ごみ減量化と資源リサイクル化	57.1【↑】	56.6(9)

【60歳代】

60歳代の満足度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「ごみ減量化と資源リサイクル化」、不満度の高い施策は「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「バスの便利さ」、重要度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」となっています。(n=317)

◇満足度の高い施策

n= 317

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	63.3【↑】	61.5(1)
2	上水道・簡易水道の整備	56.2【↑】	54.1(2)
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	43.8【↓】	44.5(3)
4	健康診断・相談、保健予防	42.6【↑】	41.5(4)
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	40.4【↓】	41.1(5)
6	受付・窓口などでの市職員の対応	36.6【↑】	35.4(8)
7	買い物の便利さ	36.3【↓】	38.4(6)
8	し尿収集と処理サービス	31.9【↓】	35.7(7)
9	広報による市情報の提供と公開	31.2【↑】	30.9(10)
10	医療機関(病院・診療所)	27.8【↑】	27.6(11)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	商店街のにぎわい	56.7【↑】	54.8(1)
2	魅力ある働く場の確保	54.5【↑】	51.0(2)
3	バスの便利さ	44.5【↑】	39.5(5)
4	段差や道幅など歩道の安全性	42.2【↑】	41.8(4)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	41.0【↓】	45.9(3)
6	農業の振興対策	37.9【↑】	34.7(9)
7	観光施設と誘客PR	36.6【↑】	35.8(8)
8	林業(里山・山林)保全と振興	36.3【↑】	33.0(10)
9	地震・災害に対する安心感	36.0【↑】	28.9(15)
10	工業の振興対策	35.9【↑】	32.3(11)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	62.1【↑】	57.4(1)
2	医療機関(病院・診療所)	61.5【↑】	56.4(2)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	61.5【↑】	56.2(3)
4	健康診断・相談、保健予防	56.1【↑】	53.7(4)
4	ごみ減量化と資源リサイクル化	56.1【↑】	49.0(8)
6	生活支援・介護など高齢者福祉	55.6【↑】	50.6(7)
7	上水道・簡易水道の整備	54.3【↑】	53.4(5)
8	買い物の便利さ	53.9【↑】	52.1(6)
9	消防体制(署の配置など)	52.0【↑】	44.6(15)
10	地震・災害に対する安心感	51.4【↑】	42.8(18)

【70歳以上】

70歳以上の満足度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「健康診断・相談、保健予防」、不満度の高い施策は「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「段差や道幅など歩道の安全性」、重要度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「ごみ減量化と資源リサイクル化」となっています。(n=452)

◇満足度の高い施策

n= 452

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	64.3【↑】	61.1(1)
2	上水道・簡易水道の整備	61.0【↑】	59.8(2)
3	健康診断・相談、保健予防	50.0【↑】	45.1(4)
4	ごみ減量化と資源リサイクル化	49.8【↑】	39.6(8)
5	医療機関(病院・診療所)	46.5【↑】	44.1(5)
6	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	45.5【↓】	45.6(3)
7	受付・窓口などでの市職員の対応	43.7【↑】	41.8(6)
8	し尿収集と処理サービス	41.4【↑】	39.9(7)
9	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	38.2【↑】	32.9(11)
10	買い物の便利さ	37.1【↑】	34.4(9)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	商店街のにぎわい	48.7【↑】	43.6(1)
2	魅力ある働く場の確保	42.9【↑】	36.3(3)
3	段差や道幅など歩道の安全性	35.2【↓】	36.5(2)
4	バスの便利さ	33.9【↓】	35.1(4)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	33.7【↑】	30.7(5)
6	農業の振興対策	32.7【↑】	26.9(8)
7	林業(里山・山林)保全と振興	31.2【↑】	25.7(10)
8	買い物の便利さ	30.8【↑】	29.6(6)
9	観光施設と誘客PR	30.5【↑】	27.5(7)
10	工業の振興対策	28.3【↑】	26.4(9)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	50.7【↑】	47.4(1)
2	上水道・簡易水道の整備	46.2【↑】	43.1(2)
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	43.0【↑】	36.5(9)
4	健康診断・相談、保健予防	40.7【↓】	40.9(4)
5	医療機関(病院・診療所)	38.5【↓】	42.5(3)
5	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	38.5【↑】	38.4(6)
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	38.5【↓】	38.9(5)
5	受付・窓口などでの市職員の対応	38.5【↑】	36.7(7)
9	買い物の便利さ	38.4【↑】	36.7(7)
10	生活支援・介護など高齢者福祉	33.6【↓】	34.7(10)

(3) 居住地別の上位 10 項目

【大井町】

大井町の満足度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「買い物の便利さ」「ごみ減量化と資源リサイクル」、不満度の高い施策は「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「段差や道幅など歩道の安全性」、重要度の高い施策は「医療機関(病院・診療所)」「ごみ収集と処理サービス」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」となっています。(n=292)

◇満足度の高い施策

n= 292

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	55.1【→】	55.1(1)
2	買い物の便利さ	51.0【→】	51.0(2)
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	48.7【↑】	47.6(4)
4	上水道・簡易水道の整備	48.0【↓】	49.6(3)
5	図書館(室)の設備と蔵書数	45.9【↓】	46.9(5)
6	健康診断・相談、保健予防	39.7【↑】	36.7(6)
7	受付・窓口などでの市職員の対応	37.4【↑】	34.9(7)
8	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	35.2【↑】	30.1(9)
9	広報による市情報の提供と公開	31.2【↑】	26.7(15)
10	医療機関(病院・診療所)	30.9【↑】	28.5(11)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	商店街のにぎわい	54.8【↓】	55.5(1)
2	魅力ある働く場の確保	46.2【↑】	41.1(2)
3	段差や道幅など歩道の安全性	39.7【↑】	38.0(3)
4	観光施設と誘客PR	35.6【↑】	32.2(7)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	34.6【↑】	32.8(5)
6	バスの便利さ	33.9【↓】	37.0(4)
7	地震・災害に対する安心感	29.8【↑】	27.7(10)
8	医療機関(病院・診療所)	28.7【↓】	31.5(8)
9	JR中央線の便利さ	27.0【↓】	32.5(6)
10	工業の振興対策	25.6【↑】	25.0(13)
10	公園・緑地など憩いの場	25.6【↓】	28.1(9)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	医療機関(病院・診療所)	63.7【↑】	57.5(1)
2	ごみ収集と処理サービス	62.6【↑】	56.8(2)
3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	61.3【↑】	55.7(4)
4	買い物の便利さ	58.6【↑】	53.1(5)
5	健康診断・相談、保健予防	58.3【↑】	56.6(3)
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	57.2【↑】	52.0(7)
7	生活支援・介護など高齢者福祉	53.4【↑】	45.6(17)
7	防犯・治安などの安心感	53.4【↑】	47.6(13)
9	魅力ある働く場の確保	53.1【↑】	48.6(12)
10	保育サービス・子育て支援	52.1【→】	52.1(6)
10	地震・災害に対する安心感	52.1【↑】	49.0(11)

【長島町】

長島町の満足度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「買い物の便利さ」「上水道・簡易水道の整備」、不満度の高い施策は「商店街のにぎわい」「段差や道幅など歩道の安全性」「魅力ある働く場の確保」、重要度の高い施策は「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「買い物の便利さ」となっています。(n=226)

◇満足度の高い施策

n= 226

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	54.9【 ↓ 】	55.7 (2)
2	買い物の便利さ	53.1【 ↓ 】	58.5 (1)
3	上水道・簡易水道の整備	46.9【 ↓ 】	54.8 (3)
4	図書館(室)の設備と蔵書数	43.8【 ↓ 】	53.0 (4)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	42.5【 ↓ 】	51.5 (5)
6	健康診断・相談、保健予防	36.3【 ↓ 】	40.1 (6)
7	受付・窓口などでの市職員の対応	34.1【 ↑ 】	33.7 (11)
8	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	31.4【 ↓ 】	38.7 (7)
9	JR中央線の便利さ	30.1【 ↑ 】	29.1 (15)
9	広報による市情報の提供と公開	30.1【 ↓ 】	38.7 (7)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	商店街のにぎわい	51.8【 ↑ 】	50.7 (1)
2	段差や道幅など歩道の安全性	40.3【 ↑ 】	30.9 (7)
3	魅力ある働く場の確保	38.0【 ↓ 】	44.7 (2)
4	バスの便利さ	37.2【 ↑ 】	36.8 (3)
5	医療機関(病院・診療所)	34.9【 ↑ 】	33.2 (5)
5	地震・災害に対する安心感	34.9【 ↑ 】	26.7 (8)
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	32.3【 ↑ 】	24.9 (11)
8	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	31.9【 ↑ 】	25.9 (10)
9	観光施設と誘客PR	30.5【 ↓ 】	33.6 (4)
10	JR中央線の便利さ	26.1【 ↓ 】	31.8 (6)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	医療機関(病院・診療所)	63.7【 ↓ 】	68.2 (2)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	62.5【 ↓ 】	68.7 (1)
3	買い物の便利さ	61.0【 ↓ 】	61.7 (3)
4	ごみ収集と処理サービス	60.2【 ↑ 】	59.1 (5)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	57.6【 ↑ 】	56.2 (6)
6	防犯・治安などの安心感	54.4【 ↑ 】	54.0 (9)
7	生活支援・介護など高齢者福祉	52.6【 ↑ 】	49.8 (16)
8	地震・災害に対する安心感	52.3【 ↓ 】	54.9 (7)
9	健康診断・相談、保健予防	51.8【 ↓ 】	59.8 (4)
10	保育サービス・子育て支援	48.6【 ↓ 】	53.0 (11)
10	消防体制(署の配置など)	48.6【 ↑ 】	48.3 (21)

【東野】

東野の満足度の高い施策は「上水道・簡易水道の整備」「買い物の便利さ」「ごみ減量化と資源リサイクル化」、不満度の高い施策は「バスの便利さ」「魅力ある働く場の確保」「農業の振興対策」、重要度の高い施策は「買い物の便利さ」「ごみ減量化と資源リサイクル化」「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」となっています。(n=54)

◇満足度の高い施策

n= 54

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	上水道・簡易水道の整備	51.9【 ↓ 】	60.3 (1)
2	買い物の便利さ	49.9【 ↓ 】	50.0 (2)
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	44.4【 ↑ 】	33.3 (11)
4	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	40.8【 ↓ 】	43.8 (5)
4	受付・窓口などでの市職員の対応	40.8【 ↑ 】	39.6 (7)
6	ごみ収集と処理サービス	40.7【 ↓ 】	50.0 (2)
6	図書館(室)の設備と蔵書数	40.7【 ↓ 】	43.8 (5)
8	広報による市情報の提供と公開	33.3【 ↓ 】	33.4 (10)
9	健康診断・相談、保健予防	29.6【 ↓ 】	50.0 (2)
10	し尿収集と処理サービス	27.8【 ↓ 】	39.6 (7)
10	小中学校における教育	27.8【 ↑ 】	20.9 (26)
10	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	27.8【 ↑ 】	16.7 (35)
10	消防体制(署の配置など)	27.8【 ↓ 】	37.6 (9)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	バスの便利さ	42.6【 ↑ 】	41.7 (1)
1	魅力ある働く場の確保	42.6【 ↑ 】	41.7 (1)
3	農業の振興対策	40.7【 ↑ 】	27.1 (9)
4	商店街のにぎわい	37.1【 ↑ 】	27.1 (9)
5	地震・災害に対する安心感	37.0【 ↑ 】	27.1 (9)
6	林業(里山・山林)保全と振興	33.3【 ↑ 】	18.7 (21)
7	段差や道幅など歩道の安全性	31.5【 ↓ 】	35.4 (3)
8	新しい分野の起業家支援	27.8【 ↑ 】	20.9 (16)
8	観光施設と誘客PR	27.8【 ↑ 】	27.1 (9)
10	工業の振興対策	26.0【 ↑ 】	14.6 (27)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	買い物の便利さ	50.0【 ↑ 】	49.9 (11)
2	ごみ減量化と資源リサイクル化	48.1【 ↑ 】	48.0 (13)
3	医療機関(病院・診療所)	44.5【 ↓ 】	56.3 (3)
3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	44.5【 ↓ 】	54.1 (6)
5	防犯・治安などの安心感	44.4【 ↑ 】	41.7 (20)
5	小中学校における教育	44.4【 ↓ 】	45.8 (18)
7	ごみ収集と処理サービス	40.8【 ↓ 】	64.5 (2)
8	生活支援・介護など高齢者福祉	40.7【 ↓ 】	54.1 (6)
9	上水道・簡易水道の整備	38.9【 ↓ 】	52.0 (8)
9	JR中央線の便利さ	38.9【 ↓ 】	41.7 (20)
9	図書館(室)の設備と蔵書数	38.9【 ↓ 】	39.6 (24)

【三郷町】

三郷町の満足度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「図書館(室)の設備と蔵書数」、不満度の高い施策は「バスの便利さ」「魅力ある働く場の確保」「商店街のにぎわい」、重要度の高い施策は「上水道・簡易水道の整備」「ごみ収集と処理サービス」「健康診断・相談、保健予防」となっています。(n=73)

◇満足度の高い施策

n= 73

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	56.2【↑】	53.2(1)
2	上水道・簡易水道の整備	49.4【↑】	29.9(5)
3	図書館(室)の設備と蔵書数	42.5【↑】	33.8(3)
4	健康診断・相談、保健予防	41.1【↑】	37.7(2)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	39.7【↑】	31.2(4)
6	受付・窓口などでの市職員の対応	38.4【↑】	29.9(5)
7	広報による市情報の提供と公開	35.6【↑】	24.7(8)
8	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	32.9【↑】	24.7(8)
9	公園・緑地など憩いの場	30.2【↑】	15.6(22)
10	買い物の便利さ	28.8【↑】	24.7(8)
10	消防体制(署の配置など)	28.8【↑】	24.7(8)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	バスの便利さ	53.5【↓】	61.0(1)
2	魅力ある働く場の確保	53.4【↑】	51.9(2)
3	商店街のにぎわい	48.0【↑】	37.7(5)
4	買い物の便利さ	43.8【↑】	35.1(7)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	41.1【↓】	48.0(3)
6	農業の振興対策	38.3【↑】	31.2(10)
7	地震・災害に対する安心感	34.2【↓】	35.1(7)
8	医療機関(病院・診療所)	32.9【↓】	36.3(6)
9	段差や道幅など歩道の安全性	31.5【↓】	35.1(7)
9	林業(里山・山林)保全と振興	31.5【↑】	29.9(14)
9	観光施設と誘客PR	31.5【↑】	27.3(15)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	上水道・簡易水道の整備	58.9【↑】	52.0(9)
1	ごみ収集と処理サービス	58.9【↓】	62.3(3)
3	健康診断・相談、保健予防	57.6【↑】	57.1(4)
4	医療機関(病院・診療所)	57.5【↓】	66.2(1)
4	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	57.5【↓】	66.2(1)
4	魅力ある働く場の確保	57.5【↑】	57.1(4)
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	56.2【↑】	54.5(6)
7	買い物の便利さ	56.2【↑】	45.4(21)
9	地震・災害に対する安心感	56.1【↑】	50.6(13)
10	防犯・治安などの安心感	52.1【↓】	53.2(8)

【武並町】

武並町の満足度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「健康診断・相談、保健予防」「上水道・簡易水道の整備」、不満度の高い施策は「買い物の便利さ」「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」、重要度の高い施策は「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「医療機関(病院・診療所)」「健康診断・相談、保健予防」となっています。(n=92)

◇満足度の高い施策

n= 92

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	51.0【↑】	47.4(1)
2	健康診断・相談、保健予防	39.1【↓】	42.1(3)
3	上水道・簡易水道の整備	38.1【↓】	46.1(2)
4	図書館(室)の設備と蔵書数	34.8【↑】	32.9(8)
5	広報による市情報の提供と公開	32.6【↑】	25.0(12)
6	受付・窓口などでの市職員の対応	31.6【↓】	34.2(7)
7	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	30.4【↓】	38.2(5)
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	30.4【↓】	39.4(4)
9	医療機関(病院・診療所)	29.3【↓】	35.5(6)
9	幹線道路(国道・県道など)の整備	29.3【↑】	15.7(24)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	買い物の便利さ	56.6【↑】	55.3(1)
2	商店街のにぎわい	54.4【↑】	40.8(4)
3	魅力ある働く場の確保	48.9【↑】	42.1(2)
4	バスの便利さ	45.7【↑】	40.8(4)
5	公園・緑地など憩いの場	39.1【↑】	28.9(7)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	39.1【↑】	28.9(7)
5	段差や道幅など歩道の安全性	39.1【↓】	42.1(2)
5	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	39.1【↑】	23.6(13)
9	医療機関(病院・診療所)	35.9【↑】	19.7(17)
9	農業の振興対策	35.9【↑】	27.6(9)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	69.5【↑】	61.9(2)
2	医療機関(病院・診療所)	66.3【↓】	67.2(1)
3	健康診断・相談、保健予防	64.1【↑】	59.2(4)
4	保育サービス・子育て支援	59.8【↑】	52.6(13)
5	幹線道路(国道・県道など)の整備	58.7【↑】	46.1(18)
6	買い物の便利さ	56.6【↑】	55.3(7)
7	生活支援・介護など高齢者福祉	56.4【↑】	55.2(8)
8	ごみ収集と処理サービス	54.4【↑】	52.7(10)
9	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	54.3【↓】	55.4(6)
10	上水道・簡易水道の整備	52.2【↓】	59.3(3)

【笠置町】

笠置町の満足度の高い施策は「上水道・簡易水道の整備」「ごみ収集と処理サービス」「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」、不満度の高い施策は「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「地震・災害に対する安心感」「幹線道路（国道・県道など）の整備」「買い物の便利さ」、重要度の高い施策は「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「魅力ある働く場の確保」「小中学校における教育」となっています。(n=44)

◇満足度の高い施策

n= 44

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	上水道・簡易水道の整備	56.9【↑】	55.2(1)
2	ごみ収集と処理サービス	52.3【↓】	52.6(2)
3	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	43.2【↓】	44.7(4)
4	受付・窓口などでの市職員の対応	34.1【↓】	50.0(3)
5	広報による市情報の提供と公開	31.8【↓】	34.2(7)
5	し尿収集と処理サービス	31.8【↓】	34.2(7)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	31.8【↑】	29.0(12)
8	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	29.6【↑】	29.0(12)
9	保育サービス・子育て支援	27.3【↑】	23.7(18)
9	健康診断・相談、保健予防	27.3【↓】	39.5(6)
9	医療機関(病院・診療所)	27.3【↓】	42.1(5)
9	生活支援・介護など高齢者福祉	27.3【↓】	31.6(11)
9	大気汚染・騒音・水質など公害対策	27.3【↑】	26.3(16)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	49.9【↑】	34.2(7)
2	地震・災害に対する安心感	47.7【↑】	31.6(8)
3	幹線道路(国道・県道など)の整備	45.5【↑】	21.1(14)
3	買い物の便利さ	45.5【↓】	47.4(1)
5	バスの便利さ	43.1【↓】	44.7(2)
5	魅力ある働く場の確保	43.1【↑】	42.1(4)
7	医療機関(病院・診療所)	40.9【↑】	10.5(30)
7	段差や道幅など歩道の安全性	40.9【↓】	42.2(3)
9	消防体制(署の配置など)	38.7【↑】	23.7(11)
10	商店街のにぎわい	36.3【↓】	36.9(5)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	59.1【↑】	55.2(1)
2	魅力ある働く場の確保	56.8【↑】	21.1(31)
2	小中学校における教育	56.8【↑】	31.6(17)
4	消防体制(署の配置など)	54.5【↑】	39.5(9)
4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	54.5【↑】	42.1(6)
6	生活支援・介護など高齢者福祉	52.3【↑】	42.1(6)
7	幹線道路(国道・県道など)の整備	52.2【↑】	39.5(9)
8	地震・災害に対する安心感	50.1【↑】	28.9(25)
9	行政改革の推進	50.0【↑】	23.7(28)
10	医療機関(病院・診療所)	49.9【↓】	52.6(2)
10	上水道・簡易水道の整備	49.9【↑】	42.1(6)

【中野方町】

中野方町の満足度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「地域の助け合いによる福祉活動」、不満度の高い施策は「魅力ある働く場の確保」「商店街のにぎわい」「段差や道幅などの歩道の安全性」、重要度の高い施策は「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「保育サービス・子育て支援」となっています。(n=54)

◇満足度の高い施策

n= 54

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	61.1【↑】	60.3(1)
2	上水道・簡易水道の整備	44.4【↓】	52.1(2)
3	地域の助け合いによる福祉活動	42.6【↓】	47.9(4)
4	医療機関(病院・診療所)	40.8【↑】	37.5(7)
5	し尿収集と処理サービス	37.1【↓】	39.6(6)
6	健康診断・相談、保健予防	37.0【↓】	41.6(5)
7	生活支援・介護など高齢者福祉	33.4【↓】	35.4(9)
8	ごみ減量化と資源リサイクル化	33.3【↓】	50.0(3)
9	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	29.7【↓】	31.2(10)
9	受付・窓口などでの市職員の対応	29.7【↑】	27.1(14)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	魅力ある働く場の確保	57.4【↑】	50.0(1)
2	商店街のにぎわい	46.3【↑】	41.7(3)
3	段差や道幅など歩道の安全性	42.6【↑】	37.6(6)
4	バスの便利さ	42.5【↑】	41.7(3)
5	買い物の便利さ	40.7【↑】	35.4(7)
6	工業の振興対策	38.9【↓】	39.6(5)
7	JR中央線の便利さ	37.0【↑】	33.3(8)
8	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	35.2【↑】	29.2(11)
8	農業の振興対策	35.2【↑】	25.0(14)
10	地震・災害に対する安心感	31.5【↑】	29.2(11)
10	林業(里山・山林)保全と振興	31.5【↑】	20.9(18)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	医療機関(病院・診療所)	61.1【↑】	54.2(2)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	57.4【↑】	47.9(6)
3	保育サービス・子育て支援	53.7【↑】	45.8(9)
4	ごみ収集と処理サービス	51.8【↓】	58.3(1)
5	健康診断・相談、保健予防	50.0【→】	50.0(3)
5	魅力ある働く場の確保	50.0【↑】	37.5(15)
7	生活支援・介護など高齢者福祉	48.1【↓】	50.0(3)
8	消防体制(署の配置など)	46.3【↓】	47.9(6)
9	防犯・治安などの安心感	44.5【↑】	37.5(15)
10	地震・災害に対する安心感	44.4【↑】	31.3(25)
10	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	44.4【↑】	37.5(15)
10	地域の助け合いによる福祉活動	44.4【↓】	50.0(3)

【飯地町】

飯地町の満足度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「ごみ減量化と資源リサイクル化」、不満度の高い施策は「幹線道路(国道・県道など)の整備」「魅力ある働く場の確保」「買い物の便利さ」、重要度の高い施策は「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」となっています。(n=42)

◇満足度の高い施策

n= 42

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	71.4【↑】	55.3(2)
2	上水道・簡易水道の整備	61.9【↑】	57.9(1)
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	57.2【↑】	36.9(5)
4	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	52.4【↑】	39.5(4)
5	医療機関(病院・診療所)	47.7【↑】	26.3(9)
6	健康診断・相談、保健予防	47.6【↑】	36.8(8)
7	し尿収集と処理サービス	42.9【↓】	52.7(3)
8	地域の助け合いによる福祉活動	38.1【↑】	36.9(5)
9	情報通信環境の整備	35.7【↑】	13.2(21)
10	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	31.0【↑】	7.9(34)
10	大気汚染・騒音・水質など公害対策	31.0【↑】	26.3(9)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	幹線道路(国道・県道など)の整備	69.0【↑】	65.7(3)
2	魅力ある働く場の確保	57.1【↓】	65.8(1)
3	買い物の便利さ	54.8【↓】	65.8(1)
4	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	52.3【↓】	63.2(4)
4	商店街のにぎわい	52.3【↓】	60.5(5)
6	バスの便利さ	47.6【↓】	57.9(6)
7	消防体制(署の配置など)	40.5【↓】	42.1(14)
8	観光施設と誘客PR	38.1【↓】	55.2(9)
8	林業(里山・山林)保全と振興	38.1【↓】	57.9(6)
10	地震・災害に対する安心感	35.8【↓】	36.8(18)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	52.4【↓】	57.9(2)
2	医療機関(病院・診療所)	52.3【↓】	60.5(1)
3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	50.0【↓】	55.2(6)
3	消防体制(署の配置など)	50.0【↓】	52.6(9)
3	ごみ収集と処理サービス	50.0【→】	50.0(11)
3	幹線道路(国道・県道など)の整備	50.0【↓】	55.3(5)
7	健康診断・相談、保健予防	47.7【↑】	47.4(13)
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	47.7【↑】	39.4(29)
9	生活支援・介護など高齢者福祉	45.2【↓】	57.9(2)
9	防犯・治安などの安心感	45.2【↑】	44.7(17)
9	上水道・簡易水道の整備	45.2【↓】	57.9(2)

【岩村町】

岩村町の満足度の高い施策は「上水道・簡易水道の整備」「ごみ収集と処理サービス」「買い物の便利さ」、不満度の高い施策は「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」、重要度の高い施策は「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「上水道・簡易水道の整備」となっています。(n=143)

◇満足度の高い施策

n= 143

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	上水道・簡易水道の整備	59.4【↑】	54.4(1)
2	ごみ収集と処理サービス	53.8【↑】	52.6(2)
3	買い物の便利さ	44.1【↓】	49.2(3)
4	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	42.7【↓】	43.1(5)
5	健康診断・相談、保健予防	37.8【↑】	34.5(6)
6	防犯・治安などの安心感	33.6【↑】	19.8(20)
7	まち並み・景観の保全と整備	31.5【↓】	44.8(4)
8	ごみ減量化と資源リサイクル化	30.8【↓】	34.5(6)
9	消防体制(署の配置など)	30.1【↑】	28.5(10)
10	し尿収集と処理サービス	28.0【↓】	31.1(9)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	商店街のにぎわい	53.1【↑】	42.2(4)
2	魅力ある働く場の確保	47.6【↑】	44.9(3)
3	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	42.7【↑】	32.7(9)
4	医療機関(病院・診療所)	41.2【↓】	48.3(1)
5	バスの便利さ	38.5【↓】	47.4(2)
6	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	37.8【↓】	39.7(5)
7	段差や道幅など歩道の安全性	37.1【↑】	36.2(7)
8	公園・緑地など憩いの場	35.0【↓】	36.2(7)
8	明知鉄道の便利さ	35.0【↓】	38.8(6)
10	市政への市民の意見の反映	30.8【↓】	31.1(12)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	医療機関(病院・診療所)	62.2【↑】	59.4(2)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	60.1【↑】	56.0(5)
3	上水道・簡易水道の整備	57.3【↑】	55.9(7)
4	買い物の便利さ	56.6【↓】	65.5(1)
5	ごみ収集と処理サービス	54.5【↓】	57.8(3)
6	健康診断・相談、保健予防	53.2【↓】	56.8(4)
7	防犯・治安などの安心感	53.1【↑】	49.2(10)
8	生活支援・介護など高齢者福祉	51.8【↓】	53.5(8)
9	保育サービス・子育て支援	51.1【↑】	45.6(16)
10	消防体制(署の配置など)	49.7【↓】	50.0(9)

【山岡町】

山岡町の満足度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「ごみ減量化と資源リサイクル」、不満度の高い施策は「魅力ある働く場の確保」「商店街のにぎわい」「買い物の便利さ」、重要度の高い施策は「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「ごみ収集と処理サービス」となっています。(n=115)

◇満足度の高い施策

n= 115

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	54.9【↑】	54.4(1)
2	上水道・簡易水道の整備	46.1【↑】	40.0(2)
3	ごみ減量化と資源リサイクル化	40.0【↑】	28.8(7)
4	広報による市情報の提供と公開	35.6【↑】	26.4(8)
5	健康診断・相談、保健予防	34.8【↓】	35.2(3)
6	し尿収集と処理サービス	29.6【↓】	35.2(3)
7	受付・窓口などでの市職員の対応	28.7【↑】	22.4(10)
8	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	27.8【↓】	32.0(5)
9	消防体制(署の配置など)	25.2【↑】	21.6(12)
9	大気汚染・騒音・水質など公害対策	25.2【↑】	20.8(14)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	魅力ある働く場の確保	69.5【↑】	56.8(2)
2	商店街のにぎわい	65.3【↑】	63.2(1)
3	買い物の便利さ	61.0【↑】	47.2(4)
4	バスの便利さ	54.8【↑】	48.0(3)
5	工業の振興対策	52.2【↑】	46.4(5)
6	段差や道幅など歩道の安全性	49.5【↑】	38.4(8)
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	48.7【↑】	36.0(12)
8	JR中央線の便利さ	46.1【↑】	32.8(13)
8	観光施設と誘客PR	46.1【↑】	40.8(6)
10	医療機関(病院・診療所)	44.2【↑】	37.6(9)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	医療機関(病院・診療所)	61.6【↑】	52.8(1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	54.8【↑】	48.0(4)
2	ごみ収集と処理サービス	54.8【↑】	48.8(3)
4	健康診断・相談、保健予防	52.2【↑】	46.4(5)
5	魅力ある働く場の確保	50.5【↑】	40.0(10)
6	生活支援・介護など高齢者福祉	49.5【↓】	50.4(2)
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	48.8【↑】	42.4(7)
8	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	47.8【↑】	37.6(14)
8	買い物の便利さ	47.8【↑】	42.4(7)
10	幹線道路(国道・県道など)の整備	45.2【↑】	34.4(21)

【明智町】

明智町の満足度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「健康診断・相談、保健予防」、不満度の高い施策は「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「段差や道幅など歩道の安全性」、重要度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「医療機関(病院・診療所)」となっています。(n=169)

◇満足度の高い施策

n= 169

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	54.4【↑】	52.2(1)
2	上水道・簡易水道の整備	47.4【↓】	50.6(2)
3	健康診断・相談、保健予防	40.8【↑】	38.4(4)
4	し尿収集と処理サービス	34.9【↑】	31.4(6)
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	34.4【↓】	39.0(3)
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	33.1【↓】	36.0(5)
7	防犯・治安などの安心感	32.0【↑】	16.9(19)
8	受付・窓口などでの市職員の対応	31.4【↑】	25.6(9)
9	買い物の便利さ	29.6【↑】	28.0(7)
10	医療機関(病院・診療所)	28.4【↑】	22.7(12)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	商店街のにぎわい	64.5【↓】	64.6(1)
2	魅力ある働く場の確保	54.4【↑】	47.1(3)
3	段差や道幅など歩道の安全性	47.9【↓】	48.3(2)
4	幹線道路(国道・県道など)の整備	46.8【↑】	43.0(5)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	43.8【↓】	44.8(4)
6	観光施設と誘客PR	39.6【↓】	43.0(5)
7	JR中央線の便利さ	38.5【↑】	31.3(12)
8	バスの便利さ	34.3【↓】	37.8(7)
9	公園・緑地など憩いの場	33.7【↑】	33.1(11)
9	買い物の便利さ	33.7【↓】	36.6(9)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	54.4【↑】	51.1(1)
2	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	52.0【↑】	48.2(4)
3	医療機関(病院・診療所)	51.5【↑】	49.5(2)
4	生活支援・介護など高齢者福祉	50.2【↑】	47.0(5)
5	健康診断・相談、保健予防	49.1【↑】	46.5(6)
6	買い物の便利さ	48.0【↓】	48.8(3)
7	防犯・治安などの安心感	47.9【↑】	37.8(17)
8	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	46.8【↑】	41.2(9)
9	ごみ減量化と資源リサイクル化	46.7【↑】	38.9(13)
10	上水道・簡易水道の整備	45.6【↓】	45.9(7)

【串原】

串原の満足度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「上水道・簡易水道の整備」「下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備」、不満度の高い施策は「幹線道路(国道・県道など)の整備」「バスの便利さ」「魅力ある働く場の確保」、重要度の高い施策は「医療機関(病院・診療所)」「魅力ある働く場の確保」「生活支援・介護などの高齢者福祉」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」となっています。(n=52)

◇満足度の高い施策

n= 52

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	50.0【 ↓ 】	53.7 (1)
2	上水道・簡易水道の整備	46.2【 ↓ 】	51.8 (2)
3	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	44.3【 ↓ 】	49.9 (3)
4	し尿収集と処理サービス	42.3【 ↑ 】	37.0 (5)
5	健康診断・相談、保健予防	32.7【 ↓ 】	38.9 (4)
5	ごみ減量化と資源リサイクル化	32.7【 ↑ 】	29.6 (10)
5	受付・窓口などでの市職員の対応	32.7【 ↓ 】	35.2 (6)
8	学校・地域・家庭の連携	28.9【 ↑ 】	22.2 (16)
9	地域の助け合いによる福祉活動	27.0【 ↑ 】	24.1 (13)
9	大気汚染・騒音・水質など公害対策	27.0【 ↓ 】	27.8 (11)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	幹線道路(国道・県道など)の整備	59.6【 ↑ 】	51.8 (3)
2	バスの便利さ	55.8【 ↑ 】	37.0 (10)
2	魅力ある働く場の確保	55.8【 ↓ 】	59.2 (1)
4	買い物の便利さ	53.9【 ↓ 】	55.6 (2)
5	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	51.9【 ↑ 】	51.7 (5)
6	農業の振興対策	42.3【 ↑ 】	40.8 (6)
7	明知鉄道の便利さ	40.4【 ↑ 】	35.2 (12)
7	商店街のにぎわい	40.4【 ↓ 】	51.8 (3)
9	林業(里山・山林)保全と振興	38.5【 ↑ 】	35.2 (12)
10	段差や道幅など歩道の安全性	34.7【 ↓ 】	40.7 (7)
10	医療機関(病院・診療所)	34.7【 ↓ 】	35.1 (14)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	医療機関(病院・診療所)	46.1【 ↓ 】	59.2 (1)
2	魅力ある働く場の確保	40.4【 ↓ 】	48.2 (7)
2	生活支援・介護など高齢者福祉	40.4【 ↓ 】	53.7 (4)
2	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	40.4【 ↓ 】	48.1 (9)
5	上水道・簡易水道の整備	38.5【 ↓ 】	42.6 (13)
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	38.5【 ↓ 】	38.9 (18)
7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	36.6【 ↓ 】	50.0 (5)
7	地震・災害に対する安心感	36.6【 ↓ 】	44.4 (11)
7	ごみ減量化と資源リサイクル化	36.6【 ↑ 】	35.2 (24)
10	買い物の便利さ	36.5【 ↓ 】	48.2 (7)

【上矢作町】

上矢作町の満足度の高い施策は「ごみ収集と処理サービス」「上下水道・簡易水道の整備」「医療機関(病院・診療所)」「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」、不満度の高い施策は「商店街のにぎわい」「魅力ある働く場の確保」「工業の振興対策」、重要度の高い施策は「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「医療機関(病院・診療所)」「買い物の便利さ」「魅力ある働く場の確保」となっています。(n=72)

◇満足度の高い施策

n= 72

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	ごみ収集と処理サービス	58.3【↑】	57.1(2)
2	上下水道・簡易水道の整備	56.9【↑】	55.6(3)
3	医療機関(病院・診療所)	51.4【↓】	58.8(1)
3	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	51.4【↓】	55.6(3)
5	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	47.2【↓】	52.3(5)
6	ごみ減量化と資源リサイクル化	43.1【↑】	34.9(11)
7	健康診断・相談、保健予防	43.0【↑】	42.9(6)
8	し尿収集と処理サービス	40.2【↓】	41.3(7)
9	消防体制(署の配置など)	36.1【↓】	36.5(10)
10	受付・窓口などでの市職員の対応	31.9【↓】	38.1(9)

◇不満度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	商店街のにぎわい	73.6【↑】	61.9(1)
2	魅力ある働く場の確保	66.7【↑】	57.1(3)
3	工業の振興対策	54.2【↑】	46.1(8)
4	買い物の便利さ	52.8【↓】	60.4(2)
5	バスの便利さ	48.5【↓】	52.4(4)
6	農業の振興対策	47.2【↑】	39.7(11)
6	観光施設と誘客PR	47.2【↑】	39.6(14)
8	林業(里山・山林)保全と振興	45.8【↑】	39.7(11)
9	新しい分野の起業家支援	44.4【↑】	27.0(20)
10	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	41.6【↓】	50.8(5)

◇重要度の高い施策

順位	施策名	今回	前回(H25年度)
1	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	63.9【↓】	69.8(1)
2	医療機関(病院・診療所)	58.3【↓】	68.2(2)
3	買い物の便利さ	52.8【↑】	44.4(12)
3	魅力ある働く場の確保	52.8【↑】	46.0(9)
5	健康診断・相談、保健予防	51.4【↑】	49.2(6)
6	ごみ収集と処理サービス	48.6【↓】	55.6(3)
7	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	47.2【↑】	41.2(17)
8	生活支援・介護など高齢者福祉	45.9【↓】	49.3(5)
9	幹線道路(国道・県道など)の整備	45.8【↑】	38.1(25)
10	消防体制(署の配置など)	44.5【↓】	46.0(9)

(4) 全施策マトリックス図

全57施策について、満足度、重要度ともに5段階評価での回答を得ました。下記の方法で回答を点数化し、施策の評価を行います。

[評価手順]

ア. 5段階の評価点を次表のように決めます。

①満足度	
満足	+2点
やや満足	+1点
どちらともいえない	0点
やや不満	-1点
不満	-2点
回答なし	0点

②重要度	
高い	+2点
やや高い	+1点
どちらともいえない	0点
やや低い	-1点
低い	-2点
回答なし	0点

イ. 評価指数を次の式により算出します。

(満足度)

評価指数 = (2点) × 「満足」の回答者数の割合 + (1点) × 「やや満足」の回答者数の割合 + (-1点) × 「やや不満」の回答者数の割合 + (-2点) × 「不満」の回答者数の割合

(重要度)

評価指数 = (2点) × 「高い」の回答者数の割合 + (1点) × 「やや高い」の回答者数の割合 + (-1点) × 「やや低い」の回答者数の割合 + (-2点) × 「低い」の回答者数の割合

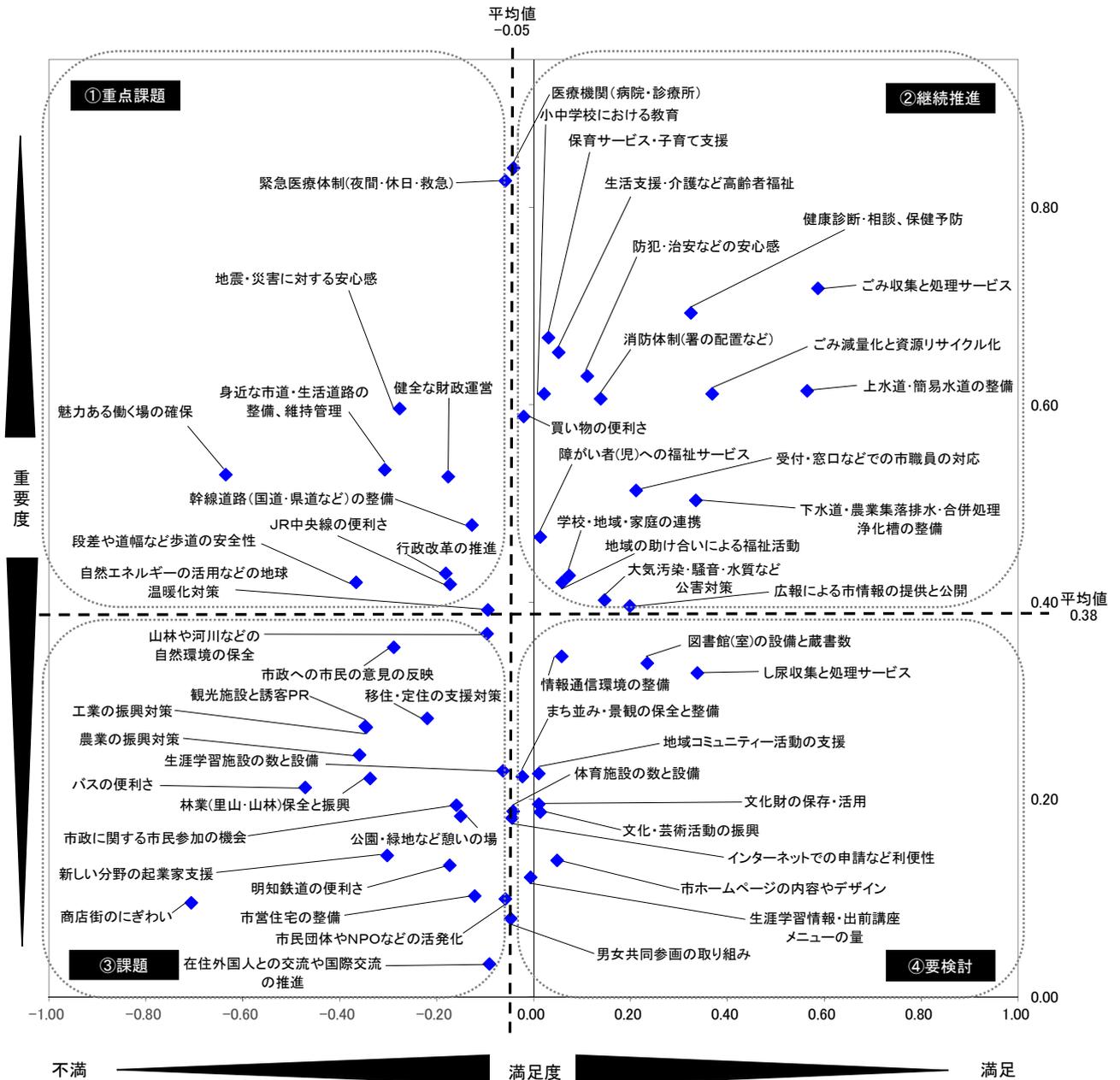
ウ. 全57施策の満足度及び重要度を指数化し、分布させた2軸のマトリックスを用います。

満足度指数及び重要度指数の平均値で区分される「①重点課題」「②継続推進」「③課題」「④要検討」の4つの領域のどこに分布しているかで、各施策の評価を行います。

区分	満足度指数	重要度指数	施策評価の目安
①重点課題	平均未満	平均以上	最も課題のある施策であり、重点的に推進する
②継続推進	平均以上	平均以上	継続的に市民の満足度を得られるよう施策を推進する
③課題	平均未満	平均未満	課題のある施策であり、必要性を検証し施策を推進する
④要検討	平均以上	平均未満	一定の成果が得られており、継続の必要性を検証する

全57施策の満足度指数の平均は「-0.05」、重要度指数の平均は「0.38」です。

重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、健康福祉分野の「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」、生活環境分野の「地震・災害に対する安心感」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」、都市・交通基盤分野の「幹線道路(国道・県道など)の整備」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「段差や道幅など歩道の安全性」「JR中央線の便利さ」、産業振興分野の「魅力ある働く場の確保」、市民参画分野の「健全な財政運営」「行政改革の推進」の10項目です。これらは全て、前回調査時の『重点課題』12項目にあった施策であり、満足度の向上につながるよう、今後も重点的な取り組みの推進が求められています。



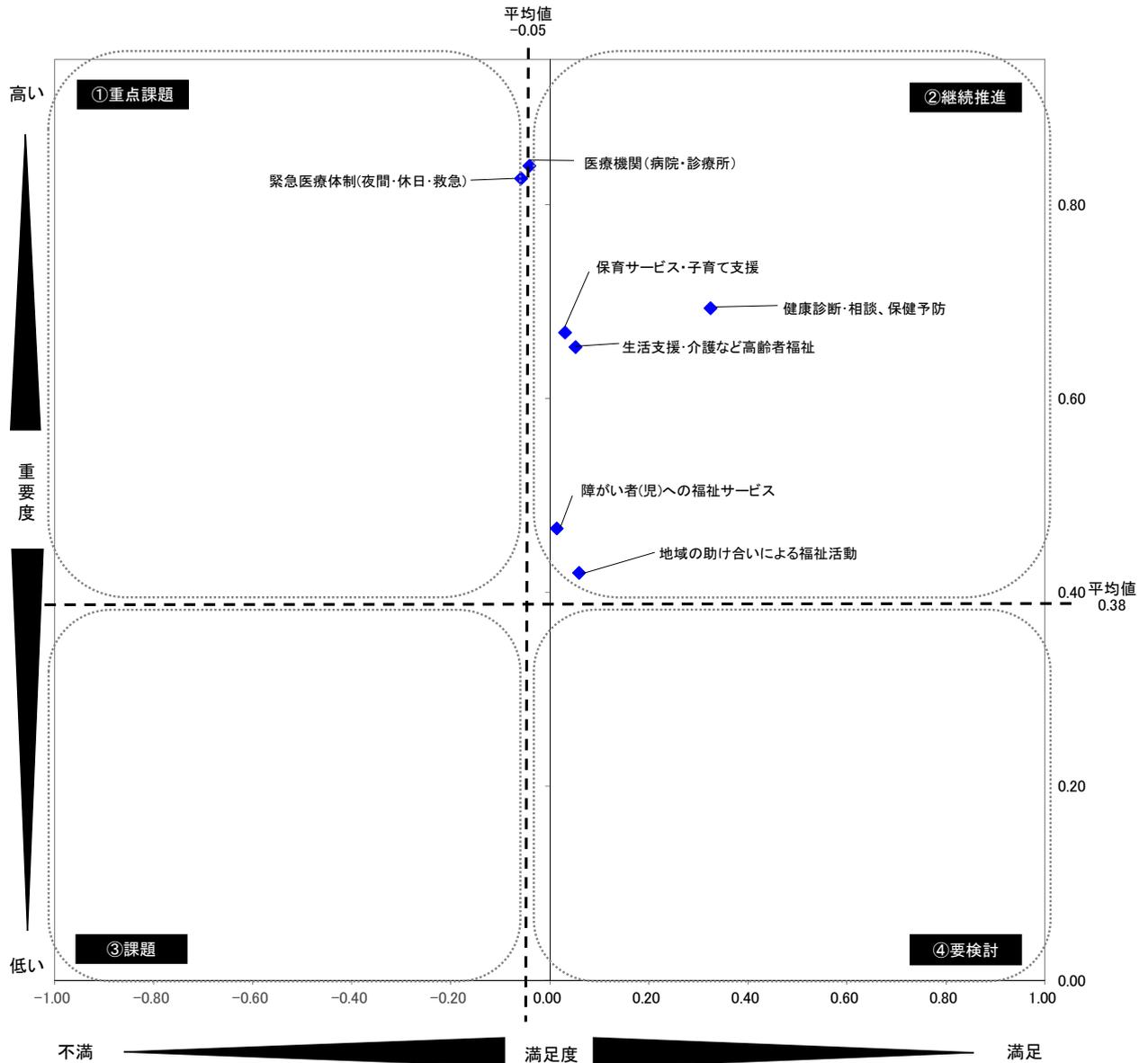
区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (57)	10	18	17	12

(5) 分野別施策マトリックス図

平均値は、全57施策の満足度指数、及び重要度指数の平均です。

① 分野別施策の評価（健康福祉）

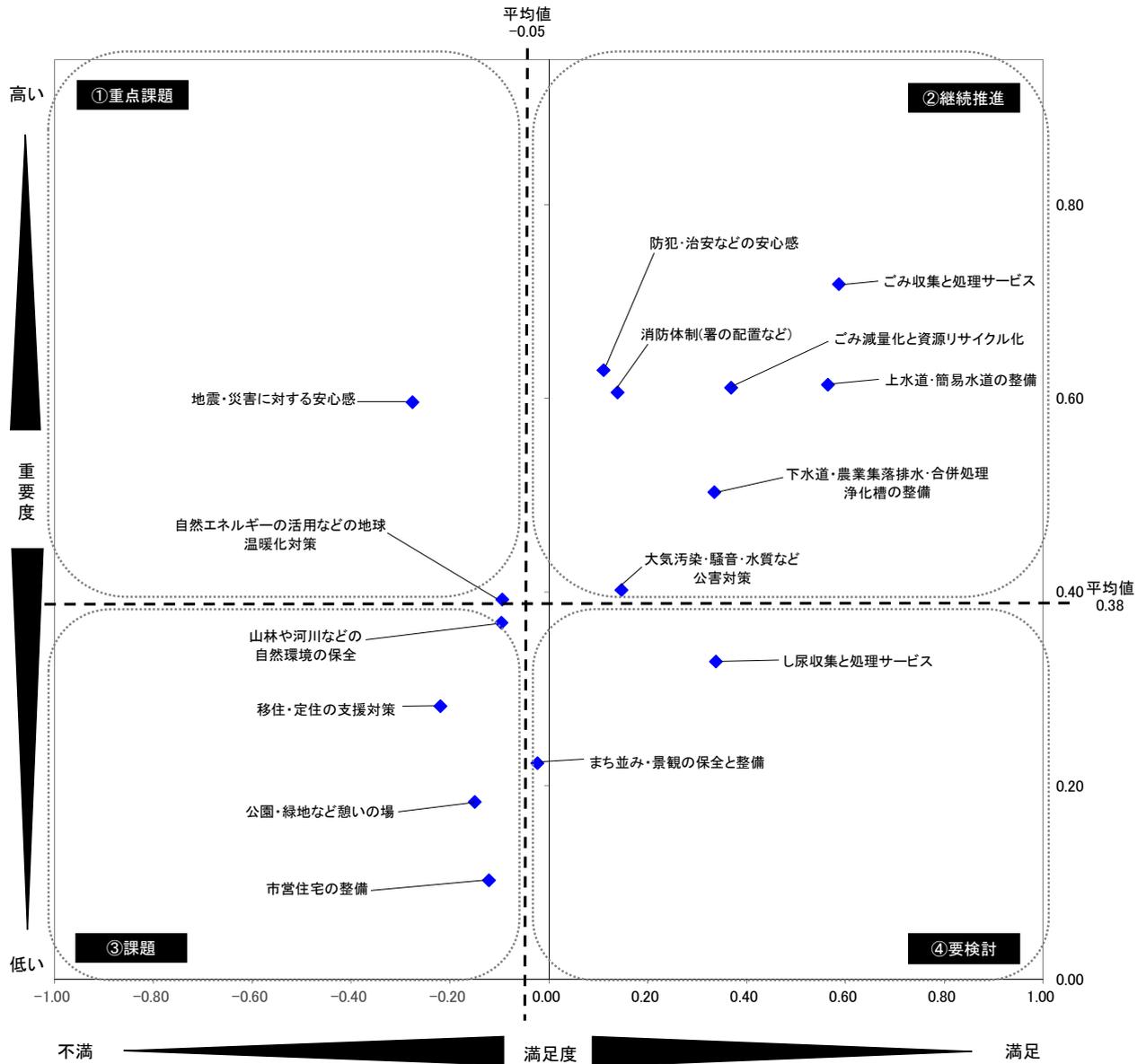
重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」となっています。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (7)	1	6	0	0

② 分野別施策の評価（生活環境）

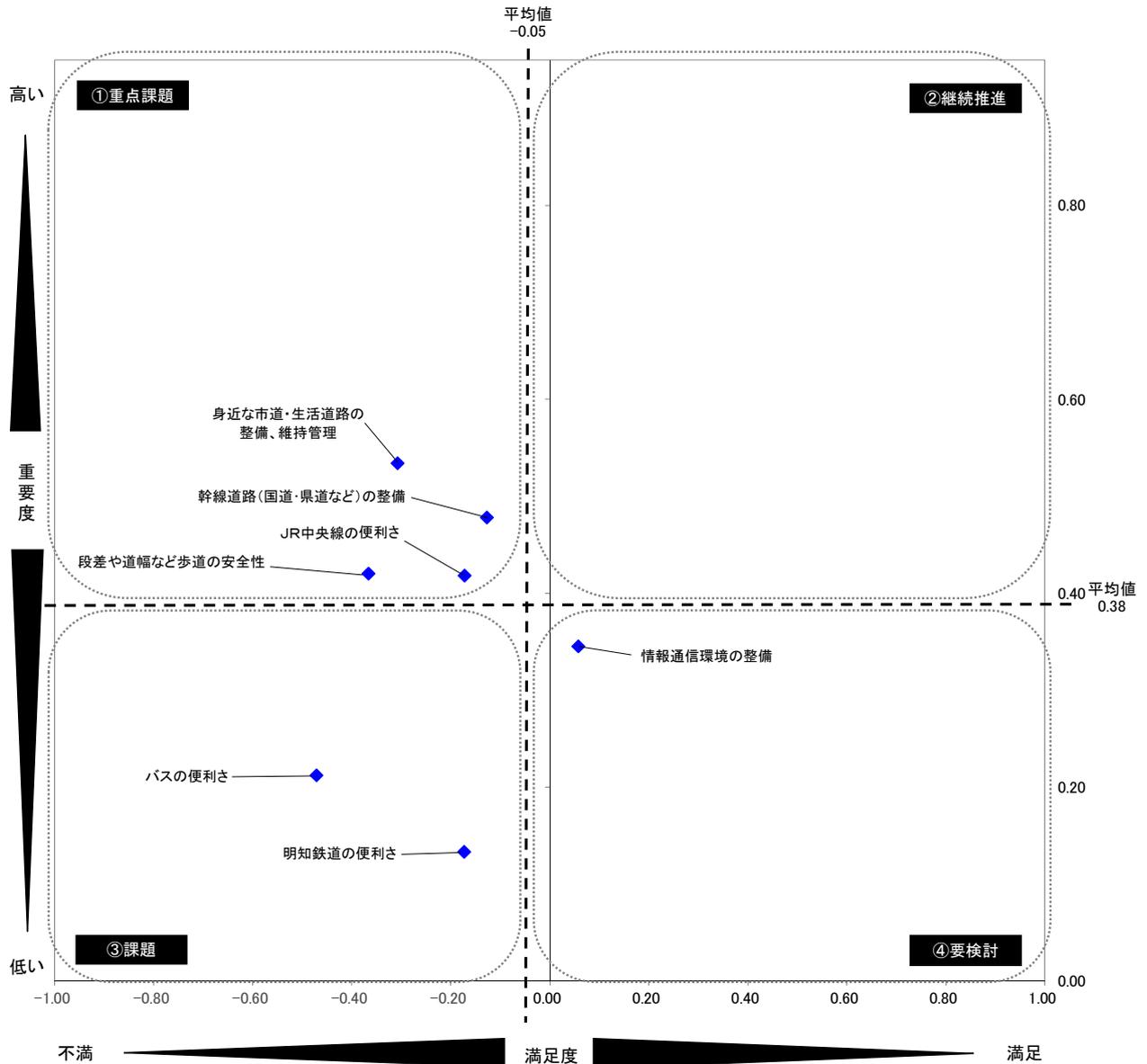
重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、「地震・災害に対する安心感」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」となっています。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (15)	2	7	4	2

③ 分野別施策の評価（都市・交流基盤）

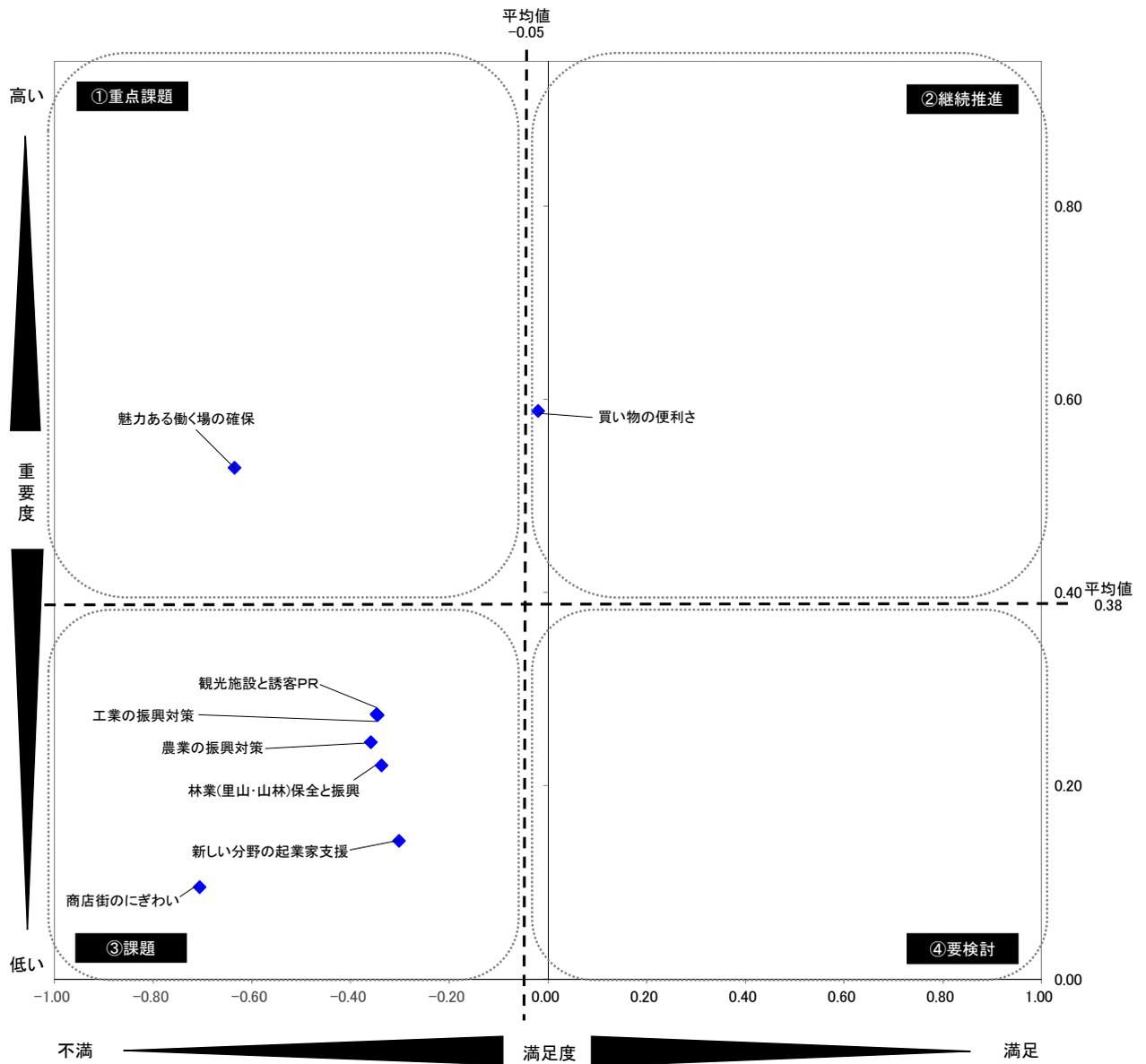
重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、「幹線道路(国道・県道など)の整備」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「段差や道幅など歩道の安全性」「JR中央線の便利さ」となっています。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(7)	4	0	2	1

④ 分野別施策の評価（産業振興）

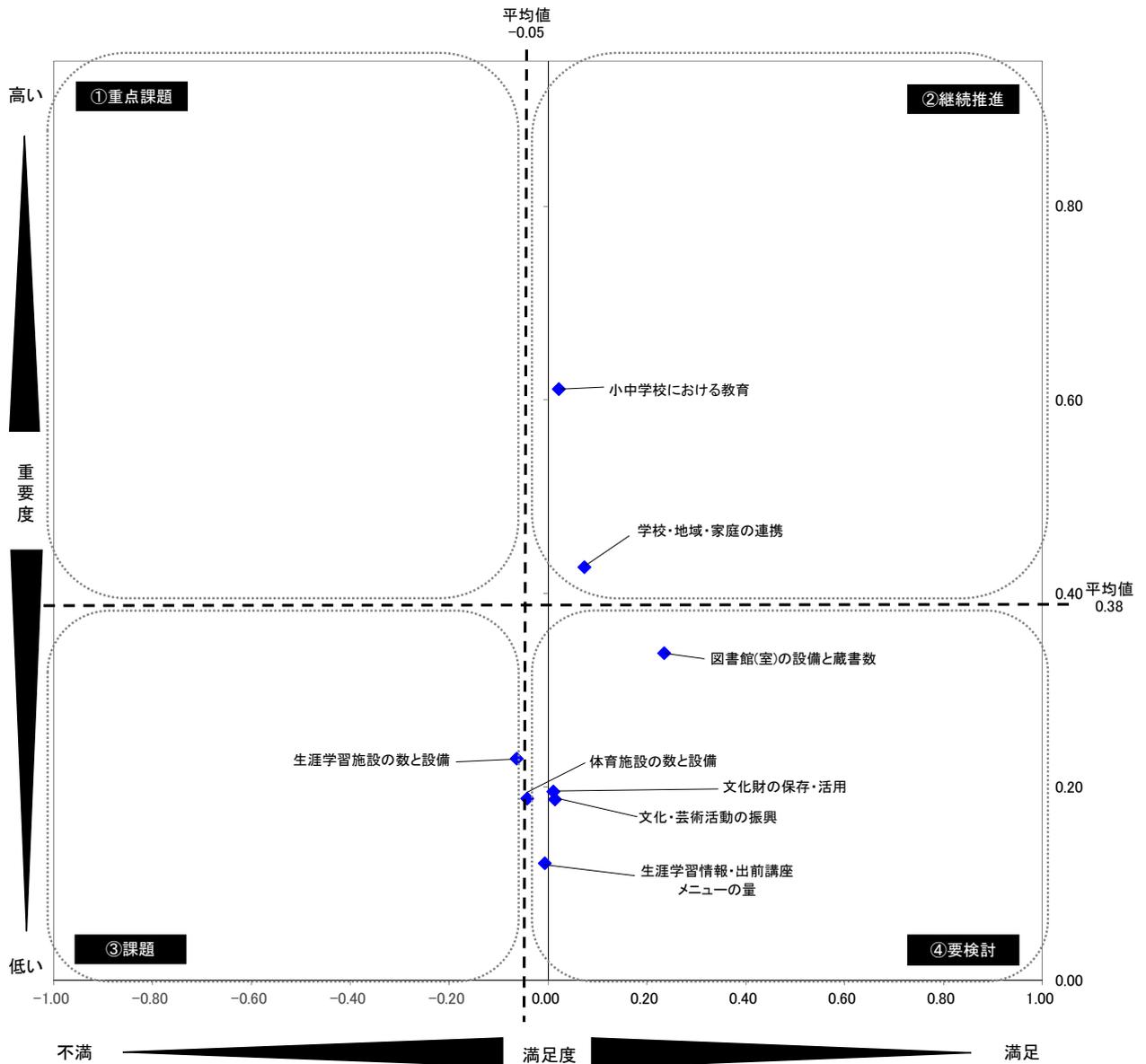
重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、「魅力ある働く場の確保」となっています。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (8)	1	1	6	0

⑤ 分野別施策の評価（教育・文化）

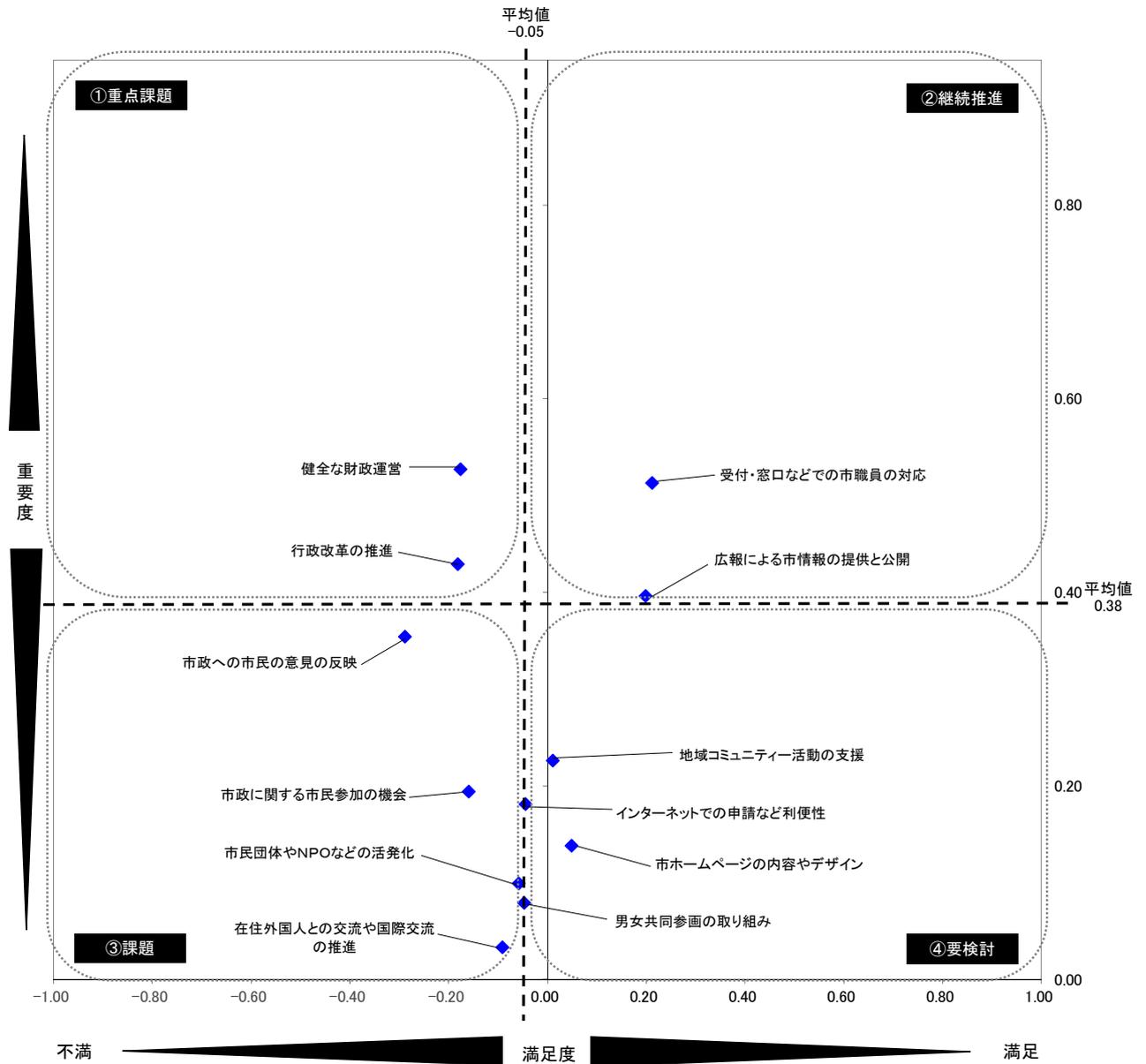
重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当した施策はありません。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (8)	0	2	1	5

⑥ 分野別施策の評価（住民参画）

重要度が高く、満足度の低い『重点課題』に該当したのは、「健全な財政運営」「行政改革の推進」となっています。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (12)	2	2	4	4

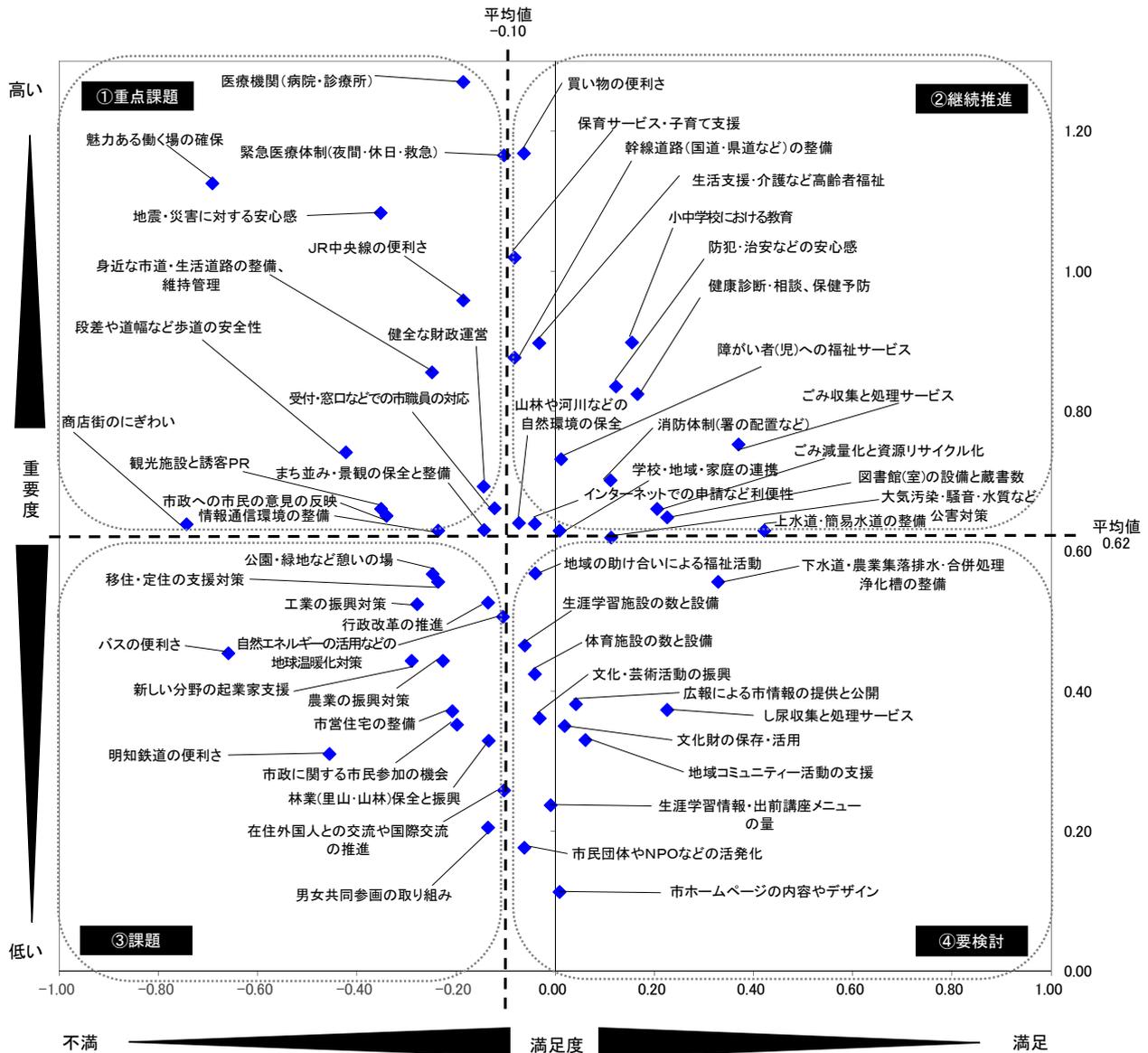
(6) 年齢別施策マトリックス図

【20歳代】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.10」、重要度指数の平均は「0.62」です。

全体では『重点課題』に該当せず、20歳代では『重点課題』に該当したものは、「医療機関(病院・診療所)」「まち並み・景観の保全と整備」「情報通信環境の整備」「商店街のにぎわい」「観光施設と誘客PR」「市政への市民の意見の反映」「受付・窓口などでの市職員の対応」でした。

また、全体では『重点課題』に該当し、20歳代では『重点課題』に該当しなかったものは「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」「幹線道路(国道・県道など)の整備」「行政改革の推進」でした。

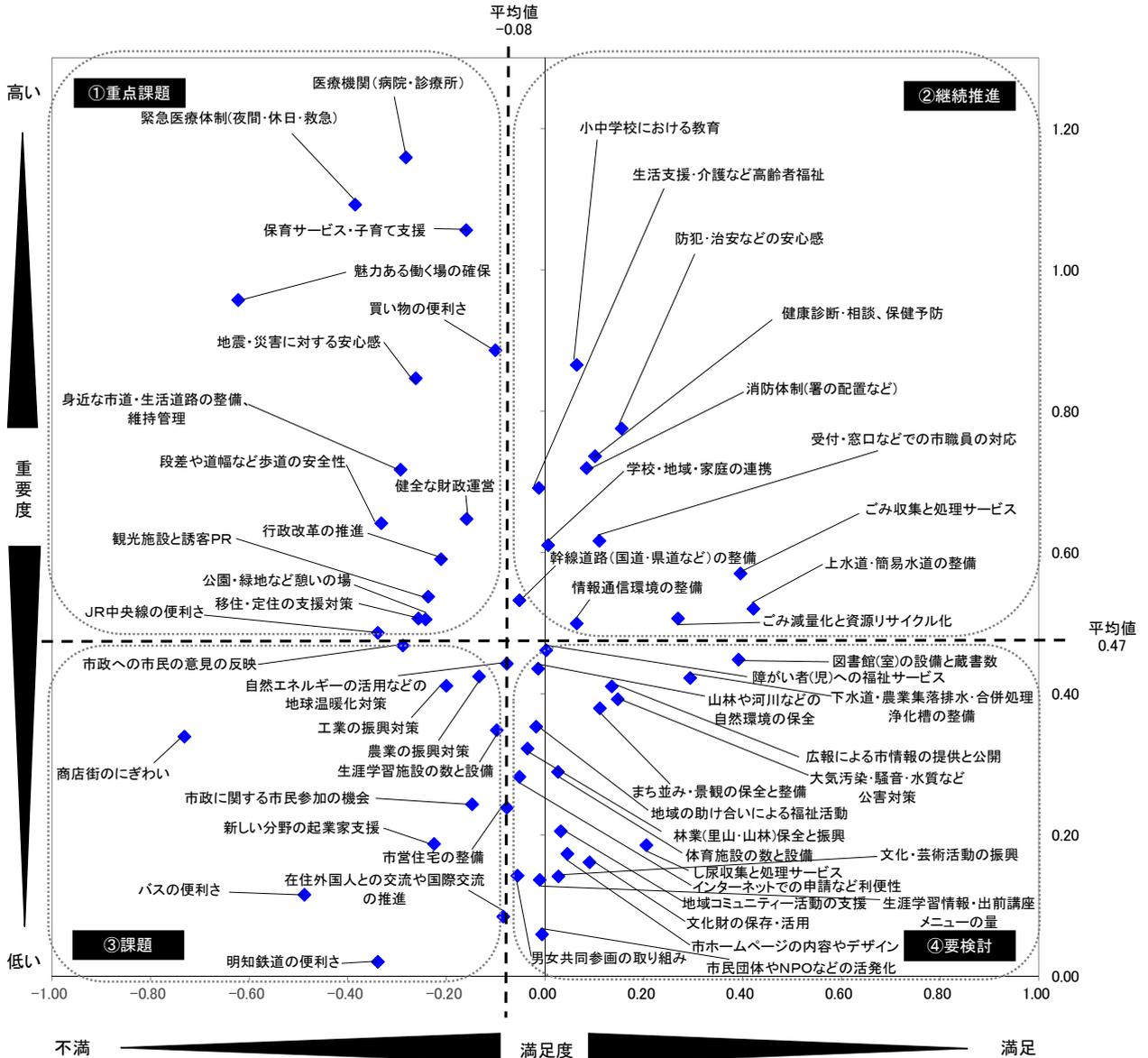


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	14	17	14	12

【30歳代】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.08」、重要度指数の平均は「0.47」です。

全体では『重点課題』に該当せず、30歳代では『重点課題』に該当したものは、「保育サービス・子育て支援」「医療機関(病院・診療所)」「公園・緑地など憩いの場」「移住・定住の支援対策」「買い物の便利さ」「観光施設と誘客PR」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、30歳代では『重点課題』に該当しなかったものは「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」「幹線道路(国道・県道など)の整備」でした。

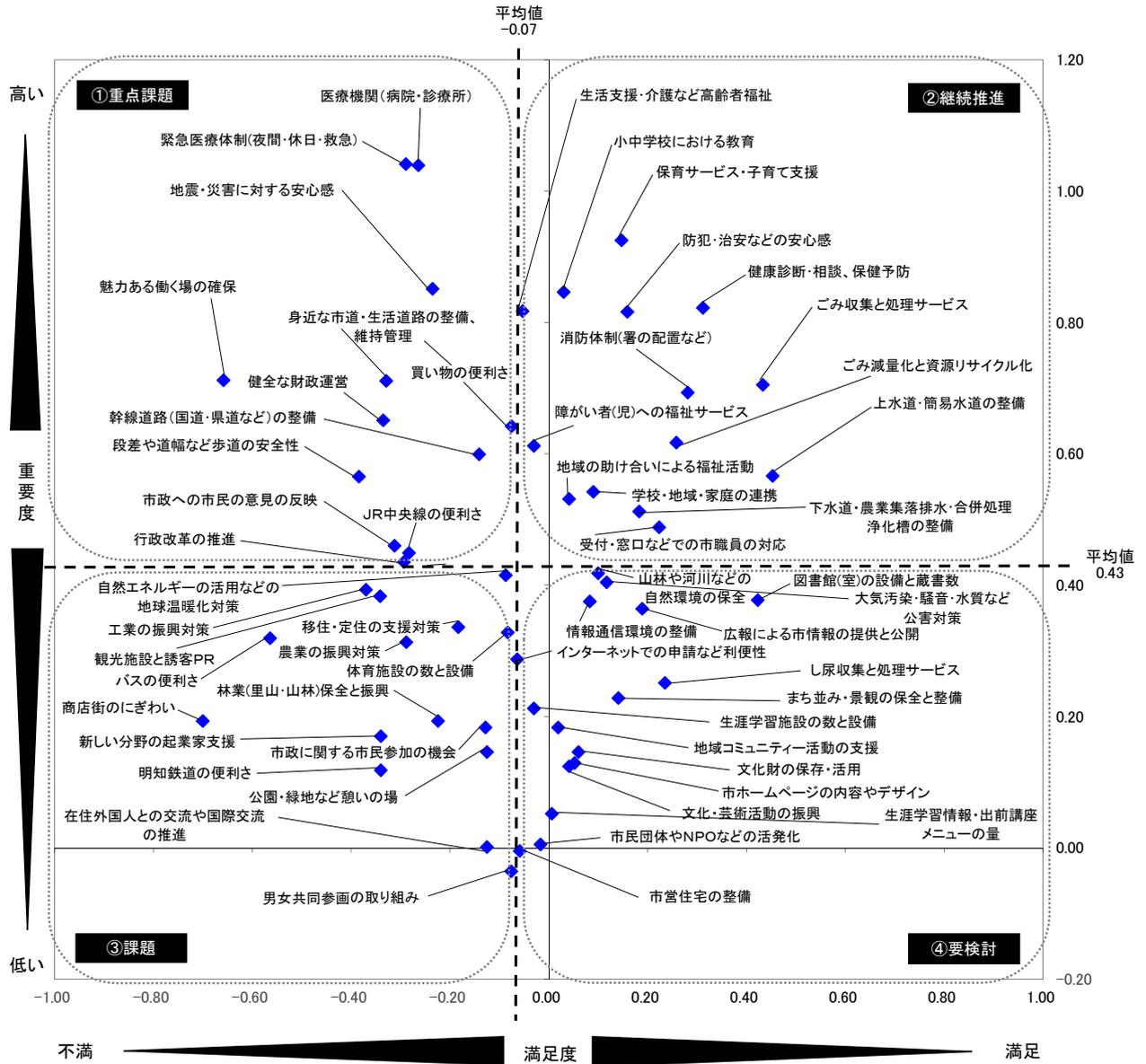


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	14	12	12	19

【40歳代】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.07」、重要度指数の平均は「0.43」です。

全体では『重点課題』に該当せず、40歳代では『重点課題』に該当したものは、「医療機関(病院・診療所)」「買い物の便利さ」「市政への市民の意見の反映」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、40歳代では『重点課題』に該当しなかったものは「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」でした。

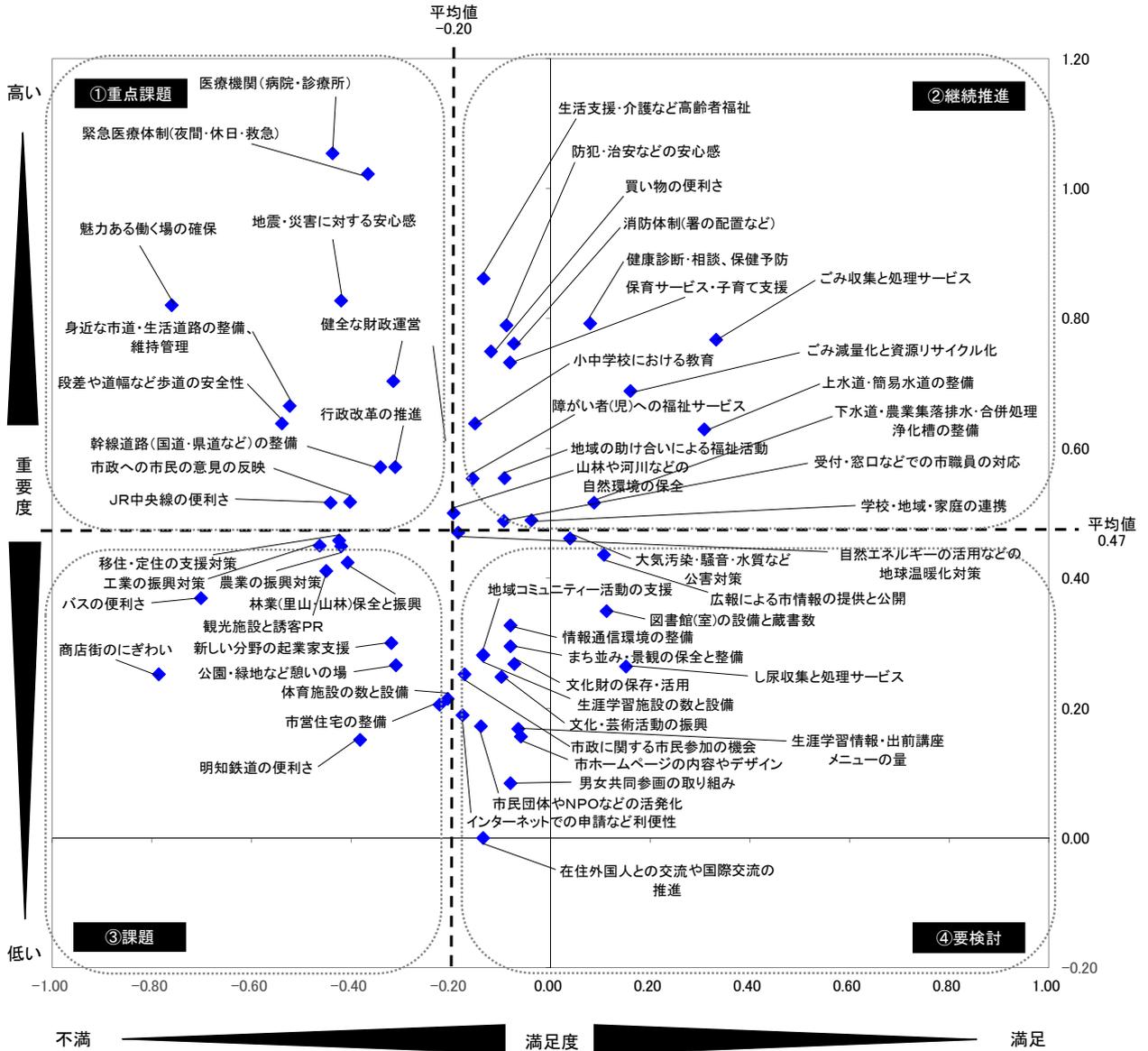


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	12	14	15	16

【50歳代】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.20」、重要度指数の平均は「0.47」です。

全体では『重点課題』に該当せず、50歳代では『重点課題』に該当したものは、「医療機関(病院・診療所)」「市政への市民の意見の反映」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、50歳代では『重点課題』に該当しなかったものは「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」でした。

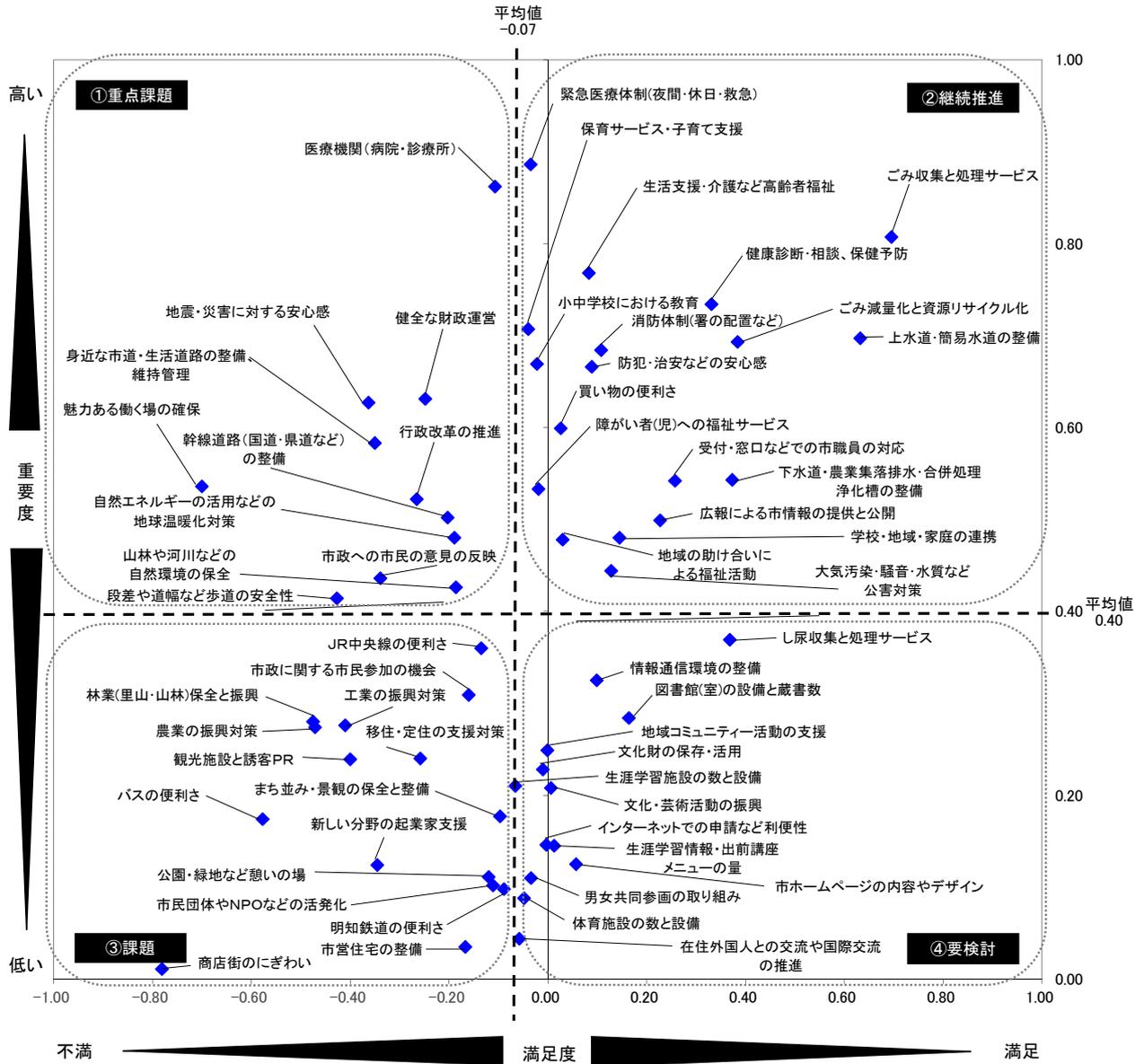


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	11	16	12	18

【60歳代】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.07」、重要度指数の平均は「0.40」です。

全体では『重点課題』に該当せず、60歳代では『重点課題』に該当したものは、「医療機関(病院・診療所)」「山林や河川などの自然環境の保全」「市政への市民の意見の反映」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、60歳代では『重点課題』に該当しなかったものは「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「JR中央線の便利さ」でした。

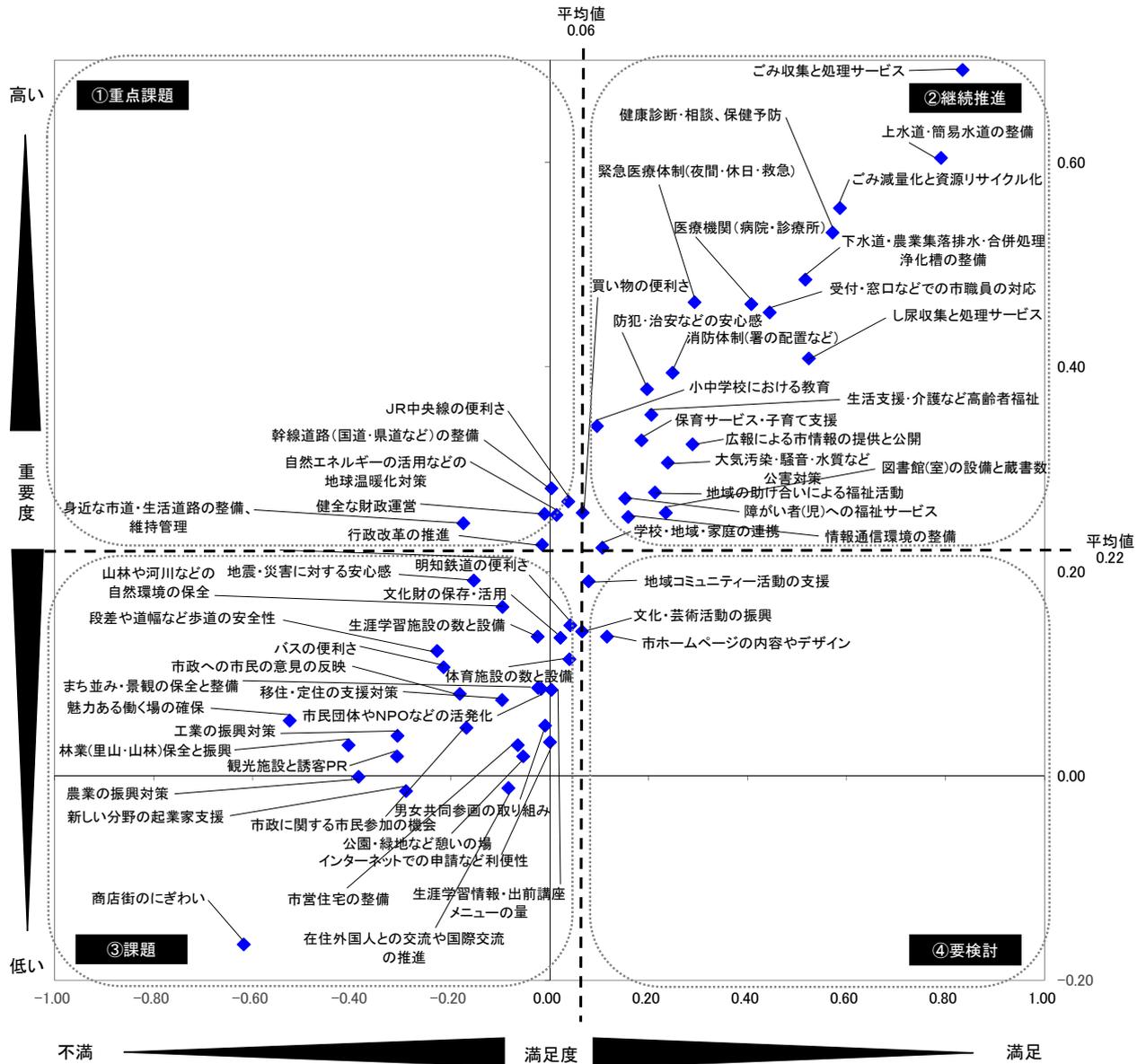


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	11	18	15	13

【70歳以上】

全57施策の満足度指数の平均は「0.06」、重要度指数の平均は「0.22」です。

全体では『重点課題』に該当せず、70歳以上では『重点課題』に該当したものは、ありませんでした。また、全体では『重点課題』に該当し、70歳以上では『重点課題』に該当しなかったものは「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「地震・災害に対する安心感」「段差や道幅など歩道の安全性」「魅力ある働く場の確保」でした。

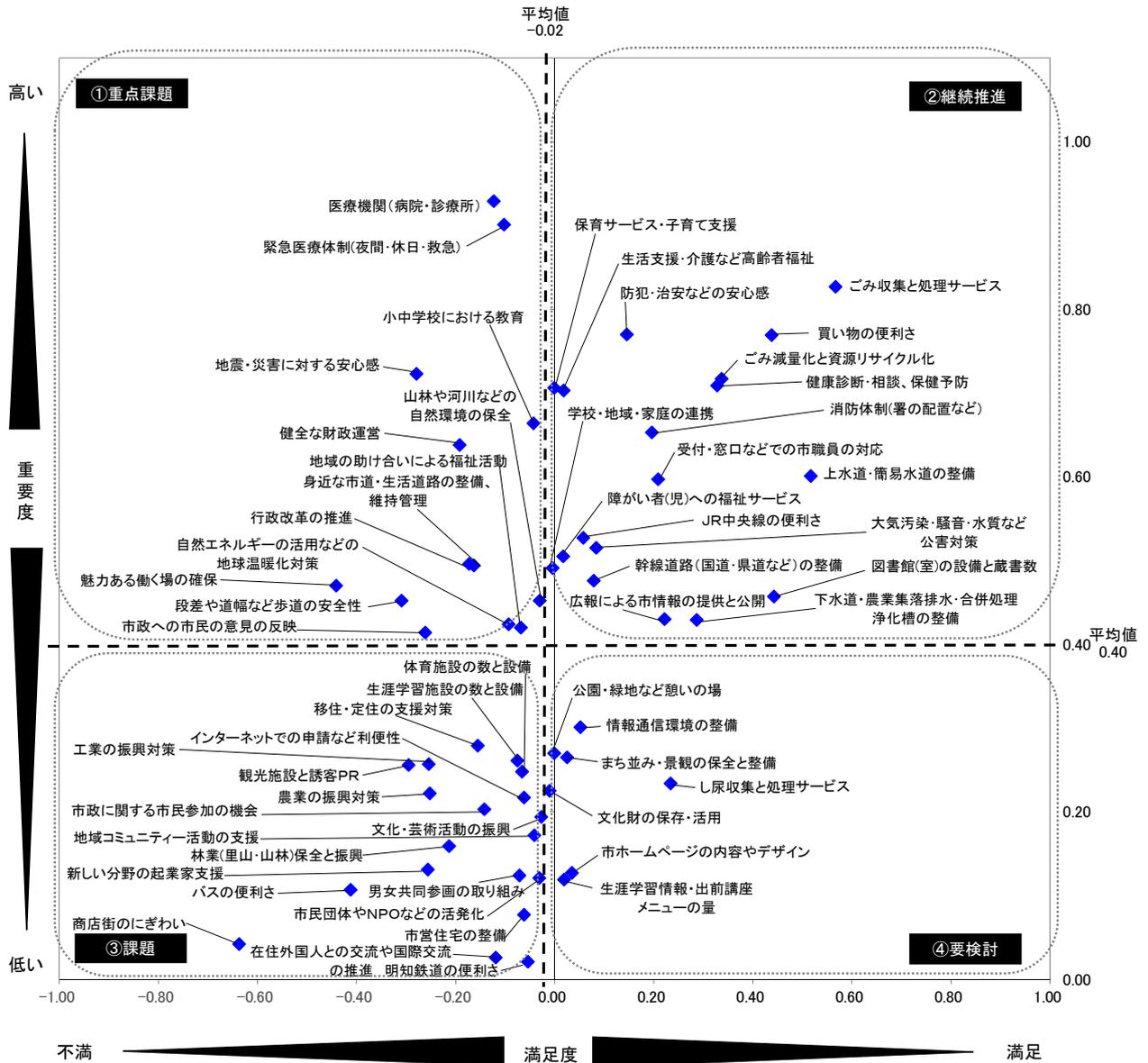


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (57)	6	22	26	3

【長島町】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.02」、重要度指数の平均は「0.40」です。

全体では『重点課題』に該当せず、長島町では『重点課題』に該当したものは、「地域の助け合いによる福祉活動」「医療機関(病院・診療所)」「山林や河川などの自然環境の保全」「小中学校における教育」「市政への市民意見の反映」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、長島町では『重点課題』に該当しなかったものは「幹線道路(国道・県道など)の整備」「JR中央線の便利さ」でした。

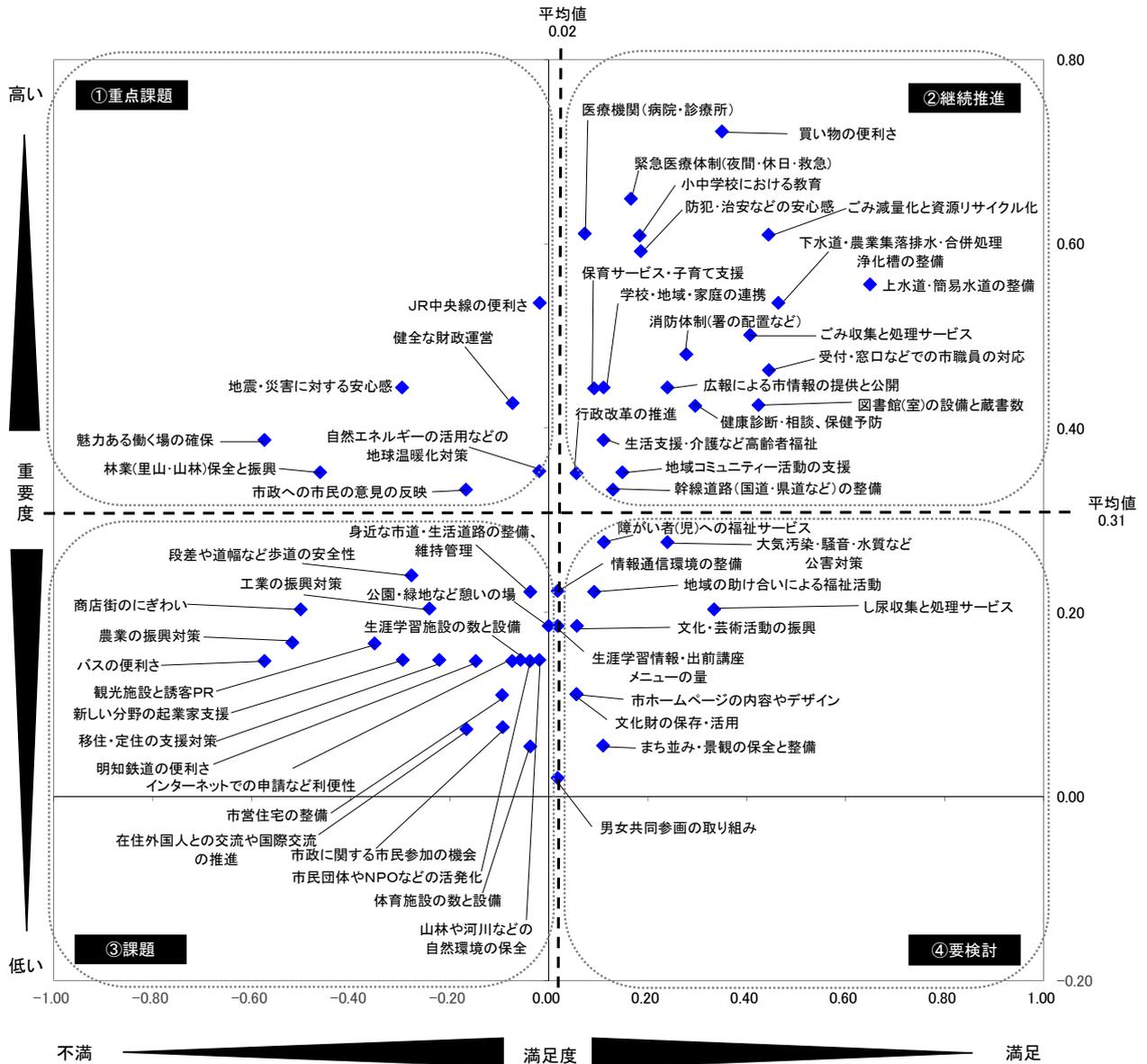


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	13	18	19	7

【東野】

全57施策の満足度指数の平均は「0.02」、重要度指数の平均は「0.31」です。

全体では『重点課題』に該当せず、東野では『重点課題』に該当したものは、「林業(里山・山林)の保全と振興」「市政への市民意見の反映」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、東野では『重点課題』に該当しなかったものは「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「幹線道路(国道・県道など)の整備」「身近な市道・生活道路の整備、維持管理」「段差や道幅など歩道の安全性」「行政改革の推進」でした。

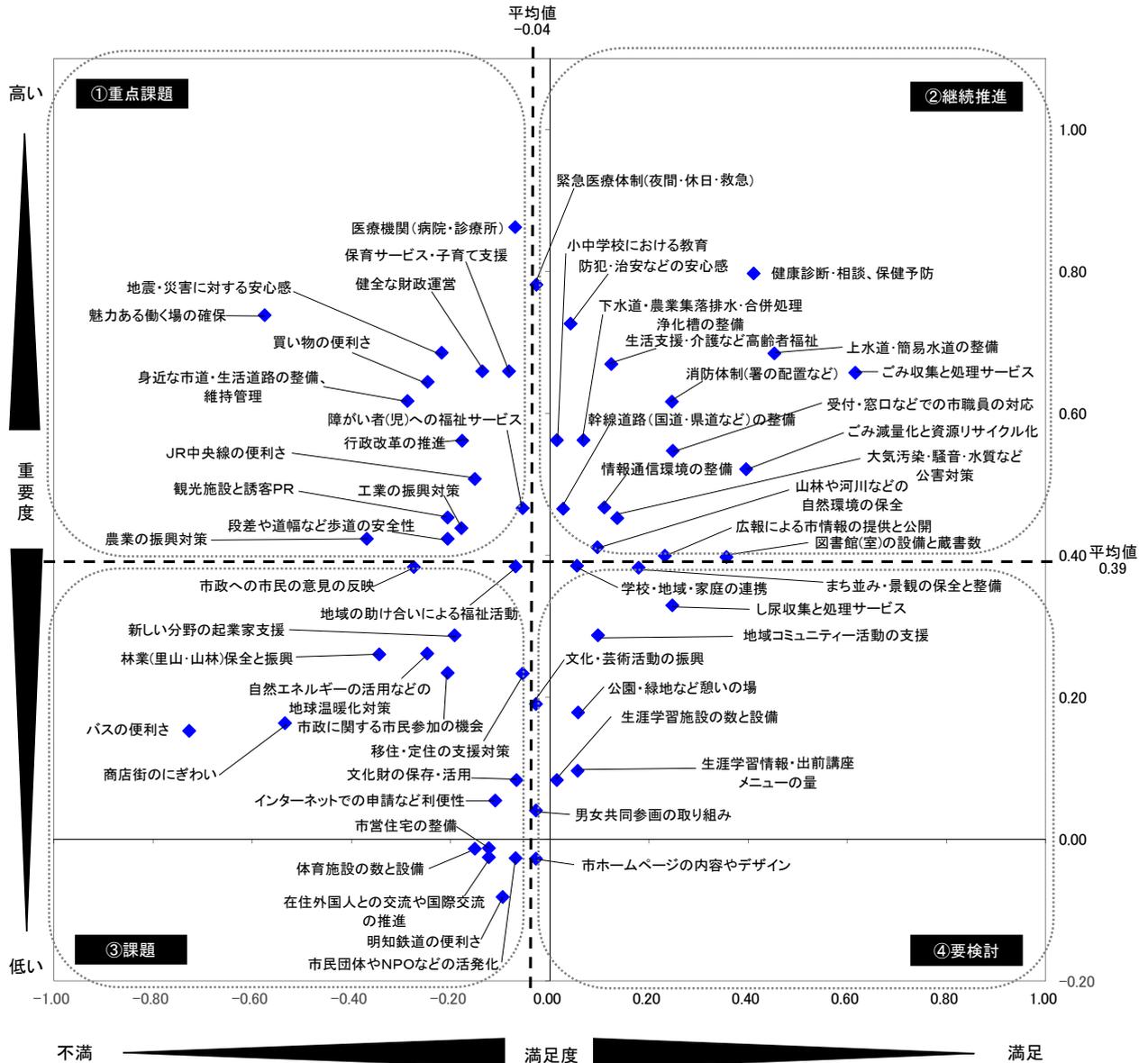


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (57)	7	20	19	11

【三郷町】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.04」、重要度指数の平均は「0.39」です。

全体では『重点課題』に該当せず、三郷町では『重点課題』に該当したものは、「保育サービス・子育て支援」「障がい者(児)への福祉サービス」「医療機関(病院・診療所)」「買い物の便利さ」「工業の振興対策」「農業の振興対策」「観光施設と誘客PR」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、三郷町では『重点課題』に該当しなかったものは「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」「幹線道路(国道・県道など)の整備」でした。

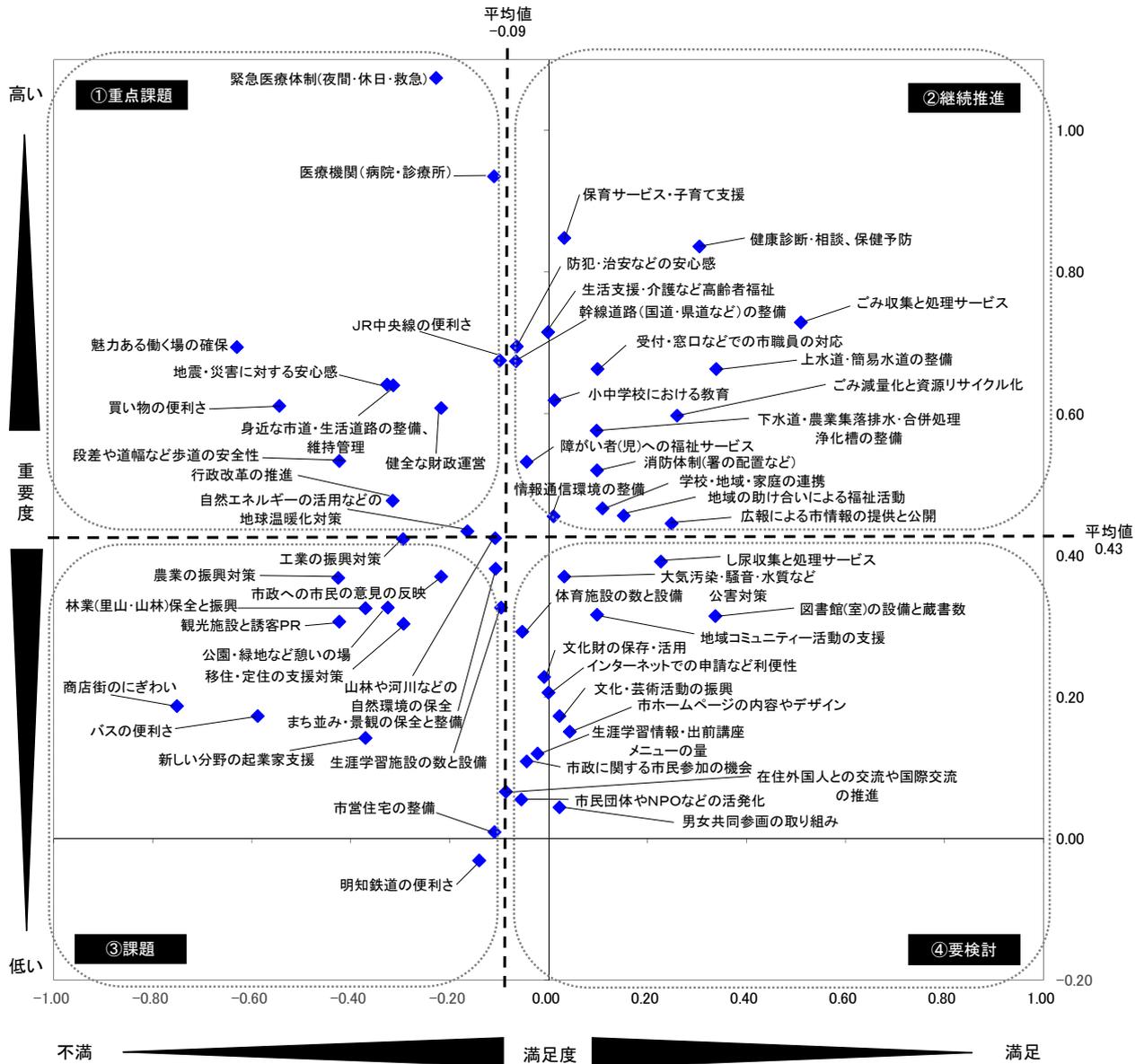


区分	① 重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	14	17	16	10

【武並町】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.09」、重要度指数の平均は「0.43」です。

全体では『重点課題』に該当せず、武並町では『重点課題』に該当したものは、「医療機関(病院・診療所)」「買い物の便利さ」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、武並町では『重点課題』に該当しなかったものは「幹線道路(国道・県道など)の整備」でした。

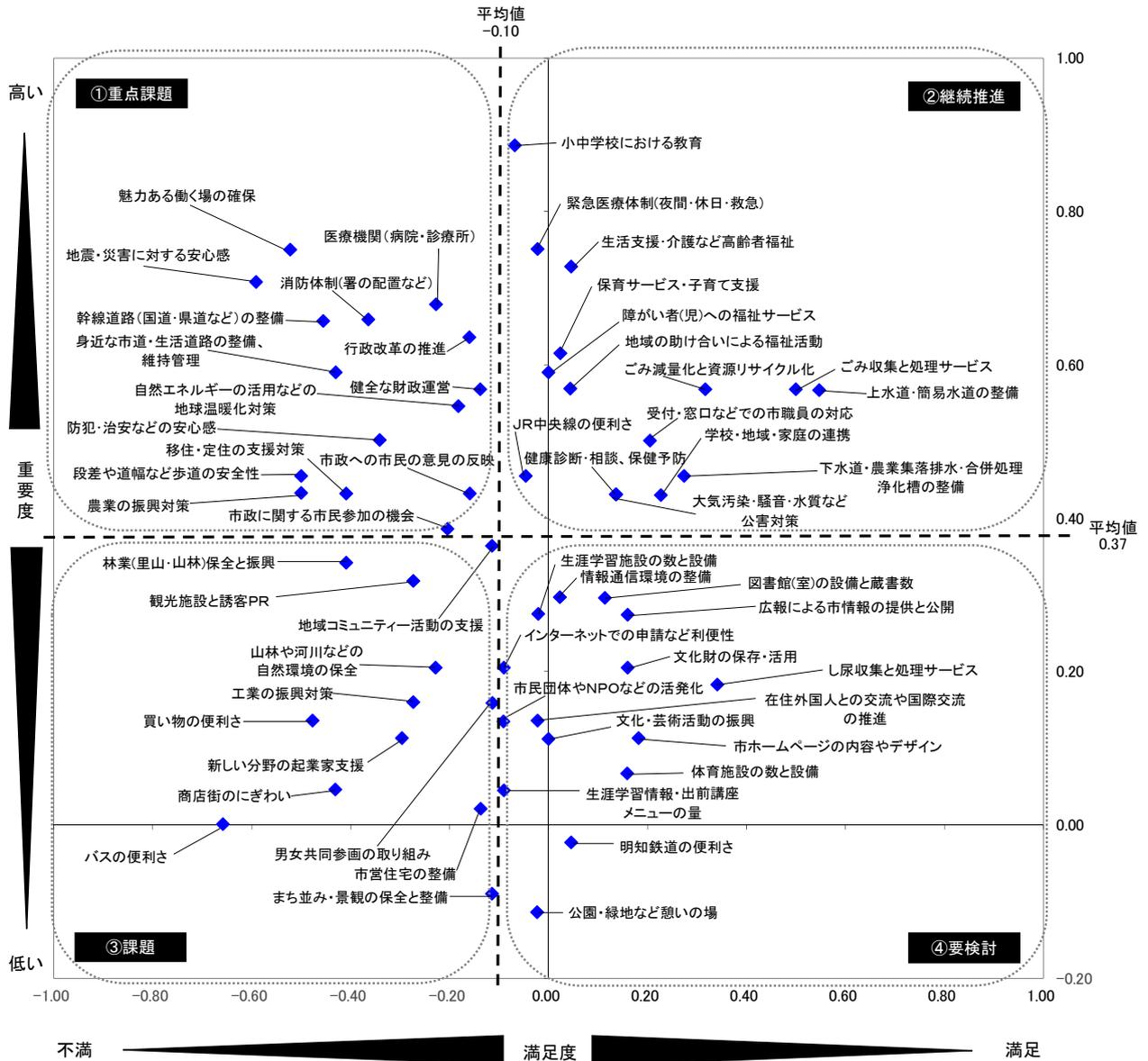


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	11	17	15	14

【笠置町】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.10」、重要度指数の平均は「0.37」です。

全体では『重点課題』に該当せず、笠置町では『重点課題』に該当したものは、「医療機関(病院・診療所)」「移住・定住の支援対策」「消防体制(署の配置など)」「防犯・治安などの安心感」「農業の振興対策」「市政に関する市民参加の機会」「市政への市民の意見の反映」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、笠置町では『重点課題』に該当しなかったものは「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「JR中央線の便利さ」でした。

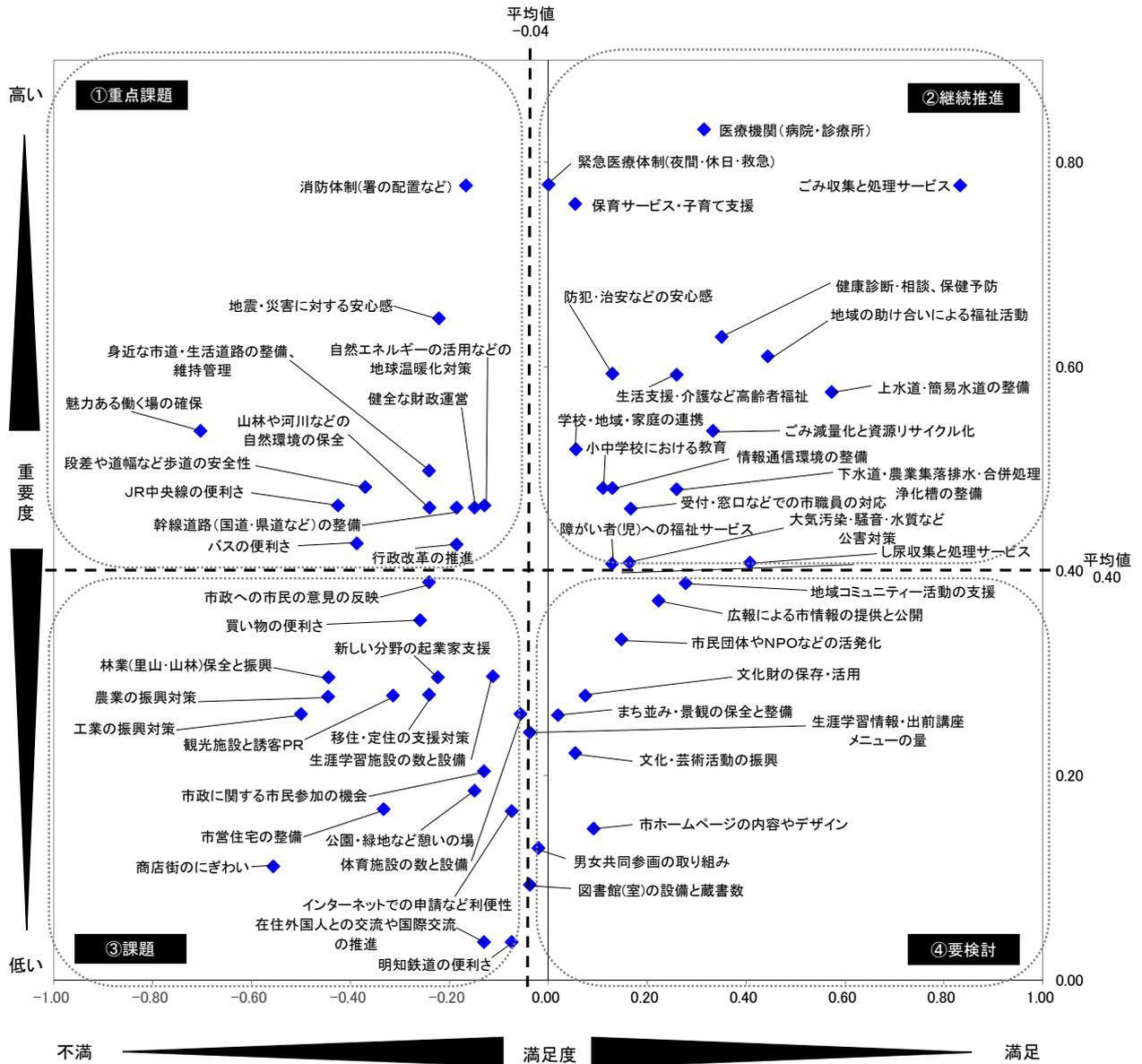


区分	② 重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (57)	15	15	12	15

【中野方町】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.04」、重要度指数の平均は「0.40」です。

全体では『重点課題』に該当せず、中野方町では『重点課題』に該当したものは、「山林や河川などの自然環境の保全」「消防体制(署の配置など)」「バスの便利さ」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、中野方町では『重点課題』に該当しなかったものは「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」でした。

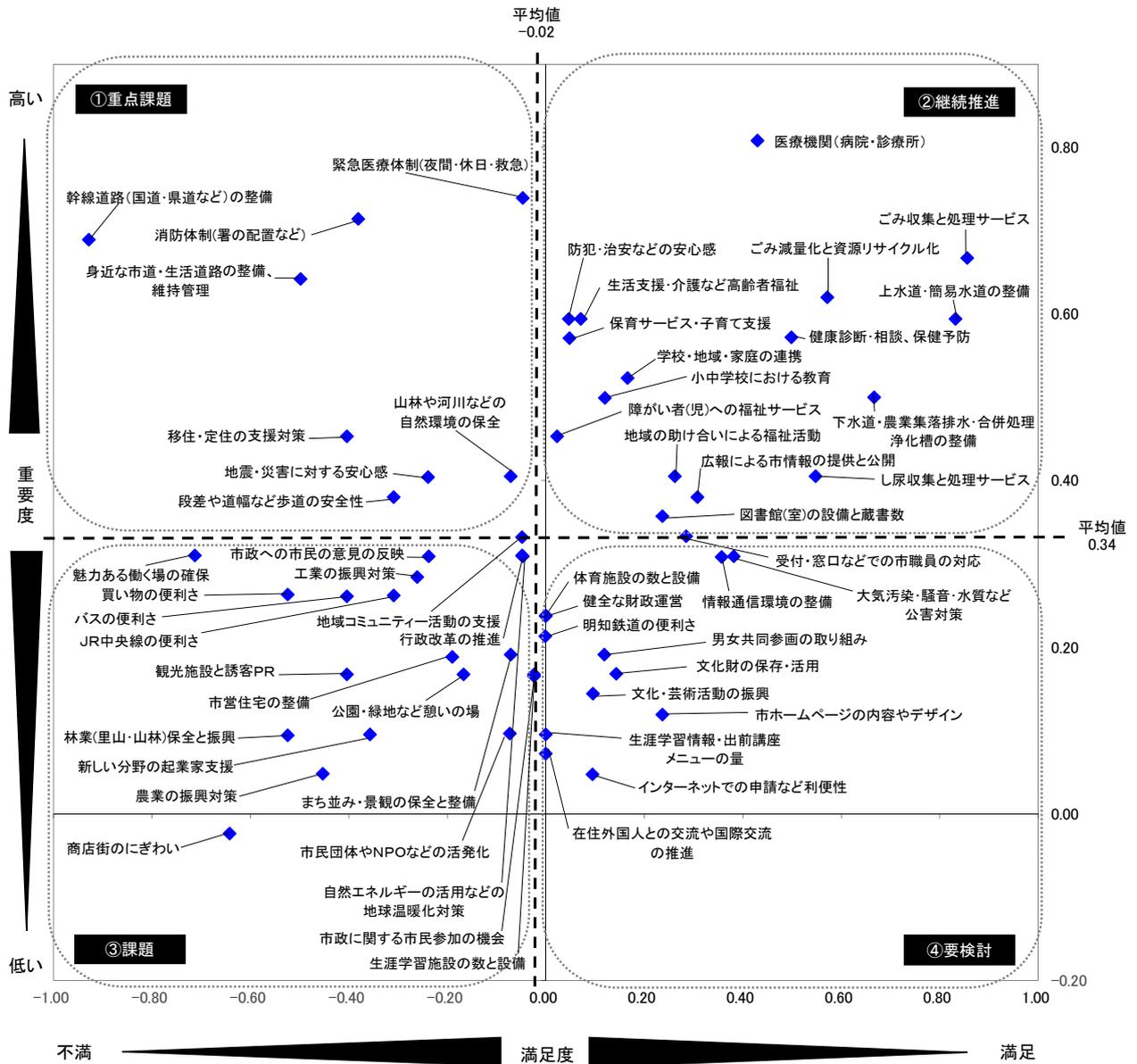


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (57)	12	18	17	10

【飯地町】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.02」、重要度指数の平均は「0.34」です。

全体では『重点課題』に該当せず、飯地町では『重点課題』に該当したものは、「山林や河川などの自然環境の保全」「移住・定住の支援対策」「消防体制(署の配置など)」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、飯地町では『重点課題』に該当しなかったものは「自然エネルギーの活用などの地球温暖化」「JR中央線の便利さ」「魅力ある働く場の確保」「健全な財政運営」「行政改革の推進」でした。

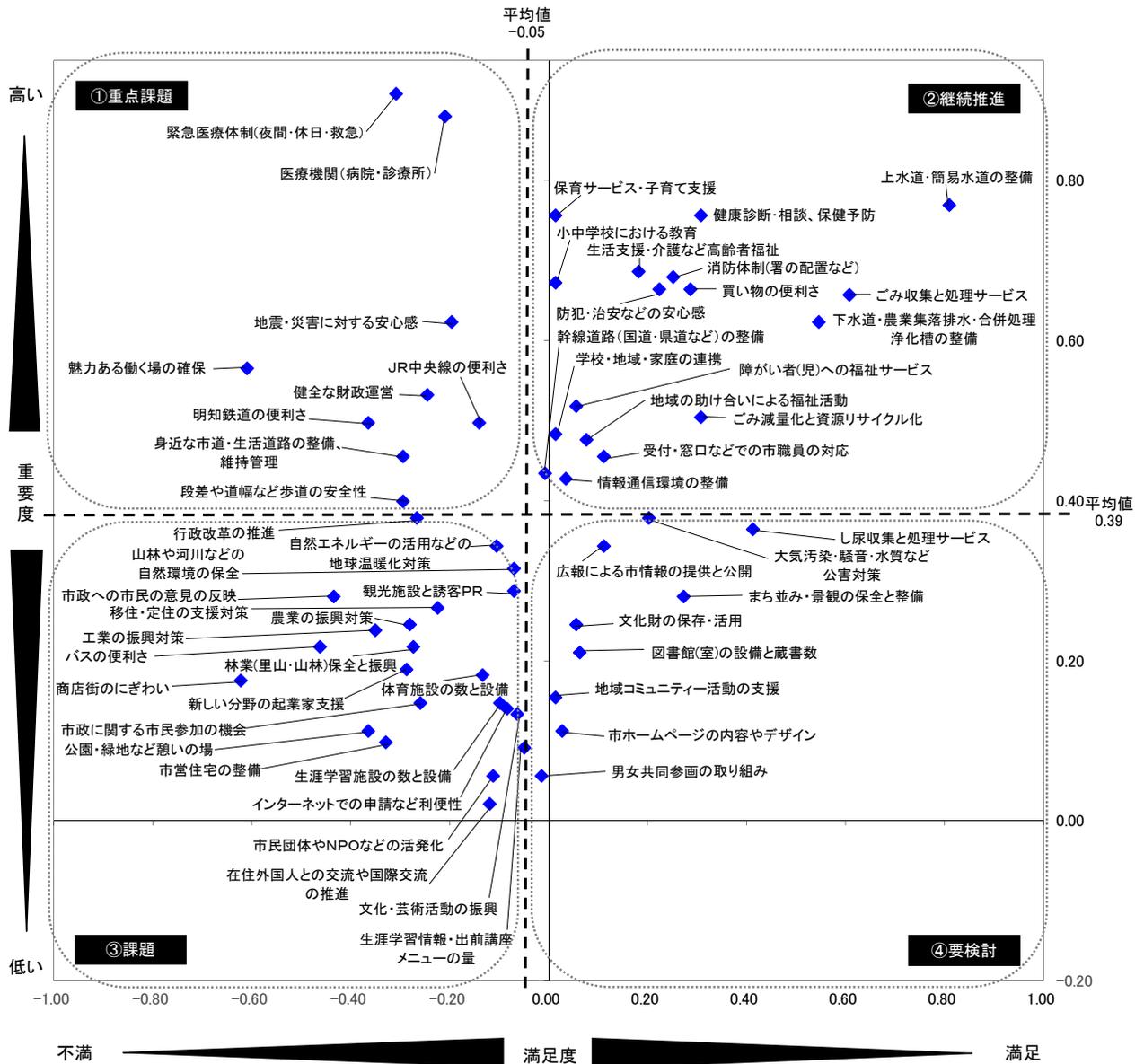


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	8	16	20	13

【岩村町】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.05」、重要度指数の平均は「0.39」です。

全体では『重点課題』に該当せず、岩村町では『重点課題』に該当したものは、「医療機関(病院・診療所)」「明知鉄道の便利さ」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、岩村町では『重点課題』に該当しなかったものは「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」「幹線道路(国道・県道など)の整備」「行政改革の推進」でした。

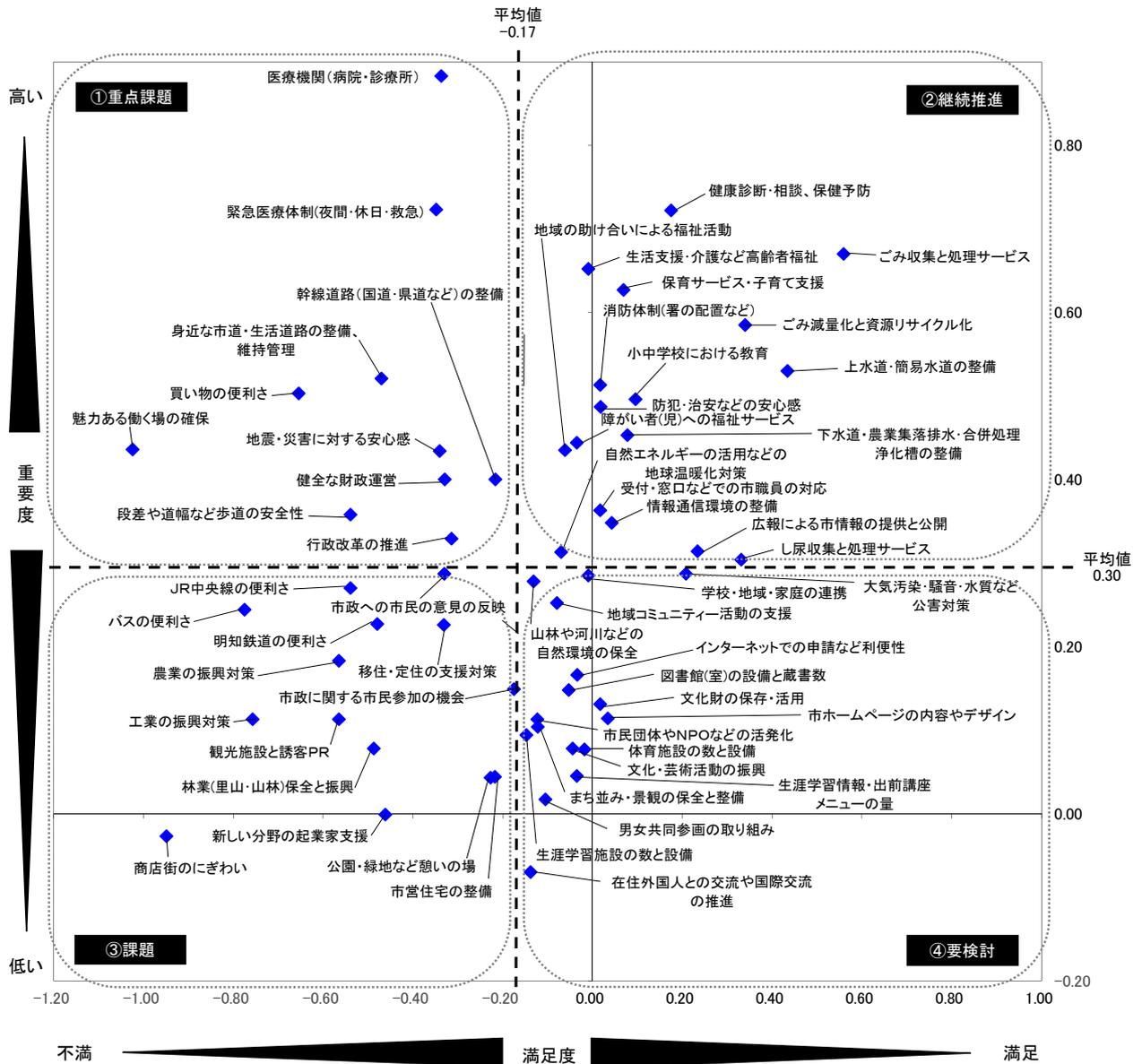


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	⑤ 要検討
項目数(57)	9	17	22	9

【山岡町】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.17」、重要度指数の平均は「0.30」です。

全体では『重点課題』に該当せず、山岡町では『重点課題』に該当したものは、「医療機関(病院・診療所)」「買い物の便利さ」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、山岡町では『重点課題』に該当しなかったものは「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」「JR中央線の便利さ」でした。

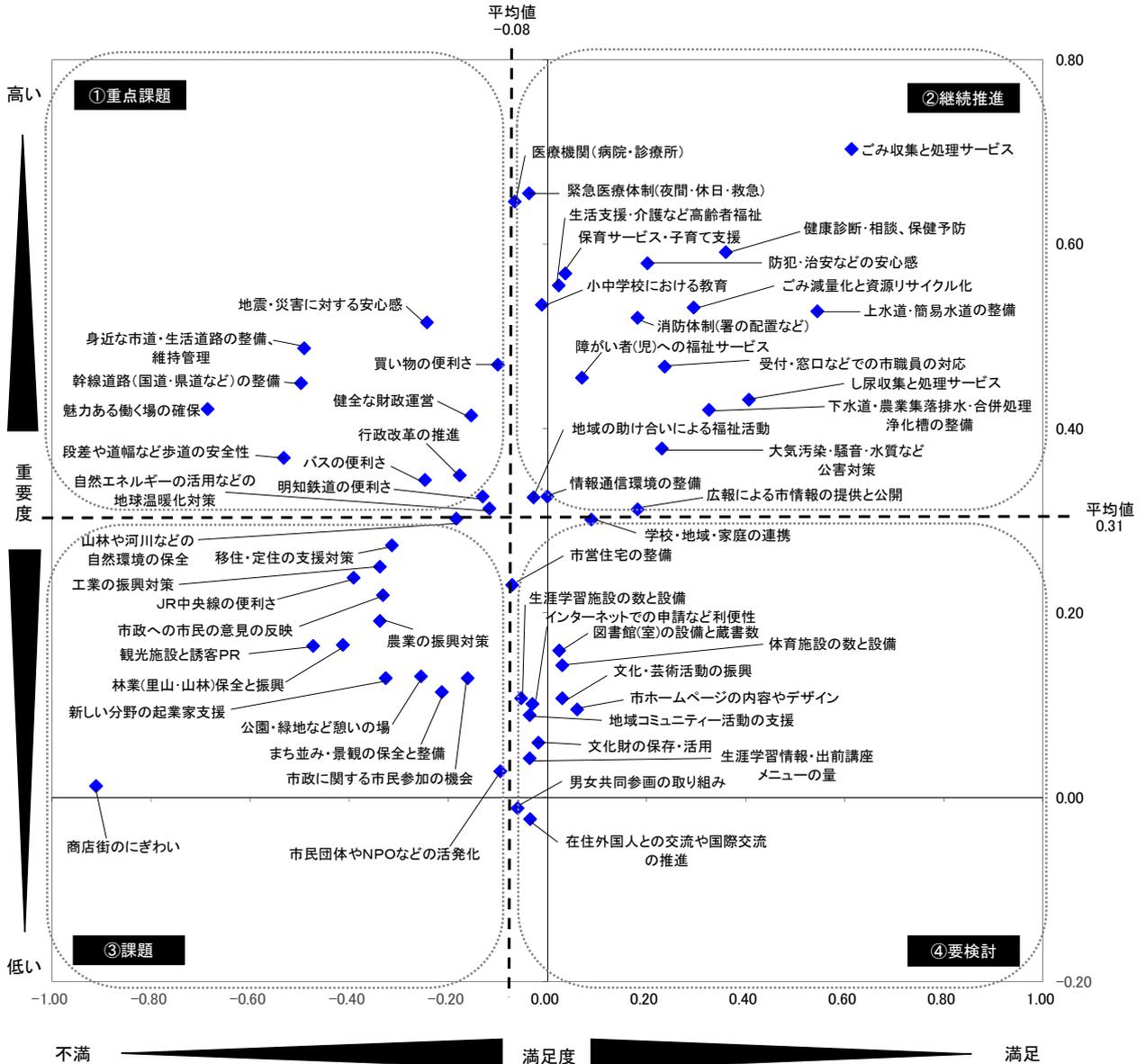


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数 (57)	10	17	14	16

【明智町】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.08」、重要度指数の平均は「0.31」です。

全体では『重点課題』に該当せず、明智町では『重点課題』に該当したものは、「明知鉄道の便利さ」「バスの便利さ」「買い物の便利さ」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、明智町では『重点課題』に該当しなかったものは「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「JR中央線の便利さ」でした。

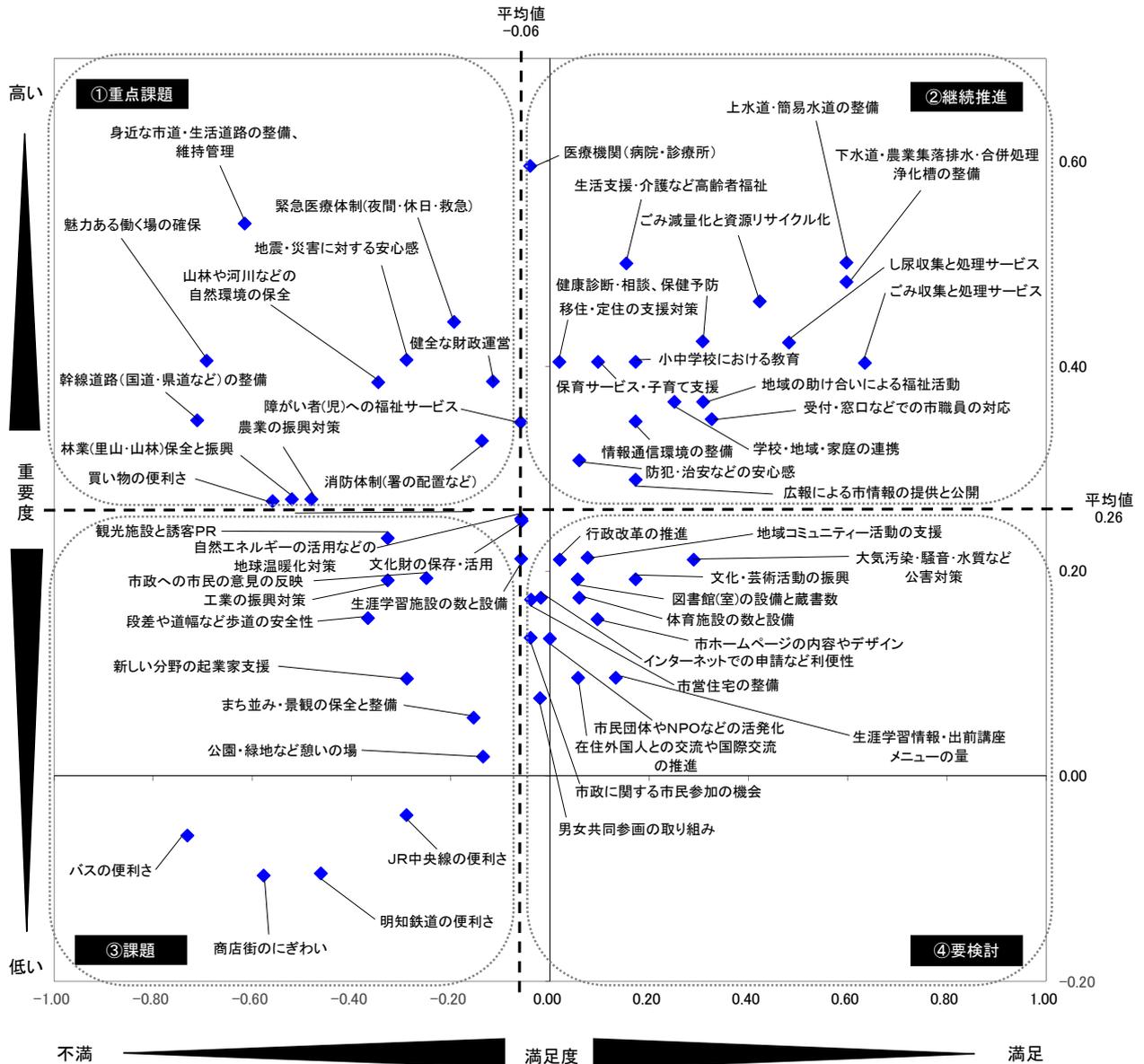


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	11	19	14	13

【串原】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.06」、重要度指数の平均は「0.26」です。

全体では『重点課題』に該当せず、串原では『重点課題』に該当したものは、「障がい者(児)への福祉サービス」「山林や河川などの自然環境の保全」「消防体制(署の配置など)」「買い物の便利さ」「農業の振興対策」「林業(里山・山林)の保全と振興」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、串原では『重点課題』に該当しなかったものは「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」「段差や道幅など歩道の安全性」「JR中央線の便利さ」「行政改革の推進」でした。

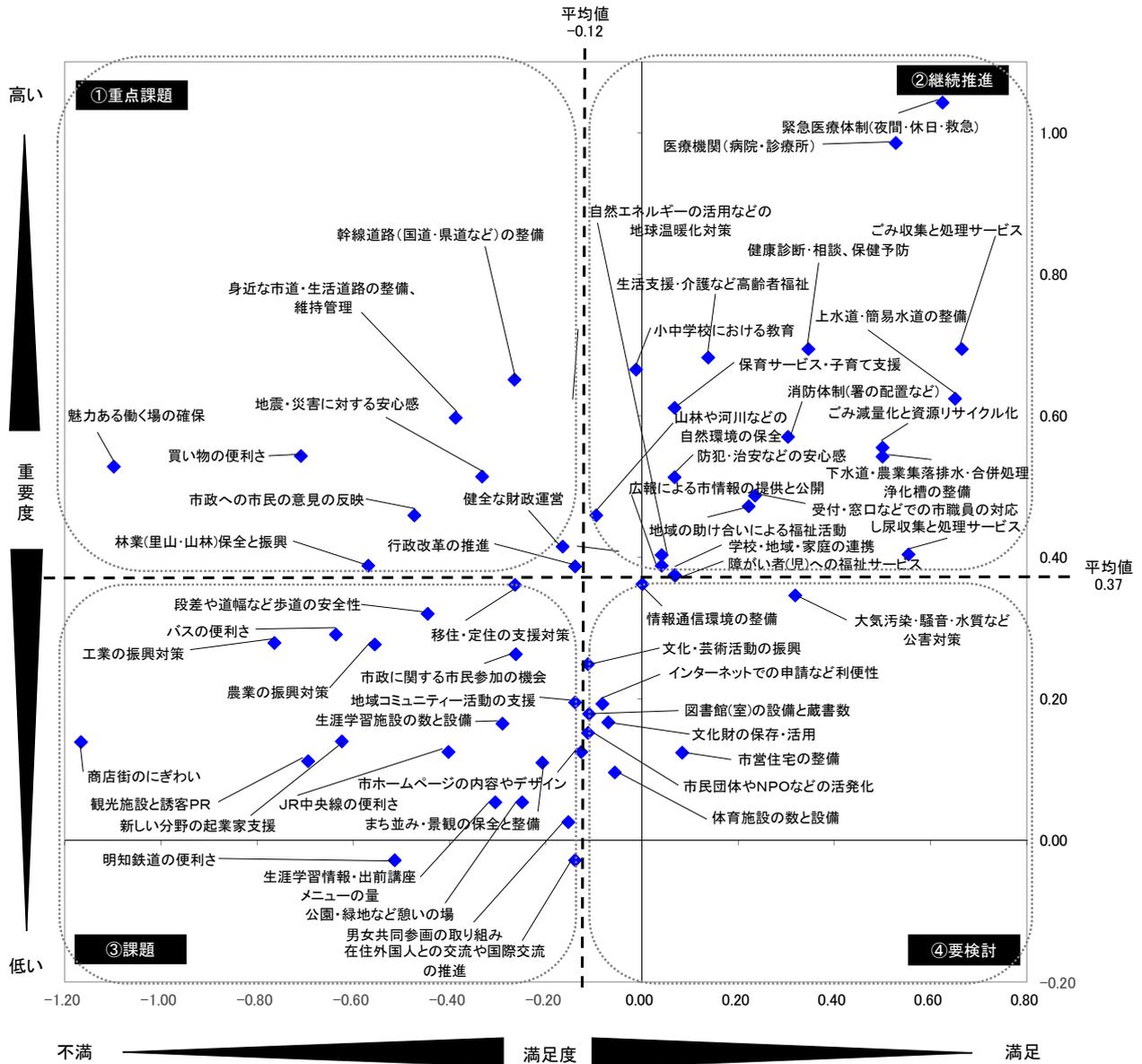


区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	12	17	14	14

【上矢作町】

全57施策の満足度指数の平均は「-0.12」、重要度指数の平均は「0.37」です。

全体では『重点課題』に該当せず、上矢作町では『重点課題』に該当したものは、「買い物の便利さ」「林業(里山・山林)の保全と振興」「市政への市民の意見の反映」でした。また、全体では『重点課題』に該当し、上矢作町では『重点課題』に該当しなかったものは「緊急医療体制(夜間・休日・救急)」「自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策」「段差や道幅など歩道の安全性」「JR中央線の便利さ」でした。



区分	①重点課題	②継続推進	③課題	④要検討
項目数(57)	9	20	19	9

(8) 個別施策の満足度・不満度・重要度

年齢 個別施策の満足度

分野	NO	施策	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	17.6	11.3	19.9	29.4	10.5	13.0	21.2
	2	健康診断・相談、保健予防	37.7	31.0	22.4	35.3	23.5	42.6	50.0
	3	地域の助け合いによる福祉活動	20.0	12.4	10.3	17.0	10.1	19.3	32.3
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	23.3	17.5	11.5	14.1	16.4	27.5	33.2
	5	障がい者(児)への福祉サービス	14.9	11.4	8.4	14.1	8.4	13.9	22.3
	6	医療機関(病院・診療所)	29.3	18.6	21.2	22.4	14.3	27.8	46.5
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	25.5	22.7	14.7	18.8	13.0	27.1	38.2
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	15.3	15.5	18.6	23.5	11.3	12.6	15.3
	9	まち並み・景観の保全と整備	19.2	12.4	22.5	30.0	18.9	16.4	18.5
	10	公園・緑地など憩いの場	17.6	17.6	18.6	20.5	12.6	17.7	19.2
	11	移住・定住の支援対策	7.3	4.2	7.7	10.6	1.7	7.6	9.1
	12	市営住宅の整備	6.9	4.1	10.2	11.7	2.5	6.0	7.7
	13	地震・災害に対する安心感	11.4	11.3	11.6	13.0	5.9	9.8	14.9
	14	消防体制(署の配置など)	26.8	24.7	25.0	32.9	17.2	25.6	31.9
	15	防犯・治安などの安心感	26.3	28.9	28.9	28.9	18.9	25.9	28.8
	16	上水道・簡易水道の整備	48.8	37.1	37.8	41.8	35.2	56.2	61.0
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	35.7	29.9	26.9	27.7	25.2	40.4	45.5
	18	し尿収集と処理サービス	28.4	17.5	15.4	21.8	17.2	31.9	41.4
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	21.8	19.6	19.9	18.8	15.9	22.7	27.2
都市・交流基盤	20	ごみ収集と処理サービス	54.1	37.1	41.0	48.1	45.4	63.3	64.3
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	39.4	29.9	28.8	33.5	30.3	43.8	49.8
	22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	9.2	11.3	7.7	10.6	3.3	9.8	11.7
	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	22.6	26.8	26.9	22.3	13.0	22.0	26.1
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	18.2	20.6	19.9	18.9	9.6	17.7	22.3
	25	段差や道幅など歩道の安全性	12.8	14.5	14.1	11.1	5.4	11.1	18.2
	26	JR中央線の利便さ	19.3	27.9	14.1	14.7	10.1	20.2	25.4
	27	明知鉄道の利便さ	11.7	8.2	7.7	8.3	2.1	14.2	18.1
	28	バスの利便さ	9.6	5.2	5.1	5.9	2.1	7.9	18.3
	29	情報通信環境の整備	20.6	14.5	19.9	27.1	11.7	23.4	23.2
産業振興	30	買い物の利便さ	34.2	40.2	30.8	30.0	30.2	36.3	37.1
	31	商店街のにぎわい	3.2	5.1	3.8	4.1	2.1	1.6	4.2
	32	工業の振興対策	5.1	6.2	6.4	4.1	2.5	5.0	6.2
	33	新しい分野の起業家支援	2.3	6.2	2.5	1.2	1.3	2.5	2.2
	34	農業の振興対策	4.0	8.3	6.4	2.4	2.1	4.1	4.0
	35	林業(里山・山林)保全と振興	3.6	6.2	9.7	2.4	1.7	3.4	2.6
	36	魅力ある働く場の確保	3.3	5.1	3.9	2.4	1.7	2.8	4.4
	37	観光施設と誘客PR	8.2	9.2	10.9	11.2	5.0	7.6	8.1
教育・文化	38	小中学校における教育	16.8	21.7	21.8	22.4	8.8	14.2	18.4
	39	生涯学習施設の数と設備	10.2	4.2	8.9	12.9	6.3	10.8	12.8
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	11.0	5.2	9.0	12.9	7.5	12.0	13.5
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	31.0	35.0	41.1	45.3	26.1	24.0	29.6
	42	学校・地域・家庭の連携	18.2	13.4	18.6	22.4	10.9	22.1	18.6
	43	文化・芸術活動の振興	13.4	11.3	11.6	16.5	6.7	14.2	16.1
	44	文化財の保存・活用	11.8	12.3	12.8	13.6	6.7	10.7	14.4
	45	体育施設の数と設備	13.9	16.5	21.2	19.4	5.4	12.3	15.1
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	13.9	11.3	10.9	13.6	6.7	13.9	20.0
	47	市民団体やNPOなどの活発化	7.5	5.1	5.1	9.4	2.9	8.2	10.2
	48	市政に関する市民参加の機会	5.9	5.1	4.5	5.3	3.8	7.9	6.4
	49	市政への市民の意見の反映	6.0	6.2	3.8	6.5	3.4	7.2	7.1
	50	広報による市情報の提供と公開	28.8	18.6	23.7	28.8	24.7	31.2	33.4
	51	市ホームページの内容やデザイン	13.9	15.4	16.0	14.7	7.5	14.2	16.6
	52	男女共同参画の取り組み	6.2	4.1	5.8	5.9	2.5	6.3	8.8
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	4.3	6.2	4.4	3.5	0.4	5.6	5.3
	54	インターネットでの申請など利便性	9.5	12.4	8.9	10.6	4.2	10.8	10.6
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	32.8	15.5	27.0	31.8	18.9	36.6	43.7
	56	健全な財政運営	8.0	8.3	5.2	3.5	5.4	7.3	12.4
	57	行政改革の推進	7.1	4.1	3.9	2.4	4.2	7.9	11.7

居住地 個別施策の満足度

分野	NO	施策	全体	大井町	長島町	東野	三郷町	武並町	笠置町	中野方町	飯地町	岩村町	山岡町	明智町	串原	上矢作町
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	17.6	16.7	16.8	18.5	15.1	19.5	27.3	20.4	16.7	13.3	22.6	19.0	11.6	20.8
	2	健康診断・相談・保健予防	37.7	39.7	36.3	29.6	41.1	39.1	27.3	37.0	47.6	37.8	34.8	40.8	32.7	43.0
	3	地域の助け合いによる福祉活動	20.0	16.4	14.1	20.4	12.3	27.2	22.7	42.6	38.1	18.9	17.4	19.6	27.0	27.8
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	23.3	19.9	21.7	25.9	23.3	23.9	27.3	33.4	26.2	25.9	20.8	24.8	23.1	27.8
	5	障がい者(児)への福祉サービス	14.9	14.4	14.6	20.4	8.2	11.9	18.1	16.7	21.4	11.9	13.9	21.9	7.6	16.6
	6	医療機関(病院・診療所)	29.3	30.9	24.8	25.9	28.7	29.3	27.3	40.8	47.7	25.9	21.8	28.4	23.0	51.4
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	25.5	27.7	24.8	27.8	21.9	22.9	29.6	29.7	31.0	17.5	18.2	26.6	15.4	51.4
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	15.3	16.4	17.3	13.0	23.3	17.4	13.6	9.3	11.9	11.9	14.8	15.4	5.7	19.5
	9	まち並み・景観の保全と整備	19.2	22.3	21.2	24.1	27.4	15.3	11.3	11.2	16.7	31.5	16.5	14.2	5.8	13.9
	10	公園・緑地など憩いの場	17.6	22.9	25.2	18.5	30.2	14.2	13.6	14.8	2.4	11.2	13.9	15.3	5.7	12.5
	11	移住・定住の支援対策	7.3	9.3	4.9	3.8	10.9	2.2	6.8	1.9	4.8	9.1	6.1	6.5	17.3	12.5
	12	市営住宅の整備	6.9	8.2	7.6	3.7	5.5	4.4	4.5	0.0	9.5	1.4	3.5	11.3	7.7	19.5
	13	地震・災害に対する安心感	11.4	10.6	13.2	7.4	17.8	9.8	4.5	11.2	14.3	14.0	7.8	13.0	9.6	8.4
	14	消防体制(署の配置など)	26.8	30.8	28.4	27.8	28.8	25.0	18.2	11.2	14.3	30.1	25.2	27.2	15.3	36.1
	15	防犯・治安などの安心感	26.3	30.5	28.3	24.1	23.3	18.5	13.6	20.4	23.8	33.6	20.9	32.0	15.4	25.0
	16	上水道・簡易水道の整備	48.8	48.0	46.9	51.9	49.4	38.1	56.9	44.4	61.9	59.4	46.1	47.4	46.2	56.9
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	35.7	35.2	31.4	40.8	32.9	30.4	43.2	27.8	52.4	42.7	27.8	34.4	44.3	47.2
	18	し尿収集と処理サービス	28.4	24.3	20.3	27.8	26.0	21.7	31.8	37.1	42.9	28.0	29.6	34.9	42.3	40.2
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	21.8	18.8	17.7	24.1	24.6	15.2	27.3	22.2	31.0	23.1	25.2	24.3	27.0	27.8
	20	ごみ収集と処理サービス	54.1	55.1	54.9	40.7	56.2	51.0	52.3	61.1	71.4	53.8	54.9	54.4	50.0	58.3
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	39.4	48.7	42.5	44.4	39.7	30.4	31.8	33.3	57.2	30.8	40.0	33.1	32.7	43.1
22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	9.2	12.7	9.7	9.3	4.1	5.4	11.4	5.6	7.2	6.3	10.4	8.9	5.7	15.3	
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	22.6	29.1	28.3	22.3	27.4	29.3	18.2	16.7	2.4	23.1	22.6	12.5	7.7	22.2
	24	身近な市道・生活道路の整備・維持管理	18.2	22.3	21.7	16.7	23.3	20.7	20.5	16.7	19.1	19.6	13.9	9.5	9.6	18.1
	25	段差や道幅など歩道の安全性	12.8	16.1	15.1	13.0	16.4	12.0	6.8	9.3	14.3	12.6	10.4	8.9	11.5	11.1
	26	JR中央線の利便性	19.3	24.3	30.1	20.4	15.1	27.2	18.2	9.3	9.5	18.2	12.2	13.0	7.7	9.8
	27	明知鉄道の利便性	11.7	11.7	11.5	16.7	6.9	4.4	13.7	5.6	9.5	11.2	10.4	21.9	9.6	9.7
	28	バスの利便性	9.6	10.7	8.0	3.7	8.2	6.5	6.8	13.0	11.9	5.6	4.3	20.2	9.6	9.8
	29	情報通信環境の整備	20.6	20.2	19.5	20.4	26.0	19.5	18.2	27.8	35.7	21.0	20.0	15.9	23.1	22.2
産業振興	30	買い物の利便性	34.2	51.0	53.1	49.9	28.8	17.4	13.7	16.7	11.9	44.1	13.0	29.6	13.4	8.3
	31	商店街のにぎわい	3.2	5.8	3.6	3.7	2.8	0.0	6.8	0.0	0.0	4.9	2.6	1.8	1.9	1.4
	32	工業の振興対策	5.1	5.2	3.9	5.6	9.6	10.9	4.5	0.0	9.5	2.1	1.7	7.7	1.9	4.2
	33	新しい分野の起業家支援	2.3	3.0	1.3	3.8	4.1	2.2	0.0	0.0	0.0	2.1	2.6	1.8	1.9	4.2
	34	農業の振興対策	4.0	4.5	2.7	3.7	5.5	5.4	6.8	0.0	4.8	3.5	5.2	3.6	1.9	7.0
	35	林業(里山・山林)保全と振興	3.6	4.1	2.2	1.9	5.4	3.3	4.5	1.9	2.4	3.5	7.0	2.4	0.0	8.3
	36	魅力ある働く場の確保	3.3	5.5	2.7	1.9	8.2	2.2	4.5	1.9	2.4	2.1	1.8	2.4	5.8	1.4
37	観光施設と誘客PR	8.2	14.4	6.7	3.7	13.7	3.3	6.8	5.6	7.2	11.9	4.4	5.3	7.7	2.8	
教育・文化	38	小中学校における教育	16.8	17.8	12.4	27.8	15.1	17.4	18.2	16.7	19.1	16.1	18.3	15.4	21.1	19.5
	39	生涯学習施設の数と設備	10.2	14.7	9.7	11.1	12.4	9.8	11.4	7.4	11.9	7.0	8.7	9.5	11.5	4.2
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	11.0	15.0	12.4	13.0	19.2	8.6	6.8	9.3	9.5	7.7	8.7	8.9	15.3	1.4
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	31.0	45.9	43.8	40.7	42.5	34.8	22.7	11.2	28.5	18.9	17.4	18.9	19.2	15.3
	42	学校・地域・家庭の連携	18.2	18.9	15.0	18.6	17.8	19.6	25.0	16.7	16.6	16.1	15.6	18.4	28.9	23.6
	43	文化・芸術活動の振興	13.4	18.5	10.2	14.9	13.7	15.3	9.1	13.0	21.5	9.1	9.5	11.9	19.2	11.1
	44	文化財の保存・活用	11.8	13.0	9.7	11.2	9.6	10.9	22.8	11.2	14.3	13.3	11.3	11.3	9.6	12.5
	45	体育施設の数と設備	13.9	18.9	12.4	13.0	6.8	17.4	18.2	13.0	11.9	8.4	15.6	15.4	13.5	11.1
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	13.9	15.1	7.9	26.0	19.2	21.8	13.6	24.1	14.3	11.9	10.4	11.3	17.3	12.5
	47	市民団体やNPOなどの活発化	7.5	7.9	6.7	7.4	5.4	8.7	4.5	16.7	7.1	6.3	9.5	4.7	9.6	11.1
	48	市政に関する市民参加の機会	5.9	5.5	4.8	9.3	8.2	10.9	9.1	9.3	11.9	3.5	3.4	4.7	3.8	5.6
	49	市政への市民の意見の反映	6.0	6.5	4.9	5.6	5.5	10.9	11.4	5.6	7.2	2.1	2.6	6.5	9.6	8.3
	50	広報による市情報の提供と公開	28.8	31.2	30.1	33.3	35.6	32.6	31.8	26.0	28.5	21.7	35.6	24.8	19.2	23.6
	51	市ホームページの内容やデザイン	13.9	14.7	14.6	16.7	13.7	17.4	22.7	13.0	16.6	10.5	14.7	11.9	17.3	9.7
	52	男女共同参画の取り組み	6.2	6.2	3.1	9.3	6.8	8.7	6.8	7.4	14.3	4.2	4.3	7.7	5.7	7.0
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	4.3	4.1	3.1	5.6	4.1	7.6	4.6	3.7	2.4	2.8	2.6	4.2	9.6	5.6
	54	インターネットでの申請など利便性	9.5	11.9	8.4	9.3	9.6	8.7	4.5	7.4	11.9	7.7	10.4	8.9	9.6	12.5
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	32.8	37.4	34.1	40.8	38.4	31.6	34.1	29.7	30.9	25.2	28.7	31.4	32.7	31.9
	56	健全な財政運営	8.0	10.3	7.9	11.2	12.4	5.4	13.6	1.9	9.5	7.0	4.4	6.5	7.7	7.0
	57	行政改革の推進	7.1	9.6	6.2	14.9	9.6	3.3	9.0	3.7	9.5	4.2	5.2	6.5	9.6	6.9

年齢 個別施策の不満足

分野	NO	施策	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	14.5	18.5	28.2	15.3	17.3	14.5	7.7
	2	健康診断・相談、保健予防	11.4	13.4	11.6	9.4	16.8	14.5	6.8
	3	地域の助け合いによる福祉活動	15.2	14.4	10.9	12.9	18.5	17.3	15.0
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	20.0	19.6	12.8	19.4	27.3	22.7	17.7
	5	障がい者(児)への福祉サービス	13.7	11.3	7.0	15.9	19.8	15.8	10.8
	6	医療機関(病院・診療所)	32.0	29.9	41.7	44.7	47.1	34.1	15.9
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	28.7	26.8	41.0	40.6	39.9	28.7	15.3
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	21.8	23.8	18.0	14.1	26.9	24.9	21.5
	9	まち並み・景観の保全と整備	20.1	27.8	16.6	14.7	23.1	21.7	19.9
	10	公園・緑地など憩いの場	27.4	35.1	32.6	29.4	34.0	25.6	22.3
	11	移住・定住の支援対策	23.3	23.7	24.4	23.6	34.0	24.6	17.1
	12	市営住宅の整備	15.6	19.6	13.5	17.0	20.1	17.7	11.8
	13	地震・災害に対する安心感	32.8	38.2	32.7	31.8	39.5	36.0	27.4
	14	消防体制(署の配置など)	13.7	11.4	16.6	11.8	19.4	14.5	10.4
	15	防犯・治安などの安心感	16.2	20.7	17.3	17.7	21.0	16.4	12.2
	16	上水道・簡易水道の整備	8.4	6.2	8.4	10.6	12.2	9.1	6.0
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	11.2	7.3	6.4	16.5	16.8	12.0	8.4
	18	し尿収集と処理サービス	4.0	2.1	2.6	5.9	5.4	3.7	3.8
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	10.5	12.4	11.6	10.0	11.4	11.1	9.3
	20	ごみ収集と処理サービス	10.1	11.4	11.6	14.2	17.2	8.9	5.0
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	9.3	12.4	7.7	10.6	15.5	9.5	5.5
22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	16.3	20.7	12.9	17.0	17.2	22.4	11.9	
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	30.6	30.9	30.8	32.9	37.4	32.8	25.0
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	39.5	36.1	40.3	43.0	48.4	41.0	33.7
	25	段差や道幅など歩道の安全性	40.1	46.4	40.3	40.0	45.4	42.2	35.2
	26	JR中央線の便利さ	30.6	42.3	37.8	34.7	39.5	27.4	22.5
	27	明知鉄道の便利さ	23.6	39.2	30.7	30.0	29.8	19.6	15.9
	28	バスの便利さ	41.1	47.4	35.9	44.1	50.8	44.5	33.9
	29	情報通信環境の整備	15.1	34.0	13.5	20.6	17.2	12.6	10.6
産業振興	30	買い物物の便利さ	34.4	42.3	38.4	36.4	36.6	32.8	30.8
	31	商店街のにぎわい	54.2	56.7	54.5	58.8	60.1	56.7	48.7
	32	工業の振興対策	30.6	25.8	19.9	32.9	37.4	35.9	28.3
	33	新しい分野の起業家支援	24.3	28.9	19.2	27.0	25.2	27.5	22.1
	34	農業の振興対策	30.3	25.8	16.0	24.7	31.9	37.9	32.7
	35	林業(里山・山林)保全と振興	27.6	17.5	12.1	18.9	31.5	36.3	31.2
	36	魅力ある働く場の確保	49.8	50.5	46.2	52.9	58.8	54.5	42.9
37	観光施設と誘客PR	33.4	35.0	28.2	35.3	38.2	36.6	30.5	
教育・文化	38	小中学校における教育	14.1	10.3	17.3	19.4	17.2	14.5	10.6
	39	生涯学習施設の数と設備	14.9	10.3	14.8	14.7	16.8	15.5	15.0
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	11.2	7.2	7.6	12.3	12.2	10.1	13.5
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	11.9	17.5	10.9	11.2	15.2	11.7	10.0
	42	学校・地域・家庭の連携	10.9	11.4	15.4	11.7	13.0	9.5	9.5
	43	文化・芸術活動の振興	11.7	14.4	6.4	12.4	15.2	12.3	10.8
	44	文化財の保存・活用	10.6	9.3	5.1	8.8	12.2	12.6	11.5
	45	体育施設の数と設備	17.1	19.6	19.9	24.7	21.8	15.8	12.0
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	12.4	9.3	7.7	9.4	16.8	12.7	13.5
	47	市民団体やNPOなどの活発化	11.5	11.3	5.7	8.8	13.0	16.4	10.6
	48	市政に関する市民参加の機会	18.4	20.7	16.7	15.8	16.8	20.5	19.7
	49	市政への市民の意見の反映	26.2	27.8	21.1	26.5	32.3	30.6	21.7
	50	広報による市情報の提供と公開	11.0	13.4	9.6	10.5	13.0	12.6	9.2
	51	市ホームページの内容やデザイン	9.3	12.4	10.9	10.6	10.9	8.5	7.7
	52	男女共同参画の取り組み	9.4	15.5	8.9	10.0	8.0	8.8	9.5
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	11.5	16.5	10.3	13.6	10.5	9.8	12.1
	54	インターネットでの申請など利便性	11.5	13.4	12.8	13.5	17.2	9.2	8.9
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	14.0	22.6	15.4	13.0	22.7	14.1	7.8
	56	健全な財政運営	20.4	19.6	16.0	28.2	28.1	23.3	13.7
	57	行政改革の推進	19.7	15.5	18.6	24.1	25.2	25.9	12.8

居住地 個別施策の不満足度

分野	NO	施策	全体	大井町	長島町	東野	三郷町	武並町	笠置町	中野方町	飯地町	岩村町	山岡町	明智町	串原	上矢作町
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	14.5	13.3	14.6	9.3	19.2	15.2	20.4	14.9	11.9	12.6	18.3	15.4	7.7	15.3
	2	健康診断・相談・保健予防	11.4	9.2	9.7	7.4	9.6	14.1	18.2	5.6	7.2	11.9	20.8	11.3	11.5	13.9
	3	地域の助け合いによる福祉活動	15.2	12.3	18.2	9.3	17.8	13.1	22.8	5.6	14.3	15.4	25.2	18.9	1.9	12.5
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	20.0	21.9	21.2	18.5	13.7	25.0	25.0	13.0	19.1	11.9	24.3	20.7	17.3	20.9
	5	障がい者(児)への福祉サービス	13.7	14.7	12.9	7.4	13.7	15.2	18.1	5.6	19.1	8.4	16.5	13.7	15.4	16.7
	6	医療機関(病院・診療所)	32.0	28.7	34.9	20.4	32.9	35.9	40.9	20.4	19.0	41.2	44.2	30.8	34.7	13.9
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	28.7	23.7	31.9	14.9	21.9	39.1	25.0	27.8	28.6	37.8	41.7	25.5	30.8	12.5
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	21.8	18.2	18.6	13.0	19.2	21.7	34.1	27.8	21.4	19.6	24.4	27.3	30.7	26.3
	9	まち並み・景観の保全と整備	20.1	20.2	19.1	14.9	10.9	21.7	22.7	11.1	23.8	13.3	25.2	29.0	15.4	30.5
	10	公園・緑地など憩いの場	27.4	25.6	24.8	18.5	23.2	39.1	15.9	24.1	16.7	35.0	29.6	33.7	17.3	31.9
	11	移住・定住の支援対策	23.3	21.5	16.4	20.4	17.8	32.9	31.8	16.7	35.7	23.1	32.2	30.8	17.3	26.4
	12	市営住宅の整備	15.6	13.7	12.9	11.2	15.1	13.1	15.9	22.2	19.0	22.4	20.9	16.6	15.4	12.5
	13	地震・災害に対する安心感	32.8	29.8	34.9	37.0	34.2	34.8	47.7	31.5	35.8	26.6	33.9	31.4	32.7	34.7
	14	消防体制(署の配置など)	13.7	8.9	10.2	3.7	6.9	13.0	38.7	20.4	40.5	9.8	23.5	11.9	27.0	9.8
	15	防犯・治安などの安心感	16.2	14.4	15.0	11.1	16.4	22.8	31.8	11.1	23.8	14.7	17.4	14.8	13.4	19.5
	16	上水道・簡易水道の整備	8.4	7.2	6.7	11.1	13.7	9.7	15.9	5.6	7.2	7.7	9.6	7.7	9.6	9.8
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	11.2	8.9	8.4	11.1	23.3	17.4	18.1	11.1	0.0	8.4	20.0	10.1	5.7	9.7
	18	し尿収集と処理サービス	4.0	3.1	3.1	3.7	6.8	5.5	6.8	5.6	0.0	1.4	6.1	4.2	7.6	2.8
	19	大気汚染・騒音・水質などの公害対策	10.5	16.7	12.4	3.8	13.7	9.8	13.6	7.5	7.1	8.4	9.6	7.1	1.9	5.6
	20	ごみ収集と処理サービス	10.1	11.0	14.1	11.1	5.5	9.8	11.4	3.7	7.2	10.5	8.6	8.9	7.7	9.8
21	ごみ減量化と資源リサイクル化	9.3	9.9	11.5	5.6	6.9	8.7	11.4	7.4	9.5	8.4	10.4	8.3	7.7	7.0	
22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	16.3	16.4	15.5	9.3	23.3	20.7	18.2	18.5	11.9	14.7	17.4	16.5	11.5	16.7	
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	30.6	19.5	19.5	16.7	23.3	32.6	45.5	27.8	69.0	25.2	37.3	46.8	59.6	38.9
	24	身近な市道・生活道路の整備・維持管理	39.5	34.6	32.3	24.1	41.1	39.1	49.9	35.2	52.3	42.7	48.7	43.8	51.9	41.6
	25	段差や道幅など歩道の安全性	40.1	39.7	40.3	31.5	31.5	39.1	40.9	42.6	35.7	37.1	49.5	47.9	34.7	40.3
	26	JR中央線の利便性	30.6	27.0	26.1	20.4	28.8	34.8	22.8	37.0	28.5	25.9	46.1	38.5	30.8	37.5
	27	明知鉄道の利便性	23.6	17.4	15.5	25.9	13.7	14.1	9.1	13.0	11.9	35.0	43.5	29.6	40.4	40.3
	28	バスの利便性	41.1	33.9	37.2	42.6	53.5	45.7	43.1	42.5	47.6	38.5	54.8	34.3	55.8	48.5
	29	情報通信環境の整備	15.1	14.1	13.8	16.7	16.4	16.3	15.9	14.8	7.1	17.5	14.8	16.5	15.4	18.0
産業振興	30	買い物の利便性	34.4	19.5	21.7	22.3	43.8	56.6	45.5	40.7	54.8	23.1	61.0	33.7	53.9	52.8
	31	商店街のにぎわい	54.2	54.8	51.8	37.1	48.0	54.4	36.3	46.3	52.3	53.1	65.3	64.5	40.4	73.6
	32	工業の振興対策	30.6	25.6	23.9	26.0	27.4	30.5	22.7	38.9	30.9	28.0	52.2	32.0	25.0	54.2
	33	新しい分野の起業家支援	24.3	20.5	20.3	27.8	19.2	30.5	20.5	16.7	26.2	23.8	33.9	26.1	21.1	44.4
	34	農業の振興対策	30.3	24.0	21.7	40.7	38.3	35.9	34.1	35.2	33.4	25.9	41.7	27.3	42.3	47.2
	35	林業(里山・山林)保全と振興	27.6	18.9	19.5	33.3	31.5	28.3	31.8	31.5	38.1	23.8	37.4	32.5	38.5	45.8
	36	魅力ある働く場の確保	49.8	46.2	38.0	42.6	53.4	48.9	43.1	57.4	57.1	47.6	69.5	54.4	55.8	66.7
37	観光施設と誘客PR	33.4	35.6	30.5	27.8	31.5	31.5	27.3	29.6	38.1	17.5	46.1	39.6	34.6	47.2	
教育・文化	38	小中学校における教育	14.1	16.1	15.0	11.2	13.7	14.1	22.7	5.6	11.9	13.3	12.2	13.6	9.6	19.4
	39	生涯学習施設の数と設備	14.9	10.9	15.0	11.2	11.0	18.4	11.3	16.7	14.3	14.0	20.8	14.8	15.4	26.3
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	11.2	10.0	11.0	13.0	12.3	10.8	11.3	13.0	9.5	10.5	12.2	11.3	5.8	22.2
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	11.9	7.2	9.7	7.5	11.0	7.6	11.3	11.2	14.3	15.4	18.3	16.5	11.6	20.8
	42	学校・地域・家庭の連携	10.9	9.3	12.3	7.5	13.7	10.9	9.1	7.4	7.1	14.7	16.5	8.9	7.7	12.5
	43	文化・芸術活動の振興	11.7	12.0	12.0	11.1	15.1	14.2	9.1	7.5	14.3	12.6	13.9	9.5	1.9	16.7
	44	文化財の保存・活用	10.6	11.3	10.2	5.6	15.0	10.8	6.8	5.6	4.8	9.8	9.6	11.9	13.4	18.1
	45	体育施設の数と設備	17.1	20.9	16.8	16.7	17.8	20.6	9.1	13.0	11.9	20.3	17.4	14.8	11.5	16.7
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	12.4	10.3	11.5	13.0	10.9	9.8	15.9	3.7	19.1	9.1	18.3	13.7	11.6	25.0
	47	市民団体やNPOなどの活性化	11.5	10.6	8.9	9.3	12.3	10.9	6.8	1.9	9.6	13.3	20.9	13.0	11.5	18.1
	48	市政に関する市民参加の機会	18.4	19.5	17.2	14.9	23.3	13.1	25.0	16.7	14.3	22.4	20.0	17.8	7.7	26.3
	49	市政への市民の意見の反映	26.2	23.3	23.0	18.6	23.3	26.1	20.5	24.1	28.6	30.8	28.7	30.2	32.6	37.5
	50	広報による市情報の提供と公開	11.0	10.6	9.7	9.3	13.7	12.0	18.1	9.3	4.8	12.6	13.9	7.7	9.6	18.1
	51	市ホームページの内容やデザイン	9.3	8.5	9.3	9.3	15.1	14.2	4.5	5.6	2.4	9.8	11.3	5.9	7.7	18.1
	52	男女共同参画の取り組み	9.4	10.6	9.3	5.6	8.2	6.5	13.6	7.5	4.8	5.6	12.2	10.1	7.7	19.5
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	11.5	12.3	11.9	18.5	13.7	13.0	6.8	13.0	4.8	13.3	12.1	7.1	5.8	15.3
	54	インターネットでの申請など利便性	11.5	9.9	12.8	13.0	16.5	8.7	9.0	11.1	4.8	13.3	12.1	10.7	13.4	13.8
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	14.0	12.0	14.1	5.6	12.3	18.5	15.9	9.3	9.5	14.0	23.5	14.8	13.5	13.9
	56	健全な財政運営	20.4	21.2	21.3	16.7	19.2	21.7	22.8	14.9	9.5	24.5	27.8	16.6	19.2	20.8
	57	行政改革の推進	19.7	19.2	18.6	9.3	20.5	27.2	22.7	18.5	11.9	23.1	27.9	18.9	13.4	18.0

年齢 個別施策の重要度

分野	NO	施策	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	47.6	68.0	64.7	67.1	55.9	50.2	25.3
	2	健康診断・相談、保健予防	51.7	59.8	53.8	58.2	60.2	56.1	40.7
	3	地域の助け合いによる福祉活動	38.7	46.4	32.7	48.3	50.0	41.9	28.6
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	50.3	64.9	52.5	60.6	62.6	55.6	33.6
	5	障がい者(児)への福祉サービス	38.1	55.6	34.6	48.8	47.0	41.9	24.8
	6	医療機関(病院・診療所)	58.9	78.4	73.0	72.3	70.6	61.5	38.5
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	57.9	73.2	71.0	69.4	70.2	61.5	38.5
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	36.2	52.6	37.8	43.0	44.1	41.7	22.6
	9	まち並み・景観の保全と整備	28.7	48.5	31.4	34.1	35.3	28.1	19.5
	10	公園・緑地など憩いの場	29.0	50.5	47.4	34.1	32.8	24.6	18.1
	11	移住・定住の支援対策	30.3	45.4	40.4	39.4	42.8	28.7	15.3
	12	市営住宅の整備	20.1	37.1	27.6	22.4	26.8	16.4	12.4
	13	地震・災害に対する安心感	47.0	67.0	59.6	61.1	58.4	51.4	25.7
	14	消防体制(署の配置など)	46.1	50.5	52.0	55.8	55.1	52.0	31.6
	15	防犯・治安などの安心感	48.4	58.8	55.8	62.3	59.6	49.9	33.2
	16	上水道・簡易水道の整備	47.9	50.5	40.4	47.7	47.9	54.3	46.2
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	41.4	44.3	34.6	45.3	44.1	44.5	38.5
	18	し尿収集と処理サービス	29.5	31.0	20.5	27.6	26.8	31.5	33.5
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	34.8	49.5	34.7	37.6	40.3	37.5	27.0
	20	ごみ収集と処理サービス	54.8	53.6	46.7	57.0	59.6	62.1	50.7
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	49.0	49.5	38.4	53.5	57.1	56.1	43.0
22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	33.9	43.3	35.3	40.5	39.9	40.7	22.3	
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	43.7	61.8	45.5	55.9	49.2	46.4	31.2
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	47.5	61.8	53.8	60.0	55.1	50.1	33.0
	25	段差や道幅など歩道の安全性	42.1	60.8	49.3	51.8	54.2	42.6	26.3
	26	JR中央線の便利さ	38.3	68.0	38.4	43.0	44.9	37.9	28.4
	27	明知鉄道の便利さ	24.0	43.3	20.6	30.0	24.7	23.1	19.5
	28	バスの便利さ	31.8	49.5	24.4	36.5	39.5	33.8	24.4
	29	情報通信環境の整備	31.1	46.4	37.1	35.8	29.8	32.8	24.4
産業振興	30	買い物物の便利さ	52.7	80.5	60.3	55.3	62.3	53.9	38.4
	31	商店街のにぎわい	29.8	53.6	34.6	37.6	36.6	29.3	17.9
	32	工業の振興対策	32.0	41.2	35.3	40.5	42.4	35.4	18.8
	33	新しい分野の起業家支援	24.0	38.1	24.4	30.0	32.4	25.9	13.7
	34	農業の振興対策	30.4	39.2	34.0	34.7	38.2	34.7	19.4
	35	林業(里山・山林)保全と振興	27.6	29.9	27.6	28.8	37.8	32.1	18.8
	36	魅力ある働く場の確保	48.1	72.2	63.5	61.2	63.9	50.9	24.2
	37	観光施設と誘客PR	34.6	50.5	42.9	43.6	42.4	36.3	20.8
教育・文化	38	小中学校における教育	42.7	59.8	55.1	59.4	45.8	44.5	26.8
	39	生涯学習施設の数と設備	25.6	36.1	27.6	30.0	29.4	24.7	20.4
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	18.6	23.7	17.3	22.3	21.0	20.2	14.9
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	32.9	50.5	39.1	40.6	32.8	30.9	26.5
	42	学校・地域・家庭の連携	35.7	47.4	45.6	47.1	38.3	38.8	23.0
	43	文化・芸術活動の振興	23.5	33.0	19.9	25.3	27.3	25.2	19.2
	44	文化財の保存・活用	23.5	32.0	21.8	22.3	26.4	26.2	19.9
	45	体育施設の数と設備	23.0	38.2	28.8	32.9	23.5	20.8	16.4
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	25.6	27.8	21.8	25.9	26.5	29.0	24.3
	47	市民団体やNPOなどの活発化	17.5	18.6	12.9	16.5	19.3	21.7	15.7
	48	市政に関する市民参加の機会	23.7	25.8	26.2	25.3	27.7	29.0	16.6
	49	市政への市民の意見の反映	33.3	43.3	36.5	40.0	44.1	39.4	18.6
	50	広報による市情報の提供と公開	35.4	33.0	36.5	35.3	38.6	41.9	30.3
	51	市ホームページの内容やデザイン	18.5	18.5	23.1	21.7	20.2	16.4	17.0
	52	男女共同参画の取り組み	14.7	23.7	18.0	13.5	13.0	15.8	12.6
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	14.6	27.8	14.8	17.7	11.3	15.8	12.0
	54	インターネットでの申請など利便性	21.7	44.3	26.9	29.4	22.7	19.9	13.5
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	41.3	48.5	40.4	40.0	41.6	45.1	38.5
	56	健全な財政運営	37.6	44.4	42.9	45.2	48.8	44.5	22.1
	57	行政改革の推進	34.6	40.2	41.0	37.0	44.1	41.7	21.7

居住地 個別施策の重要度

分野	NO	施策	全体	大井町	長島町	東野	三郷町	武並町	笠置町	中野方町	飯地町	岩村町	山岡町	明智町	串原	上矢作町
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	47.6	52.1	48.6	37.0	50.7	59.8	45.5	53.7	40.5	51.1	43.5	45.0	30.8	41.7
	2	健康診断・相談・保健予防	51.7	58.3	51.8	37.0	57.6	64.1	38.6	50.0	47.7	53.2	52.2	49.1	32.7	51.4
	3	地域の助け合いによる福祉活動	38.7	40.1	40.7	26.0	37.0	40.2	43.2	44.4	40.5	42.0	38.3	37.3	28.8	38.9
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	50.3	53.4	52.6	40.7	50.6	56.4	52.3	48.1	45.2	51.8	49.5	50.2	40.4	45.9
	5	障がい者(児)への福祉サービス	38.1	39.7	42.9	25.9	35.6	44.6	38.6	37.0	35.7	38.5	33.9	42.0	28.8	31.9
	6	医療機関(病院・診療所)	58.9	63.7	63.7	44.5	57.5	66.3	49.9	61.1	52.3	62.2	61.6	51.5	46.1	58.3
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	57.9	61.3	62.5	44.5	57.5	69.5	59.1	57.4	50.0	60.1	54.8	52.0	36.6	63.9
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	36.2	37.3	39.4	22.2	42.5	41.3	31.8	38.9	38.1	34.3	33.0	33.7	34.6	40.3
	9	まち並み・景観の保全と整備	28.7	35.6	31.0	16.7	41.0	34.8	20.5	24.1	28.6	32.2	24.3	23.7	13.4	20.8
	10	公園・緑地など憩いの場	29.0	37.3	36.7	25.9	32.8	35.9	18.2	20.4	23.8	28.7	21.7	24.3	9.6	19.4
	11	移住・定住の支援対策	30.3	29.8	26.1	20.4	31.5	27.1	36.4	22.3	40.5	33.6	31.3	33.2	34.6	36.1
	12	市営住宅の整備	20.1	20.6	18.2	13.0	17.8	13.0	11.3	20.4	26.1	22.4	18.3	29.6	21.1	20.8
	13	地震・災害に対する安心感	47.0	52.1	52.3	37.1	56.1	51.1	50.1	44.4	38.1	49.0	39.1	44.4	36.6	37.5
	14	消防体制(署の配置など)	46.1	50.7	48.6	33.3	46.6	43.4	54.5	46.3	50.0	49.7	42.6	43.2	30.8	44.5
	15	防犯・治安などの安心感	48.4	53.4	54.4	44.4	52.1	48.9	47.8	44.5	45.2	53.1	39.2	47.9	34.6	40.2
	16	上水道・簡易水道の整備	47.9	51.0	46.4	38.9	58.9	52.2	49.9	40.8	45.2	57.3	41.7	45.6	38.5	44.4
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	41.4	43.5	36.7	37.0	49.3	47.8	45.4	35.2	40.5	47.6	38.3	39.1	38.5	41.7
	18	し尿収集と処理サービス	29.5	29.8	23.5	20.4	31.5	32.6	25.0	33.4	28.6	31.5	29.5	35.5	34.6	30.6
19	大気汚染・騒音・水質などの公害対策	34.8	40.4	40.3	25.9	41.1	32.6	34.1	35.2	21.4	34.3	29.6	36.1	19.2	30.5	
20	ごみ収集と処理サービス	54.8	62.6	60.2	40.8	58.9	54.4	47.7	51.8	50.0	54.5	54.8	54.4	34.6	48.6	
21	ごみ減量化と資源リサイクル化	49.0	57.2	57.6	48.1	46.6	45.6	45.5	42.6	47.7	41.3	48.8	46.7	36.6	44.4	
22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	33.9	41.1	33.6	26.0	37.0	34.7	43.2	33.4	29.5	33.6	31.3	30.2	21.2	32.0	
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	43.7	43.8	43.3	27.8	47.9	58.7	52.2	42.6	50.0	41.3	45.2	42.6	32.7	45.8
	24	身近な市道・生活道路の整備・維持管理	47.5	51.4	46.0	24.1	56.2	54.3	54.5	44.4	52.4	44.8	47.8	46.8	40.4	47.2
	25	段差や道幅など歩道の安全性	42.1	49.3	44.7	31.5	42.4	45.7	40.9	42.6	33.3	40.6	39.2	43.2	28.9	34.8
	26	JR中央線の利便性	38.3	44.9	44.3	38.9	45.2	49.0	43.2	37.1	23.8	43.4	30.4	31.4	15.4	23.6
	27	明知鉄道の利便性	24.0	24.3	18.6	25.9	12.3	14.2	11.3	9.3	16.6	43.4	30.5	36.7	13.5	19.4
	28	バスの利便性	31.8	33.9	25.7	22.2	32.9	33.7	27.3	37.1	30.9	31.5	33.9	38.5	23.1	36.1
	29	情報通信環境の整備	31.1	29.4	28.3	24.1	39.8	35.8	29.6	42.6	30.9	36.4	33.0	30.2	25.0	30.6
産業振興	30	買い物の利便性	52.7	58.6	61.0	50.0	56.2	56.6	34.1	42.6	42.9	56.6	47.8	48.0	36.5	52.8
	31	商店街のにぎわい	29.8	34.3	29.7	27.8	31.5	30.5	25.0	20.4	21.4	35.0	27.8	32.6	13.4	33.4
	32	工業の振興対策	32.0	36.0	28.3	26.0	41.1	40.2	25.0	31.5	28.5	30.8	32.2	32.6	23.0	32.0
	33	新しい分野の起業家支援	24.0	25.6	21.6	20.4	31.5	27.2	20.4	26.0	19.1	25.2	24.3	23.1	21.1	25.0
	34	農業の振興対策	30.4	29.1	27.0	27.8	42.4	38.0	36.4	31.5	19.0	28.7	36.5	26.7	32.7	34.7
	35	林業(里山・山林)保全と振興	27.6	27.4	23.0	31.5	32.8	30.4	38.7	35.2	21.4	24.5	25.2	25.4	30.8	37.5
	36	魅力ある働く場の確保	48.1	53.1	44.3	37.0	57.5	51.0	56.8	50.0	38.1	47.5	50.5	43.8	40.4	52.8
教育・文化	37	観光施設と誘客PR	34.6	46.2	33.6	27.8	43.9	34.8	36.3	33.4	23.8	32.2	26.1	30.7	30.8	29.2
	38	小中学校における教育	42.7	48.0	44.3	44.4	42.5	45.6	56.8	37.1	33.3	45.5	35.6	39.7	26.9	44.4
	39	生涯学習施設の数と設備	25.6	35.6	27.4	20.4	19.2	31.5	29.6	26.0	19.1	21.7	20.8	17.2	25.0	22.2
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	18.6	25.7	19.0	22.2	19.2	17.4	22.7	26.0	11.9	18.2	14.8	10.7	13.4	16.6
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	32.9	48.2	42.1	38.9	39.7	32.6	29.6	16.7	28.6	28.0	22.6	18.9	17.3	23.6
	42	学校・地域・家庭の連携	35.7	40.0	39.0	35.2	39.8	35.8	36.3	38.9	33.3	38.5	32.1	26.6	26.9	37.5
	43	文化・芸術活動の振興	23.5	31.8	25.2	20.4	27.3	19.5	18.1	22.3	21.5	23.1	19.1	16.6	17.3	27.8
	44	文化財の保存・活用	23.5	29.5	25.7	14.8	20.6	22.8	25.0	24.1	21.5	26.6	22.7	14.8	21.1	26.4
	45	体育施設の数と設備	23.0	30.9	25.2	14.8	15.0	30.4	15.9	24.1	23.8	24.5	20.0	17.2	17.3	18.0
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	25.6	28.7	21.7	35.2	32.8	29.4	34.1	29.6	28.5	22.4	26.1	17.2	21.2	29.2
	47	市民団体やNPOなどの活性化	17.5	18.4	17.3	20.4	17.8	13.1	18.1	27.8	19.1	16.1	23.4	9.4	17.3	25.0
	48	市政に関する市民参加の機会	23.7	28.4	23.9	18.6	24.7	20.7	34.1	26.0	23.8	23.1	20.9	18.9	17.3	30.5
	49	市政への市民の意見の反映	33.3	36.4	35.8	25.9	35.6	34.8	36.4	33.4	35.7	31.5	33.0	26.7	25.0	43.1
	50	広報による市情報の提供と公開	35.4	41.8	38.1	37.0	39.8	38.0	34.1	29.7	30.9	33.6	34.8	27.8	25.0	37.5
	51	市ホームページの内容やデザイン	18.5	23.6	19.0	18.5	16.4	22.8	20.4	14.8	11.9	17.5	18.3	14.2	13.4	18.1
	52	男女共同参画の取り組み	14.7	19.2	15.0	7.5	17.8	13.1	22.7	11.1	19.1	12.6	13.9	10.7	13.4	15.2
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	14.6	18.2	14.6	18.5	15.1	15.3	22.7	11.2	14.3	14.7	11.3	8.3	17.3	13.9
	54	インターネットでの申請など利便性	21.7	27.3	23.0	18.5	27.4	20.6	22.7	14.8	16.7	23.1	20.9	14.8	15.4	22.2
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	41.3	43.9	45.6	35.2	47.9	48.9	43.2	37.0	28.6	41.3	37.3	38.5	30.8	41.7
	56	健全な財政運営	37.6	43.5	41.2	29.7	48.0	42.4	45.4	31.5	19.0	39.2	33.9	31.4	28.8	33.3
	57	行政改革の推進	34.6	38.7	36.7	25.9	47.9	36.9	50.0	33.4	21.5	35.7	33.9	28.4	23.1	30.5

(9) 個別施策の満足度指数・重要度指数

年齢 個別施策の満足度指数

分野	NO	施策	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	0.03	-0.08	-0.16	0.15	-0.08	-0.04	0.19
	2	健康診断・相談、保健予防	0.33	0.17	0.10	0.31	0.08	0.33	0.57
	3	地域の助け合いによる福祉活動	0.06	-0.04	-0.02	0.04	-0.09	0.03	0.21
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	0.05	-0.03	-0.01	-0.05	-0.13	0.08	0.21
	5	障がい者(児)への福祉サービス	0.01	0.01	0.00	-0.03	-0.16	-0.02	0.15
	6	医療機関(病院・診療所)	-0.04	-0.19	-0.28	-0.26	-0.44	-0.11	0.41
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	-0.06	-0.10	-0.39	-0.29	-0.37	-0.04	0.29
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	-0.10	-0.07	-0.01	0.10	-0.19	-0.19	-0.10
	9	まち並み・景観の保全と整備	-0.02	-0.14	0.11	0.14	-0.08	-0.10	-0.02
	10	公園・緑地など憩いの場	-0.15	-0.25	-0.24	-0.13	-0.31	-0.12	-0.05
	11	移住・定住の支援対策	-0.22	-0.24	-0.26	-0.18	-0.42	-0.26	-0.10
	12	市営住宅の整備	-0.12	-0.21	-0.08	-0.06	-0.22	-0.17	-0.06
	13	地震・災害に対する安心感	-0.28	-0.35	-0.26	-0.24	-0.42	-0.36	-0.15
	14	消防体制(署の配置など)	0.14	0.11	0.08	0.28	-0.07	0.11	0.25
	15	防犯・治安などの安心感	0.11	0.12	0.16	0.16	-0.09	0.09	0.20
	16	上水道・簡易水道の整備	0.57	0.42	0.42	0.45	0.31	0.63	0.79
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	0.34	0.33	0.29	0.18	0.09	0.37	0.52
	18	し尿収集と処理サービス	0.34	0.23	0.21	0.24	0.15	0.37	0.52
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	0.15	0.11	0.15	0.12	0.04	0.13	0.24
	20	ごみ収集と処理サービス	0.59	0.37	0.40	0.43	0.33	0.70	0.84
21	ごみ減量化と資源リサイクル化	0.37	0.21	0.27	0.26	0.16	0.38	0.59	
22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	-0.09	-0.11	-0.08	-0.09	-0.19	-0.19	0.01	
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	-0.13	-0.08	-0.05	-0.14	-0.34	-0.20	0.00
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	-0.31	-0.25	-0.29	-0.33	-0.52	-0.35	-0.17
	25	段差や道幅など歩道の安全性	-0.37	-0.42	-0.33	-0.38	-0.54	-0.43	-0.23
	26	JR中央線の利便さ	-0.17	-0.19	-0.34	-0.28	-0.44	-0.14	0.04
	27	明知鉄道の利便さ	-0.17	-0.46	-0.34	-0.34	-0.38	-0.09	0.04
	28	バスの利便さ	-0.47	-0.66	-0.49	-0.56	-0.70	-0.58	-0.21
	29	情報通信環境の整備	0.06	-0.24	0.06	0.08	-0.08	0.10	0.16
産業振興	30	買い物の利便さ	-0.02	-0.06	-0.10	-0.08	-0.12	0.03	0.07
	31	商店街のにぎわい	-0.71	-0.74	-0.73	-0.70	-0.79	-0.78	-0.62
	32	工業の振興対策	-0.35	-0.28	-0.20	-0.37	-0.46	-0.41	-0.31
	33	新しい分野の起業家支援	-0.30	-0.29	-0.23	-0.34	-0.32	-0.35	-0.29
	34	農業の振興対策	-0.36	-0.23	-0.13	-0.29	-0.42	-0.47	-0.39
	35	林業(里山・山林)保全と振興	-0.34	-0.13	-0.04	-0.22	-0.41	-0.48	-0.41
	36	魅力ある働く場の確保	-0.64	-0.69	-0.62	-0.66	-0.76	-0.70	-0.53
	37	観光施設と誘客PR	-0.35	-0.35	-0.24	-0.34	-0.45	-0.40	-0.31
教育・文化	38	小中学校における教育	0.02	0.16	0.06	0.03	-0.15	-0.02	0.10
	39	生涯学習施設の数と設備	-0.06	-0.06	-0.10	-0.03	-0.14	-0.07	-0.02
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	-0.01	-0.01	-0.01	0.01	-0.06	0.01	0.00
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	0.24	0.23	0.39	0.42	0.11	0.16	0.24
	42	学校・地域・家庭の連携	0.07	0.01	0.01	0.09	-0.04	0.15	0.11
	43	文化・芸術活動の振興	0.01	-0.03	0.03	0.04	-0.10	0.01	0.07
	44	文化財の保存・活用	0.01	0.02	0.09	0.06	-0.07	-0.01	0.02
	45	体育施設の数と設備	-0.04	-0.04	0.03	-0.08	-0.21	-0.05	0.04
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	0.01	0.06	0.03	0.02	-0.14	0.00	0.08
	47	市民団体やNPOなどの活発化	-0.06	-0.06	-0.01	-0.02	-0.14	-0.11	-0.02
	48	市政に関する市民参加の機会	-0.16	-0.20	-0.15	-0.13	-0.17	-0.16	-0.17
	49	市政への市民の意見の反映	-0.29	-0.34	-0.29	-0.31	-0.40	-0.34	-0.18
	50	広報による市情報の提供と公開	0.20	0.04	0.14	0.19	0.11	0.23	0.29
	51	市ホームページの内容やデザイン	0.05	0.01	0.05	0.05	-0.06	0.06	0.12
	52	男女共同参画の取り組み	-0.05	-0.14	-0.06	-0.08	-0.08	-0.03	-0.01
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	-0.09	-0.10	-0.09	-0.13	-0.14	-0.06	-0.08
	54	インターネットでの申請など利便性	-0.04	-0.04	-0.05	-0.06	-0.18	0.00	0.00
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	0.21	-0.12	0.11	0.22	-0.09	0.26	0.45
	56	健全な財政運営	-0.18	-0.14	-0.16	-0.34	-0.32	-0.25	-0.01
	57	行政改革の推進	-0.18	-0.14	-0.21	-0.29	-0.31	-0.27	-0.02

居住地 個別施策の満足度指数

分野	NO	施策	全体	大井町	長島町	東野	三郷町	武並町	笠置町	中野方町	飯地町	岩村町	山岡町	明智町	串原	上矢作町
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	0.03	0.05	0.00	0.09	-0.08	0.03	0.02	0.06	0.05	0.01	0.07	0.04	0.10	0.07
	2	健康診断・相談・保健予防	0.33	0.38	0.33	0.30	0.41	0.31	0.14	0.35	0.50	0.31	0.18	0.36	0.31	0.35
	3	地域の助け合いによる福祉活動	0.06	0.06	-0.07	0.09	-0.07	0.15	0.04	0.44	0.26	0.08	-0.06	-0.03	0.31	0.22
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	0.05	-0.02	0.02	0.11	0.12	0.00	0.05	0.26	0.07	0.18	-0.01	0.02	0.15	0.14
	5	障がい者(児)への福祉サービス	0.01	-0.01	0.02	0.11	-0.06	-0.04	0.00	0.13	0.02	0.06	-0.04	0.07	-0.06	0.07
	6	医療機関(病院・診療所)	-0.04	0.02	-0.12	0.07	-0.07	-0.11	-0.23	0.32	0.43	-0.21	-0.34	-0.07	-0.04	0.53
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	-0.06	0.06	-0.10	0.17	-0.03	-0.23	-0.02	0.00	-0.05	-0.31	-0.35	-0.04	-0.19	0.63
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	-0.10	-0.06	-0.03	-0.02	0.10	-0.11	-0.23	-0.24	-0.07	-0.07	-0.13	-0.18	-0.35	-0.09
	9	まち並み・景観の保全と整備	-0.02	-0.02	0.03	0.11	0.18	-0.11	-0.11	0.02	-0.07	0.27	-0.12	-0.21	-0.15	-0.21
	10	公園・緑地など憩いの場	-0.15	-0.09	0.00	0.00	0.06	-0.33	-0.02	-0.15	-0.17	-0.36	-0.23	-0.26	-0.14	-0.25
	11	移住・定住の支援対策	-0.22	-0.16	-0.16	-0.22	-0.06	-0.29	-0.41	-0.24	-0.40	-0.22	-0.33	-0.31	0.02	-0.26
	12	市営住宅の整備	-0.12	-0.09	-0.06	-0.09	-0.12	-0.11	-0.14	-0.33	-0.19	-0.33	-0.22	-0.07	-0.04	0.08
	13	地震・災害に対する安心感	-0.28	-0.24	-0.28	-0.30	-0.22	-0.33	-0.59	-0.22	-0.24	-0.20	-0.34	-0.24	-0.29	-0.33
	14	消防体制(署の配置など)	0.14	0.26	0.20	0.28	0.25	0.10	-0.36	-0.17	-0.38	0.25	0.02	0.18	-0.14	0.30
	15	防犯・治安などの安心感	0.11	0.18	0.15	0.19	0.04	-0.06	-0.34	0.13	0.05	0.22	0.02	0.20	0.06	0.07
	16	上水道・簡易水道の整備	0.57	0.59	0.52	0.65	0.45	0.34	0.55	0.57	0.83	0.81	0.43	0.55	0.60	0.65
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	0.34	0.39	0.29	0.46	0.07	0.10	0.27	0.26	0.67	0.55	0.08	0.33	0.60	0.50
	18	し尿収集と処理サービス	0.34	0.28	0.23	0.33	0.25	0.23	0.34	0.41	0.55	0.41	0.33	0.41	0.48	0.55
	19	大気汚染・騒音・水質などの公害対策	0.15	0.02	0.08	0.24	0.14	0.03	0.14	0.17	0.38	0.20	0.21	0.23	0.29	0.32
	20	ごみ収集と処理サービス	0.59	0.58	0.57	0.41	0.62	0.51	0.50	0.83	0.86	0.61	0.56	0.61	0.64	0.67
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	0.37	0.47	0.34	0.44	0.40	0.26	0.32	0.33	0.57	0.31	0.34	0.30	0.42	0.50
22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	-0.09	-0.06	-0.09	-0.02	-0.25	-0.16	-0.18	-0.13	-0.05	-0.11	-0.07	-0.12	-0.06	0.04	
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	-0.13	0.13	0.08	0.13	0.03	-0.07	-0.46	-0.19	-0.93	-0.01	-0.22	-0.50	-0.71	-0.27
	24	身近な市道・生活道路の整備・維持管理	-0.31	-0.18	-0.16	-0.04	-0.29	-0.31	-0.43	-0.24	-0.50	-0.29	-0.47	-0.49	-0.62	-0.39
	25	段差や道幅など歩道の安全性	-0.37	-0.29	-0.31	-0.28	-0.21	-0.42	-0.50	-0.37	-0.31	-0.29	-0.54	-0.53	-0.37	-0.45
	26	JR中央線の利便性	-0.17	-0.04	0.06	-0.02	-0.15	-0.10	-0.05	-0.43	-0.31	-0.14	-0.54	-0.39	-0.29	-0.40
	27	明知鉄道の利便性	-0.17	-0.05	-0.05	-0.15	-0.10	-0.14	0.05	-0.07	0.00	-0.36	-0.48	-0.13	-0.46	-0.51
	28	バスの利便性	-0.47	-0.32	-0.41	-0.57	-0.73	-0.59	-0.66	-0.39	-0.40	-0.46	-0.78	-0.25	-0.73	-0.64
	29	情報通信環境の整備	0.06	0.07	0.05	0.02	0.11	0.01	0.02	0.13	0.36	0.04	0.04	0.00	0.17	0.00
産業振興	30	買い物の利便性	-0.02	0.39	0.44	0.35	-0.25	-0.54	-0.48	-0.26	-0.52	0.29	-0.65	-0.10	-0.56	-0.71
	31	商店街のにぎわい	-0.71	-0.66	-0.64	-0.50	-0.53	-0.75	-0.43	-0.56	-0.64	-0.62	-0.95	-0.91	-0.58	-1.17
	32	工業の振興対策	-0.35	-0.25	-0.25	-0.24	-0.18	-0.29	-0.27	-0.50	-0.26	-0.35	-0.76	-0.34	-0.33	-0.76
	33	新しい分野の起業家支援	-0.30	-0.24	-0.26	-0.30	-0.19	-0.37	-0.30	-0.22	-0.36	-0.29	-0.46	-0.33	-0.29	-0.62
	34	農業の振興対策	-0.36	-0.25	-0.25	-0.52	-0.37	-0.43	-0.50	-0.45	-0.45	-0.28	-0.57	-0.34	-0.48	-0.56
	35	林業(里山・山林)保全と振興	-0.34	-0.20	-0.21	-0.46	-0.34	-0.37	-0.41	-0.44	-0.52	-0.27	-0.49	-0.41	-0.52	-0.57
	36	魅力ある働く場の確保	-0.64	-0.54	-0.44	-0.57	-0.58	-0.63	-0.52	-0.70	-0.71	-0.61	-1.02	-0.69	-0.69	-1.10
教育・文化	37	観光施設と誘客PR	-0.35	-0.32	-0.30	-0.35	-0.21	-0.42	-0.27	-0.31	-0.40	-0.07	-0.57	-0.47	-0.33	-0.69
	38	小中学校における教育	0.02	0.01	-0.04	0.18	0.01	0.01	-0.07	0.11	0.12	0.01	0.10	-0.01	0.17	-0.01
	39	生涯学習施設の数と設備	-0.06	0.05	-0.08	-0.06	0.01	-0.10	-0.02	-0.11	-0.02	-0.10	-0.15	-0.05	-0.06	-0.29
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	-0.01	0.06	0.02	0.02	0.06	-0.02	-0.09	-0.04	0.00	-0.05	-0.04	-0.04	0.13	-0.31
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	0.24	0.49	0.44	0.42	0.36	0.34	0.11	-0.04	0.24	0.06	-0.05	0.02	0.06	-0.11
	42	学校・地域・家庭の連携	0.07	0.10	0.00	0.11	0.06	0.11	0.23	0.06	0.17	0.01	-0.01	0.09	0.25	0.07
	43	文化・芸術活動の振興	0.01	0.07	-0.03	0.06	-0.03	0.02	0.00	0.06	0.10	-0.06	-0.04	0.03	0.17	-0.11
	44	文化財の保存・活用	0.01	0.01	-0.01	0.06	-0.07	-0.01	0.16	0.08	0.14	0.06	0.02	-0.02	-0.06	-0.07
	45	体育施設の数と設備	-0.04	-0.04	-0.07	-0.04	-0.15	-0.05	0.16	-0.06	0.00	-0.13	-0.02	0.03	0.06	-0.06
	46	地域コミュニティ活動の支援	0.01	0.04	-0.04	0.15	0.10	0.10	-0.11	0.28	-0.05	0.01	-0.08	-0.04	0.08	-0.14
住民参画	47	市民団体やNPOなどの活発化	-0.06	-0.04	-0.03	-0.04	-0.07	-0.06	-0.09	0.15	-0.07	-0.11	-0.12	-0.10	0.00	-0.11
	48	市政に関する市民参加の機会	-0.16	-0.18	-0.14	-0.09	-0.21	-0.04	-0.20	-0.13	-0.02	-0.26	-0.18	-0.16	-0.04	-0.26
	49	市政への市民の意見の反映	-0.29	-0.25	-0.26	-0.17	-0.27	-0.22	-0.16	-0.24	-0.24	-0.43	-0.33	-0.33	-0.25	-0.47
	50	広報による市情報の提供と公開	0.20	0.22	0.22	0.24	0.23	0.25	0.16	0.22	0.31	0.11	0.23	0.18	0.17	0.04
	51	市ホームページの内容やデザイン	0.05	0.08	0.04	0.06	-0.03	0.04	0.18	0.09	0.24	0.03	0.03	0.06	0.10	-0.13
	52	男女共同参画の取り組み	-0.05	-0.06	-0.07	0.02	-0.03	0.02	-0.11	-0.02	0.12	-0.01	-0.11	-0.06	-0.02	-0.15
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	-0.09	-0.09	-0.12	-0.17	-0.12	-0.09	-0.02	-0.13	0.00	-0.12	-0.14	-0.04	0.06	-0.14
	54	インターネットでの申請など利便性	-0.04	-0.02	-0.06	-0.07	-0.11	0.00	-0.09	-0.07	0.10	-0.08	-0.03	-0.03	-0.02	-0.08
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	0.21	0.30	0.21	0.45	0.25	0.10	0.21	0.17	0.29	0.11	0.02	0.24	0.33	0.24
	56	健全な財政運営	-0.18	-0.16	-0.19	-0.07	-0.14	-0.22	-0.14	-0.15	0.00	-0.25	-0.33	-0.15	-0.12	-0.17
	57	行政改革の推進	-0.18	-0.17	-0.17	0.06	-0.18	-0.32	-0.16	-0.19	-0.05	-0.27	-0.31	-0.18	0.02	-0.14

年齢 個別施策の重要度指数

分野	NO	施策	全体	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	0.67	1.02	1.06	0.93	0.73	0.71	0.33
	2	健康診断・相談、保健予防	0.69	0.82	0.74	0.82	0.79	0.73	0.53
	3	地域の助け合いによる福祉活動	0.42	0.57	0.35	0.53	0.55	0.48	0.28
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	0.65	0.90	0.69	0.82	0.86	0.77	0.35
	5	障がい者(児)への福祉サービス	0.47	0.73	0.46	0.61	0.55	0.53	0.27
	6	医療機関(病院・診療所)	0.84	1.27	1.16	1.04	1.05	0.86	0.46
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	0.83	1.17	1.09	1.04	1.02	0.89	0.46
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	0.37	0.64	0.44	0.42	0.50	0.43	0.17
	9	まち並み・景観の保全と整備	0.22	0.63	0.38	0.23	0.30	0.18	0.09
	10	公園・緑地など憩いの場	0.18	0.57	0.51	0.15	0.27	0.11	0.02
	11	移住・定住の支援対策	0.28	0.56	0.51	0.34	0.46	0.24	0.07
	12	市営住宅の整備	0.10	0.37	0.24	-0.01	0.21	0.04	0.03
	13	地震・災害に対する安心感	0.60	1.08	0.85	0.85	0.83	0.63	0.19
	14	消防体制(署の配置など)	0.61	0.70	0.72	0.69	0.76	0.68	0.39
	15	防犯・治安などの安心感	0.63	0.84	0.78	0.82	0.79	0.67	0.38
	16	上水道・簡易水道の整備	0.61	0.63	0.52	0.57	0.63	0.70	0.60
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	0.50	0.56	0.42	0.51	0.52	0.54	0.49
	18	し尿収集と処理サービス	0.33	0.37	0.19	0.25	0.26	0.37	0.41
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	0.40	0.62	0.39	0.40	0.46	0.44	0.31
	20	ごみ収集と処理サービス	0.72	0.75	0.57	0.71	0.77	0.81	0.69
	21	ごみ減量化と資源リサイクル化	0.61	0.66	0.51	0.62	0.69	0.69	0.56
22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	0.39	0.51	0.44	0.42	0.47	0.48	0.26	
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	0.48	0.88	0.53	0.60	0.57	0.50	0.28
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	0.53	0.86	0.72	0.71	0.67	0.58	0.25
	25	段差や道幅など歩道の安全性	0.42	0.74	0.64	0.57	0.64	0.41	0.12
	26	JR中央線の便利さ	0.42	0.96	0.49	0.45	0.52	0.36	0.27
	27	明知鉄道の便利さ	0.13	0.31	0.02	0.12	0.15	0.10	0.15
	28	バスの便利さ	0.21	0.45	0.12	0.32	0.37	0.17	0.11
	29	情報通信環境の整備	0.35	0.63	0.50	0.38	0.33	0.33	0.25
産業振興	30	買い物物の便利さ	0.59	1.17	0.89	0.64	0.75	0.60	0.26
	31	商店街のにぎわい	0.10	0.64	0.34	0.19	0.25	0.01	-0.17
	32	工業の振興対策	0.27	0.52	0.41	0.39	0.45	0.28	0.04
	33	新しい分野の起業家支援	0.14	0.44	0.19	0.17	0.30	0.12	-0.02
	34	農業の振興対策	0.25	0.44	0.42	0.31	0.45	0.27	0.00
	35	林業(里山・山林)保全と振興	0.22	0.33	0.32	0.19	0.42	0.28	0.03
	36	魅力ある働く場の確保	0.53	1.13	0.96	0.71	0.82	0.54	0.05
37	観光施設と誘客PR	0.27	0.66	0.54	0.38	0.41	0.24	0.02	
教育・文化	38	小中学校における教育	0.61	0.90	0.87	0.85	0.64	0.67	0.34
	39	生涯学習施設の数と設備	0.23	0.47	0.35	0.21	0.28	0.21	0.14
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	0.12	0.24	0.14	0.05	0.17	0.15	0.08
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	0.34	0.65	0.45	0.38	0.35	0.28	0.26
	42	学校・地域・家庭の連携	0.43	0.63	0.61	0.54	0.49	0.48	0.22
	43	文化・芸術活動の振興	0.19	0.36	0.14	0.12	0.25	0.21	0.14
	44	文化財の保存・活用	0.20	0.35	0.16	0.15	0.27	0.23	0.14
	45	体育施設の数と設備	0.19	0.42	0.29	0.33	0.21	0.09	0.11
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	0.23	0.33	0.21	0.18	0.28	0.25	0.19
	47	市民団体やNPOなどの活発化	0.10	0.18	0.06	0.01	0.17	0.10	0.09
	48	市政に関する市民参加の機会	0.19	0.35	0.24	0.18	0.25	0.31	0.05
	49	市政への市民の意見の反映	0.35	0.65	0.47	0.46	0.52	0.44	0.08
	50	広報による市情報の提供と公開	0.40	0.38	0.41	0.36	0.44	0.50	0.32
	51	市ホームページの内容やデザイン	0.14	0.11	0.17	0.13	0.16	0.13	0.14
	52	男女共同参画の取り組み	0.08	0.21	0.14	-0.04	0.08	0.11	0.05
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	0.03	0.26	0.08	0.00	0.00	0.04	-0.01
	54	インターネットでの申請など利便性	0.18	0.64	0.28	0.29	0.19	0.15	0.03
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	0.51	0.66	0.62	0.49	0.49	0.54	0.45
	56	健全な財政運営	0.53	0.69	0.65	0.65	0.70	0.63	0.26
	57	行政改革の推進	0.43	0.53	0.59	0.44	0.57	0.52	0.23

居住地 個別施策の重要度指数

分野	NO	施策	全体	大井町	長島町	東野	三郷町	武並町	笠置町	中野方町	飯地町	岩村町	山岡町	明智町	串原	上矢作町
健康福祉	1	保育サービス・子育て支援	0.67	0.75	0.71	0.44	0.66	0.85	0.62	0.76	0.57	0.76	0.63	0.57	0.40	0.61
	2	健康診断・相談、保健予防	0.69	0.82	0.71	0.42	0.80	0.84	0.43	0.63	0.57	0.76	0.72	0.59	0.42	0.69
	3	地域の助け合いによる福祉活動	0.42	0.44	0.42	0.22	0.38	0.46	0.57	0.61	0.41	0.48	0.44	0.33	0.37	0.47
	4	生活支援・介護など高齢者福祉	0.65	0.73	0.70	0.39	0.67	0.72	0.73	0.59	0.59	0.69	0.65	0.56	0.50	0.68
	5	障がい者(児)への福祉サービス	0.47	0.50	0.51	0.28	0.47	0.53	0.59	0.41	0.45	0.52	0.44	0.46	0.35	0.38
	6	医療機関(病院・診療所)	0.84	0.92	0.93	0.61	0.86	0.94	0.68	0.83	0.81	0.88	0.88	0.65	0.60	0.99
	7	緊急医療体制(夜間・休日・救急)	0.83	0.89	0.90	0.65	0.78	1.07	0.75	0.78	0.74	0.91	0.72	0.66	0.44	1.04
生活環境	8	山林や河川などの自然環境の保全	0.37	0.40	0.45	0.15	0.41	0.42	0.21	0.46	0.41	0.32	0.28	0.30	0.38	0.46
	9	まち並み・景観の保全と整備	0.22	0.33	0.27	0.06	0.38	0.38	-0.09	0.26	0.19	0.28	0.10	0.11	0.06	0.11
	10	公園・緑地など憩いの場	0.18	0.30	0.27	0.19	0.18	0.33	-0.11	0.19	0.17	0.11	0.04	0.13	0.02	0.05
	11	移住・定住の支援対策	0.28	0.26	0.28	0.15	0.23	0.30	0.43	0.28	0.45	0.27	0.23	0.27	0.40	0.36
	12	市営住宅の整備	0.10	0.10	0.08	0.11	-0.01	0.01	0.02	0.17	0.19	0.10	0.04	0.23	0.17	0.12
	13	地震・災害に対する安心感	0.60	0.66	0.72	0.44	0.69	0.64	0.71	0.65	0.40	0.62	0.43	0.52	0.41	0.51
	14	消防体制(署の配置など)	0.61	0.67	0.65	0.48	0.62	0.52	0.66	0.78	0.71	0.68	0.51	0.52	0.33	0.57
	15	防犯・治安などの安心感	0.63	0.70	0.77	0.59	0.73	0.70	0.50	0.59	0.59	0.66	0.49	0.58	0.31	0.51
	16	上水道・簡易水道の整備	0.61	0.65	0.60	0.56	0.68	0.66	0.57	0.58	0.59	0.77	0.53	0.53	0.50	0.62
	17	下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽の整備	0.50	0.53	0.43	0.54	0.56	0.58	0.46	0.48	0.50	0.62	0.45	0.42	0.48	0.54
	18	し尿収集と処理サービス	0.33	0.30	0.23	0.20	0.33	0.39	0.18	0.41	0.41	0.36	0.30	0.43	0.42	0.40
	19	大気汚染・騒音・水質など公害対策	0.40	0.47	0.52	0.28	0.45	0.37	0.43	0.41	0.31	0.38	0.29	0.38	0.21	0.35
	20	ごみ収集と処理サービス	0.72	0.85	0.83	0.50	0.66	0.73	0.57	0.78	0.67	0.66	0.67	0.70	0.40	0.69
	21	ごみ減量化と資源リサイクル	0.61	0.75	0.72	0.61	0.52	0.60	0.57	0.54	0.62	0.50	0.59	0.53	0.46	0.56
22	自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策	0.39	0.50	0.42	0.35	0.26	0.43	0.55	0.46	0.31	0.34	0.31	0.31	0.25	0.40	
都市・交流基盤	23	幹線道路(国道・県道など)の整備	0.48	0.46	0.48	0.33	0.47	0.67	0.66	0.46	0.69	0.43	0.40	0.45	0.35	0.65
	24	身近な市道・生活道路の整備、維持管理	0.53	0.60	0.49	0.22	0.62	0.64	0.59	0.50	0.64	0.46	0.52	0.49	0.54	0.60
	25	段差や道幅など歩道の安全性	0.42	0.53	0.45	0.24	0.42	0.53	0.46	0.48	0.38	0.40	0.36	0.37	0.15	0.32
	26	JR中央線の便利さ	0.42	0.53	0.53	0.54	0.51	0.68	0.46	0.46	0.26	0.50	0.27	0.24	-0.04	0.13
	27	明知鉄道の便利さ	0.13	0.12	0.02	0.15	-0.08	-0.03	-0.02	0.04	0.21	0.50	0.23	0.33	-0.10	-0.03
	28	バスの便利さ	0.21	0.25	0.11	0.15	0.15	0.17	0.00	0.43	0.26	0.22	0.24	0.34	-0.06	0.29
	29	情報通信環境の整備	0.35	0.32	0.30	0.22	0.47	0.46	0.30	0.48	0.31	0.43	0.35	0.33	0.35	0.36
	30	買い物の便利さ	0.59	0.71	0.77	0.72	0.64	0.61	0.14	0.35	0.26	0.66	0.50	0.47	0.27	0.54
産業振興	31	商店街のにぎわい	0.10	0.19	0.04	0.20	0.16	0.19	0.05	0.11	-0.02	0.18	-0.03	0.01	-0.10	0.14
	32	工業の振興対策	0.27	0.35	0.26	0.20	0.44	0.42	0.16	0.26	0.28	0.24	0.11	0.25	0.19	0.28
	33	新しい分野の起業家支援	0.14	0.15	0.13	0.15	0.29	0.14	0.11	0.30	0.10	0.19	0.00	0.13	0.10	0.14
	34	農業の振興対策	0.25	0.24	0.22	0.17	0.42	0.37	0.43	0.28	0.05	0.25	0.18	0.19	0.27	0.28
	35	林業(里山・山林)保全と振興	0.22	0.22	0.16	0.35	0.26	0.33	0.34	0.30	0.09	0.22	0.08	0.17	0.27	0.39
	36	魅力ある働く場の確保	0.53	0.61	0.47	0.39	0.74	0.69	0.75	0.54	0.31	0.57	0.44	0.42	0.41	0.53
	37	観光施設と誘客PR	0.27	0.43	0.26	0.17	0.45	0.31	0.32	0.28	0.17	0.29	0.11	0.16	0.23	0.11
教育・文化	38	小中学校における教育	0.61	0.69	0.66	0.61	0.56	0.62	0.89	0.48	0.50	0.67	0.50	0.53	0.40	0.67
	39	生涯学習施設の数と設備	0.23	0.40	0.26	0.15	0.08	0.33	0.28	0.30	0.17	0.15	0.09	0.11	0.21	0.17
	40	生涯学習情報・出前講座メニューの量	0.12	0.24	0.12	0.19	0.10	0.12	0.05	0.24	0.10	0.09	0.05	0.04	0.10	0.05
	41	図書館(室)の設備と蔵書数	0.34	0.58	0.46	0.43	0.40	0.31	0.30	0.09	0.36	0.21	0.15	0.16	0.19	0.18
	42	学校・地域・家庭の連携	0.43	0.49	0.49	0.44	0.39	0.47	0.43	0.52	0.52	0.48	0.29	0.30	0.37	0.37
	43	文化・芸術活動の振興	0.19	0.30	0.19	0.19	0.19	0.17	0.11	0.22	0.14	0.13	0.08	0.11	0.19	0.25
	44	文化財の保存・活用	0.20	0.28	0.23	0.11	0.08	0.23	0.21	0.28	0.17	0.25	0.13	0.06	0.25	0.17
	45	体育施設の数と設備	0.19	0.29	0.25	0.05	-0.01	0.29	0.07	0.26	0.24	0.18	0.08	0.14	0.17	0.10
住民参画	46	地域コミュニティ活動の支援	0.23	0.26	0.17	0.35	0.29	0.32	0.36	0.39	0.33	0.15	0.25	0.09	0.21	0.20
	47	市民団体やNPOなどの活発化	0.10	0.11	0.12	0.15	-0.03	0.06	0.14	0.33	0.10	0.06	0.11	0.03	0.13	0.15
	48	市政に関する市民参加の機会	0.19	0.29	0.20	0.08	0.23	0.11	0.39	0.20	0.17	0.15	0.15	0.13	0.14	0.26
	49	市政への市民の意見の反映	0.35	0.43	0.41	0.33	0.38	0.37	0.43	0.39	0.31	0.28	0.29	0.22	0.19	0.46
	50	広報による市情報の提供と公開	0.40	0.51	0.43	0.44	0.40	0.45	0.27	0.37	0.38	0.34	0.31	0.31	0.29	0.39
	51	市ホームページの内容やデザイン	0.14	0.24	0.13	0.11	-0.03	0.15	0.11	0.15	0.12	0.11	0.11	0.10	0.15	0.13
	52	男女共同参画の取り組み	0.08	0.15	0.12	0.02	0.04	0.04	0.16	0.13	0.19	0.06	0.02	-0.01	0.08	0.03
	53	在住外国人との交流や国際交流の推進	0.03	0.09	0.03	0.07	-0.03	0.07	0.14	0.04	0.07	0.02	-0.07	-0.02	0.10	-0.03
	54	インターネットでの申請など利便性	0.18	0.28	0.22	0.15	0.05	0.21	0.21	0.17	0.05	0.14	0.17	0.10	0.17	0.19
	55	受付・窓口などでの市職員の対応	0.51	0.59	0.60	0.46	0.55	0.66	0.50	0.46	0.33	0.46	0.36	0.47	0.35	0.49
	56	健全な財政運営	0.53	0.63	0.64	0.43	0.66	0.61	0.57	0.46	0.24	0.53	0.40	0.41	0.39	0.42
	57	行政改革の推進	0.43	0.51	0.50	0.35	0.56	0.48	0.64	0.43	0.31	0.38	0.33	0.35	0.21	0.39

7 個別施策について

(1) 人口減少対策について

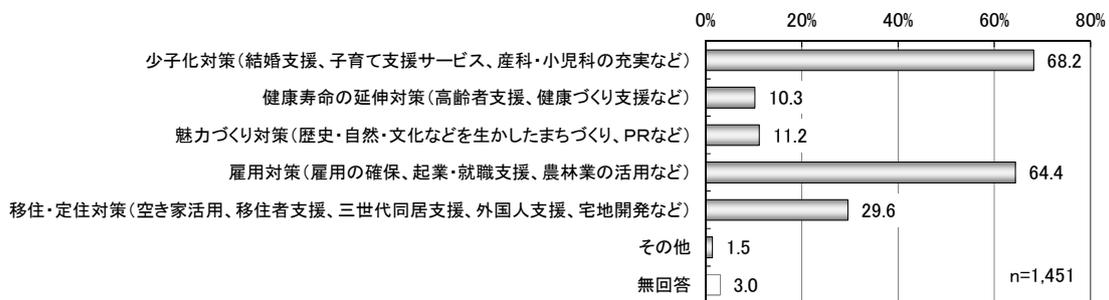
【問10】 恵那市の人口減少を食い止めるためには何が必要だと思いますか？ 〈複数回答：2つまで〉

「少子化対策（結婚支援、子育て支援サービス、産科・小児科の充実など）」が68.2%と最も高く、次いで「雇用対策（雇用の確保、起業・就職支援、農林業の活用など）」が64.4%、「移住・定住対策（空き家活用、移住者支援、三世同居支援、外国人支援、宅地開発など）」が29.6%の順となっています。

性別でみると、男性・女性ともに「少子化対策（結婚支援、子育て支援サービス、産科・小児科の充実など）」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、50歳代、60歳代では「雇用対策（雇用の確保、起業・就職支援、農林業の活用など）」の割合が、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、笠置町では「少子化対策（結婚支援、子育て支援サービス、産科・小児科の充実など）」が約8割、飯地町では「魅力づくり対策（歴史・自然・文化などを生かしたまちづくり、PRなど）」が約2割と、他の地区に比べ高くなっています。



	少子化対策 (結婚支援、子育て支援サービス、産科・小児科の充実など)	健康寿命の延伸対策 (高齢者支援、健康づくり支援など)	魅力づくり対策 (歴史・自然・文化などを生かしたまちづくり、PRなど)	雇用対策 (雇用の確保、起業・就職支援、農林業の活用など)	移住・定住対策 (空き家活用、移住者支援、三世同居支援、外国人支援、宅地開発など)	その他	無回答	
全体(n=1,451)	68.2	10.3	11.2	64.4	29.6	1.5	3.0	
性別	男性(n=657)	67.4	9.1	12.8	66.4	30.6	2.1	1.2
	女性(n=770)	69.6	11.3	10.1	64.4	29.1	1.0	3.2
年齢別	20～29歳(n=97)	78.4	7.2	12.4	66.0	25.8	0.0	0.0
	30～39歳(n=156)	76.3	8.3	11.5	55.1	32.7	4.5	0.6
	40～49歳(n=170)	71.2	7.6	12.9	70.6	28.8	1.2	0.6
	50～59歳(n=238)	68.5	7.1	11.3	71.8	29.8	2.9	0.8
	60～69歳(n=317)	69.1	7.6	10.7	72.6	28.7	0.9	1.9
	70歳以上(n=452)	62.8	16.2	10.8	56.9	30.8	0.7	5.3
居住地別	大井町(n=292)	68.5	12.0	11.3	69.5	28.4	1.0	0.7
	長島町(n=226)	73.9	11.1	12.8	65.9	19.9	2.2	1.8
	東野(n=54)	64.8	18.5	11.1	61.1	29.6	1.9	1.9
	三郷町(n=73)	61.6	6.8	12.3	68.5	32.9	1.4	2.7
	武並町(n=92)	73.9	16.3	8.7	58.7	23.9	4.3	3.3
	笠置町(n=44)	81.8	6.8	6.8	59.1	34.1	2.3	0.0
	中野方町(n=54)	72.2	13.0	9.3	66.7	24.1	1.9	3.7
	飯地町(n=42)	66.7	4.8	19.0	52.4	40.5	0.0	4.8
	岩村町(n=143)	71.3	5.6	9.1	64.3	32.9	2.1	2.8
	山岡町(n=115)	64.3	7.8	13.9	61.7	33.0	1.7	3.5
	明智町(n=169)	64.5	8.3	13.6	62.1	37.3	0.6	3.6
	串原(n=52)	46.2	11.5	9.6	69.2	38.5	0.0	7.7
	上矢作町(n=72)	68.1	11.1	5.6	69.4	31.9	0.0	2.8

(2) 健康づくりについて

① 健康づくりに必要なこと

【問11】健康づくりの充実を図るためには、どのようなことが必要だと思いますか？

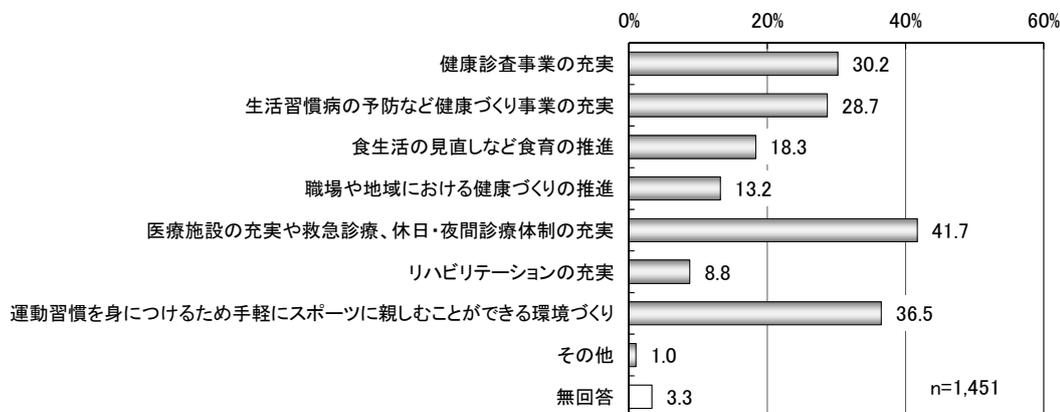
(複数回答：2つまで)

「医療施設の充実や救急診療、休日・夜間診療体制の充実」が41.7%と最も高く、次いで「運動習慣を身につけるため手軽にスポーツに親しむことができる環境づくり」が36.5%、「健康診査事業の充実」が30.2%、「生活習慣病の予防など健康づくり事業の充実」が28.7%の順となっています。

性別でみると、男性・女性ともに「医療施設の充実や救急診療、休日・夜間診療体制の充実」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年代が高いほど「生活習慣病の予防など健康づくり事業の充実」の割合が、年代が低いほど「運動習慣を身につけるため手軽にスポーツに親しむことができる環境づくり」の割合が、概ね高くなる傾向となっています。

居住地別でみると、三郷町、上矢作町では「健康診査事業の充実」、飯地町、串原では「生活習慣病の予防など健康づくり事業の充実」が35%以上と、他の地区に比べ高くなっています。



		健康診査事業の充実	生活習慣病の予防など健康づくり事業の充実	食生活の見直しなど食育の推進	職場や地域における健康づくりの推進	医療施設の充実や救急診療、休日・夜間診療体制の充実	リハビリテーションの充実	運動習慣を身につけるため手軽にスポーツに親しむことができる環境づくり	その他	無回答
全体(n=1,451)		30.2	28.7	18.3	13.2	41.7	8.8	36.5	1.0	3.3
性別	男性(n=657)	32.3	28.6	15.4	14.9	42.2	8.2	37.6	1.1	1.8
	女性(n=770)	29.2	29.2	20.9	11.8	41.9	9.2	36.0	0.9	3.4
年齢別	20～29歳(n=97)	28.9	18.6	14.4	14.4	45.4	11.3	46.4	2.1	2.1
	30～39歳(n=156)	29.5	20.5	14.1	15.4	45.5	5.8	46.2	1.3	1.3
	40～49歳(n=170)	28.8	25.9	11.2	11.2	47.1	5.3	47.6	1.8	0.0
	50～59歳(n=238)	31.5	25.2	16.8	17.2	47.9	8.4	37.0	0.0	1.3
	60～69歳(n=317)	32.2	32.5	20.2	13.9	42.0	6.9	35.0	0.9	2.5
	70歳以上(n=452)	29.9	34.3	22.8	10.6	34.5	11.5	29.0	0.9	5.5
居住地別	大井町(n=292)	32.2	32.2	20.2	13.0	38.4	9.2	41.1	1.0	0.3
	長島町(n=226)	30.1	33.2	19.5	12.4	40.7	7.5	37.2	1.3	2.2
	東野(n=54)	33.3	16.7	20.4	13.0	44.4	11.1	35.2	1.9	3.7
	三郷町(n=73)	41.1	27.4	20.5	11.0	41.1	8.2	27.4	1.4	2.7
	武並町(n=92)	25.0	20.7	15.2	15.2	42.4	13.0	43.5	1.1	3.3
	笠置町(n=44)	25.0	27.3	27.3	13.6	40.9	9.1	36.4	0.0	4.5
	中野方町(n=54)	33.3	20.4	22.2	11.1	42.6	7.4	38.9	0.0	1.9
	飯地町(n=42)	26.2	40.5	19.0	11.9	40.5	7.1	31.0	0.0	4.8
	岩村町(n=143)	28.7	24.5	20.3	9.1	46.9	8.4	39.2	0.0	4.2
	山岡町(n=115)	30.4	27.8	15.7	12.2	42.6	10.4	35.7	0.0	3.5
	明智町(n=169)	27.8	27.2	11.2	15.4	42.0	7.1	40.8	2.4	3.6
	串原(n=52)	17.3	36.5	26.9	15.4	46.2	5.8	21.2	0.0	9.6
上矢作町(n=72)	37.5	31.9	12.5	23.6	43.1	9.7	23.6	1.4	1.4	

② 現在の健康状態

【問 1 2】あなたの現在の健康状態はいかがですか。

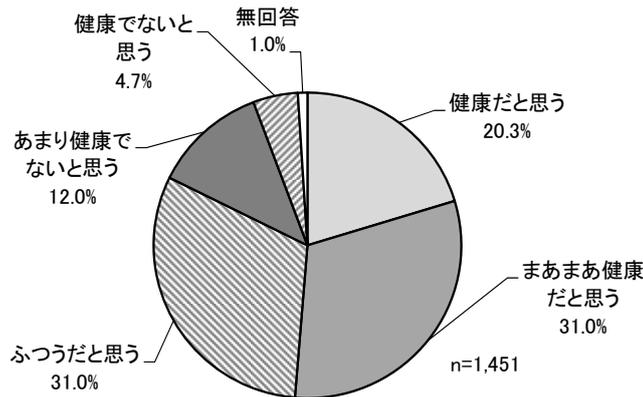
〈単数回答〉

「健康だと思う」が20.3%、「まあまあ健康だと思う」が31.0%で、合わせて健康だと思う人が約5割を占めています。一方、「あまり健康でないと思う」が12.0%、「健康でないと思う」が4.7%で、合わせて健康でないと思う人が約17%です。

性別でみると、男性・女性ともに「まあまあ健康だと思う」と「ふつうだと思う」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年代が高いほど「健康だと思う」人の割合が低くなる傾向となっています。

居住地別でみると、笠置町では健康だと思う人の割合が約6割と、他の地区に比べ高くなっています。



		健康だと思 う	まあまあ 健康だと思 う	ふつうだと思 う	あまり健 康でない と思 う	健康でな いと思 う	無回答
全体(n=1,451)		20.3	31.0	31.0	12.0	4.7	1.0
性別	男性(n=657)	20.9	30.7	31.0	12.2	4.7	0.5
	女性(n=770)	20.1	31.9	31.0	11.9	4.7	0.4
年齢別	20～29歳(n=97)	33.9	32.0	25.8	6.2	2.1	0.0
	30～39歳(n=156)	33.3	27.6	30.8	6.4	1.3	0.6
	40～49歳(n=170)	30.6	31.1	27.1	10.0	1.2	0.0
	50～59歳(n=238)	18.9	34.9	33.6	8.0	4.2	0.4
	60～69歳(n=317)	18.3	36.3	30.3	12.6	2.5	0.0
	70歳以上(n=452)	11.5	27.2	33.2	17.7	9.3	1.1
居住地別	大井町(n=292)	18.8	35.0	30.1	12.7	3.1	0.3
	長島町(n=226)	24.8	27.9	30.4	11.1	5.8	0.0
	東野(n=54)	14.8	35.2	37.0	11.1	0.0	1.9
	三郷町(n=73)	23.3	32.9	24.7	12.3	6.8	0.0
	武並町(n=92)	23.9	26.1	38.1	5.4	6.5	0.0
	笠置町(n=44)	25.0	34.1	20.5	13.6	6.8	0.0
	中野方町(n=54)	11.1	33.3	35.1	13.0	5.6	1.9
	飯地町(n=42)	19.0	28.6	23.8	26.2	2.4	0.0
	岩村町(n=143)	18.9	33.5	27.3	14.0	5.6	0.7
	山岡町(n=115)	19.1	33.1	28.7	13.0	5.2	0.9
	明智町(n=169)	21.9	26.6	39.6	8.9	3.0	0.0
	串原(n=52)	15.4	28.8	34.7	5.8	11.5	3.8
	上矢作町(n=72)	18.1	34.6	26.4	18.1	2.8	0.0

③ 健康上の問題による日常生活への影響の有無

【問 1 3】あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

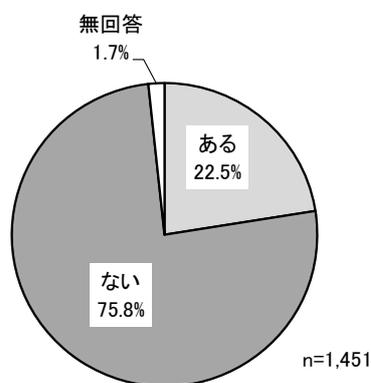
〈単数回答〉

健康上の問題で日常生活に影響が「ある」が22.5%、「ない」が75.8%です。

性別でみると、男性・女性ともに「ある」が約22%、「ない」が約76%です。

年齢別でみると、年代が高いほど「ある」の割合が高くなる傾向となっています。

居住地別でみると、飯地町、上矢作町、串原では「ある」の割合が3割以上と、他の地区に比べ高くなっています。



		ある	ない	無回答
全体(n=1,451)		22.5	75.8	1.7
性別	男性(n=657)	22.5	76.7	0.8
	女性(n=770)	22.3	76.4	1.3
年齢別	20～29歳(n=97)	3.1	96.9	0.0
	30～39歳(n=156)	7.1	92.9	0.0
	40～49歳(n=170)	12.4	87.0	0.6
	50～59歳(n=238)	11.8	87.4	0.8
	60～69歳(n=317)	19.9	79.5	0.6
	70歳以上(n=452)	43.1	54.5	2.4
居住地別	大井町(n=292)	20.5	78.8	0.7
	長島町(n=226)	20.4	78.7	0.9
	東野(n=54)	22.2	77.8	0.0
	三郷町(n=73)	15.1	83.5	1.4
	武並町(n=92)	21.7	78.3	0.0
	笠置町(n=44)	20.5	79.5	0.0
	中野方町(n=54)	16.7	79.6	3.7
	飯地町(n=42)	35.7	64.3	0.0
	岩村町(n=143)	22.4	76.2	1.4
	山岡町(n=115)	24.3	74.0	1.7
	明智町(n=169)	22.5	75.7	1.8
	串原(n=52)	30.8	67.3	1.9
上矢作町(n=72)	34.7	65.3	0.0	

④ 日常生活に影響する内容

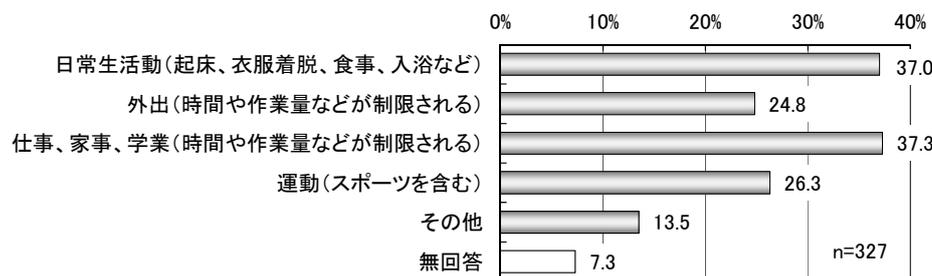
【問14】問13で1を選択した方にお聞きます。それほどどのようなことに影響がありますか。

(複数回答：該当するものすべて)

「仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）」が37.3%、「日常生活動作（起床、衣服着脱、食事、入浴など）」が37.0%とほぼ並んでいます。次いで、「運動（スポーツを含む）」が26.3%、「外出（時間や作業量などが制限される）」が24.8%となっています。

性別でみると、男性・女性ともに「仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、30歳代、40歳代、60歳代では「仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）」が5割以上と、他の年代に比べ高くなっています。



		日常生活動作(起床、衣服着脱、食事、入浴など)	外出(時間や作業量などが制限される)	仕事、家事、学業(時間や作業量などが制限される)	運動(スポーツを含む)	その他	無回答
全体(n=327)		37.0	24.8	37.3	26.3	13.5	7.3
性別	男性(n=148)	36.5	24.3	39.2	27.7	16.9	2.7
	女性(n=172)	36.6	25.6	37.2	26.2	11.0	10.5
年齢別	20～29歳(n=3)	33.3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0
	30～39歳(n=11)	9.1	18.2	54.5	18.2	27.3	9.1
	40～49歳(n=21)	42.9	19.0	52.4	23.8	19.0	0.0
	50～59歳(n=28)	35.7	21.4	39.3	25.0	28.6	7.1
	60～69歳(n=63)	34.9	22.2	54.0	33.3	12.7	1.6
	70歳以上(n=195)	38.5	26.7	30.3	25.1	10.8	9.7
居住地別	大井町(n=60)	38.3	35.0	33.3	26.7	15.0	6.7
	長島町(n=46)	37.0	26.1	28.3	39.1	19.6	4.3
	東野(n=12)	41.7	33.3	50.0	8.3	0.0	8.3
	三郷町(n=11)	63.6	36.4	63.6	36.4	0.0	9.1
	武並町(n=20)	40.0	20.0	30.0	25.0	20.0	5.0
	笠置町(n=9)	55.6	22.2	33.3	44.4	33.3	11.1
	中野方町(n=9)	22.2	55.6	77.8	33.3	0.0	0.0
	飯地町(n=15)	26.7	0.0	33.3	13.3	13.3	13.3
	岩村町(n=32)	28.1	21.9	40.6	18.8	9.4	12.5
	山岡町(n=28)	32.1	21.4	42.9	28.6	21.4	0.0
	明智町(n=38)	39.5	21.1	23.7	26.3	15.8	5.3
	串原(n=16)	37.5	18.8	37.5	31.3	0.0	25.0
	上矢作町(n=25)	32.0	16.0	52.0	12.0	4.0	8.0

(3) 子育てについて

【問15】安心して子どもを生み育てるためには何が必要だと思いますか？

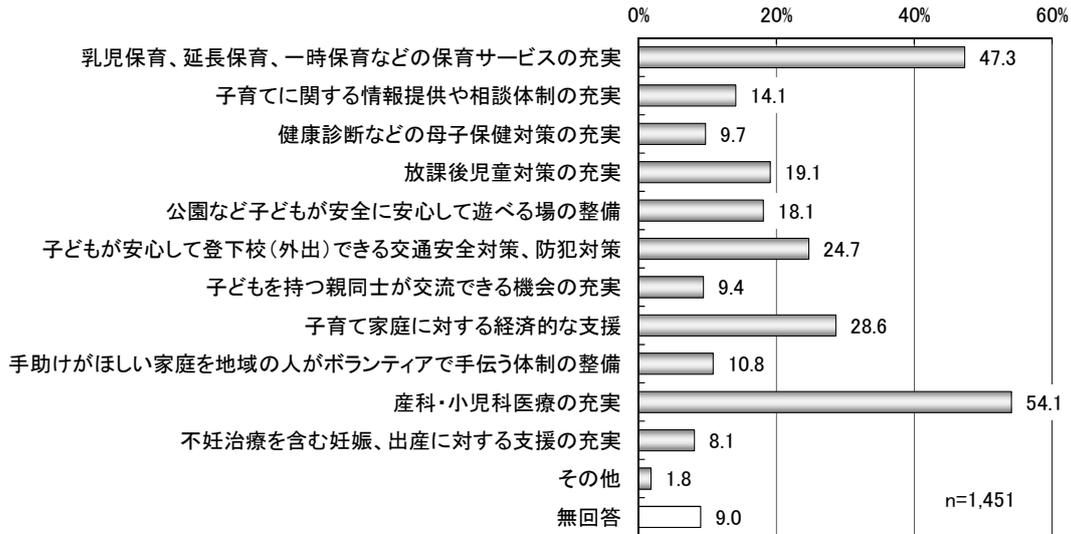
（複数回答：3つまで）

「産科・小児科医療の充実」が54.1%と最も高く、次いで「乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が47.3%、「子育て家庭に対する経済的な支援」が28.6%の順となっています。

性別でみると、男性・女性ともに「産科・小児科医療の充実」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年代が低いほど「子育て家庭に対する経済的な支援」の割合が高くなる傾向があります。

居住地別でみると、笠置町、三郷町では「産科・小児科医療の充実」が65%以上、中野方町では「乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実」が約6割と、他の地区に比べ高くなっています。



	乳児保育、延長保育、一時保育などの保育サービスの充実	子育てに関する情報提供や相談体制の充実	健康診断などの母子保健対策の充実	放課後児童対策の充実	公園など子どもが安全に安心して遊べる場の整備	子どもが安心して登下校(外出)できる交通安全対策、防犯対策	子どもを持つ親同士が交流できる機会の充実	子育て家庭に対する経済的な支援	手助けがほしい家庭を地域の人がボランティアで手伝う体制の整備	産科・小児科医療の充実	不妊治療を含む妊娠、出産に対する支援の充実	その他	無回答	
全体(n=1,451)	47.3	14.1	9.7	19.1	18.1	24.7	9.4	28.6	10.8	54.1	8.1	1.8	9.0	
性別	男性(n=657)	50.1	12.8	12.3	18.4	17.7	25.4	9.3	33.8	8.7	51.6	7.9	2.7	5.9
	女性(n=770)	45.7	15.6	7.4	20.1	18.8	24.4	9.4	24.7	12.7	57.3	8.3	1.0	10.3
年齢別	20～29歳(n=97)	44.3	17.5	10.3	13.4	23.7	28.9	15.5	47.4	9.3	58.8	9.3	3.1	1.0
	30～39歳(n=156)	46.8	10.9	6.4	21.8	27.6	34.6	1.9	42.3	6.4	59.0	11.5	4.5	2.6
	40～49歳(n=170)	52.9	9.4	7.6	24.1	17.1	30.6	9.4	33.5	8.2	58.8	11.8	2.4	0.6
	50～59歳(n=238)	52.5	15.1	11.8	21.4	19.3	18.5	8.0	30.3	12.6	66.0	7.6	1.7	2.1
	60～69歳(n=317)	58.0	16.7	6.9	25.9	14.5	23.7	8.8	25.9	11.4	59.6	7.9	1.3	4.7
	70歳以上(n=452)	37.2	14.4	12.4	12.4	16.2	22.6	11.7	19.9	12.4	40.5	6.0	0.9	20.6
居住地別	大井町(n=292)	53.4	14.4	10.6	21.6	19.5	27.1	8.6	25.7	11.0	51.4	9.6	2.1	6.8
	長島町(n=226)	43.8	14.2	9.3	24.8	20.8	25.7	8.0	25.2	14.2	57.5	8.0	2.2	7.5
	東野(n=54)	38.9	16.7	9.3	24.1	13.0	25.9	16.7	29.6	20.4	44.4	7.4	0.0	9.3
	三郷町(n=73)	53.4	12.3	5.5	16.4	13.7	27.4	6.8	28.8	12.3	65.8	12.3	2.7	1.4
	武並町(n=92)	48.9	16.3	12.0	19.6	23.9	26.1	5.4	34.8	6.5	58.7	9.8	3.3	3.3
	笠置町(n=44)	54.5	13.6	18.2	22.7	11.4	25.0	9.1	25.0	9.1	72.7	6.8	0.0	2.3
	中野方町(n=54)	59.3	11.1	5.6	22.2	14.8	22.2	7.4	42.6	7.4	46.3	5.6	0.0	11.1
	飯地町(n=42)	52.4	16.7	4.8	7.1	7.1	21.4	21.4	33.3	7.1	57.1	16.7	0.0	11.9
	岩村町(n=143)	52.4	15.4	6.3	17.5	23.1	21.7	11.9	28.7	5.6	57.3	7.7	2.8	9.1
	山岡町(n=115)	40.9	12.2	12.2	16.5	17.4	24.3	7.8	32.2	13.0	42.6	6.1	0.9	13.9
	明智町(n=169)	45.0	11.8	5.9	20.1	18.3	26.6	7.7	29.6	13.0	55.0	5.9	0.6	9.5
	串原(n=52)	25.0	23.1	7.7	13.5	15.4	19.2	7.7	21.2	7.7	42.3	3.8	1.9	23.1
	上矢作町(n=72)	44.4	12.5	23.6	6.9	11.1	19.4	18.1	29.2	6.9	59.7	6.9	1.4	9.7

(4) 生活環境について

① 快適な生活環境に必要なこと

【問16】市の生活環境を快適なものにするためには何を行うことが必要だと思いますか？

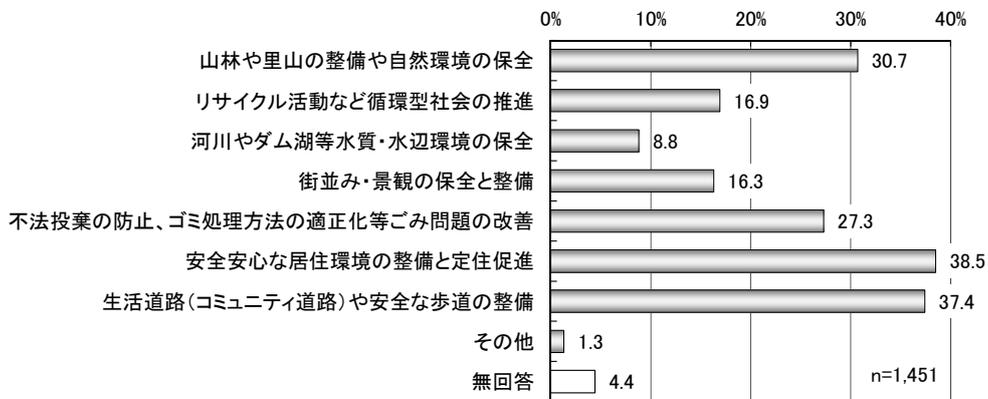
(複数回答：2つまで)

「安全安心な居住環境の整備と定住促進」が38.5%と最も高く、次いで「生活道路（コミュニティ道路）や安全な歩道の整備」が37.4%、「山林や里山の整備や自然環境の保全」が30.7%の順となっています。

性別でみると、男性では「山林や里山の整備や自然環境の保全」が約35%と、女性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、40歳代、50歳代では「安全安心な居住環境の整備と定住促進」が45%以上と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、上矢作町では「山林や里山の整備や自然環境の保全」が6割、「安全安心な居住環境の整備と定住促進」が約55%、飯地町では「生活道路（コミュニティ道路）や安全な歩道の整備」が5割強と、他の地区に比べ高くなっています。



	山林や里山の整備や自然環境の保全	リサイクル活動など循環型社会の推進	河川やダム湖等水質・水辺環境の保全	街並み・景観の保全と整備	不法投棄の防止、ゴミ処理方法の適正化等ごみ問題の改善	安全安心な居住環境の整備と定住促進	生活道路（コミュニティ道路）や安全な歩道の整備	その他	無回答	
全体(n=1,451)	30.7	16.9	8.8	16.3	27.3	38.5	37.4	1.3	4.4	
性別	男性(n=657)	34.6	14.9	10.5	17.5	26.5	39.9	38.4	1.4	2.4
	女性(n=770)	27.7	19.0	7.5	15.8	28.4	37.8	36.8	1.3	4.8
年齢別	20～29歳(n=97)	17.5	14.4	11.3	28.9	26.8	36.1	46.4	1.0	2.1
	30～39歳(n=156)	23.1	12.2	9.6	19.9	26.9	39.1	41.0	3.2	2.6
	40～49歳(n=170)	21.2	21.2	3.5	18.2	28.2	45.9	43.5	1.2	0.0
	50～59歳(n=238)	31.1	19.3	7.6	14.3	25.2	49.2	33.6	0.8	4.2
	60～69歳(n=317)	36.3	18.9	8.5	13.2	30.9	36.0	37.9	1.9	2.2
	70歳以上(n=452)	35.8	15.3	11.3	15.7	26.5	32.5	33.6	0.4	7.3
居住地別	大井町(n=292)	21.6	27.7	11.0	20.2	24.7	40.1	35.3	1.7	1.7
	長島町(n=226)	24.3	17.3	8.4	16.8	34.5	36.3	37.2	1.3	4.4
	東野(n=54)	33.3	25.9	13.0	11.1	35.2	33.3	25.9	3.7	3.7
	三郷町(n=73)	35.6	13.7	12.3	11.0	31.5	32.9	38.4	2.7	5.5
	武並町(n=92)	27.2	17.4	8.7	13.0	29.3	37.0	41.3	3.3	3.3
	笠置町(n=44)	45.5	9.1	15.9	6.8	25.0	40.9	38.6	0.0	2.3
	中野方町(n=54)	40.7	9.3	13.0	9.3	42.6	31.5	31.5	0.0	5.6
	飯地町(n=42)	42.9	7.1	2.4	4.8	14.3	47.6	52.4	2.4	4.8
	岩村町(n=143)	30.1	14.7	8.4	22.4	28.7	37.8	39.9	0.0	4.9
	山岡町(n=115)	25.2	14.8	7.8	14.8	23.5	44.3	36.5	0.9	7.0
	明智町(n=169)	30.8	15.4	5.9	25.4	24.3	35.5	41.4	0.6	3.0
	串原(n=52)	50.0	9.6	9.6	1.9	26.9	32.7	36.5	0.0	5.8
	上矢作町(n=72)	59.7	4.2	1.4	15.3	13.9	54.2	31.9	1.4	4.2

② 取り組むべき地球温暖化対策

【問17】地球温暖化対策で、どのようなことに市が重点的に取り組むべきだと思いますか？

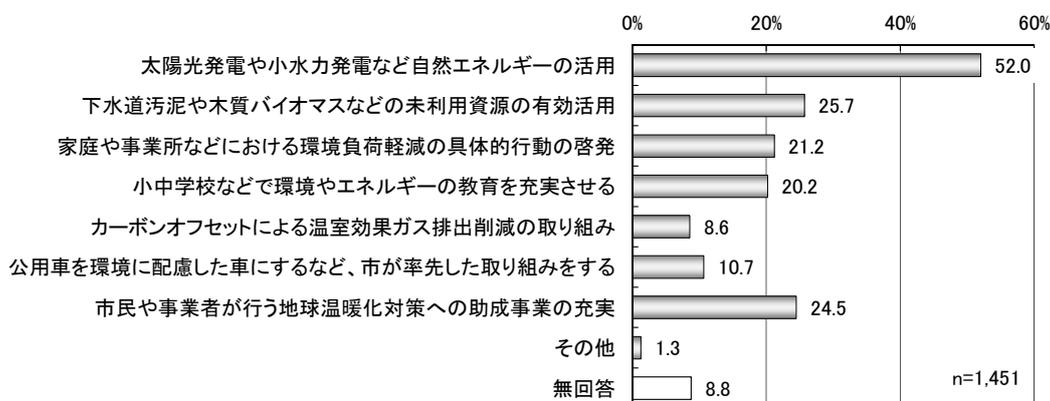
〈複数回答：2つまで〉

「太陽光発電や小水力発電など自然エネルギーの活用」が52.0%と最も高く、次いで「下水道汚泥や木質バイオマスなどの未利用資源の有効活用」が25.7%、「市民や事業者が行う地球温暖化対策への助成事業の充実」が24.5%の順となっています。

性別でみると、男性では「太陽光発電や小水力発電など自然エネルギーの活用」が55%以上と、女性よりも高くなっています。

年齢別でみると、20歳代、60歳代では「下水道汚泥や木質バイオマスなどの未利用資源の有効活用」が約3割と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、上矢作町では「太陽光発電や小水力発電など自然エネルギーの活用」が6割強、串原、飯地町、武並町では「市民や事業者が行う地球温暖化対策への助成事業の充実」が3割以上と、他の地区に比べ高くなっています。



	太陽光発電や小水力発電など自然エネルギーの活用	下水道汚泥や木質バイオマスなどの未利用資源の有効活用	家庭や事業所などにおける環境負荷軽減の具体的な行動の啓発	小中学校などで環境やエネルギーの教育を充実させる	カーボンオフセットによる温室効果ガス排出削減の取り組み	公用車を環境に配慮した車にするなど、市が率先した取り組みをする	市民や事業者が行う地球温暖化対策への助成事業の充実	その他	無回答
全体(n=1,451)	52.0	25.7	21.2	20.2	8.6	10.7	24.5	1.3	8.8
性別									
男性(n=657)	56.5	25.4	21.5	20.2	9.0	11.0	26.2	2.1	5.0
女性(n=770)	48.8	26.5	21.6	20.3	8.6	10.4	23.6	0.6	10.6
年齢別									
20～29歳(n=97)	59.8	30.9	17.5	22.7	12.4	14.4	18.6	1.0	3.1
30～39歳(n=156)	46.8	23.1	13.5	22.4	10.9	16.7	28.2	3.2	4.5
40～49歳(n=170)	57.1	24.7	23.5	18.2	7.1	11.2	28.2	1.8	3.5
50～59歳(n=238)	49.6	26.1	25.2	18.5	9.7	9.7	29.4	0.8	4.6
60～69歳(n=317)	52.7	30.6	25.6	18.9	9.1	8.2	26.5	1.3	6.0
70歳以上(n=452)	52.2	23.2	18.8	21.7	7.1	9.5	20.1	0.9	15.5
居住地別									
大井町(n=292)	54.5	31.8	18.8	22.3	10.3	11.0	19.2	1.4	6.2
長島町(n=226)	47.3	29.6	21.7	22.1	7.1	11.9	26.5	1.8	7.1
東野(n=54)	51.9	24.1	22.2	22.2	9.3	9.3	24.1	0.0	9.3
三郷町(n=73)	56.2	21.9	30.1	19.2	11.0	6.8	27.4	0.0	8.2
武並町(n=92)	45.7	23.9	26.1	18.5	8.7	12.0	30.4	4.3	4.3
笠置町(n=44)	50.0	31.8	29.5	9.1	11.4	9.1	25.0	0.0	2.3
中野方町(n=54)	42.6	24.1	14.8	31.5	11.1	9.3	24.1	0.0	13.0
飯地町(n=42)	50.0	23.8	21.4	9.5	7.1	14.3	35.7	2.4	14.3
岩村町(n=143)	51.7	26.6	22.4	17.5	7.7	9.8	26.6	1.4	9.1
山岡町(n=115)	56.5	20.0	22.6	18.3	7.0	13.0	22.6	0.9	9.6
明智町(n=169)	56.8	18.9	19.5	23.1	10.1	8.9	21.9	1.2	9.5
串原(n=52)	42.3	21.2	25.0	9.6	5.8	13.5	36.5	0.0	17.3
上矢作町(n=72)	61.1	25.0	13.9	25.0	5.6	8.3	23.6	1.4	8.3

(5) 防災・消防について

① 災害に対する不安内容

【問18】地震や大雨などの災害に対して、あなたが特に不安に思うことは何ですか？

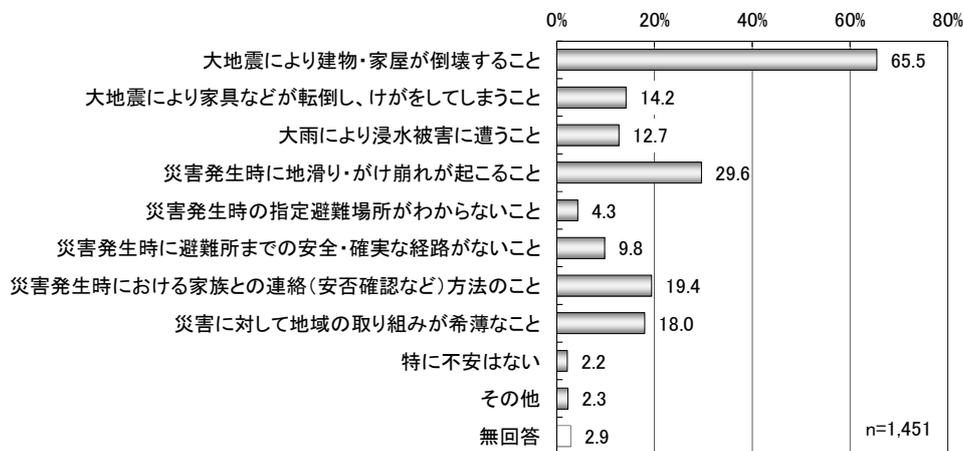
(複数回答：2つまで)

「大地震により建物・家屋が倒壊すること」が65.5%と最も高く、次いで「災害発生時に地滑り・がけ崩れが起こること」が29.6%、「災害発生時における家族との連絡(安否確認など)方法のこと」が19.4%、「災害に対しての地域の取り組みが希薄なこと」が18.0%の順となっています。一方、「特に不安はない」は2.2%とわずかです。

性別でみると、女性では「災害発生時における家族との連絡(安否確認など)方法のこと」が2割強と、男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、20歳代と60歳代では「災害発生時に地滑り・がけ崩れが起こること」が35%以上と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、串原では「災害発生時に避難所までの安全・確実な経路がないこと」の割合が2割以上と、他の地区に比べ高くなっています。



	大地震により建物・家屋が倒壊すること	大地震により家具などが転倒し、けがをしまうこと	大雨により浸水被害に遭うこと	災害発生時に地滑り・がけ崩れが起こること	災害発生時の指定避難場所がわからないこと	災害発生時に避難所までの安全・確実な経路がないこと	災害発生時における家族との連絡(安否確認など)方法のこと	災害に対して地域の取り組みが希薄なこと	特に不安はない	その他	無回答	
全体(n=1,451)	65.5	14.2	12.7	29.6	4.3	9.8	19.4	18.0	2.2	2.3	2.9	
性別	男性(n=657)	66.8	12.9	11.9	30.3	4.9	9.1	16.9	20.2	2.4	2.4	2.3
	女性(n=770)	65.5	15.5	13.5	29.6	3.8	10.6	21.8	16.2	1.9	2.2	2.2
年齢別	20～29歳(n=97)	63.9	10.3	9.3	42.3	8.2	11.3	24.7	12.4	1.0	3.1	0.0
	30～39歳(n=156)	60.9	12.8	9.0	34.0	6.4	11.5	29.5	15.4	2.6	2.6	0.6
	40～49歳(n=170)	68.2	7.6	10.0	29.4	4.1	10.0	30.6	12.9	2.4	3.5	0.6
	50～59歳(n=238)	63.4	10.9	11.3	28.2	2.5	12.2	22.7	19.3	1.7	2.9	2.1
	60～69歳(n=317)	69.4	14.5	10.7	36.0	2.8	9.8	15.1	21.1	1.6	2.5	1.3
	70歳以上(n=452)	65.9	19.5	17.9	22.6	4.9	7.7	12.2	19.5	3.1	1.1	4.9
居住地別	大井町(n=292)	69.9	16.4	8.2	18.2	7.9	10.3	24.0	19.5	1.4	5.1	0.7
	長島町(n=226)	64.6	15.9	10.6	25.7	4.9	8.0	26.1	15.9	2.2	3.1	2.2
	東野(n=54)	63.0	18.5	16.7	22.2	3.7	9.3	22.2	20.4	3.7	0.0	1.9
	三郷町(n=73)	69.9	13.7	20.5	38.4	4.1	6.8	12.3	8.2	1.4	1.4	2.7
	武並町(n=92)	66.3	13.0	10.9	27.2	1.1	14.1	30.4	19.6	1.1	1.1	3.3
	笠置町(n=44)	75.0	11.4	2.3	45.5	2.3	9.1	22.7	20.5	0.0	0.0	2.3
	中野方町(n=54)	59.3	14.8	27.8	46.3	0.0	3.7	13.0	16.7	3.7	0.0	0.0
	飯地町(n=42)	64.3	7.1	11.9	59.5	0.0	4.8	7.1	11.9	4.8	0.0	4.8
	岩村町(n=143)	67.1	17.5	11.9	21.7	2.8	10.5	18.9	15.4	4.9	1.4	3.5
	山岡町(n=115)	63.5	18.3	13.0	31.3	3.5	5.2	18.3	23.5	3.5	0.0	3.5
	明智町(n=169)	60.9	11.8	14.2	35.5	4.1	14.2	11.2	23.1	2.4	1.8	1.2
	串原(n=52)	59.6	1.9	11.5	42.3	7.7	21.2	11.5	17.3	0.0	1.9	7.7
	上矢作町(n=72)	68.1	5.6	25.0	43.1	2.8	8.3	9.7	16.7	0.0	4.2	4.2

② 火災や救急に対する不安内容

【問19】火災や救急に対して不安に感じていることはありますか？

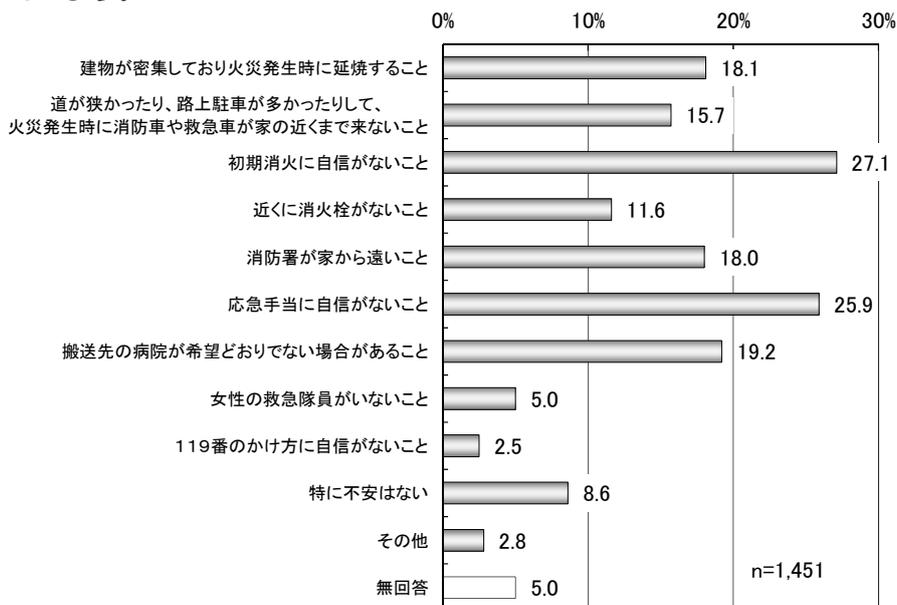
〈複数回答：2つまで〉

「初期消火に自信がないこと」が27.1%と最も高く、次いで「応急手当に自信がないこと」が25.9%、「搬送先の病院が希望どおりでない場合があること」が19.2%の順となっています。一方、「特に不安はない」は8.6%となっています。

性別でみると、女性では「初期消火に自信がないこと」「応急手当に自信がないこと」が約3割と男性より高くなっています。

年齢別でみると、20歳代では「応急手当に自信がないこと」、70歳以上では「初期消火に自信がないこと」が35%以上と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、飯地町、中野方町では「消防署が家から遠いこと」が概ね6割以上と、他の地区に比べ高くなっています。



	建物が密集しており火災発生時に延焼すること	道が狭かったり、路上駐車が多かったりして、火災発生時に消防車や救急車が家の近くまで来ないこと	初期消火に自信がないこと	近くに消火栓がないこと	消防署が家から遠いこと	応急手当に自信がないこと	搬送先の病院が希望どおりでない場合があること	女性の救急隊員がいないこと	119番のかけ方に自信がないこと	特に不安はない	その他	無回答
全体(n=1,451)	18.1	15.7	27.1	11.6	18.0	25.9	19.2	5.0	2.5	8.6	2.8	5.0
性別												
男性(n=657)	15.2	18.0	23.0	14.5	21.8	22.8	19.8	3.7	1.5	10.4	2.7	4.4
女性(n=770)	20.8	14.2	30.9	9.5	15.2	29.0	18.7	6.1	3.2	7.3	2.7	4.3
年齢別												
20～29歳(n=97)	16.5	18.6	22.7	12.4	18.6	37.1	14.4	6.2	5.2	7.2	0.0	3.1
30～39歳(n=156)	17.9	15.4	21.2	10.9	20.5	28.2	14.7	3.8	1.3	7.1	4.5	5.1
40～49歳(n=170)	18.8	16.5	26.5	11.8	18.2	30.6	15.3	2.9	0.6	11.8	3.5	2.4
50～59歳(n=238)	18.9	15.1	20.2	11.8	20.2	26.1	21.4	5.5	2.1	8.0	4.6	2.9
60～69歳(n=317)	18.6	16.7	26.5	14.5	18.0	21.5	21.8	5.4	2.2	11.0	2.8	1.6
70歳以上(n=452)	17.9	14.8	35.0	10.0	16.2	24.8	19.9	5.5	3.5	7.3	1.5	7.5
居住地別												
大井町(n=292)	30.1	25.3	25.7	19.2	6.2	24.7	10.6	3.8	0.3	10.6	2.7	4.1
長島町(n=226)	19.5	17.3	29.6	12.4	6.2	34.1	19.0	4.4	1.3	9.7	1.8	4.9
東野(n=54)	9.3	14.8	35.2	18.5	3.7	20.4	20.4	5.6	7.4	9.3	1.9	5.6
三郷町(n=73)	2.7	16.4	26.0	15.1	26.0	23.3	20.5	5.5	2.7	9.6	4.1	5.5
武並町(n=92)	12.0	13.0	28.3	6.5	27.2	27.2	21.7	7.6	4.3	5.4	4.3	3.3
笠置町(n=44)	0.0	18.2	25.0	18.2	45.5	29.5	9.1	4.5	2.3	9.1	2.3	0.0
中野方町(n=54)	5.6	11.1	25.9	5.6	59.3	27.8	13.0	7.4	3.7	0.0	3.7	0.0
飯地町(n=42)	2.4	16.7	16.7	21.4	66.7	11.9	9.5	2.4	0.0	4.8	2.4	7.1
岩村町(n=143)	27.3	11.9	29.4	6.3	2.8	25.2	26.6	8.4	3.5	9.8	1.4	5.6
山岡町(n=115)	3.5	3.5	27.8	12.2	33.0	35.7	20.9	4.3	2.6	8.7	2.6	4.3
明智町(n=169)	23.1	13.0	24.3	6.5	11.8	23.7	32.5	1.8	4.7	8.3	3.6	3.6
串原(n=52)	5.8	5.8	30.8	0.0	42.3	17.3	23.1	5.8	3.8	1.9	5.8	7.7
上矢作町(n=72)	26.4	20.8	26.4	5.6	20.8	16.7	12.5	8.3	1.4	13.9	1.4	6.9

(6) 公共交通について

【問20】あなたは今後、どのような公共交通サービスが充実されることを望みますか？

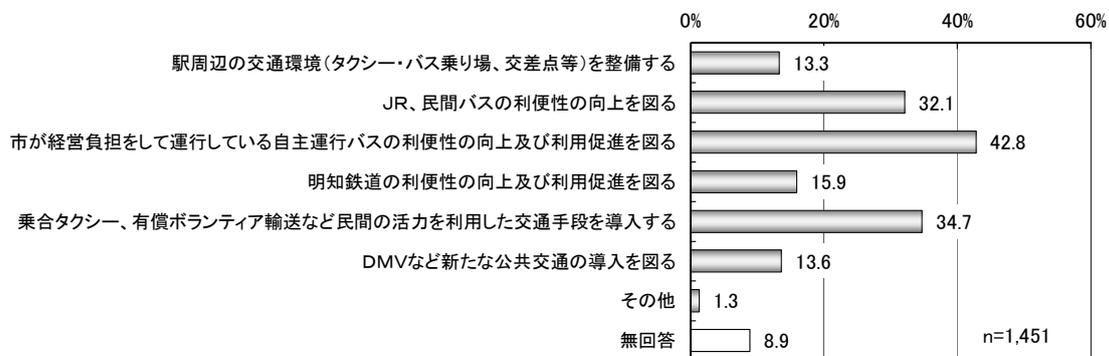
(複数回答：2つまで)

「市が経営負担をして運行している自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る」が42.8%と最も高く、次いで「乗合タクシー、有償ボランティア輸送など民間の活力を利用した交通手段を導入する」が34.7%、「JR、民間バスの利便性の向上を図る」が32.1%の順となっています。

性別でみると、男性では「市が経営負担をして運行している自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る」が45%以上と、女性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、年代が低いほど「JR、民間バスの利便性の向上を図る」「駅周辺の交通環境(タクシー・バス乗り場、交差点等)を整備する」の割合が高く、年代が高いほど「市が経営負担をして運行している自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る」「乗合タクシー、有償ボランティア輸送など民間の活力を利用した交通手段を導入する」の割合が概ね高くなる傾向となっています。

居住地別にみると、上矢作町では「市が経営負担をして運行している自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る」が6割強、笠置町、飯地町では「乗合タクシー、有償ボランティア輸送など民間の活力を利用した交通手段を導入する」が55%以上、岩村町、明智町では「明知鉄道の利便性の向上及び利用促進を図る」が35%以上と、他の地区に比べ高くなっています。



	駅周辺の交通環境(タクシー・バス乗り場、交差点等)を整備する	JR、民間バスの利便性の向上を図る	市が経営負担をして運行している自主運行バスの利便性の向上及び利用促進を図る	明知鉄道の利便性の向上及び利用促進を図る	乗合タクシー、有償ボランティア輸送など民間の活力を利用した交通手段を導入する	DMVなど新たな公共交通の導入を図る	その他	無回答
全体(n=1,451)	13.3	32.1	42.8	15.9	34.7	13.6	1.3	8.9
性別								
男性(n=657)	13.1	31.5	46.1	16.3	34.9	13.5	1.2	6.8
女性(n=770)	13.9	33.0	40.6	16.0	35.2	13.6	1.4	9.2
年齢別								
20～29歳(n=97)	20.6	53.6	32.0	22.7	12.4	14.4	2.1	5.2
30～39歳(n=156)	19.2	41.0	31.4	20.5	23.1	17.9	1.9	5.1
40～49歳(n=170)	18.8	37.1	38.2	17.1	24.7	17.1	1.8	4.7
50～59歳(n=238)	13.4	33.6	41.2	18.1	37.8	19.3	1.3	2.9
60～69歳(n=317)	9.1	26.2	51.1	16.1	44.2	11.0	1.3	7.6
70歳以上(n=452)	11.1	25.9	46.7	11.9	39.4	9.7	0.9	14.8
居住地別								
大井町(n=292)	19.5	40.8	38.4	10.6	35.6	11.0	1.4	5.1
長島町(n=226)	19.9	38.5	35.8	5.8	31.4	12.8	2.2	9.3
東野(n=54)	13.0	29.6	31.5	25.9	33.3	14.8	0.0	9.3
三郷町(n=73)	13.7	39.7	49.3	1.4	47.9	8.2	2.7	4.1
武並町(n=92)	25.0	33.7	41.3	1.1	38.0	20.7	1.1	7.6
笠置町(n=44)	6.8	22.7	54.5	2.3	61.4	4.5	2.3	9.1
中野方町(n=54)	13.0	42.6	53.7	1.9	37.0	11.1	1.9	7.4
飯地町(n=42)	2.4	26.2	54.8	2.4	57.1	9.5	0.0	14.3
岩村町(n=143)	11.2	25.9	39.2	42.0	24.5	18.9	0.7	4.9
山岡町(n=115)	7.8	24.3	53.0	24.3	28.7	17.4	0.0	7.8
明智町(n=169)	7.1	25.4	40.2	37.3	32.5	15.4	0.6	10.1
串原(n=52)	1.9	15.4	48.1	7.7	48.1	15.4	3.8	19.2
上矢作町(n=72)	1.4	26.4	61.1	16.7	25.0	12.5	1.4	15.3

(7) 産業振興について

【問21】「活力あるまち」にするために、どのような取り組みが重要だと思いますか？

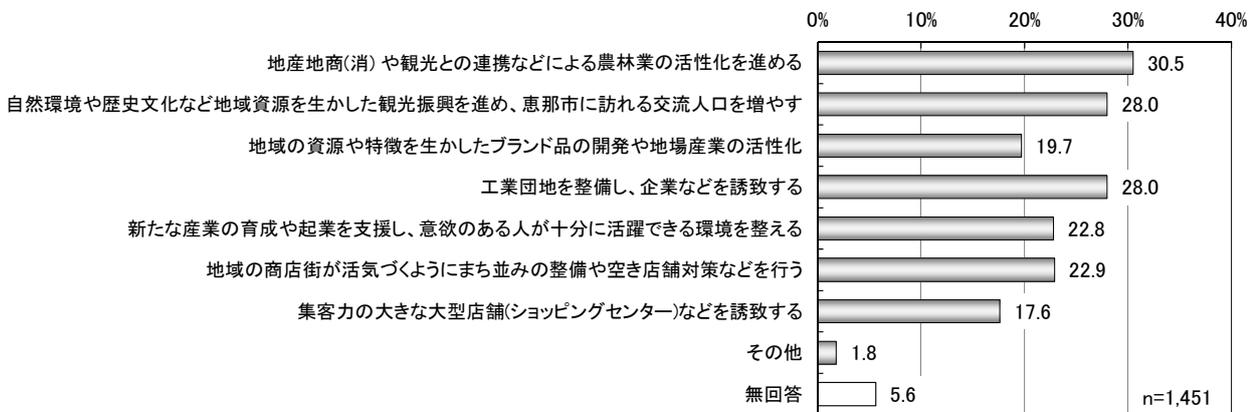
(複数回答：2つまで)

「地産地商(消)や観光との連携などによる農林業の活性化を進める」が30.5%と最も高く、次いで「自然環境や歴史文化など地域資源を生かした観光振興を進め、恵那市に訪れる交流人口を増やす」と「工業団地を整備し、企業などを誘致する」が28.0%の順となっています。

性別でみると、男性では「工業団地を整備し、企業などを誘致する」が3割強と、女性より高くなっています。

年齢別でみると、年代が低いほど「集客力の大きな大型店舗(ショッピングセンター)などを誘致する」の割合が概ね高くなる傾向があります。

居住地別にみると、笠置町、飯地町では「地産地商(消)や観光との連携などによる農林業の活性化を進める」が45%以上、山岡町では「工業団地を整備し、企業などを誘致する」が約45%と、他の地区に比べ高くなっています。



	地産地商(消)や観光との連携などによる農林業の活性化を進める	自然環境や歴史文化など地域資源を生かした観光振興を進め、恵那市に訪れる交流人口を増やす	地域の資源や特徴を生かしたブランド品の開発や地場産業の活性化	工業団地を整備し、企業などを誘致する	新たな産業の育成や起業を支援し、意欲のある人が十分に活躍できる環境を整える	地域の商店街が活気づくようまち並みの整備や空き店舗対策などを行う	集客力の大きな大型店舗(ショッピングセンター)などを誘致する	その他	無回答	
全体(n=1,451)	30.5	28.0	19.7	28.0	22.8	22.9	17.6	1.8	5.6	
性別	男性(n=657)	31.2	30.6	19.9	33.3	22.1	21.0	17.4	2.4	3.3
	女性(n=770)	30.0	26.4	19.9	24.0	23.9	24.9	18.3	1.3	6.2
年齢別	20～29歳(n=97)	21.6	36.1	17.5	23.7	16.5	26.8	34.0	1.0	2.1
	30～39歳(n=156)	19.9	26.3	13.5	32.7	17.9	27.6	34.6	3.2	1.3
	40～49歳(n=170)	27.1	28.2	21.2	35.9	15.9	18.8	32.9	1.8	1.2
	50～59歳(n=238)	34.0	18.9	22.7	28.2	26.5	20.2	21.4	2.1	4.6
	60～69歳(n=317)	37.2	29.0	24.6	26.5	27.8	18.3	10.7	1.9	4.7
	70歳以上(n=452)	30.8	31.9	17.3	26.3	23.2	27.4	6.0	1.3	8.6
居住地別	大井町(n=292)	27.7	30.1	22.6	28.1	19.2	30.8	18.2	2.1	2.4
	長島町(n=226)	23.9	28.3	14.2	29.6	20.4	30.1	23.5	2.2	4.0
	東野(n=54)	33.3	35.2	13.0	31.5	16.7	20.4	16.7	0.0	9.3
	三郷町(n=73)	30.1	34.2	23.3	31.5	21.9	15.1	19.2	8.2	2.7
	武並町(n=92)	23.9	33.7	17.4	23.9	23.9	16.3	30.4	1.1	8.7
	笠置町(n=44)	50.0	18.2	29.5	22.7	25.0	15.9	22.7	2.3	0.0
	中野方町(n=54)	37.0	24.1	27.8	22.2	22.2	16.7	20.4	0.0	7.4
	飯地町(n=42)	47.6	38.1	21.4	23.8	28.6	7.1	7.1	0.0	9.5
	岩村町(n=143)	30.1	30.8	23.1	24.5	21.0	22.4	16.8	1.4	5.6
	山岡町(n=115)	25.2	19.1	12.2	44.3	29.6	13.0	20.0	0.9	6.1
	明智町(n=169)	33.1	28.4	19.5	26.6	26.6	30.2	7.7	1.2	3.6
	串原(n=52)	42.3	19.2	19.2	21.2	26.9	11.5	9.6	3.8	13.5
上矢作町(n=72)	36.1	25.0	23.6	23.6	27.8	19.4	11.1	0.0	6.9	

(8) 学校教育について

【問22】現在の小中学校教育を充実するために、どのようなことに力を入れるべきと思いますか？

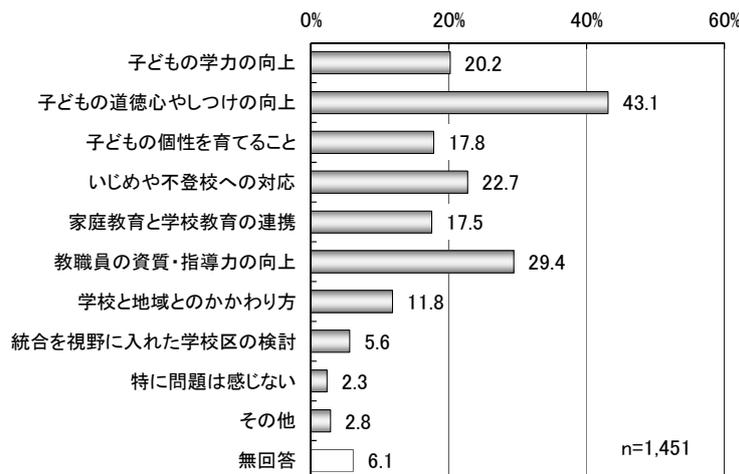
(複数回答：2つまで)

「子どもの道徳心やしつけの向上」が43.1%と最も高く、次いで「教職員の資質・指導力の向上」が29.4%、「いじめや不登校への対応」が22.7%の順となっています。一方、「特に問題は感じない」は2.3%とわずかです。

性別でみると、男性・女性ともに「子どもの道徳心やしつけの向上」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年代が低いほど「いじめや不登校への対応」の割合が概ね高くなっています。

居住地別でみると、長島町と武並町では「教職員の資質・指導力の向上」が35%以上、飯地町と串原では「統合を視野に入れた学校区の検討」が約2割と他の地区に比べ高くなっています。



	子どもの学力の向上	子どもの道徳心やしつけの向上	子どもの個性を育てること	いじめや不登校への対応	家庭教育と学校教育の連携	教職員の資質・指導力の向上	学校と地域とのかかわり方	統合を視野に入れた学校区の検討	特に問題は感じない	その他	無回答
全体(n=1,451)	20.2	43.1	17.8	22.7	17.5	29.4	11.8	5.6	2.3	2.8	6.1
性別	男性(n=657)	19.6	45.4	18.9	19.6	16.7	30.0	12.6	7.6	2.6	4.4
	女性(n=770)	21.0	41.8	17.1	25.5	18.6	29.6	11.3	3.9	2.6	6.4
年齢別	20～29歳(n=97)	22.7	40.2	24.7	37.1	8.2	30.9	15.5	5.2	1.0	1.0
	30～39歳(n=156)	28.8	39.7	19.2	26.3	9.6	35.9	12.8	5.1	1.9	1.9
	40～49歳(n=170)	32.9	32.9	17.1	23.5	14.7	34.7	10.0	5.3	4.1	1.2
	50～59歳(n=238)	16.4	47.9	13.4	25.2	15.1	36.6	13.0	8.0	0.4	2.1
	60～69歳(n=317)	16.7	43.5	21.5	23.0	19.9	29.7	11.4	7.6	2.8	4.4
	70歳以上(n=452)	16.4	47.3	16.4	17.3	22.8	21.7	11.3	3.1	2.9	1.8
居住地別	大井町(n=292)	22.9	45.9	22.3	24.7	16.4	30.5	9.9	2.7	2.4	3.4
	長島町(n=226)	20.8	45.6	13.7	22.1	18.6	38.5	9.3	3.1	1.8	3.5
	東野(n=54)	16.7	38.9	16.7	25.9	18.5	27.8	14.8	11.1	0.0	0.0
	三郷町(n=73)	16.4	50.7	26.0	24.7	16.4	31.5	9.6	0.0	1.4	4.1
	武並町(n=92)	16.3	39.1	12.0	26.1	18.5	37.0	17.4	1.1	3.3	4.3
	笠置町(n=44)	15.9	43.2	15.9	31.8	15.9	29.5	11.4	2.3	2.3	4.5
	中野方町(n=54)	20.4	46.3	24.1	13.0	18.5	29.6	7.4	5.6	5.6	1.9
	飯地町(n=42)	19.0	40.5	16.7	14.3	28.6	23.8	7.1	21.4	0.0	0.0
	岩村町(n=143)	22.4	38.5	18.2	25.9	22.4	26.6	13.3	3.5	0.7	2.1
	山岡町(n=115)	14.8	47.8	19.1	15.7	11.3	30.4	11.3	15.7	4.3	1.7
	明智町(n=169)	24.3	45.6	13.0	26.6	17.2	21.3	14.2	3.0	1.2	3.0
	串原(n=52)	17.3	34.6	17.3	19.2	9.6	9.6	17.3	19.2	7.7	3.8
	上矢作町(n=72)	19.4	30.6	22.2	15.3	22.2	29.2	16.7	8.3	2.8	2.8

(9) 生涯学習について

【問23】生涯を通した学習を充実させるために特に力を入れるべきことは何だと思いますか？

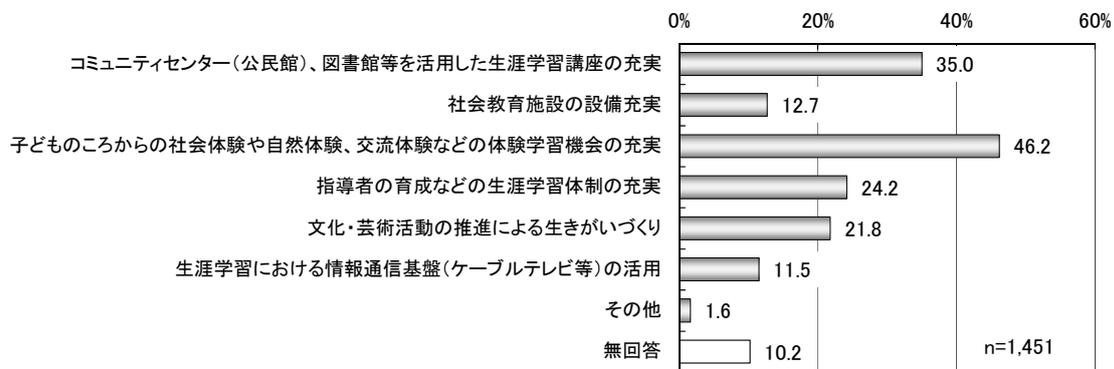
(複数回答：2つまで)

「子どものころからの社会体験や自然体験、交流体験などの体験学習機会の充実」が46.2%と最も高く、次いで「コミュニティセンター（公民館）、図書館等を活用した生涯学習講座の充実」が35.0%、「指導者の育成などの生涯学習体制の充実」が24.2%の順となっています。

性別でみると、男性・女性ともに「子どものころからの社会体験や自然体験、交流体験などの体験学習機会の充実」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、20歳代、30歳代では「子どものころからの社会体験や自然体験、交流体験などの体験学習機会の充実」が5割以上、40歳代では「コミュニティセンター（公民館）、図書館等を活用した生涯学習講座の充実」が4割と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、串原では「文化・芸術活動の推進による生きがいづくり」が3割強と、他の地区に比べ高くなっています。



	コミュニティセンター(公民館)、図書館等を活用した生涯学習講座の充実	社会教育施設の設備充実	子どものころからの社会体験や自然体験、交流体験などの体験学習機会の充実	指導者の育成などの生涯学習体制の充実	文化・芸術活動の推進による生きがいづくり	生涯学習における情報通信基盤(ケーブルテレビ等)の活用	その他	無回答	
全体(n=1,451)	35.0	12.7	46.2	24.2	21.8	11.5	1.6	10.2	
性別	男性(n=657)	32.6	12.5	49.8	27.1	19.5	15.1	2.1	8.5
	女性(n=770)	37.8	13.0	43.6	22.2	24.2	8.7	1.0	10.4
年齢別	20～29歳(n=97)	27.8	22.7	54.6	18.6	30.9	6.2	3.1	4.1
	30～39歳(n=156)	35.3	9.0	62.8	18.6	15.4	11.5	3.2	3.8
	40～49歳(n=170)	40.0	13.5	48.2	29.4	20.0	13.5	1.2	2.9
	50～59歳(n=238)	37.8	18.5	34.5	24.8	23.5	10.9	1.3	7.6
	60～69歳(n=317)	37.2	11.0	44.8	25.9	23.0	12.9	1.6	9.1
	70歳以上(n=452)	32.5	9.5	46.0	24.1	22.1	11.3	1.1	16.8
居住地別	大井町(n=292)	40.4	13.0	46.9	23.6	27.1	8.9	2.1	5.8
	長島町(n=226)	37.6	12.4	42.9	26.5	20.8	10.6	2.2	9.3
	東野(n=54)	42.6	20.4	48.1	31.5	14.8	7.4	1.9	9.3
	三郷町(n=73)	42.5	11.0	37.0	23.3	26.0	16.4	4.1	8.2
	武並町(n=92)	25.0	13.0	55.4	28.3	20.7	12.0	3.3	9.8
	笠置町(n=44)	40.9	11.4	47.7	18.2	25.0	13.6	0.0	6.8
	中野方町(n=54)	44.4	7.4	48.1	31.5	11.1	11.1	1.9	7.4
	飯地町(n=42)	28.6	9.5	42.9	33.3	9.5	26.2	0.0	11.9
	岩村町(n=143)	34.3	14.0	54.5	19.6	21.0	9.1	0.7	7.7
	山岡町(n=115)	25.2	10.4	45.2	19.1	21.7	19.1	0.0	16.5
	明智町(n=169)	32.5	16.0	45.0	18.9	23.7	11.2	0.6	12.4
	串原(n=52)	32.7	11.5	32.7	23.1	32.7	7.7	1.9	15.4
	上矢作町(n=72)	29.2	8.3	51.4	33.3	16.7	8.3	1.4	12.5

(10) 市民参加・市民協働について

① 市民参加・市民協働の進捗状況

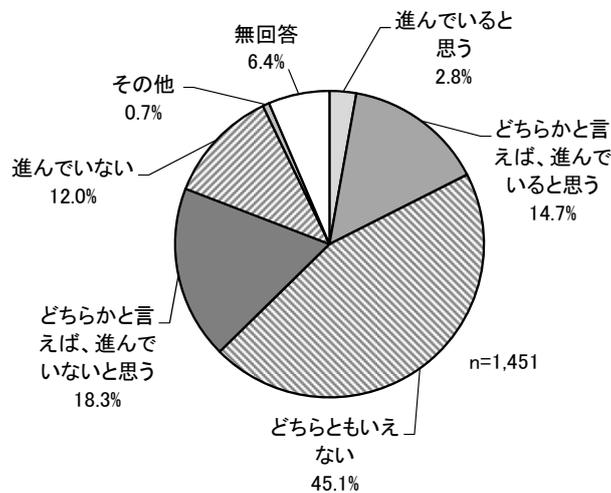
【問24】合併後、各地域に地域自治区が設けられるなど、市民と行政の協働による地域づくりが進められつつあります。この市民と行政の新しい関係づくりは進んでいると思いますか？（単数回答）

「進んでいると思う」「どちらかと言えば、進んでいると思う」を合わせると17.5%となっています。一方、「進んでいない」「どちらかと言えば、進んでいないと思う」を合わせると30.3%となっています。

性別でみると、男性・女性ともに「どちらともいえない」の割合が高くなっています。

年齢別にみると、全ての年代で「進んでいない」「どちらかと言えば、進んでいないと思う」を合わせた割合が、「進んでいると思う」「どちらかと言えば、進んでいると思う」を合わせた割合より高くなっています。

居住地別でみると、笠置町、飯地町、東野、中野方町では「進んでいると思う」「どちらかと言えば、進んでいると思う」を合わせた割合が、「進んでいない」「どちらかと言えば、進んでいないと思う」を合わせた割合より高くなっています。



		進んでいると思う	どちらかと言えば、進んでいると思う	どちらともいえない	どちらかと言えば、進んでいないと思う	進んでいない	その他	無回答
全体(n=1,451)		2.8	14.7	45.1	18.3	12.0	0.7	6.4
性別	男性(n=657)	3.8	14.5	43.5	18.3	14.5	1.1	4.3
	女性(n=770)	1.8	14.9	46.9	18.6	10.1	0.4	7.3
年齢別	20～29歳(n=97)	0.0	10.3	55.6	19.6	9.3	0.0	5.2
	30～39歳(n=156)	3.2	11.5	48.2	17.9	17.3	0.6	1.3
	40～49歳(n=170)	2.4	11.2	53.5	13.5	14.7	1.2	3.5
	50～59歳(n=238)	0.4	10.1	48.8	22.3	13.0	0.8	4.6
	60～69歳(n=317)	2.5	14.5	43.3	18.9	14.5	0.6	5.7
	70歳以上(n=452)	4.9	20.4	39.3	17.7	7.7	0.7	9.3
居住地別	大井町(n=292)	2.7	14.7	53.1	15.8	8.2	0.7	4.8
	長島町(n=226)	3.5	13.7	47.0	15.9	11.1	0.4	8.4
	東野(n=54)	1.9	24.1	42.5	9.3	14.8	0.0	7.4
	三郷町(n=73)	4.1	12.3	54.8	15.1	8.2	0.0	5.5
	武並町(n=92)	6.5	8.7	47.8	19.6	9.8	2.2	5.4
	笠置町(n=44)	6.8	22.7	52.3	15.9	2.3	0.0	0.0
	中野方町(n=54)	7.4	18.5	61.0	9.3	1.9	0.0	1.9
	飯地町(n=42)	2.4	26.2	38.0	16.7	4.8	2.4	9.5
	岩村町(n=143)	2.1	14.0	42.6	21.7	14.7	1.4	3.5
	山岡町(n=115)	0.0	12.2	34.7	27.0	17.4	0.9	7.8
	明智町(n=169)	1.2	14.8	36.1	23.7	18.3	0.0	5.9
	串原(n=52)	0.0	11.5	44.3	17.3	15.4	1.9	9.6
上矢作町(n=72)	1.4	13.9	36.2	22.2	19.4	0.0	6.9	

② 地域づくり活動への参加意向

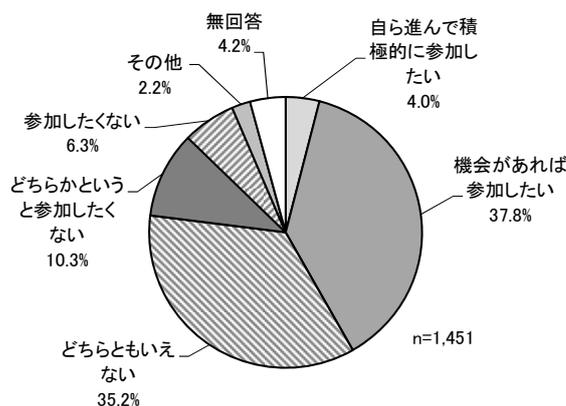
【問25】あなたは地域で行っている各種地域づくり活動に参加したいと思いますか？ (単数回答)

「自ら進んで積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合わせた参加意向のある人は41.8%となっています。一方、「参加したくない」「どちらかというに参加したくない」を合わせた参加意向のない人は16.6%となっています。

性別でみると、男性では「どちらとも言えない」の割合が高く、女性では「機会があれば参加したい」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、年代が高いほど「自ら進んで積極的に参加したい」「機会があれば参加したい」を合わせた参加意向のある人の割合が概ね高くなる傾向となっています。

居住地別でみると、笠置町、東野、上矢作町、三郷町、飯地町では参加意向のある人の割合が45%以上と、他の地区に比べ高くなっています。



		自ら進んで積極的に参加したい	機会があれば参加したい	どちらともいえない	どちらかというに参加したくない	参加したくない	その他	無回答
全体(n=1,451)		4.0	37.8	35.2	10.3	6.3	2.2	4.2
性別	男性(n=657)	5.6	36.1	36.3	10.0	6.8	2.0	3.2
	女性(n=770)	2.6	39.6	34.9	10.8	5.7	2.5	3.9
年齢別	20～29歳(n=97)	1.0	34.0	36.2	17.5	8.2	3.1	0.0
	30～39歳(n=156)	2.6	33.3	39.7	11.5	10.3	1.3	1.3
	40～49歳(n=170)	2.9	32.9	40.2	12.9	7.6	2.9	0.6
	50～59歳(n=238)	2.5	32.4	40.7	12.2	7.6	2.1	2.5
	60～69歳(n=317)	3.8	44.5	36.6	8.2	4.1	0.3	2.5
	70歳以上(n=452)	6.4	40.1	29.2	8.4	4.9	3.3	7.7
居住地別	大井町(n=292)	3.1	37.7	38.3	11.0	5.8	2.4	1.7
	長島町(n=226)	3.1	39.4	35.4	10.6	5.8	1.3	4.4
	東野(n=54)	0.0	46.3	29.6	5.6	11.1	3.7	3.7
	三郷町(n=73)	5.5	39.7	32.9	9.6	4.1	4.1	4.1
	武並町(n=92)	6.5	35.9	32.6	15.2	4.3	2.2	3.3
	笠置町(n=44)	13.6	36.4	27.3	13.6	9.1	0.0	0.0
	中野方町(n=54)	7.4	37.0	42.5	7.4	1.9	1.9	1.9
	飯地町(n=42)	7.1	38.1	28.6	9.5	4.8	4.8	7.1
	岩村町(n=143)	2.1	36.4	43.3	7.0	6.3	2.8	2.1
	山岡町(n=115)	3.5	36.5	29.6	13.9	9.6	1.7	5.2
	明智町(n=169)	1.8	39.6	34.9	8.3	7.7	1.8	5.9
	串原(n=52)	5.8	30.8	34.6	13.5	3.8	3.8	7.7
上矢作町(n=72)	8.3	37.5	31.9	11.1	5.6	1.4	4.2	

③ 市政情報の取得手段

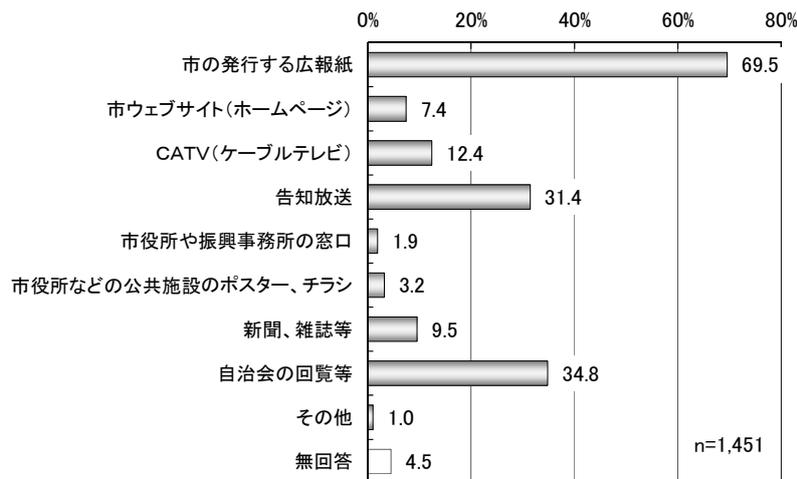
【問26】市ではケーブルテレビや告知放送受信機の整備を進め、各種媒体を使って情報の発信を行っています。主にどのような方法で市政の情報を入手されていますか？（複数回答：2つまで）

「市の発行する広報紙」が69.5%と最も高く、次いで「自治会の回覧等」が34.8%「告知放送」が31.4%の順となっています。

性別でみると、女性では「告知放送」が3割強と、男性よりも高くなっています。

年齢別でみると、40歳代では「市の発行する広報紙」が8割、50歳代では「告知放送」が4割弱、20歳代では「新聞、雑誌等」が約2割と、他年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、大井町、笠置町では「市の発行する広報紙」が75%以上、東野、中野方町では「告知放送」が約5割と、他の地区に比べ高くなっています。



	市の発行する広報紙	市ウェブサイト(ホームページ)	CATV(ケーブルテレビ)	告知放送	市役所や振興事務所の窓口	市役所などの公共施設のポスター、チラシ	新聞、雑誌等	自治会の回覧等	その他	無回答	
全体(n=1,451)	69.5	7.4	12.4	31.4	1.9	3.2	9.5	34.8	1.0	4.5	
性別	男性(n=657)	68.8	9.3	12.6	29.2	2.6	3.5	9.7	35.2	1.4	3.2
	女性(n=770)	71.7	5.8	12.3	33.5	1.3	3.0	9.1	35.1	0.8	4.5
年齢別	20～29歳(n=97)	59.8	9.3	11.3	23.7	1.0	6.2	20.6	27.8	2.1	2.1
	30～39歳(n=156)	69.9	11.5	13.5	25.6	0.6	2.6	8.3	26.3	3.8	1.9
	40～49歳(n=170)	80.0	11.8	13.5	31.8	0.6	2.9	4.7	31.8	0.6	0.6
	50～59歳(n=238)	71.0	9.7	8.8	37.4	1.3	2.1	5.5	35.3	0.8	2.5
	60～69歳(n=317)	74.1	6.0	15.8	34.7	1.6	2.5	7.6	39.4	0.6	2.5
	70歳以上(n=452)	65.3	3.5	11.7	29.6	3.3	4.0	13.3	37.8	0.4	8.2
居住地別	大井町(n=292)	79.1	9.9	8.9	21.2	0.3	5.5	12.7	37.0	1.7	1.0
	長島町(n=226)	69.0	10.6	8.4	27.9	0.9	2.7	9.7	37.6	0.9	5.8
	東野(n=54)	66.7	3.7	5.6	50.0	1.9	7.4	11.1	29.6	1.9	1.9
	三郷町(n=73)	68.5	9.6	12.3	26.0	4.1	4.1	8.2	43.8	0.0	2.7
	武並町(n=92)	68.5	8.7	13.0	34.8	0.0	1.1	7.6	33.7	0.0	8.7
	笠置町(n=44)	75.0	9.1	15.9	38.6	2.3	6.8	2.3	31.8	0.0	0.0
	中野方町(n=54)	72.2	5.6	14.8	48.1	1.9	1.9	7.4	35.2	0.0	0.0
	飯地町(n=42)	57.1	2.4	21.4	28.6	7.1	4.8	4.8	38.1	0.0	7.1
	岩村町(n=143)	69.2	9.8	13.3	35.7	2.1	0.0	9.8	32.2	2.1	3.5
	山岡町(n=115)	65.2	3.5	20.9	30.4	4.3	1.7	5.2	27.8	2.6	7.0
	明智町(n=169)	65.1	3.6	14.8	33.7	1.8	3.0	9.5	39.6	0.0	5.3
	串原(n=52)	61.5	1.9	17.3	42.3	1.9	1.9	11.5	26.9	0.0	7.7
	上矢作町(n=72)	72.2	2.8	12.5	37.5	4.2	2.8	15.3	26.4	1.4	2.8

④ 市広報誌への感想

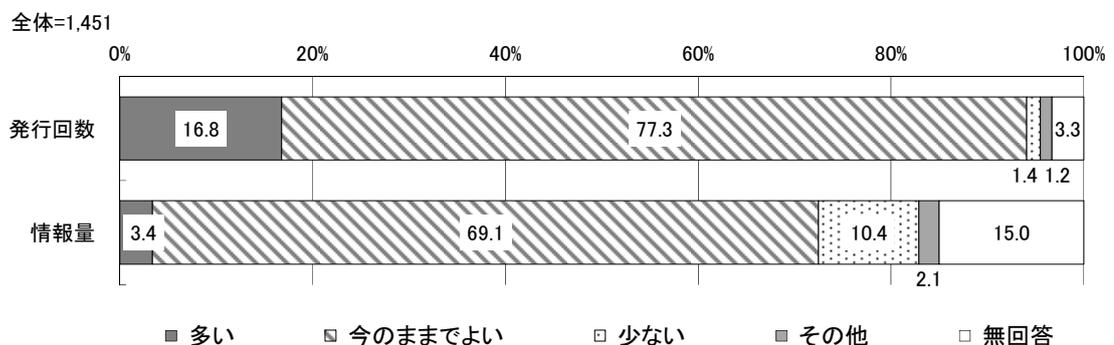
【問27】市では広報誌を月2回発行しています。発行回数や情報量についてどのように感じていますか？
 〈単数回答：それぞれ1つに回答〉

発行回数については「多い」が16.8%、「今のままでよい」が77.3%、「少ない」が1.4%となっています。情報量については、「多い」が3.4%、「今のままでよい」が69.1%、「少ない」が10.4%となっています。

性別でみると、発行回数は女性では「今のままでよい」が約8割と、男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、発行回数は20歳代、30歳代では「今のままでよい」が約85%、60歳代では「多い」が約25%と、他の年代に比べ高くなっています。情報量については、20歳代、30歳代では「少ない」が15%弱と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、発行回数は明智町では「多い」が約25%と、他の地区に比べ高くなっています。情報量については、中野方町では「今のままでよい」が約8割、上矢作町では「少ない」が約15%と、他の地区に比べ高くなっています。



		発行回数					情報量				
		多い	今のままでよい	少ない	その他	無回答	多い	今のままでよい	少ない	その他	無回答
	全体(n=1,451)	16.8	77.3	1.4	1.2	3.3	3.4	69.1	10.4	2.1	15.0
性別	男性(n=657)	18.3	75.2	2.1	1.5	2.9	4.1	67.2	12.5	2.3	13.9
	女性(n=770)	15.8	79.9	0.9	0.9	2.5	2.9	71.7	9.0	1.9	14.5
年齢別	20～29歳(n=97)	9.3	84.5	3.1	3.1	0.0	3.1	72.2	14.4	3.1	7.2
	30～39歳(n=156)	9.6	86.6	1.9	1.3	0.6	1.3	73.8	14.7	1.9	8.3
	40～49歳(n=170)	15.9	79.9	2.4	0.0	1.8	1.8	73.5	10.6	1.2	12.9
	50～59歳(n=238)	21.0	74.3	1.3	1.7	1.7	5.0	66.8	10.9	3.4	13.9
	60～69歳(n=317)	25.2	70.1	0.9	1.9	1.9	5.0	68.5	9.5	2.5	14.5
	70歳以上(n=452)	13.5	79.2	1.1	0.4	5.8	2.9	68.2	8.8	1.3	18.8
居住地別	大井町(n=292)	14.7	79.4	2.1	2.1	1.7	3.8	71.9	11.6	1.4	11.3
	長島町(n=226)	19.0	77.5	1.3	0.0	2.2	3.5	69.9	11.5	0.9	14.2
	東野(n=54)	20.4	75.9	0.0	0.0	3.7	1.9	64.7	13.0	0.0	20.4
	三郷町(n=73)	15.1	79.4	1.4	0.0	4.1	4.1	75.4	6.8	2.7	11.0
	武並町(n=92)	16.3	78.2	1.1	1.1	3.3	3.3	67.3	14.1	3.3	12.0
	笠置町(n=44)	15.9	79.5	2.3	2.3	0.0	2.3	70.4	11.4	2.3	13.6
	中野方町(n=54)	16.7	81.4	0.0	1.9	0.0	3.7	79.6	3.7	0.0	13.0
	飯地町(n=42)	14.3	76.1	2.4	2.4	4.8	0.0	73.8	9.5	2.4	14.3
	岩村町(n=143)	9.1	83.9	2.1	2.1	2.8	2.8	72.0	9.8	2.8	12.6
	山岡町(n=115)	21.7	73.9	0.0	0.9	3.5	6.1	66.1	7.8	1.7	18.3
	明智町(n=169)	26.0	68.0	1.8	1.2	3.0	4.7	62.1	10.7	3.6	18.9
	串原(n=52)	7.7	82.7	0.0	0.0	9.6	0.0	69.2	5.8	1.9	23.1
	上矢作町(n=72)	15.3	79.1	2.8	0.0	2.8	1.4	66.6	15.3	4.2	12.5

⑤ 市民意見の反映に必要なこと

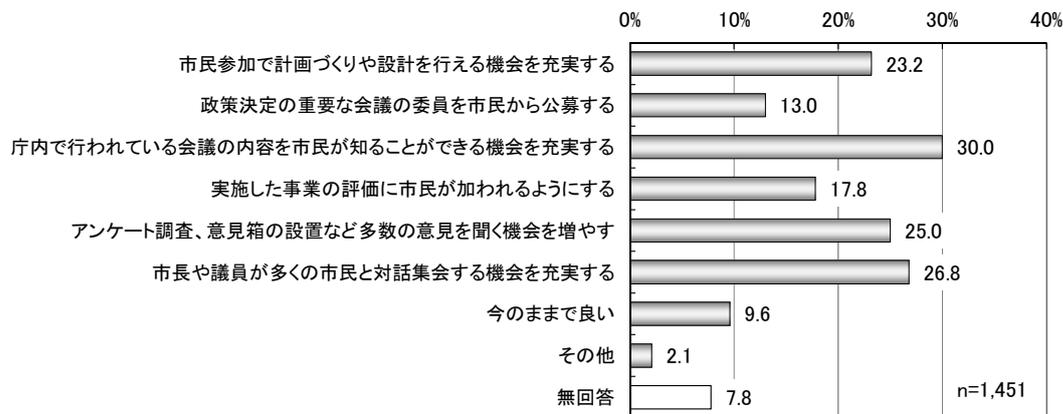
【問28】市民の意見を市政に反映するために、何が必要だと思いますか？ 〈複数回答：2つまで〉

「庁内で行われている会議の内容を市民が知ることができる機会を充実する」が30.0%と最も高く、次いで「市長や議員が多くの市民と対話集会する機会を充実する」が26.8%、「アンケート調査、意見箱の設置など多数の意見を聞く機会を増やす」が25.0%、「市民参加で計画づくりや設計を行える機会を充実する」が23.2%の順となっています。一方、「今のままで良い」は9.6%となっています。

性別でみると、男性では「政策決定の重要な会議の委員を市民から公募する」が2割弱と、女性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、20歳代、40歳代では「アンケート調査、意見箱の設置など多数の意見を聞く機会を増やす」が3割以上と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、武並町、飯地町では「市民参加で計画づくりや設計を行える機会を充実する」が3割強、笠置町では「実施した事業の評価に市民が加われるようにする」が3割弱と、他の地区に比べ高くなっています。



	市民参加で計画づくりや設計を行える機会を充実する	政策決定の重要な会議の委員を市民から公募する	庁内で行われている会議の内容を市民が知ることができる機会を充実する	実施した事業の評価に市民が加われるようにする	アンケート調査、意見箱の設置など多数の意見を聞く機会を増やす	市長や議員が多くの市民と対話集会する機会を充実する	今のままで良い	その他	無回答	
全体(n=1,451)	23.2	13.0	30.0	17.8	25.0	26.8	9.6	2.1	7.8	
性別	男性(n=657)	25.0	17.5	29.2	19.9	23.6	29.2	8.8	2.7	4.9
	女性(n=770)	22.1	9.5	31.4	16.4	26.6	25.2	10.5	1.6	8.8
年齢別	20～29歳(n=97)	25.8	12.4	36.1	27.8	33.0	20.6	7.2	0.0	2.1
	30～39歳(n=156)	21.8	16.0	20.5	16.7	29.5	25.6	12.8	3.2	3.2
	40～49歳(n=170)	21.2	16.5	25.3	20.6	33.5	24.7	8.8	2.4	2.9
	50～59歳(n=238)	26.5	12.2	32.8	24.8	26.5	26.9	5.0	2.9	4.6
	60～69歳(n=317)	21.8	14.8	35.3	19.2	21.8	30.3	10.4	1.3	4.1
	70歳以上(n=452)	23.7	10.4	29.0	11.1	20.8	27.7	11.3	2.2	14.8
居住地別	大井町(n=292)	23.6	14.4	28.8	18.8	29.1	26.0	10.6	3.1	6.2
	長島町(n=226)	22.6	12.4	27.9	19.5	29.2	17.7	9.3	2.7	8.0
	東野(n=54)	20.4	7.4	27.8	14.8	22.2	27.8	16.7	3.7	5.6
	三郷町(n=73)	28.8	11.0	34.2	19.2	30.1	17.8	5.5	2.7	8.2
	武並町(n=92)	33.7	17.4	30.4	17.4	29.3	26.1	5.4	3.3	3.3
	笠置町(n=44)	22.7	18.2	29.5	29.5	20.5	29.5	9.1	2.3	0.0
	中野方町(n=54)	24.1	14.8	35.2	16.7	14.8	29.6	11.1	1.9	7.4
	飯地町(n=42)	31.0	14.3	33.3	14.3	9.5	31.0	4.8	2.4	11.9
	岩村町(n=143)	17.5	12.6	30.8	16.8	26.6	35.7	7.7	1.4	7.7
	山岡町(n=115)	21.7	15.7	30.4	20.0	18.3	32.2	10.4	1.7	8.7
	明智町(n=169)	23.1	8.9	33.1	17.8	24.3	27.8	11.2	0.6	7.7
	串原(n=52)	23.1	11.5	25.0	11.5	21.2	26.9	11.5	1.9	13.5
	上矢作町(n=72)	19.4	13.9	27.8	13.9	18.1	36.1	12.5	0.0	9.7

(11) 行財政運営について

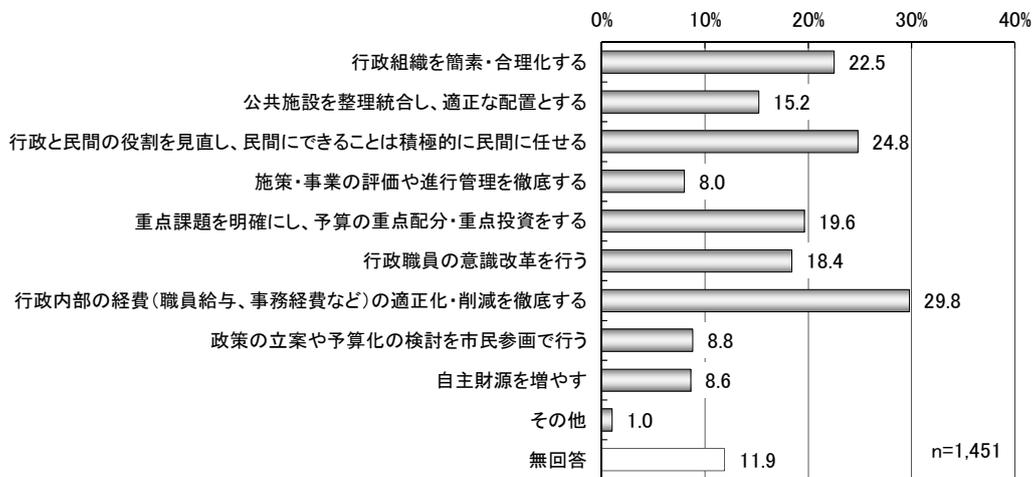
【問29】 効率的な行財政運営を行うために、行財政改革に取り組んでいます。今後さらに進めなければならないことは何だと思いませんか？
 (複数回答：2つまで)

「行政内部の経費（職員給与、事務経費など）の適正化・削減を徹底する」が29.8%と最も高く、次いで「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」が24.8%、「行政組織を簡素・合理化する」が22.5%の順となっています。

性別でみると、男性・女性ともに「行政内部の経費（職員給与、事務経費など）の適正化・削減を徹底する」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、年代が高いほど「行政組織を簡素・合理化する」の割合が高くなる傾向となっています。20歳代では「重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする」が約3割、「公共施設を整理統合し、適正な配置とする」が約2割と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、笠置町、飯地町では「行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる」が4割弱と、他の地区に比べ高くなっています。



	行政組織を簡素・合理化する	公共施設を整理統合し、適正な配置とする	行政と民間の役割を見直し、民間にできることは積極的に民間に任せる	施策・事業の評価や進行管理を徹底する	重点課題を明確にし、予算の重点配分・重点投資をする	行政職員の意識改革を行う	行政内部の経費(職員給与、事務経費など)の適正化・削減を徹底する	政策の立案や予算化の検討を市民参画で行う	自主財源を増やす	その他	無回答
全体(n=1,451)	22.5	15.2	24.8	8.0	19.6	18.4	29.8	8.8	8.6	1.0	11.9
性別											
男性(n=657)	24.7	18.3	24.8	9.9	20.2	18.1	31.8	9.0	10.0	1.1	7.0
女性(n=770)	21.0	13.0	25.2	6.5	19.4	18.8	28.4	9.0	7.7	0.9	14.7
年齢別											
20～29歳(n=97)	16.5	20.6	13.4	10.3	30.9	14.4	30.9	13.4	8.2	1.0	7.2
30～39歳(n=156)	16.0	13.5	26.3	8.3	21.2	23.7	36.5	7.1	17.3	0.0	2.6
40～49歳(n=170)	19.4	19.4	27.1	5.3	23.5	15.9	37.1	5.9	11.2	1.8	5.3
50～59歳(n=238)	21.8	13.4	22.7	9.2	21.4	24.4	35.3	8.0	10.5	1.3	7.1
60～69歳(n=317)	26.8	15.5	26.5	8.2	17.7	22.1	30.3	10.1	6.0	1.9	8.8
70歳以上(n=452)	25.0	14.4	26.8	7.3	15.5	12.8	21.9	9.3	6.0	0.4	21.5
居住地別											
大井町(n=292)	24.0	16.1	31.2	6.2	17.8	17.1	31.5	9.2	8.9	1.4	8.9
長島町(n=226)	24.3	15.5	27.4	5.3	21.2	20.4	30.5	3.5	9.7	1.3	11.1
東野(n=54)	18.5	20.4	29.6	7.4	18.5	22.2	13.0	13.0	11.1	1.9	11.1
三郷町(n=73)	24.7	16.4	26.0	9.6	16.4	16.4	34.2	16.4	6.8	0.0	11.0
武並町(n=92)	22.8	16.3	21.7	10.9	25.0	14.1	29.3	8.7	12.0	2.2	7.6
笠置町(n=44)	31.8	15.9	38.6	11.4	15.9	15.9	31.8	6.8	2.3	0.0	4.5
中野方町(n=54)	29.6	9.3	27.8	5.6	13.0	24.1	38.9	11.1	3.7	0.0	11.1
飯地町(n=42)	19.0	11.9	38.1	9.5	19.0	4.8	38.1	4.8	4.8	0.0	19.0
岩村町(n=143)	23.8	11.9	21.7	8.4	21.7	20.3	30.8	11.2	10.5	0.0	10.5
山岡町(n=115)	19.1	9.6	21.7	9.6	17.4	20.0	27.0	13.0	10.4	0.9	13.9
明智町(n=169)	20.1	18.9	15.4	8.3	22.5	18.3	30.8	7.7	7.7	1.8	11.8
串原(n=52)	17.3	19.2	19.2	17.3	21.2	17.3	15.4	9.6	7.7	0.0	19.2
上矢作町(n=72)	16.7	15.3	13.9	8.3	22.2	20.8	27.8	8.3	6.9	1.4	19.4

(12) 市議会の活動について

① 市議会活動情報の取得手段

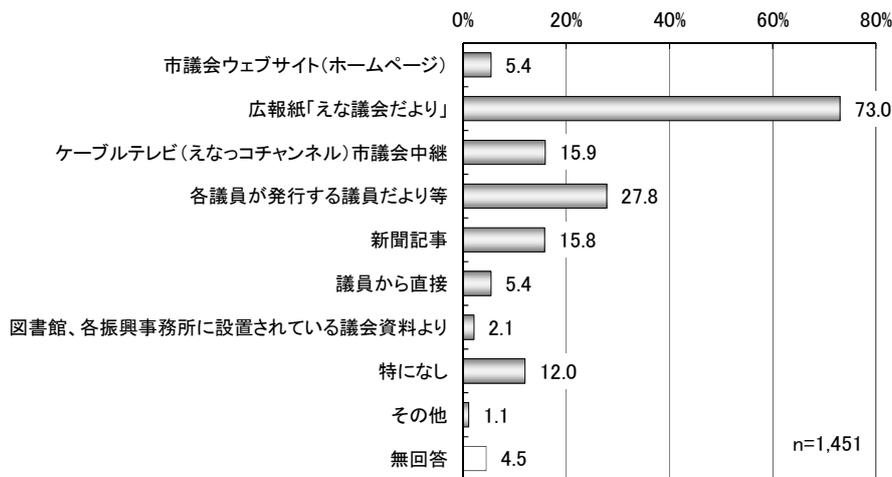
【問30】市議会の活動について、主にどこから情報を得ていますか？〈複数回答：該当するものすべて〉

「広報紙「えな議会だより」」が73.0%と最も高く、次いで「各議員が発行する議員だより等」が27.8%、「ケーブルテレビ（えなっコチャンネル）市議会中継」が15.9%、「新聞記事」が15.8%の順となっています。一方、「特になし」は12.0%となっています。

性別でみると、男性・女性ともに「広報紙「えな議会だより」」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、60歳代では「広報紙「えな議会だより」」が8割強、60歳代、70歳代では「各議員が発行する議員だより等」が35%以上、20歳代、30歳代では「特になし」が3割以上と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、明智町、串原では「各議員が発行する議員だより等」が5割以上と、他の地区に比べ高くなっています。



	市議会ウェブサイト(ホームページ)	広報紙「えな議会だより」	ケーブルテレビ(えなっコチャンネル)市議会中継	各議員が発行する議員だより等	新聞記事	議員から直接	図書館、各振興事務所に設置されている議会資料より	特になし	その他	無回答	
全体(n=1,451)	5.4	73.0	15.9	27.8	15.8	5.4	2.1	12.0	1.1	4.5	
性別	男性(n=657)	6.1	70.9	14.5	27.5	14.8	2.0	13.9	1.2	3.2	
	女性(n=770)	4.9	75.6	17.1	28.4	17.0	2.3	10.8	0.9	4.2	
年齢別	20～29歳(n=97)	8.2	47.4	10.3	7.2	16.5	0.0	3.1	34.0	0.0	2.1
	30～39歳(n=156)	6.4	59.0	10.3	12.2	10.9	5.1	0.6	30.8	1.9	1.3
	40～49歳(n=170)	5.3	72.4	10.0	21.8	9.4	1.8	3.5	18.2	0.0	1.2
	50～59歳(n=238)	4.6	77.3	8.8	24.4	11.3	5.5	1.7	11.3	0.8	2.1
	60～69歳(n=317)	5.0	81.7	17.4	37.9	18.3	8.8	1.3	5.4	1.6	1.3
	70歳以上(n=452)	5.3	76.3	24.3	35.2	20.8	6.0	2.9	3.8	1.3	8.8
居住地別	大井町(n=292)	7.2	75.0	6.8	18.5	19.5	5.5	2.7	14.0	1.0	2.7
	長島町(n=226)	2.7	76.1	9.3	16.4	17.7	5.3	2.2	11.5	0.4	4.9
	東野(n=54)	3.7	77.8	22.2	24.1	27.8	5.6	3.7	7.4	1.9	1.9
	三郷町(n=73)	11.0	79.5	17.8	20.5	12.3	11.0	1.4	12.3	1.4	4.1
	武並町(n=92)	4.3	75.0	20.7	13.0	18.5	7.6	3.3	14.1	2.2	2.2
	笠置町(n=44)	6.8	75.0	38.6	18.2	11.4	6.8	4.5	9.1	0.0	0.0
	中野方町(n=54)	9.3	68.5	29.6	33.3	14.8	3.7	7.4	13.0	0.0	1.9
	飯地町(n=42)	2.4	78.6	31.0	21.4	9.5	4.8	2.4	2.4	4.8	4.8
	岩村町(n=143)	7.0	67.1	20.3	36.4	13.3	6.3	0.7	18.2	1.4	2.8
	山岡町(n=115)	1.7	68.7	19.1	20.9	13.0	1.7	0.0	16.5	1.7	4.3
	明智町(n=169)	4.7	72.8	13.6	58.6	15.4	4.7	0.0	7.7	0.6	5.3
	串原(n=52)	5.8	67.3	19.2	51.9	13.5	3.8	1.9	7.7	0.0	9.6
	上矢作町(n=72)	6.9	69.4	19.4	43.1	8.3	6.9	2.8	8.3	1.4	6.9

② 市議会中継のインターネット配信の周知度

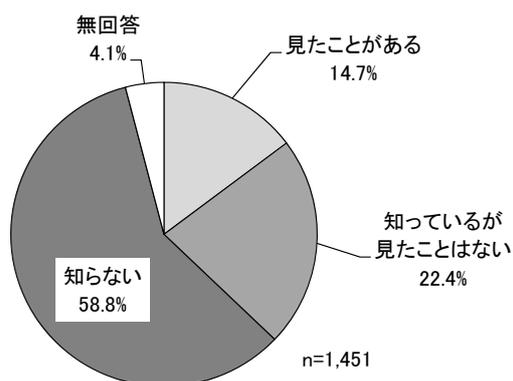
【問 3 1】市議会では一昨年より本会議の様子をインターネットによるライブ配信、録画配信を行っていますが、ご存知ですか？
(単数回答)

「知らない」が58.8%と最も高く、次いで「知っているが見たことはない」が22.4%、「見たことがある」が14.7%の順となっています。

性別でみると、女性では「知らない」が6割強と、男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、年代が低いほど「知らない」の割合が高くなる傾向となっています。

居住地別でみると、笠置町では「見たことがある」が約35%、大井町では「知らない」の割合が約7割と、他の地区に比べ高くなっています。



		見たことがある	知っているが見たことはない	知らない	無回答
全体(n=1,451)		14.7	22.4	58.8	4.1
性別	男性(n=657)	16.7	26.0	54.9	2.4
	女性(n=770)	13.2	19.6	63.2	4.0
年齢別	20～29歳(n=97)	6.2	12.4	81.4	0.0
	30～39歳(n=156)	9.6	14.7	75.7	0.0
	40～49歳(n=170)	14.7	20.0	64.1	1.2
	50～59歳(n=238)	12.6	26.9	58.8	1.7
	60～69歳(n=317)	18.9	24.9	54.6	1.6
	70歳以上(n=452)	17.0	23.7	50.5	8.8
居住地別	大井町(n=292)	7.9	19.2	70.8	2.1
	長島町(n=226)	11.9	23.9	61.1	3.1
	東野(n=54)	13.0	31.5	51.8	3.7
	三郷町(n=73)	19.2	21.9	56.2	2.7
	武並町(n=92)	20.7	25.0	52.1	2.2
	笠置町(n=44)	36.4	31.8	31.8	0.0
	中野方町(n=54)	24.1	16.7	59.2	0.0
	飯地町(n=42)	9.5	40.5	40.5	9.5
	岩村町(n=143)	12.6	24.5	59.4	3.5
	山岡町(n=115)	13.9	19.1	62.7	4.3
	明智町(n=169)	17.8	18.9	59.7	3.6
	串原(n=52)	19.2	25.0	40.4	15.4
	上矢作町(n=72)	20.8	19.4	54.2	5.6

③ 市議会・議員の活動への期待

【問32】市議会・議員の活動に対して、特に期待することは何ですか？

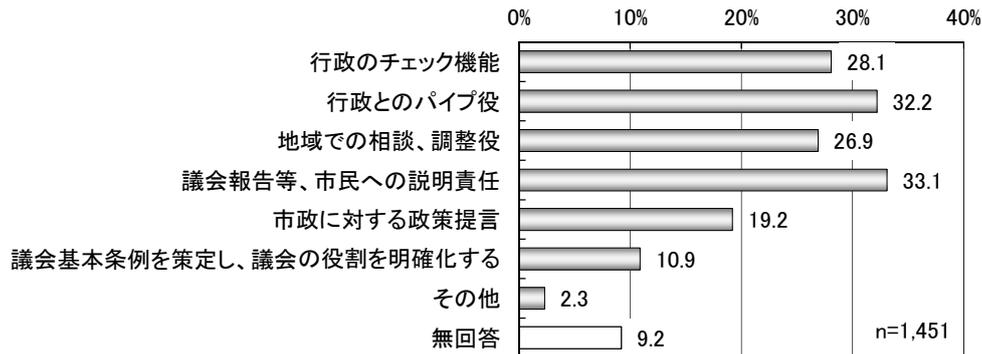
〈複数回答：2つまで〉

「議会報告等、市民への説明責任」が33.1%と最も高く、次いで「行政とのパイプ役」が32.2%、「行政のチェック機能」が28.1%、「地域での相談、調整役」が26.9%の順となっています。

性別でみると、男性では「行政のチェック機能」の割合、女性では「行政とのパイプ役」の割合が最も高くなっています。

年齢別でみると、20歳代では「議会報告等、市民への説明責任」が約4割、60歳代では「行政のチェック機能」が約35%と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、笠置町、上矢作町では「行政とのパイプ役」が4割強、三郷町、明智町、笠置町では「議会報告等、市民への説明責任」が4割弱と、他の地区に比べ高くなっています。



		行政の チェック機 能	行政との パイプ役	地域での 相談、調 整役	議会報告 等、市民 への説明 責任	市政に対 する政策 提言	議会基本 条例を策 定し、議 会の役割 を明確化 する	その他	無回答
	全体(n=1,451)	28.1	32.2	26.9	33.1	19.2	10.9	2.3	9.2
性別	男性(n=657)	35.0	31.2	24.0	34.2	23.6	10.8	2.6	4.7
	女性(n=770)	22.6	33.6	29.7	32.7	15.6	11.2	1.9	11.7
年齢別	20～29歳(n=97)	21.6	30.9	23.7	40.2	19.6	13.4	1.0	6.2
	30～39歳(n=156)	30.8	32.7	26.3	32.7	13.5	9.6	6.4	2.6
	40～49歳(n=170)	27.6	33.5	27.1	28.2	20.0	14.7	1.8	4.1
	50～59歳(n=238)	32.4	30.7	29.0	29.4	22.3	9.7	2.1	6.3
	60～69歳(n=317)	36.0	33.4	28.7	35.0	22.1	12.9	1.9	3.8
	70歳以上(n=452)	21.7	31.9	26.1	35.0	17.5	9.1	1.8	17.5
居住地別	大井町(n=292)	32.5	26.4	23.6	34.6	21.9	13.0	2.1	4.8
	長島町(n=226)	35.0	28.8	23.5	25.7	18.6	9.7	3.5	10.2
	東野(n=54)	22.2	31.5	31.5	29.6	24.1	11.1	1.9	9.3
	三郷町(n=73)	27.4	37.0	32.9	39.7	19.2	11.0	2.7	5.5
	武並町(n=92)	21.7	35.9	27.2	35.9	19.6	14.1	1.1	8.7
	笠置町(n=44)	25.0	43.2	25.0	38.6	20.5	11.4	2.3	2.3
	中野方町(n=54)	16.7	33.3	33.3	35.2	22.2	16.7	0.0	7.4
	飯地町(n=42)	23.8	35.7	33.3	23.8	11.9	7.1	2.4	16.7
	岩村町(n=143)	27.3	32.2	26.6	37.1	15.4	14.7	2.8	10.5
	山岡町(n=115)	23.5	39.1	27.0	35.7	19.1	8.7	1.7	7.8
	明智町(n=169)	29.0	32.0	30.2	39.6	18.3	6.5	1.2	8.3
	串原(n=52)	21.2	25.0	25.0	21.2	19.2	7.7	5.8	23.1
	上矢作町(n=72)	31.9	40.3	30.6	30.6	18.1	9.7	1.4	13.9

(13) 避難行動について

① 避難行動の開始時期

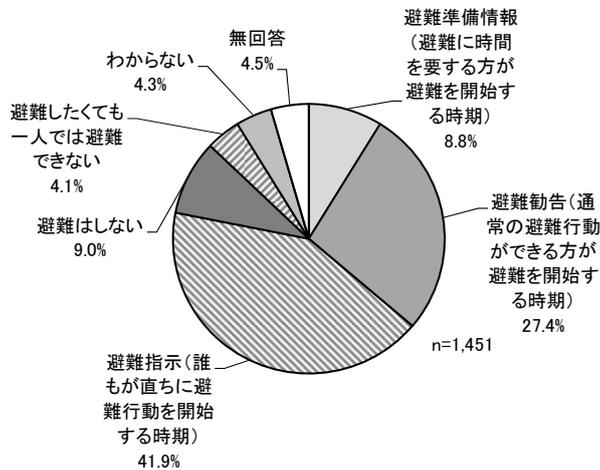
【問33】 台風や豪雨等により避難に関する情報が発令された場合、あなたはどの段階で避難行動を開始しますか？ (単数回答)

「避難準備情報（避難に時間を要する方が避難を開始する時期）」が8.8%、「避難勧告（通常の避難行動ができる方が避難を開始する時期）」が27.4%、「避難指示（誰もが直ちに避難行動を開始する時期）」が41.9%で、合わせて避難する人は約78%となっています。「避難はしない」が9.0%、「避難したくても一人では避難できない」が4.1%、「わからない」が4.3%となっています。

性別でみると、男性・女性ともに「避難指示（誰もが直ちに避難行動を開始する時期）」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、40歳代では「避難指示（誰もが直ちに避難行動を開始する時期）」が5割強、70歳以上では「避難したくても一人ではできない」が約1割と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、串原では「避難準備情報（避難に時間を要する方が避難を開始する時期）」が約15%、「避難したくても一人では避難できない」が1割強と、他の地区に比べ高くなっています。



	避難準備情報(避難に時間を要する方が避難を開始する時期)	避難勧告(通常の避難行動ができる方が避難を開始する時期)	避難指示(誰もが直ちに避難行動を開始する時期)	避難はしない	避難したくても一人では避難できない	わからない	無回答
全体(n=1,451)	8.8	27.4	41.9	9.0	4.1	4.3	4.5
性別							
男性(n=657)	8.4	26.9	43.5	10.5	3.0	4.0	3.7
女性(n=770)	9.4	28.1	41.2	7.9	5.1	4.5	3.8
年齢別							
20～29歳(n=97)	10.3	28.9	41.3	10.3	1.0	8.2	0.0
30～39歳(n=156)	7.7	31.4	44.9	9.0	1.3	5.1	0.6
40～49歳(n=170)	5.9	28.2	52.9	8.8	1.2	2.4	0.6
50～59歳(n=238)	7.1	31.5	45.8	8.4	1.7	3.4	2.1
60～69歳(n=317)	8.5	28.4	42.6	10.1	1.6	4.7	4.1
70歳以上(n=452)	10.8	23.0	35.6	8.6	10.2	3.8	8.0
居住地別							
大井町(n=292)	8.9	29.5	44.8	6.5	4.1	3.1	3.1
長島町(n=226)	6.2	37.6	38.5	10.2	3.1	2.2	2.2
東野(n=54)	9.3	25.9	38.8	14.8	3.7	1.9	5.6
三郷町(n=73)	5.5	24.7	49.3	5.5	4.1	6.8	4.1
武並町(n=92)	10.9	27.2	42.3	7.6	1.1	3.3	7.6
笠置町(n=44)	9.1	31.8	36.3	11.4	9.1	0.0	2.3
中野方町(n=54)	9.3	16.7	53.6	11.1	3.7	1.9	3.7
飯地町(n=42)	11.9	23.8	45.3	9.5	7.1	0.0	2.4
岩村町(n=143)	7.0	25.9	42.6	9.1	7.0	7.7	0.7
山岡町(n=115)	7.8	21.7	45.4	10.4	1.7	7.8	5.2
明智町(n=169)	10.7	24.9	40.1	10.1	3.0	5.9	5.3
串原(n=52)	15.4	26.9	21.2	7.7	11.5	5.8	11.5
上矢作町(n=72)	11.1	19.4	44.5	9.7	4.2	6.9	4.2

② 最初の避難場所

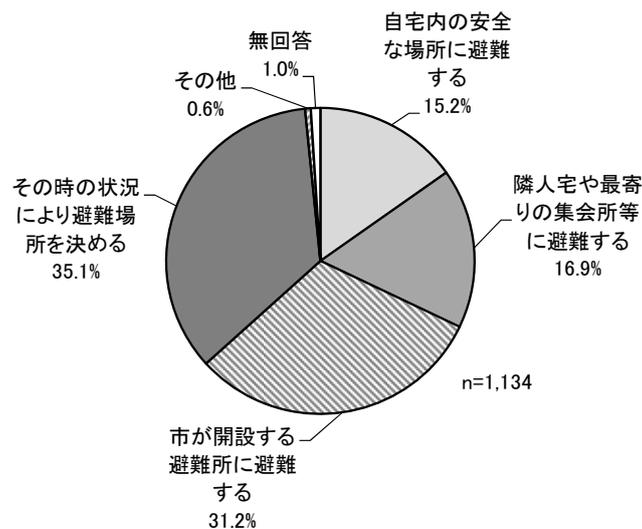
【問34】問33で1～3を選択した方にお聞きします。最初の避難場所は次のどれですか？〈単数回答〉

避難するという人のうち、「その時の状況により避難場所を決める」が35.1%と最も高く、次いで「市が開設する避難所に避難する」が31.2%、「隣人宅や最寄りの集会所等に避難する」が16.9%、「自宅内の安全な場所に避難する」が15.2%の順となっています。

性別でみると、男性・女性ともに「その時の状況により避難場所を決める」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、70歳以上では「市が開設する避難所に避難する」の割合が「その時の状況により避難場所を決める」の割合より高くなっています。

居住地別でみると、串原、岩村町、東野、中野方町では「市が開設する避難所に避難する」が約4割と、他の地区に比べ高くなっています。



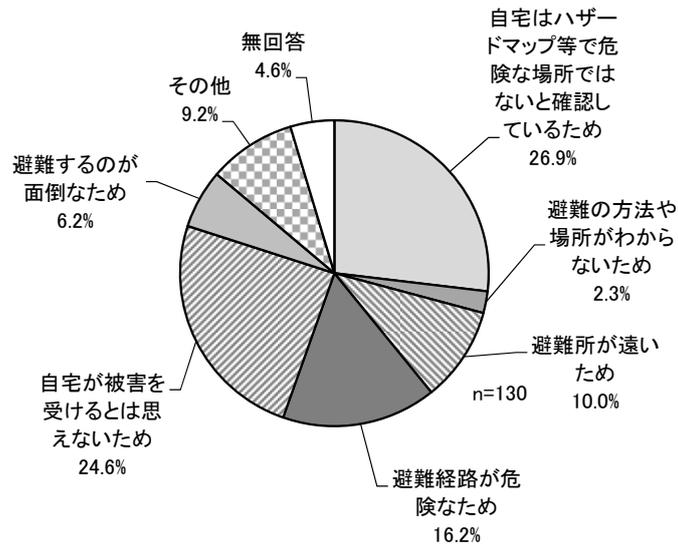
		自宅内の安全な場所に避難する	隣人宅や最寄りの集会所等に避難する	市が開設する避難所に避難する	その時の状況により避難場所を決める	その他	無回答
全体(n=1134)		15.2	16.9	31.2	35.1	0.6	1.0
性別	男(n=518)	14.9	19.1	30.3	34.1	0.6	1.0
	女(n=606)	15.5	14.9	31.8	36.1	0.7	1.0
年齢別	20～29歳(n=78)	14.1	17.9	30.8	37.2	0.0	0.0
	30～39歳(n=131)	13.7	11.5	27.5	45.7	0.8	0.8
	40～49歳(n=148)	16.2	12.2	34.5	37.1	0.0	0.0
	50～59歳(n=201)	14.4	15.4	30.3	38.9	1.0	0.0
	60～69歳(n=252)	11.9	19.4	32.9	35.0	0.4	0.4
	70歳以上(n=314)	18.8	20.4	30.1	26.8	1.0	2.9
居住地別	大井町(n=243)	15.2	14.0	29.2	39.6	0.8	1.2
	長島町(n=186)	18.3	13.4	31.7	35.6	0.5	0.5
	東野(n=40)	15.0	17.5	40.0	27.5	0.0	0.0
	三郷町(n=58)	13.8	22.4	32.8	31.0	0.0	0.0
	武並町(n=74)	12.2	20.3	31.1	36.4	0.0	0.0
	笠置町(n=34)	14.7	17.6	29.4	38.3	0.0	0.0
	中野方町(n=43)	9.3	16.3	39.5	32.6	0.0	2.3
	飯地町(n=34)	11.8	32.4	11.8	44.0	0.0	0.0
	岩村町(n=108)	12.0	10.2	41.7	34.3	0.9	0.9
	山岡町(n=86)	20.9	26.7	18.6	31.4	1.2	1.2
	明智町(n=128)	15.6	18.0	35.2	28.1	0.8	2.3
	串原(n=33)	12.1	9.1	45.5	30.3	3.0	0.0
上矢作町(n=54)	14.8	22.2	16.7	44.4	0.0	1.9	

③ 避難しない理由

【問35】問33で4を選択した方にお聞きします。避難しない理由は次のどれですか？ 〈単数回答〉

避難はしない人のその理由は、「自宅はハザードマップ等で危険な場所ではないと確認しているため」が26.9%と最も高く、次いで「自宅が被害を受けるとは思えないため」が24.6%、「避難経路が危険なため」が16.2%の順となっています。

性別でみると、男性では「自宅はハザードマップ等で危険な場所ではないと確認しているため」が3割強、女性では「避難経路が危険なため」が2割強と高くなっています。



		自宅はハザードマップ等で危険な場所ではないと確認しているため	避難の方法や場所がわからないため	避難所が遠いため	避難経路が危険なため	自宅が被害を受けるとは思えないため	避難するのが面倒なため	その他	無回答
全体 (n=130)		26.9	2.3	10.0	16.2	24.6	6.2	9.2	4.6
性別	男(n=69)	33.5	1.4	7.2	10.1	27.5	8.7	8.7	2.9
	女(n=61)	19.7	3.3	13.1	22.9	21.3	3.3	9.8	6.6
年齢別	20～29歳(n=10)	10.0	0.0	0.0	10.0	40.0	20.0	10.0	10.0
	30～39歳(n=14)	28.7	7.1	14.3	7.1	28.6	7.1	0.0	7.1
	40～49歳(n=15)	13.3	6.7	6.7	26.6	20.0	0.0	20.0	6.7
	50～59歳(n=20)	40.0	5.0	0.0	20.0	20.0	10.0	5.0	0.0
	60～69歳(n=32)	37.4	0.0	6.3	9.4	25.0	6.3	12.5	3.1
	70歳以上(n=39)	20.5	0.0	20.5	20.5	23.1	2.6	7.7	5.1
居住地別	大井町(n=19)	31.5	5.3	5.3	10.5	15.8	10.5	21.1	0.0
	長島町(n=23)	48.0	4.3	4.3	13.0	17.4	8.7	0.0	4.3
	東野(n=8)	50.0	0.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0
	三郷町(n=4)	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0
	武並町(n=7)	0.0	0.0	28.6	28.6	42.8	0.0	0.0	0.0
	笠置町(n=5)	40.0	0.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0
	中野方町(n=6)	0.0	0.0	16.7	16.7	49.9	0.0	16.7	0.0
	飯地町(n=4)	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	岩村町(n=13)	23.1	0.0	0.0	23.1	30.7	7.7	0.0	15.4
	山岡町(n=12)	25.0	8.3	0.0	0.0	41.7	0.0	16.7	8.3
	明智町(n=17)	29.4	0.0	11.8	23.5	11.8	5.9	17.6	0.0
	串原(n=4)	0.0	0.0	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
	上矢作町(n=7)	0.0	0.0	42.8	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0

(14) 男女共同参画社会について

① 「男性は仕事、女性は家庭」という考えについて

【問36】「男性は仕事、女性は家庭」という考えについてどのように思いますか？

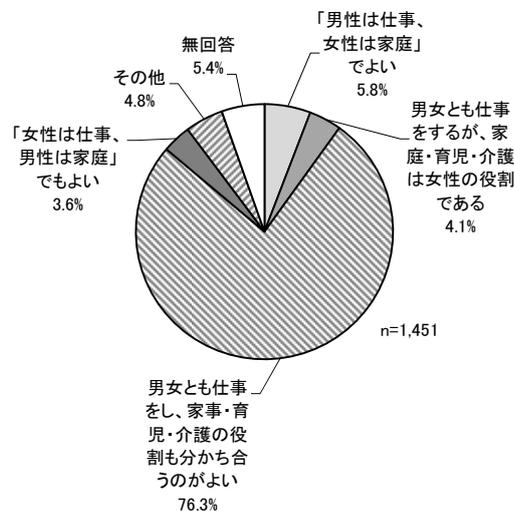
〈単数回答〉

「男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」が76.3%と圧倒的に高くなっています。「男性は仕事、女性は家庭」でよい」が5.8%、「男女とも仕事をするが、家庭・育児・介護は女性の役割である」が4.1%、「女性は仕事、男性は家庭」でもよい」が3.6%の順となっています。

性別でみると、女性では「男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」が約8割と、男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、20歳代、40歳代、50歳代では「男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」が8割強、30歳代では「女性は仕事、男性は家庭」でもよい」が約1割と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、飯地町、岩村町では「男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」が約85%と、他の地区に比べ高くなっています。



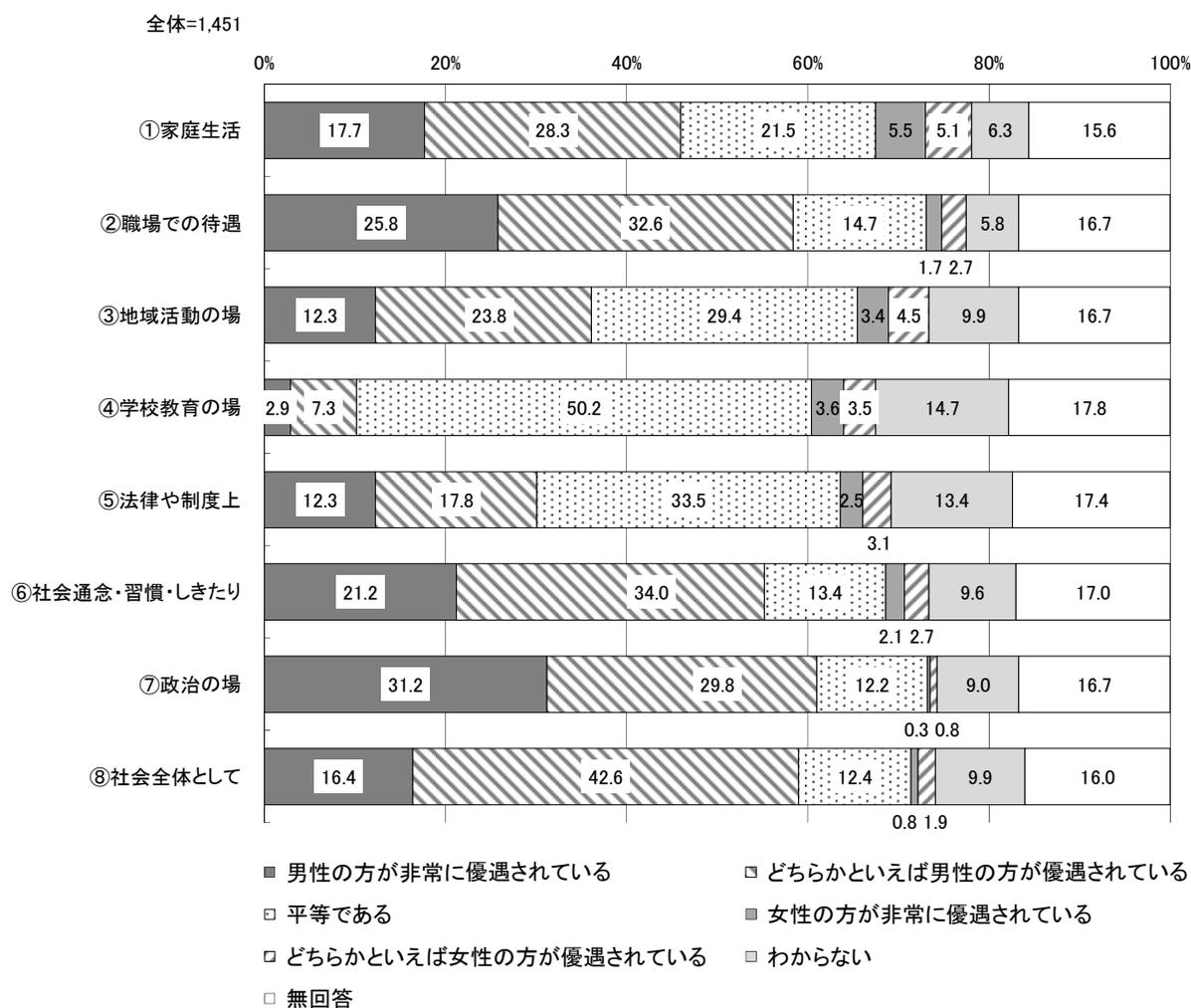
		「男性は仕事、女性は家庭」でよい	男女とも仕事をするが、家庭・育児・介護は女性の役割である	男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい	「女性は仕事、男性は家庭」でもよい	その他	無回答
	全体(n=1,451)	5.8	4.1	76.3	3.6	4.8	5.4
性別	男性(n=657)	5.9	5.9	73.0	4.7	5.5	5.0
	女性(n=770)	5.5	2.5	80.6	2.7	4.3	4.4
年齢別	20～29歳(n=97)	6.2	3.1	83.5	3.1	4.1	0.0
	30～39歳(n=156)	3.2	3.2	73.7	9.0	9.0	1.9
	40～49歳(n=170)	4.1	1.8	80.5	5.9	7.1	0.6
	50～59歳(n=238)	3.4	2.9	81.6	4.6	5.0	2.5
	60～69歳(n=317)	5.7	3.2	78.2	2.5	5.0	5.4
	70歳以上(n=452)	8.4	6.6	72.2	1.3	2.2	9.3
居住地別	大井町(n=292)	6.5	3.1	75.7	3.8	6.8	4.1
	長島町(n=226)	5.8	3.5	74.3	4.0	7.5	4.9
	東野(n=54)	3.7	7.4	68.4	5.6	5.6	9.3
	三郷町(n=73)	6.8	4.1	75.4	5.5	1.4	6.8
	武並町(n=92)	4.3	2.2	79.4	3.3	4.3	6.5
	笠置町(n=44)	6.8	9.1	79.5	2.3	0.0	2.3
	中野方町(n=54)	5.6	5.6	77.6	5.6	1.9	3.7
	飯地町(n=42)	2.4	4.8	85.6	0.0	4.8	2.4
	岩村町(n=143)	2.1	4.2	83.9	4.9	3.5	1.4
	山岡町(n=115)	6.1	5.2	78.3	1.7	2.6	6.1
	明智町(n=169)	5.9	3.0	77.0	4.7	4.1	5.3
	串原(n=52)	3.8	3.8	77.1	1.9	3.8	9.6
	上矢作町(n=72)	11.1	6.9	73.6	0.0	4.2	4.2

② 場面による男女の優遇差

【問37】 次の①～⑧について男女のどちらが優遇されていると思いますか？

(それぞれ1つに回答)

②職場での待遇、⑥社会通念・習慣・しきたり、⑦政治の場、⑧社会全体としては、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた男性の方が優遇されているが55%から61%と高くなっています。次いで、①家庭生活、③地域活動の場、⑤法律や制度上では、男性の方が優遇されているが30%から46%となっています。④学校教育の場では「平等である」が50.2%と高く男性の方が優遇されているは10.2%と低くなっています。⑤法律上や制度上と③地域活動の場でも「平等である」が30%前後となっています。「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは、①家庭生活において10.6%とほかの項目に比べ高くなっています。



《①家庭生活》

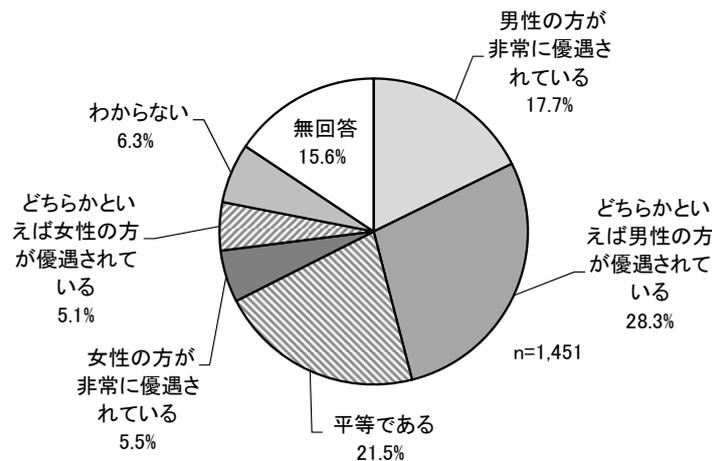
「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が28.3%と最も高く、次いで「平等である」が21.5%、「男性の方が非常に優遇されている」が17.7%の順となっています。

「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とを合わせた男性の方が優遇されているが46.0%、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは10.6%となっています。

性別でみると、男性では「平等である」が約25%と女性に比べ高く、女性では「男性の方が非常に優遇されている」が約2割と男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、50歳代、60歳代では男性の方が優遇されているのが55%弱、30歳代では女性の方が優遇されているが2割弱と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、中野方町では男性の方が優遇されているが55%弱、笠置町、上矢作町では女性の方が優遇されているが15%以上と、他の地区に比べ高くなっています。



		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体(n=1,451)		17.7	28.3	21.5	5.5	5.1	6.3	15.6
性別	男性(n=657)	14.6	29.2	25.3	5.5	4.6	6.8	14.0
	女性(n=770)	20.8	28.1	18.7	5.6	5.6	6.0	15.2
年齢別	20～29歳(n=97)	14.4	27.8	30.0	4.1	11.3	10.3	2.1
	30～39歳(n=156)	11.5	26.9	29.5	9.6	9.0	10.3	3.2
	40～49歳(n=170)	16.5	32.8	25.9	7.1	5.9	9.4	2.4
	50～59歳(n=238)	22.3	32.3	24.4	4.2	3.8	8.8	4.2
	60～69歳(n=317)	18.9	34.7	21.8	3.8	4.1	4.1	12.6
	70歳以上(n=452)	18.4	21.5	14.2	5.5	3.8	3.3	33.3
居住地別	大井町(n=292)	18.5	31.9	22.9	5.1	3.8	6.2	11.6
	長島町(n=226)	20.4	30.5	17.7	5.3	5.3	6.2	14.6
	東野(n=54)	13.0	27.8	25.9	7.4	7.4	3.7	14.8
	三郷町(n=73)	11.0	32.8	23.3	2.7	9.6	9.6	11.0
	武並町(n=92)	10.9	34.8	28.3	4.3	4.3	6.5	10.9
	笠置町(n=44)	22.7	27.3	15.9	9.1	9.1	4.5	11.4
	中野方町(n=54)	18.5	35.1	18.5	1.9	3.7	5.6	16.7
	飯地町(n=42)	21.4	26.3	21.4	4.8	0.0	7.1	19.0
	岩村町(n=143)	23.0	23.1	18.2	5.6	5.6	10.5	14.0
	山岡町(n=115)	19.1	27.9	17.4	5.2	5.2	6.1	19.1
	明智町(n=169)	17.8	23.7	26.6	4.7	5.9	5.9	15.4
	串原(n=52)	9.6	21.2	23.1	9.6	1.9	5.8	28.8
上矢作町(n=72)	15.3	23.6	20.8	11.1	5.6	1.4	22.2	

《②職場での待遇》

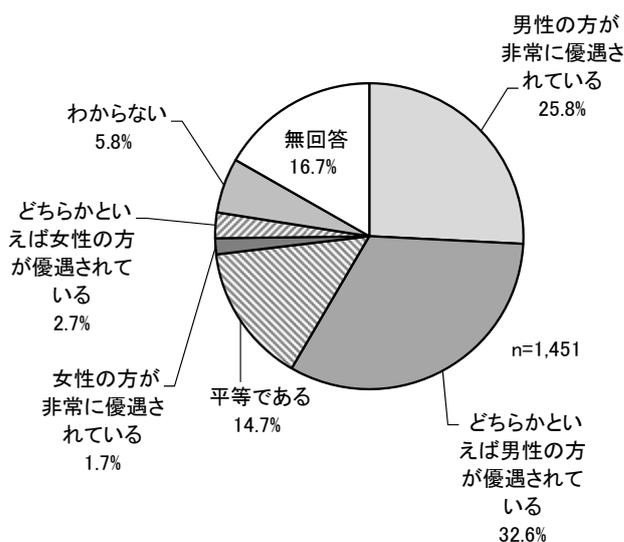
「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が32.6%と最も高く、次いで「男性の方が非常に優遇されている」が25.8%、「平等である」が14.7%の順となっています。

「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とを合わせた男性の方が優遇されているが58.4%、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは4.4%となっています。

性別でみると、女性では「男性の方が非常に優遇されている」が約3割と、男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、30歳代、40歳代、60歳代では男性の方が優遇されているのが約65%と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、明智町、東野、飯地町、大井町、笠置町では男性の方が優遇されているが約65%と、他の地区に比べ高くなっています。



		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体(n=1,451)		25.8	32.6	14.7	1.7	2.7	5.8	16.7
性別	男性(n=657)	22.2	34.8	17.0	2.4	3.2	5.0	15.4
	女性(n=770)	29.4	31.2	13.1	1.2	2.3	6.6	16.2
年齢別	20～29歳(n=97)	26.8	36.0	15.5	3.1	6.2	10.3	2.1
	30～39歳(n=156)	26.3	37.9	23.7	1.3	3.8	3.8	3.2
	40～49歳(n=170)	23.5	43.5	20.6	2.9	2.4	4.7	2.4
	50～59歳(n=238)	29.8	31.9	18.5	2.5	3.4	9.7	4.2
	60～69歳(n=317)	30.0	34.6	15.1	1.6	1.6	3.5	13.6
	70歳以上(n=452)	21.5	25.7	7.5	0.9	2.2	5.8	36.4
居住地別	大井町(n=292)	25.0	38.7	13.7	1.7	3.1	5.1	12.7
	長島町(n=226)	24.8	33.1	16.8	2.7	2.7	5.3	14.6
	東野(n=54)	31.5	33.3	7.4	0.0	3.7	9.3	14.8
	三郷町(n=73)	20.5	37.1	17.8	0.0	2.7	8.2	13.7
	武並町(n=92)	29.4	29.4	14.1	2.2	6.5	4.3	14.1
	笠置町(n=44)	34.2	29.5	13.6	0.0	4.5	6.8	11.4
	中野方町(n=54)	14.8	37.0	14.8	1.9	0.0	9.3	22.2
	飯地町(n=42)	28.6	35.7	11.9	0.0	0.0	4.8	19.0
	岩村町(n=143)	32.1	22.4	18.2	2.8	2.8	7.7	14.0
	山岡町(n=115)	23.5	32.2	15.7	1.7	1.7	6.1	19.1
	明智町(n=169)	29.6	35.4	9.5	1.2	2.4	4.7	17.2
	串原(n=52)	19.2	21.2	13.5	3.8	1.9	5.8	34.6
	上矢作町(n=72)	19.4	29.2	22.2	1.4	1.4	4.2	22.2

《③地域活動の場》

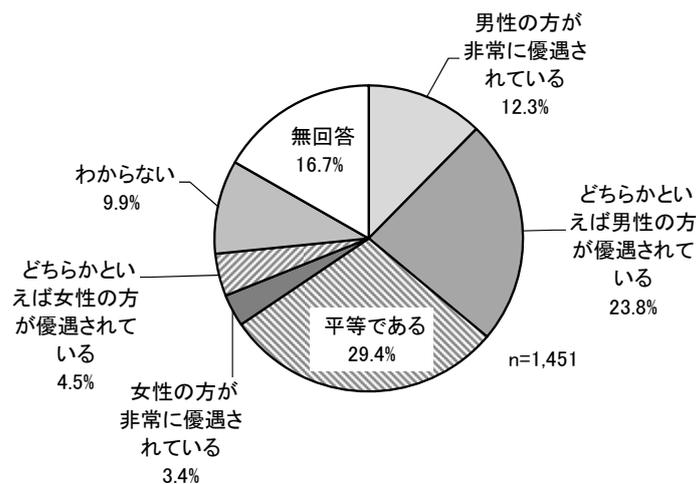
「平等である」が29.4%で最も高く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が23.8%と最も高く、「男性の方が非常に優遇されている」が12.3%の順となっています。

「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とを合わせた男性の方が優遇されているが36.1%、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは7.9%となっています。

性別でみると、男性では「平等である」が約35%と高く、女性では男性の方が優遇されているが4割強と男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、40歳代、50歳代、60歳代では男性の方が優遇されているが4割強と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、飯地町、笠置町では男性の方が優遇されているが45%以上、東野では女性の方が優遇されているが2割弱と、他の地区に比べ高くなっています。



	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答	
全体(n=1,451)	12.3	23.8	29.4	3.4	4.5	9.9	16.7	
性別	男性(n=657)	9.7	21.0	36.0	3.8	5.0	9.3	15.2
	女性(n=770)	14.8	26.3	24.9	3.1	4.2	10.5	16.2
年齢別	20～29歳(n=97)	11.3	19.6	30.9	2.1	7.2	25.8	3.1
	30～39歳(n=156)	8.3	25.6	36.6	3.2	5.8	16.7	3.8
	40～49歳(n=170)	12.4	28.8	34.6	5.3	5.9	10.6	2.4
	50～59歳(n=238)	11.8	30.2	30.2	3.8	5.5	13.9	4.6
	60～69歳(n=317)	16.1	26.5	31.2	3.5	4.1	6.3	12.3
	70歳以上(n=452)	11.5	17.3	24.6	2.9	2.9	4.4	36.4
居住地別	大井町(n=292)	11.0	21.6	36.2	1.7	4.5	12.3	12.7
	長島町(n=226)	10.6	22.6	32.7	4.9	4.0	9.7	15.5
	東野(n=54)	5.6	24.1	29.5	9.3	9.3	3.7	18.5
	三郷町(n=73)	6.8	32.9	34.3	2.7	1.4	9.6	12.3
	武並町(n=92)	15.2	26.1	27.2	1.1	8.7	7.6	14.1
	笠置町(n=44)	29.5	18.2	31.9	4.5	4.5	2.3	9.1
	中野方町(n=54)	5.6	33.2	25.9	1.9	7.4	9.3	16.7
	飯地町(n=42)	19.0	33.5	19.0	0.0	0.0	9.5	19.0
	岩村町(n=143)	19.6	23.0	22.4	4.2	2.8	14.7	13.3
	山岡町(n=115)	12.2	22.6	29.6	1.7	5.2	10.4	18.3
	明智町(n=169)	13.0	21.9	26.6	6.5	4.7	9.5	17.8
	串原(n=52)	7.7	25.0	21.2	0.0	1.9	7.7	36.5
上矢作町(n=72)	8.3	23.6	30.5	4.2	5.6	5.6	22.2	

《④学校教育の場》

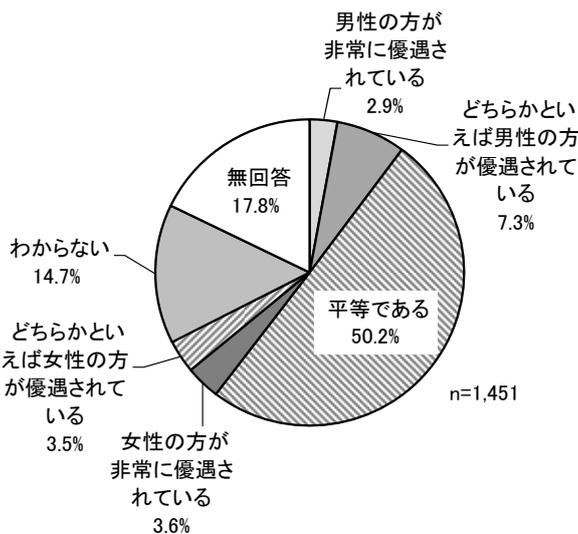
「平等である」が50.2%で最も高く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が7.3%、「女性の方が非常に優遇されている」が3.6%の順となっています。

「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とを合わせた男性の方が優遇されているが10.2%、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは7.1%となっています。

性別でみると、男性・女性ともに「平等である」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、30歳代、40歳代では「平等である」が6割強と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、笠置町では男性の方が優遇されているが2割弱、飯地町、東野では女性の方が優遇されているが15%以上と、他の地区に比べ高くなっています。



		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体(n=1,451)		2.9	7.3	50.2	3.6	3.5	14.7	17.8
性別	男性(n=657)	2.4	5.8	53.0	4.3	4.3	14.2	16.0
	女性(n=770)	3.4	8.8	48.7	2.9	2.9	15.6	17.7
年齢別	20～29歳(n=97)	5.2	5.2	55.6	6.2	4.1	20.6	3.1
	30～39歳(n=156)	2.6	5.8	62.1	1.3	3.8	19.9	4.5
	40～49歳(n=170)	1.8	11.8	62.9	2.4	3.5	14.7	2.9
	50～59歳(n=238)	2.9	9.2	57.2	3.4	3.8	18.9	4.6
	60～69歳(n=317)	3.5	9.1	51.4	4.1	3.8	14.2	13.9
	70歳以上(n=452)	2.7	4.6	37.2	3.5	3.1	10.4	38.5
居住地別	大井町(n=292)	4.5	7.9	56.0	1.4	2.1	13.4	14.7
	長島町(n=226)	1.8	7.5	46.0	3.5	4.9	20.4	15.9
	東野(n=54)	3.7	3.7	49.9	11.1	5.6	9.3	16.7
	三郷町(n=73)	1.4	6.8	56.2	4.1	4.1	17.8	9.6
	武並町(n=92)	4.3	7.6	51.1	2.2	5.4	12.0	17.4
	笠置町(n=44)	9.1	9.1	54.5	4.5	0.0	11.4	11.4
	中野方町(n=54)	0.0	3.7	49.9	1.9	3.7	24.1	16.7
	飯地町(n=42)	2.4	4.8	38.0	16.7	4.8	14.3	19.0
	岩村町(n=143)	2.8	9.1	51.0	1.4	3.5	17.5	14.7
	山岡町(n=115)	0.0	6.1	48.7	4.3	3.5	14.8	22.6
	明智町(n=169)	4.1	8.9	50.3	3.0	4.7	10.7	18.3
	串原(n=52)	0.0	9.6	46.2	0.0	1.9	7.7	34.6
	上矢作町(n=72)	2.8	5.6	47.2	6.9	1.4	12.5	23.6

《⑤法律や制度上》

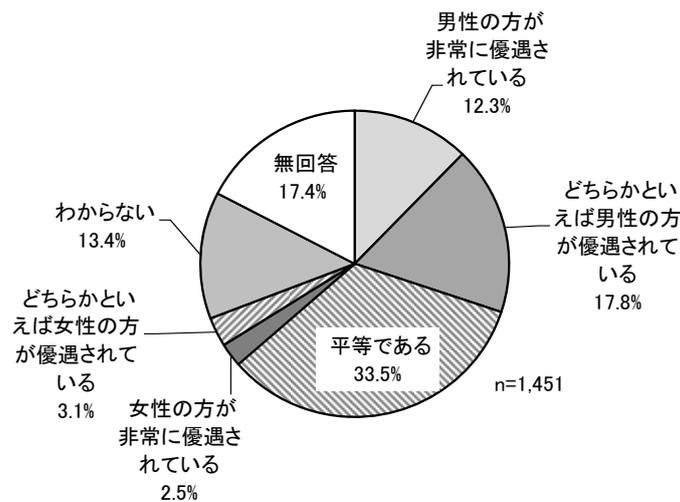
「平等である」が33.5%で最も高く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が17.8%、「男性の方が非常に優遇されている」が12.3%の順となっています。

「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とを合わせた男性の方が優遇されているが30.1%、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは5.6%となっています。

性別でみると、男性では「平等である」が4割強と高く、女性では男性の方が優遇されているが35%以上と、男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、20歳代、50歳代では男性の方が優遇されているが35%以上と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、明智町、笠置町では男性の方が優遇されているが35%以上、笠置町、串原、東野では女性の方が優遇されているが1割強と、他の地区に比べ高くなっています。



		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体(n=1,451)		12.3	17.8	33.5	2.5	3.1	13.4	17.4
性別	男性(n=657)	7.6	14.9	42.9	4.3	3.3	11.6	15.4
	女性(n=770)	16.5	20.5	26.3	1.0	3.0	15.2	17.5
年齢別	20～29歳(n=97)	13.4	25.8	28.8	4.1	6.2	18.6	3.1
	30～39歳(n=156)	9.6	19.2	37.2	5.8	3.8	19.9	4.5
	40～49歳(n=170)	12.9	21.2	42.5	2.9	4.1	12.9	3.5
	50～59歳(n=238)	14.7	21.4	37.5	2.9	5.0	13.9	4.6
	60～69歳(n=317)	13.6	21.1	36.9	1.9	1.6	12.6	12.3
	70歳以上(n=452)	10.6	10.6	26.5	1.1	2.0	10.8	38.4
居住地別	大井町(n=292)	12.7	16.1	38.3	2.1	3.4	14.0	13.4
	長島町(n=226)	10.2	19.0	32.3	1.8	3.5	17.3	15.9
	東野(n=54)	11.1	22.2	31.4	9.3	1.9	7.4	16.7
	三郷町(n=73)	5.5	17.8	43.9	2.7	2.7	13.7	13.7
	武並町(n=92)	17.4	16.3	32.6	1.1	4.3	12.0	16.3
	笠置町(n=44)	20.5	15.9	22.8	9.1	4.5	13.6	13.6
	中野方町(n=54)	7.4	22.2	31.4	1.9	0.0	20.4	16.7
	飯地町(n=42)	7.1	19.0	43.0	0.0	2.4	9.5	19.0
	岩村町(n=143)	7.7	26.6	29.3	2.1	2.8	17.5	14.0
	山岡町(n=115)	15.7	16.5	28.7	1.7	2.6	14.8	20.0
	明智町(n=169)	22.5	14.8	30.7	1.8	2.4	9.5	18.3
	串原(n=52)	1.9	19.2	26.9	3.8	7.7	5.8	34.7
上矢作町(n=72)	11.1	9.7	43.1	4.2	1.4	6.9	23.6	

《⑥ 社会通念・習慣・しきたり》

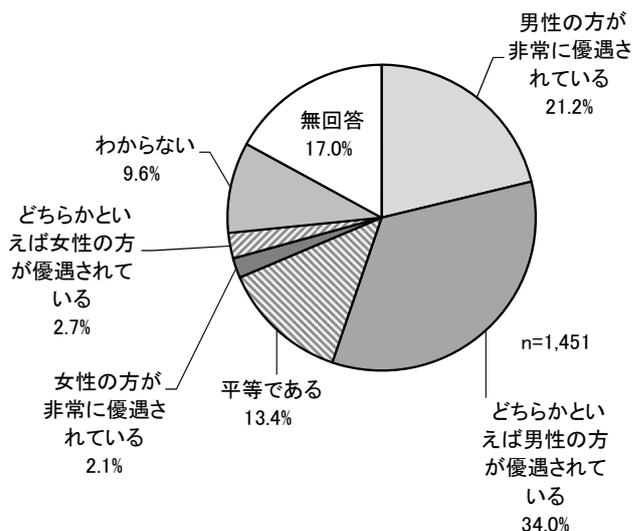
「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が34.0%と最も高く、次いで「男性の方が非常に優遇されている」が21.2%、「平等である」が13.4%の順となっています。

「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とを合わせた男性の方が優遇されているが55.2%、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは4.8%となっています。

性別でみると、男性では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が4割弱と高く、女性では「男性の方が非常に優遇されている」が約25%と男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、40歳代、50歳代では男性の方が優遇されているのが7割弱と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、三郷町、笠置町では男性の方が優遇されているが6割以上と、他の地区に比べ高くなっています。



		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体(n=1,451)		21.2	34.0	13.4	2.1	2.7	9.6	17.0
性別	男性(n=657)	17.4	37.0	16.6	2.6	2.0	9.6	14.8
	女性(n=770)	24.8	32.0	11.0	1.8	3.2	9.9	17.3
年齢別	20～29歳(n=97)	24.7	37.2	14.4	2.1	1.0	17.5	3.1
	30～39歳(n=156)	21.2	36.6	19.2	3.8	2.6	12.8	3.8
	40～49歳(n=170)	27.1	41.7	12.4	2.4	0.6	12.9	2.9
	50～59歳(n=238)	29.4	39.5	13.9	1.3	2.5	8.8	4.6
	60～69歳(n=317)	22.7	41.9	12.0	1.3	1.9	7.6	12.6
	70歳以上(n=452)	13.5	21.9	12.6	2.4	4.4	7.7	37.5
居住地別	大井町(n=292)	22.3	36.3	12.3	2.1	2.7	11.3	13.0
	長島町(n=226)	25.2	32.8	11.5	2.2	1.3	11.1	15.9
	東野(n=54)	20.4	27.7	16.7	3.7	3.7	9.3	18.5
	三郷町(n=73)	17.8	46.5	15.1	1.4	1.4	6.8	11.0
	武並町(n=92)	22.8	37.0	12.0	1.1	6.5	6.5	14.1
	笠置町(n=44)	36.4	25.0	11.4	4.5	2.3	6.8	13.6
	中野方町(n=54)	16.7	35.0	13.0	1.9	1.9	13.0	18.5
	飯地町(n=42)	19.0	38.2	11.9	2.4	0.0	9.5	19.0
	岩村町(n=143)	23.8	30.7	13.3	1.4	0.0	16.8	14.0
	山岡町(n=115)	18.3	33.8	15.7	2.6	2.6	8.7	18.3
	明智町(n=169)	20.7	37.9	11.2	3.6	4.7	4.1	17.8
	串原(n=52)	11.5	26.9	19.2	0.0	0.0	7.7	34.7
	上矢作町(n=72)	11.1	23.6	25.1	1.4	6.9	8.3	23.6

《⑦政治の場》

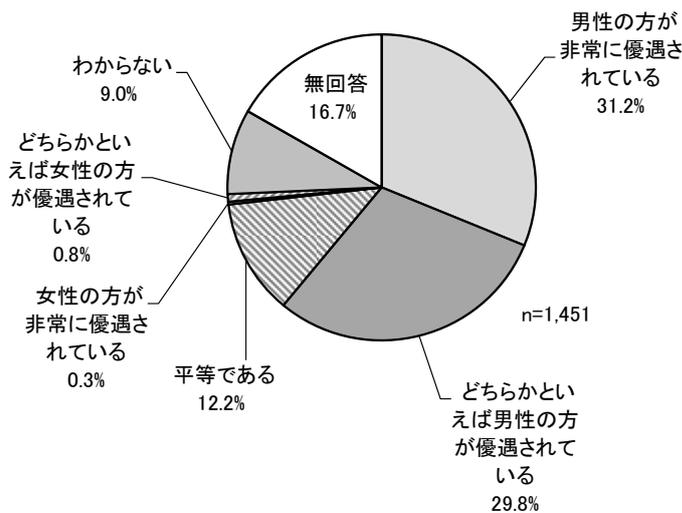
「男性の方が非常に優遇されている」が31.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が29.8%、「平等である」が12.2%の順となっています。

「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とを合わせた男性の方が優遇されているが61.0%、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは1.1%となっています。

性別でみると、男性では「平等である」が2割弱と女性に比べ高く、女性では男性の方が優遇されているが約65%と男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、40歳代、50歳代では男性の方が優遇されているのが7割以上と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、上矢作町では「平等である」が2割弱と、他の地区に比べ高くなっています。



		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体(n=1,451)		31.2	29.8	12.2	0.3	0.8	9.0	16.7
性別	男性(n=657)	24.8	31.1	18.9	0.5	1.1	8.7	14.9
	女性(n=770)	37.1	29.2	6.8	0.1	0.6	9.6	16.6
年齢別	20～29歳(n=97)	34.0	33.0	10.3	0.0	1.0	18.6	3.1
	30～39歳(n=156)	35.4	32.7	14.7	0.6	1.3	11.5	3.8
	40～49歳(n=170)	42.3	33.5	11.2	0.0	0.0	10.6	2.4
	50～59歳(n=238)	31.9	40.0	16.8	0.0	0.4	6.3	4.6
	60～69歳(n=317)	36.0	33.1	9.8	0.3	0.9	7.6	12.3
	70歳以上(n=452)	21.7	20.1	11.5	0.4	1.1	8.4	36.8
居住地別	大井町(n=292)	30.8	34.3	13.7	0.0	0.7	8.2	12.3
	長島町(n=226)	34.9	28.8	11.5	0.4	0.9	8.0	15.5
	東野(n=54)	33.3	27.8	7.4	0.0	3.7	11.1	16.7
	三郷町(n=73)	26.0	37.0	12.3	1.4	0.0	12.3	11.0
	武並町(n=92)	33.7	31.5	10.9	0.0	2.2	6.5	15.2
	笠置町(n=44)	40.9	22.7	11.4	0.0	0.0	13.6	11.4
	中野方町(n=54)	31.4	27.8	11.1	0.0	0.0	13.0	16.7
	飯地町(n=42)	28.5	28.6	16.7	0.0	0.0	9.5	16.7
	岩村町(n=143)	31.4	30.1	11.2	0.0	0.7	12.6	14.0
	山岡町(n=115)	35.6	26.1	10.4	0.9	0.0	7.0	20.0
	明智町(n=169)	30.7	30.8	12.4	0.0	0.6	7.7	17.8
	串原(n=52)	19.2	26.9	11.5	0.0	0.0	7.7	34.7
	上矢作町(n=72)	20.8	25.0	18.1	1.4	1.4	9.7	23.6

《⑧ 社会全体として》

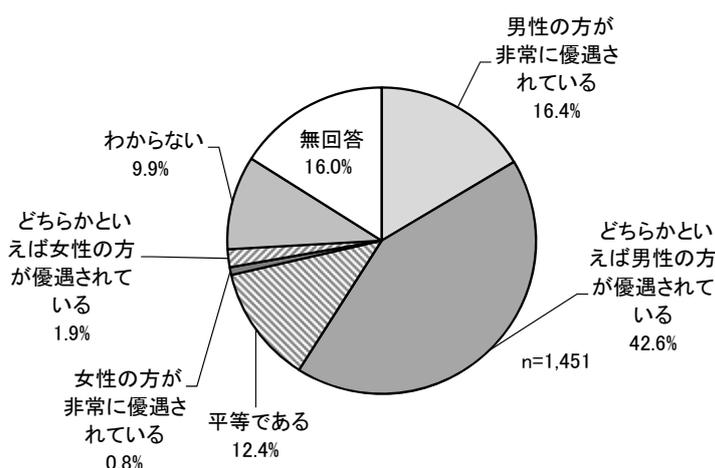
「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が42.6%と最も高く、次いで「男性の方が非常に優遇されている」が16.4%、「平等である」が12.4%の順となっています。

「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とを合わせた男性の方が優遇されているが59.0%、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合わせた女性の方が優遇されているは2.7%となっています。

性別でみると、男性では「平等である」が15%以上と女性に比べ高く、女性では男性の方が優遇されているのが65%弱と男性に比べ高くなっています。

年齢別でみると、40歳代、50歳代では男性の方が優遇されているのが約7割と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、大井町、中野方町、飯地町、三郷町では男性の方が優遇されているが約65%、笠置町では女性の方が優遇されているが約1割と、他の地区に比べ高くなっています。



		男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	女性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体(n=1,451)		16.4	42.6	12.4	0.8	1.9	9.9	16.0
性別	男性(n=657)	13.1	42.1	17.4	1.1	3.0	9.1	14.2
	女性(n=770)	19.6	43.7	8.6	0.5	1.0	10.8	15.8
年齢別	20～29歳(n=97)	16.5	52.5	7.2	3.1	2.1	15.5	3.1
	30～39歳(n=156)	15.4	48.1	14.1	1.3	4.5	12.8	3.8
	40～49歳(n=170)	17.1	53.4	14.7	0.6	1.2	10.6	2.4
	50～59歳(n=238)	17.6	53.0	14.7	0.0	2.1	8.0	4.6
	60～69歳(n=317)	18.9	45.5	13.2	0.3	1.3	8.2	12.6
	70歳以上(n=452)	14.4	28.3	10.8	0.9	1.8	9.7	34.1
居住地別	大井町(n=292)	17.8	48.5	11.0	0.7	1.4	9.6	11.0
	長島町(n=226)	14.2	44.2	13.3	0.9	0.9	10.6	15.9
	東野(n=54)	13.0	40.6	9.3	3.7	3.7	13.0	16.7
	三郷町(n=73)	17.8	46.5	16.4	1.4	1.4	5.5	11.0
	武並町(n=92)	19.6	41.3	10.9	0.0	4.3	9.8	14.1
	笠置町(n=44)	34.1	29.5	9.1	0.0	9.1	6.8	11.4
	中野方町(n=54)	11.1	53.7	9.3	0.0	0.0	11.1	14.8
	飯地町(n=42)	14.3	50.1	7.1	0.0	2.4	7.1	19.0
	岩村町(n=143)	17.5	44.0	7.7	0.0	2.1	15.4	13.3
	山岡町(n=115)	15.7	31.3	17.4	2.6	3.5	10.4	19.1
	明智町(n=169)	18.3	41.4	14.8	0.6	1.2	7.1	16.6
	串原(n=52)	9.6	38.6	11.5	0.0	0.0	11.5	28.8
	上矢作町(n=72)	11.1	34.8	20.8	0.0	1.4	8.3	23.6

③ 男女共同参画社会の実現に必要なこと

【問38】男女共同参画社会の実現に向けて特に力を入れるべきことは何だと思いますか？

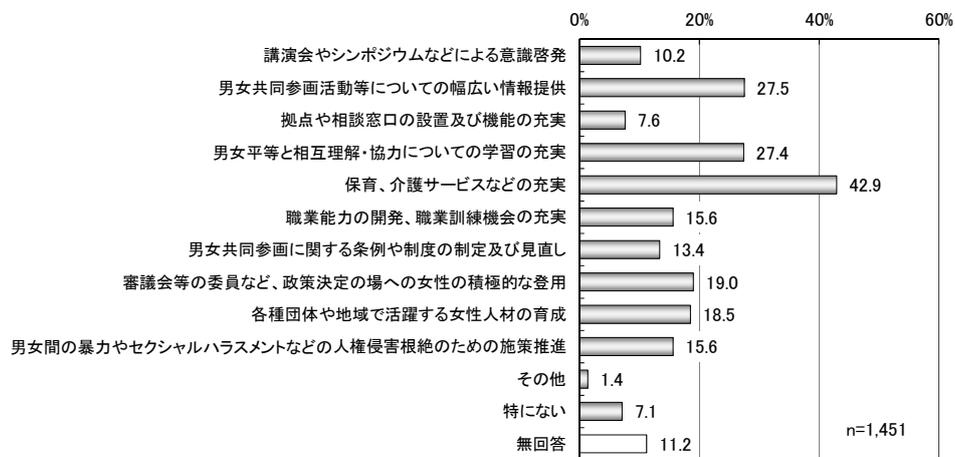
(複数回答：3つまで)

「保育、介護サービスなどの充実」が42.9%と最も高くなっています。次いで、「男女共同参画活動等についての幅広い情報提供」が27.5%、「男女平等と相互理解・協力についての学習の充実」が27.4%、「審議会等の委員など、政策決定の場への女性の積極的な登用」が19.0%、「各種団体や地域で活躍する女性人材の育成」が18.5%の順となっています。一方、「特にない」は7.1%となっています。

性別でみると、女性では「保育、介護サービスなどの充実」が5割弱と男性に比べて高くなっています。

年齢別でみると、どの年代においても「保育、介護サービスなどの充実」の割合が高くなっています。20歳代では「男女間の暴力やセクシャルハラスメントなどの人権侵害根絶のための施策推進」が約35%と、他の年代に比べ高くなっています。

居住地別でみると、飯地町、山岡町、上矢作町では「男女共同参画等についての幅広い情報提供」が約35%と、他の地区に比べ高くなっています。



	講演会やシンポジウムなどによる意識啓発	男女共同参画活動等についての幅広い情報提供	拠点や相談窓口の設置及び機能の充実	男女平等と相互理解・協力についての学習の充実	保育、介護サービスなどの充実	職業能力の開発、職業訓練機会の充実	男女共同参画に関する条例や制度の制定及び見直し	審議会等の委員など、政策決定の場への女性の積極的な登用	各種団体や地域で活躍する女性人材の育成	男女間の暴力やセクシャルハラスメントなどの人権侵害根絶のための施策推進	その他	特にない	無回答
全体(n=1,451)	10.2	27.5	7.6	27.4	42.9	15.6	13.4	19.0	18.5	15.6	1.4	7.1	11.2
性別													
男性(n=657)	12.2	29.7	8.1	30.4	38.2	16.1	13.5	20.5	18.6	15.1	1.4	8.7	8.7
女性(n=770)	8.7	26.1	7.4	25.2	47.5	15.5	13.5	17.9	18.7	16.2	1.4	5.6	12.1
年齢別													
20～29歳(n=97)	4.1	24.7	3.1	25.8	48.5	20.6	20.6	21.6	14.4	33.0	2.1	11.3	3.1
30～39歳(n=156)	7.1	18.6	7.1	23.1	46.2	23.1	12.2	13.5	14.1	17.9	2.6	9.6	3.8
40～49歳(n=170)	10.6	22.4	5.9	26.5	48.2	21.8	10.0	18.8	20.6	18.8	2.9	9.4	2.4
50～59歳(n=238)	7.1	26.9	10.1	28.2	44.5	17.2	15.1	18.9	19.7	19.3	1.7	6.7	6.7
60～69歳(n=317)	10.7	34.7	8.8	29.0	45.7	13.6	13.9	22.1	20.5	13.9	0.6	6.0	9.8
70歳以上(n=452)	13.9	28.5	7.5	28.3	36.3	10.4	12.8	18.6	18.1	9.3	0.9	5.5	20.4
居住地別													
大井町(n=292)	12.0	24.7	7.5	27.7	42.8	17.5	10.6	21.2	19.2	18.8	2.1	7.5	8.9
長島町(n=226)	9.3	22.6	4.9	28.8	46.9	16.4	14.6	18.6	17.3	19.0	1.3	7.1	11.5
東野(n=54)	9.3	25.9	13.0	25.9	42.6	13.0	20.4	11.1	5.6	18.5	3.7	5.6	14.8
三郷町(n=73)	15.1	23.3	12.3	26.0	41.1	19.2	13.7	23.3	15.1	19.2	1.4	1.4	11.0
武並町(n=92)	5.4	25.0	8.7	32.6	50.0	7.6	14.1	29.3	15.2	19.6	0.0	3.3	8.7
笠置町(n=44)	13.6	25.0	6.8	31.8	45.5	11.4	11.4	18.2	18.2	9.1	2.3	6.8	9.1
中野方町(n=54)	13.0	29.6	14.8	22.2	46.3	16.7	16.7	14.8	27.8	16.7	1.9	7.4	5.6
飯地町(n=42)	11.9	35.7	7.1	26.2	31.0	28.6	9.5	16.7	33.3	9.5	0.0	2.4	14.3
岩村町(n=143)	9.1	30.1	6.3	24.5	42.0	17.5	17.5	18.9	21.0	16.8	2.1	9.1	8.4
山岡町(n=115)	7.0	35.7	6.1	22.6	38.3	19.1	13.9	17.4	14.8	7.0	0.9	13.0	8.7
明智町(n=169)	12.4	31.4	7.1	30.2	42.0	13.0	11.2	19.5	18.9	12.4	1.2	7.1	11.8
串原(n=52)	3.8	25.0	7.7	25.0	34.6	11.5	13.5	13.5	26.9	7.7	1.9	7.7	23.1
上矢作町(n=72)	11.1	34.7	8.3	33.3	45.8	11.1	12.5	13.9	15.3	11.1	0.0	6.9	13.9

8 その他意見・自由回答について（恵那市のまちづくりについて）

（1）その他意見について

各設問の「その他」として回答された意見は次のとおりです。（ ）内の数字は、同じ意見の数を表しています。

問6. 住まいの形態

- 親と同居（2）
- 店舗兼住まい
- 寺院

問7. 家族構成

- 4世代（10）
- 弟（2）
- 夫婦、その親
- 祖父母と孫、三人
- 姉妹
- 叔父と2人だけ
- 子、孫と別居
- 長男夫婦と別居
- 友人

問10. 恵那市の人口減少を食い止めるために必要なこと

- 大型商業施設。（サブカルチャーや買い物など）（3）
- 住民税等の減税。（2）
- 企業誘致と生活水準の平準化。
- 市内に企業誘致すること等が必要だと思うが、第1は道路整備。（新たにバイパスを通す等）
- 大きい地震がくる前に、内陸部へ大きい工場を移動させていくといい。
- 仕事ができる場所があったほうがいい。定年後でも資格があれば、まだ働ける人には仕事が出来る環境が整えられるといい。
- 若年者を増やし、平均年齢を下げるために、大学を誘致する。
- シニア40代～60代向けに、会社退職後Uターンしやすいシニア向けマンションアパートの整備、親と暮らせる介護付マンション等の提供。シニアハウス後見人制度を柔軟で本人の自由を束縛しない制度に。
- 消防団のあり方を見直す。
- 障がい者が安心して暮らせるまちづくり。
- JRの本数が少ないため、名古屋などへの通勤が不便。
- 都市化。
- 農地転用の簡易化。
- 人口減の実態を正確に把握すれば、何か見えてくるのでは。世代別、男女別の意識調査と分析。（16才～50才を対象にするアンケートなど重要）
- 人口減少は、食い止められない。減少してもやっていける事を考える。
- 市民が得をする政策。

問11. 健康づくりの充実を図るために必要なこと

- 自分で気を付けること。（2）
- 若いうち、子どもの頃から健康に留意すること。（2）
- ダイエット・食事療法。
- 公園。犬など散歩できるところ。

- 医療機関のもうけ主義からの脱却した健康づくり。
- 精神の健康を重視した政策。
- 60歳前でも認知症になる方もみえるので、認知症を予防する体操を恵那市民全体に広める。介護をする人、介護をしてもらう人が減るのではないか。
- 上矢作病院が行ってきた病気にかからないための対策を活かし、上矢作病院も恵那病院同様に充実していく。
- 職住食の地産地消化。
- 都会の老人のパワーを生かして何か物を作って収入になるような仕組みにする。

問 15. 安心して子供を生み育てるために必要なこと

- ワークライフバランスの推進。仕事をしながらでも生み育てられる環境。(2)
- 親と同居・大家族。(2)
- 高校まで教育費無料化、奨学金制度の充実。(2)
- 親がしっかり子育て。(2)
- ファミサポの充実。低料金設定と市の援助。
- 企業側の支援。
- 共働きせずに生活できる収入。
- 教育、文化、芸術の振興によるまちづくり。
- 教育の充実が必要だと思います。
- 教育格差対策。
- 保育・学校施設を統廃合しないでほしい。
- 保育園は市営とし、市がしっかりと責任をもつべき。
- 子どもが大きくなってから産後の女性が働きやすい環境。
- 子どもが住み続けることができる仕事。
- 未来に希望が明るい目標が持てる社会にすること。
- 未婚者の多い状況への対処。
- 若い世代と子育て中世代への集中したアンケート調査と分析。意見を反映させるための市民参加型のプロジェクトを立てる。

問 16. 市の生活環境を快適なものにするために必要なこと

- 下水道、県道、公園などの整備。(3)
- 大型ショッピングセンターなど買い物とアミューズメントの場。(2)
- スーパーマーケット等が夜8時で閉店するので、もっと遅くまで開けておいてほしい。
- 空地の整備。
- 武並町にインターチェンジを造る。
- 積雪対策。
- 恵那市の駅近くは整備されているけど他はされてない。
- 市民意識の向上。
- 社会教育などを通じ心豊かな人を育成する。
- 人間関係、つながり。
- 生活環境を良くする、維持する活動への市民参加。
- F E C (食糧、エネルギー、ケア) 自給、生活環境が行政に依存していないこと。
- 排水、排煙の規制強化。

問 17. 地球温暖化対策で市が重点的に取り組むべきこと

- 本当に地球温暖化しているのか疑問。いろいろな見解、意見がある。(3)
- 対策を行っても効果がない。(2)
- 企業のよい事例を記事として発信。
- 休耕地(田んぼ)の活用。
- 木の伐採を止める事。

- 公共交通機関の積極的利用。
- 公共施設から市が率先した取り組みをする。
- 大規模商業施設がない優れた環境であることをもっと誇りに持ってほしい。
- 知識人の力を活用する。
- 消費エネルギーの削減を進める。
- 一人一人の問題。
- 中国のCO₂問題の対策を。
- 地球が温暖化するのが望ましい。

問 18. 地震や大雨などの災害に対して不安に思うこと

- 要介護者、独居の人、高齢者など避難の支援が必要なこと。(3)
- 電力、道路などライフラインの確保。(3)
- 災害後の衣・食・住の確保。(2)
- 阿木川ダムは地震等の時に安全か。(2)
- お年寄りが多く、災害発生時に人手不足になる。そんな地域への教育などがない。
- 食料等の生活必需品の確保。
- 火災時の初期消火の設備がない。
- 災害時の支援内容。
- 災害発生時、大地震による火災の延焼。
- 指定避難所が近くに無い。
- 指定避難場所が適切な指定か不安。(耐久性、地理的条件など)
- 指定避難場所の備蓄状況と、収容可能人数と地域住民数が呼応しているかの情報がない。
- 住宅密集地の整備。
- 消防署の位置が悪い。ダムが崩れない保証はなく、消防署を初めに救出しなくてはいけなくなる。
- 消防団の人員が少ないと思う。
- 消防団の夜間集会を早く切り上げるように。
- 近くに大きな貯水槽が2個ありますが、大きな地震の時壊れて水がふき出すような事はないか。
- 田んぼのがけくずれ。市に言っても直していただかず。
- 家族の安全確保と仕事(医療関係のため)のバランスのとり方。
- ゲリラ豪雨や、大地震どこで起きてもおかしくないと思うが、被害に遭った時、立ち直ることができるのか。
- 大地震、災害に対して無関心さが気になる。
- ダム決壊、災害が少ないことはありがたいが、災害を忘れてしまうことも心配。
- 自分の命は自分で守る。
- 川や山があるので、家の方が安全。
- 日頃家族と話し合いをしているが、実際遭遇した場合、パニックを起こすのではないか。
- 市が地域の具体的な問題をつかんでいない。恵那市は電源立地のお金をもらっており、核のゴミを持ち込まれることが一番の不安。

問 19. 火災や救急に対して不安に感じること

- 消防団員が少なくなっていること、昼間は消防団が対応できないこと。(5)
- 病院が遠い。(4)
- 有事の際、戸惑うと思う。(3)
- 身体障害者、独居への支援や対策。(3)
- 救急病院が近くにない・あるのか。(2)
- 下の階が火事になった時、逃げ場がない事。
- 家にいても火災に気付かない。
- 火に細心の注意を払っている

- 救急の電話をしても病院で様子みて下さいと断られる事。
- 救急車の利用が適正ではない。
- 救急隊員の動作、対応が遅い。
- 恵那市の外れに住んでいる。救急車が目的の家が分からないのか、サイレンを鳴らしてグルグル回っているのを夜見かけた。目印になる建物もない。
- 病院の受け入れ拒否。
- 水利がない。
- 消火栓は有るがホースがとどかない。
- 消防団の操法活動の意味がわからない。
- 昼間独居か留守宅があり、人手がないこと。
- 放火される事。
- 連絡網の寸断。
- 深夜の防災メールは本当に必要な時だけにすべき。特に熊、振り込め詐欺の連絡は寝ている時に大変迷惑です。
- 前日の風呂水は、当日新しい水くみの時抜く事。昨日の風呂水は家庭の貯水槽にする。家の中に貯水池 200 リットルが有る事です。
- 在宅でターミナルケアを選択して臨終を迎えたにもかかわらず、死亡確認のため医師の元に遺体を搬送する無念さは何とかならないか。

問 20. 今後、どのような公共交通サービスの充実に望むこと

- コミュニティーバス、路線バスは小さくする。(3)
- 年寄りが買い物しやすいバスを出す。
- デマンドバス、デマンドタクシーなど、きめ細かくムダの少ない公共交通のシステム。
- 高齢になり、車の運転ができなくなった時の代わりになるものはないか。
- 自動車を複数でシェアする。
- 地区で車を数台用意し共同で使用する組織つくる。さらに、共同の風呂、食堂、住居等ができるとうい。
- 福祉タクシーの充実。障がい者、高齢者が利用しやすいよう。
- 毎時 1 本は必要。年間定期(家族)市内全域。
- DMV(デュアル・モード・ビークル)による串原ささゆり温泉までの運行。
- 地域格差解消。
- 恵那駅に送迎の為の駐車場がほしい。無駄な土地を撤去し、もっと利便性、交通安全を考えてほしい。
- たまに JR を利用するのみ。用事は車でこと足りる。

問 21. 「活力あるまち」にするために取り組む重要なこと

- 商店街に駐車場を確保する。(2)
- 仕事をにやう人、人間力のある人を育てる。(2)
- この町で子供を育てたいと思える町。保育園や、子育てに金のかからない町。
- これといったとりのない地域は、他の市町村の敬遠する事を受け入れる。
- シアター恵那を街の中にもってくる、またはもっとアピールする。
- 別府駅周辺のアーケードを参考にする。
- コンビニ等の様な店が地域にない事の解消を。
- 遠くに行かなくても用事をすます事ができるようにする。
- 国道 257 号と豊田市中心部との道路整備。
- 恵那 IC が不便なので国道 19 号に出やすくなる工夫。
- 武並町周りにインターチェンジを造る。
- 職員の育成。
- 市役所職員の人件費の半分を地域通貨にする。
- 社会的弱者への配慮、支援を優先するまちづくりをする。

- 若い人が働ける場。産婦科。
- 地元の若者を教育し、ふる里の良いところを見つける。他地域の人に地元の良さを見つけてもらう。
- 地元の人が地元で楽しむ。
- 里山整備などに地域の高齢者の力を発揮してもらう。
- 水稲だけは国の管理で加工販売する事。
- これ以上まちなかが忙しくなってほしくない。静かに暮したい。

問 22. 現在の小中学校教育を充実するために力を入れるべきこと

- 親に対する教育。(4)
- 土曜日の午前授業を復活させる。(3)
- 教職員の数を増やし、負担を減らす。(2)
- 統合により通学が遠くならないこと。(2)
- 統合はしない、反対。(2)
- 当地域では生徒数が少なく、他地区と合併しなかなければと思う。小学校から全寮制に移行して、十分教育を受けさせて下さい。
- 教師の自主性の重視。
- 行政は教育環境を整えることに力をいれてほしい。
- 教師1人に対して30人学級。
- 少人数学級にする。
- 平和の大切さ、独立心を養う教育。
- 入試制度変更に伴う準備を早急に。
- 先生方の意見もぜひきいて下さい。
- 睡眠教育等、子供の健康と成長に注力。
- 第三者委員会による教職員へのアンケート。教職員の職場環境、教育委員会に問題はないのか。子どもたちから社会や自然、交流体験などの体験学習機会の充実。
- 道徳・しつけは家庭が8割学校2割。学校における道徳授業への親の参画。
- クラブの廃止。
- 恵那北中に剣道クラブを立ち上げる。
- コミュニケーション不足の若者が多い。年齢が離れている者との会話の機会をつくる。
- 意欲や人間力向上。(インターンシップや海外交流)
- 学力偏重ではなく、作物を育て、収穫の喜びを味わえる教育を。
- 子どもを持つ若い世代の人々を増やす。
- 子供は大切な宝物。甘やかすのではなくて、大切に育てて欲しい。
- 人と人との関りの中で子どもは育ち合うし、それが本物の学力につながると思う。
- 「6. 教職員の資質・指導力の向上」に関しては、現場におまかせ。

問 23. 生涯を通じた学習を充実させるために特に力を入れるべきこと

- 遠くでも参加することができる交通手段の充実。(2)
- 企業から社会からの人材登用など。
- 休日に通えるもの。
- 無料の講習等。
- 個人の趣味ではなく、社会に還元されるような学習の場が必要。
- 国指定の遺跡を充実させる事。
- 市民の自主運営による生涯学習システムの構築。
- 小さな講座の充実。100歳を超えたお年寄りとの対話や、まちの人たちの経験や考えをお互いにききあう講座など。
- 年長者により技術を伝える。
- 情報に触れる事。
- 託児の充実化。

- 地域へ出向いてもらったり、地域だけの取り組みを充実する。
- 学び考え、新たな知識、知見を持つ生き方をすべきだと幼少期から育てる。主たる産業のない地域は知恵を身につけるとい手もある。
- 高校まで無料化、大学は育英資金の貸付で大学進学を進める。
- 自分自身に一日一日を大切に。生きがいのある一日を。
- 生涯学習は不要。老人が集える場所が箇所があれば良い。
- 毎日、集える場所の提供と健康体操の実施。
- 市役所職員の意識を高める。

問 24. 合併後の市民協働の進捗について

- 議員に行政と地域の中に入って地域の意見を聞いてもらいたい。
- 合併後、NPOの関係で役職が多い。
- 地域間、個人間に温度差があり、個々でとらえ方が異なると思う。
- 本当の協働になっているのか、行政の仕事の押しつけになっているのではと疑問。
- ごく一部の人がやっているだけである。
- 地域づくりとは、いったい何を意味しているのか。
- どういった活動が市民と行政の協働による地域づくりにあてはまるのかが分からない。

問 25. 地域で行っている各種地域づくり活動の参加について

- 高齢のため参加できない。(5)
- 参加する時間的な余裕がない。(仕事、子育て等、身の回りのことなど) (4)
- 参加できない。(2)
- 体力がない。(2)
- 活動内容による。(2)
- どんなものがあるのか知らない。
- 良い企画がない。内輪のみでもりあがっていて入りづらい
- 参加しやすい、とっかかりやすい人の集め方をしてほしい。
- 参加したいが退職後でないと不可能。同時にそれが組織の高齢化、硬直化をもたらしていると思う。
- 体調悪くて参加しにくい。
- 定年以降でないと考えられない。
- 年齢の関係で参加は難しい
- 歩く事ができないために、参加できない。
- 参加して思ったことは、特定の者だけに負担がかかりすぎている。
- 本当に必要な活動なのか疑問を持ちながら参加。
- 参加している。
- 各種地域づくり活動とは、どういうものか。母の介護のため地区の作業に出られないと申し出たところゴミステーションを使うなどと言われ、回覧板、広報紙も係わらなくなった。

問 26. 市政の情報入手方法について

- メール。(2)
- 親から。
- 保育園、学校からの連絡で。
- すべて民間に委託すべき。
- 情報を入手していない。

問 27<回数>. 広報誌の発行回数について

- 広報誌は届いていない (4)
- 1回は全域版、あと1回は地域毎に。手づくりでもよい。
- アパートにも届けてほしい。
- 自治会に参加しなくなってから、広報誌はまわってこなくなった。

問 27<情報量> 広報誌の情報量について

- 月1回。(2)
- あまり関係ない、興味のない記事が多い。(2)
- その時による。
- やや読みにくい。
- 各課担当のコラムを持ち回りにして「今の当課」というリアル感があってもいい。
- 市町村にバラつきがある。
- 地域性と社会性先端の調和。
- 広報が届いていないため判断できない。
- 届かない。
- 自治会に参加しなくなってから、広報誌は回ってこなくなった。

問 28. 市民の意見を市政に反映するために必要なこと

- インターネットの活用。
- 自治とは何かを市民各々が意識すること。市役所前に目安箱でも置いて、投函された意見はホームページで公開すれば、関心が生まれ市民の民意が育つ。
- 庁舎内で議会のテレビ公開。
- 意見を言いたくても個人が特定されてしまうから、言えない人が多い。市長宛ての便では言いにくいと思う。
- 各種団体の意見をとりあげる。
- 今回の調査結果の全ての意見を広報えなに掲載してください。
- 市が考える将来像の提供。
- 市の実行力。
- 市の職員と市民の垣根を取りはらう。
- 机の前で仕事をするだけでなく、外で働きながら問題を見つける。
- 市職員は勤務時間外でも必要時には市政に参加することを望む。
- 市民参加ではなく行政参加にすること。
- 市民の意見を市政に反映した場合広報誌等で報告、発表をする。
- 市民の声がどのように処理されたのか、その過程を明らかにしていくこと。
- 市民の目線で物事を聞いたり、見たりしてほしい。
- 市民を一ヶ所に集めるのではなく、幹部がそれぞれ部落の集会できめ細かい意見を聞く。
- 市役所に簡単に電話した時に、文句を言わずに聞いてくれること。やるやらないは別として、聞いてくれるだけでうれしい。
- 制度より、市職員の意識の問題だと思う。
- 商業施設で見かけるような提案や希望、苦情などの質疑応答をみんなが見えるようにする。
- 振興事務所と本庁の連絡を密にする。
- 大学生、高校生、女性の声をヒアリングすること。シチズンシップ教育をとり入れる。
- 特定の人が一人で発言し、他の人が発言する機会がない。
- 問題や案件によっては、自治会で議論して、意見を上申するシステムを作る。
- 十分努力されている。情報公開の徹底が市民に安心感を与えらると思う。
- 市民のために働く議員を増やす。今の恵那で住民の声をきちんと議会に届けているのは2～3人に満たない。
- 市議の質が悪く、市長が市民の話を受けない。
- 私は毎年市民意識調査に抽出されている。抽出方法の見直し検討。

問 29. 今後さらに進めなければならない取り組みについて

- アンケートばかり取らず実行あるのみ。
- 恵那市職員を増やすべきだと考える。
- 公共施設を民間に任せる事を見直す必要がある。

- 国に方向性が無いから無理。
- 国に防衛予算やアメリカへの思いやり予算を削り、地方への交付金を増やすように、市長会等で働きかける。
- 市会議員をあと2人減らす。
- 情報公開。
- 職員の適材適所、適人数の振り分けの見直しを。
- 議員、職員数削減など人口減少に見合った身を切る改革。
- 収支の数字が黒字なら良いのではなく、必要なものは収支の数字だけではかれないことに注意する。
- 赤字事業は、公共団体が実施するのは当然である。公共事業は赤字で良いが、民間事業は赤字では実施しない。
- 無駄使いしない。

問 30. 市議会の活動情報について

- 市議会の情報は知らない、分らない。(2)
- 「えな議会だより」は不要。これは市議自身がやること。
- 議会の傍聴。恵那市議の活動レポートの少なさには驚くばかりである。
- 傍聴。
- 市議会では議員と市との間で反対意見がなく、一方通行の話になっている。なぜ問題を掘り下げて議論をしないのか、今のままであったら議員は少数だけでもよい。
- 知人より。
- うわさ話。
- 県の意向、予算だけ。
- 個人で議員記事を出している人も見えるが、ほかの人は何をしているか解らない。
- 毎回議会で何が決まって何を討議しているかわからない。

問 32. 市議会・議員の活動に対して期待すること

- 特になし。(4)
- 議員は必要か、意味をみいだせない。(2)
- わからない。(2)
- 市議の仕事は何をやっているのかわからない。(2)
- 稲作、水田をだいじにする。
- 議員を少なくする。
- 議員報酬の削減。
- 議会、議員活動すべて不満。多額な手当をいただきながら仕事不足に思う。
- 教育委員会の見直し。
- 公的事業の仕分け。
- 市民生活が向上する立場で審議してもらいたい。
- 実行、実現力。
- 若返り。
- 多数にあぐらをかかない、真をついた話し合い。
- 議員の改選時には、文化センター等に候補者一同会して政策を開陳。
- 地域、市全体の問題を深く考え提言してほしい。議員が地域の人と話し合う機会を作らなければ地域を見て回るべき。
- 立候補する時だけ立派な事を言われるが、当選すれば出会っても話もしないので残念。当地区では、年一度議員の評価をする様な機会を作るべき。
- 情報の開示。法律上の根拠がない投票済証を条例で禁止にする。
- こども園をやめてくれの署名をしたが、聞き入れなかった議員に何も期待はない。

問 34. 台風や豪雨等により避難に関する情報が発令された場合の、最初の避難場所

- 自治会で決めた場所。
- 近くの広場に行く。
- 中野会館か長島小学校。
- 避難所が遠く山と川の間で危ない。

問 35. 台風や豪雨等により避難に関する情報が発令された場合の、避難しない理由

- 介護者、寝たきりの高齢者がいるため避難できない。(3)
- 障がい者の子供がいるため、避難所では無理である。
- 愛犬がいるので。
- ペット(猫)がいるため。避難所でペット同伴を受け入れてくださっても、なかには猫アレルギー、猫が嫌いな方がいて、迷惑かけるかもしれないため。
- 家畜がいるため。
- 市役所と自宅では地形が違う。
- 大勢な中が苦手。

問 36. 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について

- 家庭に任せる、家庭の自由、家庭の事情に応じて決める。(22)
- 子供が小さい時は「①男性は仕事、女性は家庭でよく、その後は別の考え方で。(5)
- 分担する考え方は古い、遅れている。(4)
- ケースバイケース、どちらでもよい。(4)
- 話し合い分り合って役割分担すれば良い。(2)
- 相手の考えによる。(2)
- 臨機応変に対応、仕事も家庭の事も誰もがやる。(2)
- 「③男女とも仕事をし、家事・育児・介護の役割も分かち合うのがよい」が理想だけど女性は出産する仕事があるので、次の仕事に入りたくとも不利なことが多い。
- お互い手のあいた人が家事を手伝う。
- 男女共同参画という言葉は、男中心社会の目くらまし。男性、女性の性質を十分に発揮できる役割がある。固定する考えはないが、母性・女性の性質を十分発揮できる場所は家庭。
- 男女役割と言う考えはおかしい。
- 男性は仕事、女性は家事、子育ては両方。
- 適性のある方が受けもつ。
- 特に決める必要はない。
- その家の人がまわりの空気に影響を受けずに決めることができるように。
- 生活コストがかかりすぎるから、みんな働くことになる。
- 現代の常識の範囲ならどれでもよい。
- それで良いと思うが現実は違う。
- どちらでもできることをする。各々が責任を持つ。
- バランス良ければよし。
- 仕事に関係なく協力し合うのがよい。
- 嫁の方の給料が高ければ、家庭でもいいと思っている。
- 女性が男性と同じように働くことができるヨーロッパのような社会がよい。
- 結婚、家族などを押し付けてしまっているのでは。
- 今の社会では現実全く違う、昔の考え。
- 子どもの視点を考えると育児は女性の方が良いと考えられるが、仕事については重要度と責任によって優先順位を判断し男女の差は無い。
- 夫婦の市職はどちらかが退職するべき。
- 高齢のためどちらとも云えない。

問 38. 男女共同参画社会に向けて特に力を入れるべきこと

- 年配の世代の人・男性の意識を変えること。(3)
 - 家庭から意識、行動する。子どもにも見せる。(2)
 - 男女の意識改革。
 - フレックスタイムや在宅勤務の制度的支援。
 - 能力や希望に合わせて、社会でも家庭でも尊重される。
 - 女性は旦那のかせぎとか言う前に、自分でかせぐ意識。男性は家事全般を、女がやるのが当たり前だという考えを捨てる。
 - 職場での責任の向上。
 - 男女であるという考えをはずしなさい。人間であることを言うべき。
 - 男女を不平等と考えているからこんな質問が出る。この町へ越してきて、こういうことに驚いた。
 - 男女二元論をやめること。
 - 性を多面的に学ぶ。
 - 表現規制をしない事。
 - 政治や、自治活動の男女比を同じにする。
 - 暴力には厳罰ないし、長期の公共作業につかせる。教育現場での家庭科教育の充実、社会での実状を数値で情報提供する。登用比率を5対5と法で定める。
-

(2) 自由回答について

恵那市のまちづくりについて、多くの方から貴重なご意見やご提案をいただきました。ご意見などの内容については、庁内担当課などで回覧し、今後の市政の参考とさせていただきます。

なお、寄せられたご意見などの内容と件数は、以下の通りです。

恵那市総合計画に基づく分類		件数
◇健やかで若さあふれる元気なまち（健康福祉）		120
1.	安心して子どもを育てる環境づくりの推進	43
2.	健康づくりの促進	8
3.	みんなで支え合う福祉のまちづくり	3
4.	安心と生きがいのある高齢者福祉の充実	33
5.	地域で共に暮らせる障がい者福祉の充実	2
6.	地域の医療・救急体制の充実	31
◇豊かな自然と調和した安全なまち（生活環境）		128
1.	豊かな自然環境の保全と活用	15
2.	快適な都市環境づくり、まち並み景観整備の推進	35
3.	移住・定住対策の推進	37
4.	災害に強く、安心・安全なまちづくり	21
5.	環境衛生対策の充実	19
6.	地球温暖化対策の取り組み	1
◇快適に暮らせる便利で美しいまち（都市・交流基盤）		85
1.	計画的な土地利用	16
2.	地域内外の交流を支える道路体系の強化	32
3.	公共交通の充実・強化	33
4.	高度情報通信基盤の整備	4
◇活力と創造性あふれる魅力あるまち（産業振興）		121
1.	にぎわいのある商業・サービス業の振興	38
2.	新たな活力を生み出す工業の振興と新産業の育成	8
3.	農林水産業の支援・高度化	14
4.	魅力ある就労環境の充実	26
5.	地域資源の連携による個性的な観光の振興	35
◇思いやりと文化を育む人づくりのまち（教育・文化）		46
1.	学校教育の充実	17
2.	生涯学習の推進	8
3.	人を育み、人を生かす教育	6
4.	文化・芸術活動の振興	8
5.	文化財の保護	3
6.	スポーツ活動の振興	4
◇健全で心の通った協働のまち（市民参画）		152
1.	新しい自治の仕組みの確立	57
2.	男女共同参画の推進	3
3.	国際・都市・地域間交流の推進	4
4.	時代に対応した行財政基盤の確立	88
◇その他		0
その他		0
合 計		652

(3) 自由意見 ～ 健やかで若さあふれる元気なまち（健康福祉）～

1. 安心して子どもを生育する環境づくりの推進

意見	年齢	性別	居住地
○ こども園になってから延長保育にお金がとられてしまい、これでは環境が悪くなったと思う人が多いと思う。こども園に入っていない杉の子幼稚園に入園したい子が殺到して、私の子供が入園できなかつたら、車もないのにどうしたらいいか困る。とにかく恵那市は子育て支援が悪すぎると思います。	20 歳代	女	大井町
○ 保育園内定通知書をもう少し早く送ってもらえると助かります。入園に向けての説明会等も、早めに行ってもらわないと、仕事のスケジュールがたてられません。	20 歳代	女	大井町
○ 自分の子供が（保育園児）食物アレルギーがありますが、保育園で対応できない物は、自宅で朝又は、前夜に用意しますが共働きのため、もう少し市で対応して頂き、負担を軽減させてもらえたらと思います。	30 歳代	男	岩村町
○ 学童保育（放課後保育）の充足。抽選になることが多いと聞きます。入れなかつたら仕事家庭にも影響し、暮らしにくい市になる。	30 歳代	女	大井町
○ こども園になる意味がわからない。子供が混乱する。説明会では子供にとっても親にとってもメリットしかないという話でしたが、デメリットしかない。子育て支援に力を入れるなら、学童の増設や、子育て家庭に対する減税など、他にあるはず。実際周りの人も2人目、3人目子供は欲しいけど、恵那市の現状では1人しか無理という家庭も多い。	30 歳代	女	長島町
○ 2年前に引っこして来ました。保育園の対応がひどすぎて、子供の成育に不安を感じます。そのくせ、保育料が高すぎる。去年、うちの子供は保育園で全治3ヵ月のけがをさせられました。そのときの対応にまったく納得がいきません。今後、訴えるつもりでいます。前にいた市は、子供の医療費も高校卒業まで無料でした。そのあたりは変更はないのでしょうか？どうしても前の市と比べると、子育てに対してのお金がつかわれていない気がします。	30 歳代	女	長島町
○ 現在、子供2人を保育園、託児所に預けて仕事をしていますが、子供達が小学校に上がってからの働き方に不安を持っています。学童保育の場が少ないことです。夏休みの間しかない地区です。中津川市の知人に聞くと、その点は充実しているとのこと。住む場所により差があると、生活もかかっているため非常に困ります。核家族のため祖父母にもなかなか頼れません。市街地から離れた場所でも、学童保育が充実していると住みやすく、生活しやすいと思います。	30 歳代	女	長島町
○ 小さい子供のいる家族がもっと恵那にくるように努力が必要。	30 歳代	女	長島町
○ 保育サービス、学童にそんなに予算はいらないと思います。	30 歳代	女	長島町
○ 恵那に住んで5年と少しになります。3人の子供を出産し現在も正職で共働きしています。本当はもっと子供との時間をつくりたいのですが職場は子育て中だからと優遇される訳でもなく、逆に子供の学校等の行事等で有休を取る事をけむがられます。だからといって正職を辞めると生活も苦しくなります。恵那の広報を毎月見っていますが「おめでた」より「おくやみ」が圧倒的に多い状況はどうしたら改善できるのでしょうか？もっと子育て世代をみんなが応援して、働いていてもサポートがあり、恵那で子育てしながら仕事との両立をしたいと思える環境づくりをするべきだと思います。今まさに子育てしている世代の実際の生の声に耳を傾け、より住みやすい、住みたいまちづくりになるよう進める事をお願いしたいです。	30 歳代	女	東野
○ 地域の幼稚園の入園児が減っている。送り迎えのある私立幼稚園は、1/3程度の返金があると聞いた事がある。それなら似た値段で「こども園」に入れるよりは、私立に入れた方が親は楽かと思う。親の働く時間が8時間 or 11時間設定では不満。年間の短時間勤務を希望しているが、どうすればいいか悩んでしまう。	30 歳代	女	東野
○ こども園の入園の情報がもう少し早く教えてほしい。早めに準備しておきたいこともあるので。	30 歳代	女	武並町
○ 恵那市街まで時間がかかる地域の保育時間を見直して欲しい。通勤に時間がかかるので仕事を終わってからだと間に合わないことが多い。19時～20時頃まで全保育園が対応してくれるとありがたいです。	30 歳代	女	中野方町
○ 子育て世代の意見や、支援サービスなど充実するとよいと思います。また保育の充実にはそれに伴って保育の現場で働く方への支援も必要だと感じます。サービスを受ける側だけでなく、提供する側への配慮も合わせて考えていけるとよいと思います。	30 歳代	女	中野方町
○ 3児の母です。長男が小学校へ入学し、保育園の時より早く帰宅し、夏休み、冬休みなどの長期の休みも増えました。夫婦共働きのため学童保育を考えていますが人数が多く、保育を頼めないかも・・・と聞きます。現在は第3子の育児休暇中なので学童を利用する必要はないのですが、仕事復帰後の学童の状況が心配です。安心して子育てと仕事をしていけるよう、学童保育の充実をお願いしたいです。	30 歳代	女	岩村町

○ 働いているので子供の健診が平日の昼間にあり、仕事を休まなければならない事が困る。土曜日等に働いている方用の日にちを設けてもらえると助かる。妊婦検診、子供が県外で治療した時に助成の手続きが面倒。県外で妊婦健診や子供の治療をした時に後から手続きをするのではなく、そのまま助成が適用される仕組みをつくってほしい。子供を産みやすい環境をつくってほしい。今後子供を増やそうと思っていても金銭的な面で考えてしまう。保育料の値下げ、3人目の保育料無料を。もっとたくさん子供を産んでも金銭的に困らない様にしてもらえれば、子供を増やそうと思う方も増え、人口減少を食い止められるのでは。子供達のためにもっと市のお金を使ってほしい。	30 歳代	女	山岡町
○ 来年度からこども園になりますが、変更後、園の様子、保護者、保育者の意見などが知りたいです。	30 歳代	女	明智町
○ 平日自由に行き来できる場所を市内（上矢作、岩村、山岡）に設置し、市の職員（保育士）が常勤できるようにする。ファミリーサポーターを充実させる。現在は利用料金が高いため、使えない。市の機関として料金設定を低くし、利用日数を高める。	30 歳代	女	上矢作町
○ 最も望む事は、子供達の安全な環境づくりです。特に身近に感じる事は、通学路づくりです。とても危険な箇所があります。	40 歳代	男	大井町
○ 歩道整備＝ウォーキング用歩道整備になると思います。	40 歳代	男	大井町
○ 介護者のいる家庭、乳児のいる家庭など、オムツを使用している家庭にごみ袋を月に2袋まで無料で市役所でもらえるサービスが他県であったはずですが。恵那市でもやっていただけるとありがたいサービスだと思います。あとハローワーク内にマザーズサロンを設置してほしいですね。男性だけ女性だけなら入りやすそうですが、子供連れだと入りにくい空気だし、別にコーナーがあればきっともっと利用者が増えると思います。	40 歳代	男	大井町
○ 各地区の学童保育の建設で、子育て支援につながると思う。学校に学童建設をお願いします。	40 歳代	男	武並町
○ ファミリーサポートの充実。これができないと発展しない。	40 歳代	男	武並町
○ 子育て支援に関して、残念なのは市民への説明が足りていないこと。子ども園の説明会でも説明はとてもわかりやすく、うまくできていたと思います。もっと市の方針が決定する前に、途中や報告の説明を行っていただくようお願いします。	40 歳代	女	大井町
○ ファミサポが機能していないと思う。使いたい時に連絡も取れず、使えず、行事に参加できないことがある。	50 歳代	女	長島町
○ 少子化対策の結婚支援について、20代の人をボランティアで集めてアイデアを出してもらい、スタッフとして動いてもらい、支援した方がよいと思う。市の婚活に参加した事のある方から聞いたら、今の時代からちょっとずれているというような意見を聞きました。	50 歳代	女	長島町
○ 恵那市の将来を担う子どもたちが、保育保障が確実な市にしたいと思う。親が安心できる街でないと、健やかな育ちの中で賢い子どもが育たない気がします。どうか、保育事業の拡大と、親の安心、安全に労働できる場を設けて下さい。27年度より保育体制が変わります。恵那市にも他市同様、待機児童がいます。家庭的保育事業（保育ママ制度）等、取り入れることで、待機児童もへり、親も子も住みやすく、暮らしやすくなると思います。	50 歳代	女	三郷町
○ 働く若い夫婦が安心して暮らせる、子育てできる援助とシステムづくりが重要だと思います。少子化の大きな原因は働きながらの子育ての難しさにあると考えます。例えばお祝い第一子5万円、第二子10万円、第三子50万円などの大きな援助を行い、恵那市は子育てに優しい市であることを全国的に大きくPRし、マスコミに取り上げられるぐらいの思い切った対応策を打つ必要があります。また三人目からは特別な優遇策を市として打ち出すことがポイントかと思います。	60 歳代	男	大井町
○ 子育てにもっと国や市、県が力を入れるべき。学費などを祖父母や父母が負担するのはおかしい。	60 歳代	男	長島町
○ 子供手当を充実して、子育てしている人や老人をかかえて困っている人に。手をさしのべられる市政を行ってほしいです。	60 歳代	男	明智町
○ 保育料や国保料を下げ、若者が子育てしやすい環境を整える。そのために市営住宅の整備や増築を行い、安い家賃で入れるようにし、働く場所の確保や相談に乗り、魅力あるまちづくりを進めてほしい。	60 歳代	男	明智町
○ 安心して子供を産み育ていける魅力のある恵那市になる、大胆な発想はないものか。そんな何かがあれば、恵那市に移住しようとか、もう1人2人子供を育てようと思うはず。	60 歳代	女	大井町
○ こども園への移行はやめる。	60 歳代	女	大井町
○ 人口減少対策について、子育て支援の充実に取り組む。産休明け、1才児以上保育をどの地域でも可能にする。現在は、一部の地域でしか行われておらず、待機児がいるのが現状。保育料を安くする。延長保育料をとらない。公立の保育園を民間委託せず、正規採用の保育士で保育をおこなう。	60 歳代	女	大井町
○ 自然が豊かなら、それを活かした産業を育成できるといいと思います。ある程度の自給自足も必要だと思います。目先の利益ではなく10年後20年後を視野に入れて、少しずつ前進できるような目標があるといいと考えます。	60 歳代	女	大井町

○ どこが保育園を運営することになっても市が責任をもって指導して下さい。でないとう安心して子育てできない。保育・教育にはお金をかけて下さい。でないとう将来が不安。	60歳代	女	三郷町
○ ここで働き結婚し、子育てしようと思える恵那市であってほしいものです。40才近く又はオーバの青年が一人でおられます。本当に心配しています。	60歳代	女	山岡町
○ 苦しい生活の中での子育ては大変だと思います。子供を育てている人と老人世帯にやさしい恵那市を望みます。	60歳代	女	明智町
○ 子育てが安心できるようにしてほしい。楽しく生活できないと、若い人は住めません。	60歳代	女	明智町
○ 未婚の男女がとて多くなっている事は今の社会現象です。少子化をストップさせるためにも役所で力を入れてほしいと願っています。	70歳以上	女	三郷町
○ 例えば警報時の登下校等子育て中の親が安心して仕事ができるシステムがあるとよい。	70歳以上	女	武並町
○ 少子化になり寂しい限りです。子どもが増える時代がくるとよいと思うけど子育ても大変です。	70歳以上	女	明智町
○ 市の人口も減少していると聞いております。近隣の市町村も同様、人的資源の奪い合いではだめで、今後長い目でみた子育て支援を行っていくことが大事。これはむしろ国に対して声を大にして言いたい。	70歳以上	女	明智町

2. 健康づくりの促進

意見	年齢	性別	居住地
○ 健康寿命を延ばす健康福祉政策として、大学など研究機関との連携を誘致、市全体または個人の成果がデータとしてあらわれるような形で、一人一人の健康への意識を高める。隣接する市との協力、東濃地域全体での産業や医療の交流や活動。観光・イベント分野での連携。セルフメディケーションの実現。医療の拠点を病院・診療所から分散させ、薬局、ドラッグストアを拠点の中心にして自己管理、健康相談を気軽にできるようにする。小・中学校での教育の中に健康福祉・医療を取り入れ、市民全体の健康への意識を高める。	20歳代	男	長島町
○ まずは安心して子供が産める、育てることができるまちづくりをしてほしい。	30歳代	男	—(無回答)
○ 市で実施する健康診断の告知が色んな所に貼ってあると、もっと大勢の人が行くのではないのでしょうか。	30歳代	女	三郷町
○ 20種類あるアミノ酸の半分が欠けるとやつれとともにガンも進行します。カルシウム、食品からの取入れ、不足分はサプリメントの活用。なるべく食品から取り入れる工夫をすると良い。	60歳代	男	長島町
○ 後期高齢者の健康寿命を延ばす。催しの回数を多くすることで恵那市医療費を抑制する効果、健康寿命を延ばす効果あり。	70歳以上	男	笠置町
○ 高齢者の健康を維持し、地域の活力に生かせる様、健康診断を今より充実させて若い人達の負担を少しでも軽減できたらと考えます。ガンに罹る者達が増えています。野菜を中心とした食生活の推進と、運動を兼ねたウォーキングを市内全体で取り組んでほしい。	70歳以上	男	飯地町
○ 高齢で病院通いが多くなり保険医療のお世話になっています。何とか市民が病気にならないような指導をお願いします。例えば保健師と栄養士のコンビで食事方法等々を指導し、病気にかからないことを教えてください。保健士と栄養士を多く採用してください。	70歳以上	男	串原
○ 恵那市民として健康な楽しいまちになるよう願っています。高齢者のため、健康であれば静かに日々過ごせたらいいと思っています。	70歳以上	女	大井町

3. みんなで支え合う福祉のまちづくり

意見	年齢	性別	居住地
○ 生活保護費を大阪市のようにプリペイドカードにして、本人以外使えないような仕様にして、生活保護の不正な利用に使用できないようにすべき。現金で支給するのは、やめるべき。	20歳代	男	大井町
○ これからますます高齢化が進む中で若い人は外へ出ていくため、隣近所、班ごとにお互いに助け合える仕組みや頼んだらすぐ来てもらえるようなシステムがあると一人暮らしの人もそうでない人も、子供がそばにいないでも安心して老後をこの地で暮らしていけると思っています。一人でも淋しくなく暮らせるといいかと思っています。	50歳代	女	山岡町
○ 老人の活用。	70歳以上	男	大井町

4. 安心と生きがいのある高齢者福祉の充実

意見	年齢	性別	居住地
○ 老人にはもう少し住みやすくしてほしい。ゴミを出すのも車、買い物も病院も車でしかいけないなんて、免許を手放したくても手放せず、まち全体が危ないと思います。老人フリーパスなど無料でバスに乗れるようにしてほしいし、バスを増やすかできなければタクシー補助、もしくは、町を活性化して病院、スーパーなど増やすしかない。一番お金のかからない方法で充実を図ってほしい	20 歳代	女	大井町
○ 子育てにはとてもよい環境（医療費など）だと思いますが、お年寄りの負担額が多いように思います。	30 歳代	女	三郷町
○ お年寄りのサービスについては、介護が必要な人はどんどん恵まれているが、介護が必要ではない人へのサービス、訪問なども充実してほしいと思います。お年寄りが行くのではなく、行政が行き、話を聞く事が大切だと思います。	40 歳代	男	大井町
○ 今後更に高齢化が進み、介護、福祉サービスが充実することを期待しています。	40 歳代	女	飯地町
○ 親の介護に苦勞しています。施設を充実し入所できるようにしてほしい。現在7年待っているが、なかなか順番が来ない。また介護にかかる費用もばかにならない。家庭への経済的援助はできないものだろうか。	50 歳代	男	長島町
○ 今後の高齢化社会にむけて、安心して今までどおり地域で暮らしていけるよう、様々なインフォーマルサービスの充実を図ることが必要ではないでしょうか。	50 歳代	女	岩村町
○ 認知症見守りネットワークの構築。	50 歳代	女	岩村町
○ 今後の65才以上の高齢者が住みやすい環境をどう作るかがポイントになるかと思います。団塊の世代や老人力を市政にどう取り込むかが重要かと思えます。この世代は子供に迷惑を掛けずにいかに老後を暮らすかを理解している、合理的に事を考える世代かと思います。大手企業の退職説明会などに参加させていただき、東京から田舎暮らしの提案をする。ゴルフ場、温泉、ウォーキング、小規模菜園などPRし「シニアドリームマンション」を提案し、できれば病院などの充実も重要かと思います。死後の墓の管理などもポイントとなるため「共同の山への散骨」の許可をとり、供養も共同墓地とし、息子達は年に2回程のお参りに来れば供養が可能なシステムを作り、自分達も退職後はこんな安心できる「恵那市」に両親と一緒に眠りたいと思わせる死後の供養管理を作りあげることが大きな関心と呼ぶと思います。	60 歳代	男	大井町
○ 高齢社会が進んでいくのに伴い、老々介護者や買い物難民の様な方々が増加していくことが考えられます。このような方々への支援強化を行政からも進めていってほしいと思います。	60 歳代	男	大井町
○ シルバー世代の家族なので一番健康が気になります。市の行事にしても、もっと高齢者が参加しやすい環境づくりをお願いします。あと3年もしたら、70代の人口が多く増えます。生きがいのある人生にして行くためにも、シルバー世代に光を当てていって下さい。	60 歳代	女	大井町
○ 町内に子供の声を聞くのは少なく、元気な老人が多くなりました。	60 歳代	女	大井町
○ 高齢者が安心して暮らしていけるまちづくり。・医療、福祉の充実。国保料、介護保険料は下げる。必要に応じた介護サービスの提供。	60 歳代	女	大井町
○ けっこう元気な年配が多いのでシルバー人材を活かすことを考える。道路の草刈り、公園の草とり、学校行事の手伝い等、業者にまかせるのではなく、自分達でできることはやる。	60 歳代	女	三郷町
○ 高齢者の入所できる施設が少なく、何年も待たなければ入れません。家族のいる高齢者は不利とか聞いていますが、大家族こそ大変です。	60 歳代	女	三郷町
○ この辺は雪も少ないし、災害もあまりなく、住みよいまちだと思います。これからは我々高齢者が多くなり、買い物に行くにも大変な時期が迫っています。介護施設がたくさん恵那市にでき、誰でもすぐに入れるように、徐々にこれから事業を進めてもらい、遠くの施設に入らなくても地元で暮らすことができたらいいなと思います。	60 歳代	女	三郷町
○ 今後は老人が暮らしやすいまちをお願いしたい。特に医療関係、他の市町にはない恵那市を望みます。	60 歳代	女	岩村町
○ だんだん高齢化社会になり、自分たちもいずれかは施設にお世話になる時代がくると思われます。今の時点でもだんだん施設が遠ざかっていくようで不安です。もっと地元で根付いたものをしっかりと築いてほしいです	60 歳代	女	山岡町
○ 合併してから旧恵那市の方は、道路は整備され交通の便はよくなり、年をとっていたとしても病院、食堂等便利ですけれど、恵南地区の方は何に対しても不便で、これから先、年を取っていく上で心配です。友達の家まで市道から離れているため、何かという時は歩いて道路まで行かなくてはならず、年を取ったら山岡を離れてどこかへ行かないと…と思っています。もう少し山間部の方へも手を入れて、市民がこの先安心してらせる市をお願いします。	60 歳代	女	山岡町

○ 60 代以上の人材の活用を推進する。「老人会」等とよばずに「成年団」と称し、役職も团长等とする。また、若い頃の青年団時代の意識を思い出して、地域のささやかな奉仕活動（道作り、子供保育、祭り参加、慰問）や近場のバスツアー、飲み会を実施する。会費は1ヶ月 300 円程度とし、そこから出す奉仕活動には少額でも有料にし、責任感を持たせ、出席不足を解消する。なるべく遠くて恵那市と異った風土の地域との交流を。この対象は青年団があった時代を知っている生まれた年が昭和 15 年～昭和 30 年までくらいが適当。5 才さきみで分けた方が上下年代のプレッシャーが少ないと考える。この意識調査の諸項目回答が市政にすみやかに反映されることを願っております。	60 歳代	女	上矢作町
○ 高齢者福祉（特に入所施設）の増大をしてほしい。	70 歳以上	男	長島町
○ 私は現在一人暮らしで体全体が痛く、毎日の生活がとても辛く、一人で生きていくことそのものが本当に大変です。私事で申し訳ありませんが、自分の不自由な体にムチを打って最低限出きることは何とかやっていますが不安で不安で、この寒い時期、特に夜が寂しくやり切れません。	70 歳以上	男	長島町
○ 山岡町でも特に後期高齢者が増加する一方で、市内外の病院通いの人が増加しています。市内串原ささゆり温泉について、各老人クラブへ PR して割引券出して会員憩いの施設として検討してもらいたい。市内観光施設兼ねて要望します。交通の便もお願いします。	70 歳以上	男	山岡町
○ 短距離の利用で安く（一般タクシーの半分位の金額で）行ってもらえる介護タクシーを設定してもらいたい。	70 歳以上	女	長島町
○ 私達は老人ですのもっと入居しやすい老人ホームを増やしてほしいです	70 歳以上	女	東野
○ 老人ホームを多く造って、希望する人は全員入れる様をお願いします。若い時一生懸命働いた人は誰でも希望する所に入れるようお願いします。	70 歳以上	女	三郷町
○ もっと介護施設の増設をお願いします。	70 歳以上	女	武並町
○ 老人などが自由に集まれる場所ありません。1 人暮らしの方など、その場所に行くと話ができる場所があるとよいのではないのでしょうか。デイサービスにしても武並は、武並の人と決められる。行きたくても男が 1 人とかではなかなか行けないので、もう少し行ける場所を広げてほしいです。	70 歳以上	女	武並町
○ 高齢社会の進む中、当地でもデイサービスに行く人が多くなりました。その中、毛呂窪小学校の跡地にデイサービス場でも造って下さればと思います。	70 歳以上	女	笠置町
○ 最近子供達もそれぞれの家を持ち、昔のような同居家庭が少くなり、老人だけの家、老人 1 人の家が多くなっています。老人ホームも年金だけでは入るのが難しい現状です。高齢者用の食事付市営住宅のようなものができればありがたいと思います。	70 歳以上	女	中野方町
○ 私は足が悪くどこへ行くにも人の世話にならないといろいろな人に迷惑をかけないに行くことができずうらやましく思います。これから年々年を取り、出かけることも少なくなると人生の先が寂しいです。家の近くで何かあった場合は皆と楽しい一日を過してきます。年は取りたくないですね。	70 歳以上	女	山岡町
○ 限界集落に住む高齢者となり、昨年はお友達が風呂の事故で亡くなられ、今年は転んで骨折され、寝たきりになってしまわれた。私も充分気をつけて、家の中でも杖を突いて歩いている。今はボランティアを 1 日中やっている。災害になれば私は大変な足手まといの他ならない。何時何が起きるか分からない。	70 歳以上	女	串原
○ 年寄りが気軽に入所できる施設を。年金の低い者は入所すらできません。	—	—	—
○ 昨年足と膝が悪くなって不自由しましたが、足を使わないとだめだと思って、家族のために自分のために、野菜をできるだけ作っていて、膝も少しは楽になりました。スーパーも歩いていける範囲です。病院もバスを利用して、2 ヶ月に 1 回受診しています。	—	—	—

5. 地域で共に暮らせる障がい者福祉の充実

意見	年齢	性別	居住地
○ 私は障がい者です。外出もまだ 1 人ではできません。こういった者も 1 人で外出できるまちなにしてほしいと思います。	50 歳代	女	笠置町
○ 老人や障がいの方が住みやすい町になっていますか。弱い立場の人々が暮らしやすくなって、住みやすくなると考えます。バリアフリーに一部がなっているだけの所が多すぎて、障がい者は町に 1 人で出かけられない状況です。老人割合が多い市ですので、福祉の町になることを願っています。	50 歳代	女	明智町

6. 地域の医療・救急体制の充実

意見	年齢	性別	居住地
○ 地域完結型の医療を提供するための整備が必要。病院や診療所以外の医療提供施設（薬局や整体など）を活用していく活動、そのための人材育成、制度づくり。	20 歳代	男	長島町
○ 産婦人科がないなら隣に隣の市よりも手厚い支援が必要だと思う。	20 歳代	女	大井町
○ 市民病院の立地、診療科目等、不便を感じる。産科がないことが、子育て世帯や今後子供を産もうという世帯にとってかなりの不安である。市の今後のためにも産科は急ぎ開設すべき。産科がないと、特に必要がなければ住む気になれない。	20 歳代	女	長島町
○ 産科、小児科も充実させれば少子化もなくなると思う。	20 歳代	女	長島町
○ 子供をうめる場所がない。中津川、瑞浪は遠いです。	20 歳代	女	東野
○ 産婦人科医は必要。	30 歳代	男	
○ 財源の見直しのため、医療機関への二重受診などを減らすための検討を今以上に進める。	30 歳代	女	大井町
○ 高齢化など様々な問題があると思いますが、少子化の中でも子どもが育てやすいまちであることが、今の私の状況では一番の願いです。先日、休日の診療で小さい子は診られないと恵那病院へまわされましたが、忙しいようで対応があまり…、子どもの病気は突然です。小児科医療も充実してもらいたい。それに“子どもの産めないまち”でテレビにでてしまうくらい残念なこともあります…。いろんな面で、恵那市の発展を願います。	30 歳代	女	三郷町
○ 産科がないのは、問題です。先日知り合いの方の子どもが土・日に熱発し、休日救急で受診したく電話したが、「医者がいないのでみられない。」と言われたそうです。その後小児科ではない先生にみてもらえたとのことですが、休日の担当病院の分担はどうなっているのか？そもそも、病気に平日も休日もないので、どんな日でも対応できるようにしてほしいです。子どもの4ヶ月検診、7ヶ月、1歳児教室とありますが、実際教室に行く頃には5ヶ月、8ヶ月になっている。生まれた日にもよるが、早めに日時を設定してもらえば、教室での貴重な話をもっと早い段階から活用できると思います。今まで教室に行った中でもっと早く知りたかったという情報もありました。それぞれの月齢を過ぎる前に、月齢を迎える前に開催してほしい。	30 歳代	女	三郷町
○ 武並町に病人をちゃんとみれる医者の誘致。地元はもちろん市外からも来ていただけるような腕のある医者が必要です。安心していけるような医者がとても必要だと思います。	30 歳代	女	武並町
○ 中津川市みたいにどこかの県と連携して産婦人科を充実してほしい。少子化なのでけっこう重要だと思います。	30 歳代	女	中野方町
○ 医療施設の充実	40 歳代	男	大井町
○ 小児科の充実をしてほしい。	40 歳代	女	長島町
○ 休日医に専門ではないからと、わからないからと断われたことがある。たしかにそう思うので、1病院ではなく2病院を考えておいてほしい。断われた時は本当に慌ててしまう。	50 歳代	女	長島町
○ 今自身が直面している問題が、市内に産婦人科がないことです。自分の時は信頼でき、入院中の食事がおいしく、安定した受診が出来る産婦人科があり、3人の子供を生み育てる事ができましたが、今子供達に里帰り出産を勧められません。活気ある、元気あるまちづくりには“人”が居なくては始まりません。それもこれからの将来を担う子供達が増えないと。そのためにもよい産婦人科を早く誘致いただき、成長した子供たちが、そしてその先の大人が安心して受診出来る医療環境をぜひ整えていただきたいと思います。働く若者達は残業の続く中、なかなか早退が言いだせず18時、19時終了の病院に通えず、先延ばしにして悪化させていることもあるのが現状です。	50 歳代	女	武並町
○ 若い年代の人が住みやすいまちづくりが大切だと思います。産婦人科がないまちでは子供は産めません。	50 歳代	女	岩村町
○ 人口減少を食い止める為に産科、医院の充実を希望します。	50 歳代	女	明智町
○ 7年先には75才以上が4人に1人とされています。従って今から高齢者介護対策が必要と思われる施設等の充実が必要。武並の「みあい診療所」は運営が厳しいと聞くが、緩和医療施設があり、将来必要となる診療所だと思う。何らから支援が必要ではないでしょうか。	60 歳代	男	武並町
○ 市立恵那病院、新聞にのっていました。早く開院してほしいものです。	60 歳代	男	武並町
○ 私の娘が今年出産予定ですが、恵那市内に産婦人科がありません。1日も早く市内で安心して出産できるようお願いします。	60 歳代	男	山岡町
○ お正月、体調を崩した友人がおり、お医者さんにかかろうと思ったが、担当医が街中でなく雪で行けなくて大変だったと言っていました。冬は行きやすい場所にするなどしていただけるとありがたいです。	60 歳代	女	大井町
○ 恵那市は小児科医院が少なく、土日は休診で、平日も午後休診で、いつも困っています。救急病院も小児科医が勤務していないと不安です。	60 歳代	女	三郷町
○ 医療サービスもだんだん粗くなり、救急医療に不安を感じるようになった。市街地と山間部の格差を感じます。	60 歳代	女	岩村町
○ 病気した時、近くに医療機関がない。	60 歳代	女	明智町

○ 恵那市内には病院がたくさんあるので、地域の病院をうまく利用することはできないでしょうか。	60 歳代	女	明智町
○ 新築恵那病院に産婦人科を必ず設置し、安心して女性が出産できる環境を整備する。	70 歳以上	男	長島町
○ 産婦人科がないようなことでは少子化、人口減少が増大すると思う。	70 歳以上	男	三郷町
○ 恵那病院建設について恵那病院建設のメインは「産婦人科」であります。恵那病院広報紙新年挨拶の文面では「産後ケア充実を図って行きます」のみで「産婦人科」の記事はなく寂しく思われます。「産科」はどうなるのか？もう一つは、恵那病院建設費がうなぎのぼりで「産科」もはっきりしない。今一度立ち止まり冷静に考えてオリンピックが終了してから改めて恵那病院を再建したらどうでしょうか…。現在恵那病院は恵那市が引継ぎ時に内装も再整備され、まだまだ 10 年余は使用可能であります。耐震については、端の一部を壊してみれば判断はできます。1～2 階ですので、心配は不要と思われます。ぜひ立ち止まり、冷静になり、延期を要望する。	70 歳以上	男	岩村町
○ 昨年蝮に咬まれ恵那市民病院へ電話したところ、担当医がいないからだめと言われてしまった。緊急事態の時に市民の安全安心を考えない市民病院は問題ではないか。中津川市民病院へ電話したら担当医はいるが 20 分以内に來られますか？と言われ、受け付け、治療して下さった。私は中津川市民ではないが治療していただいた。なぜ恵那病院は市民の安全を守らないのか考えてしまいました。	70 歳以上	女	東野
○ 救急車を笠置町おいてほしい。	70 歳以上	女	中野方町
○ 年寄りになって何もできないが、一生懸命元気にいるよう頑張っています。住みよい恵那市にしてください。病院もなくなさないようにお願いします。	—	—	—

(4) 自由意見 ～ 豊かな自然と調和した安全なまち (生活環境) ～

1. 豊かな自然環境の保全と活用

意見	年齢	性別	居住地
○ リニアが来ることで、牧歌的な風景が画一的な郊外の風景にとって代わられる事を心配しています。なので、自然環境の保全には充分力を注いでほしいと思います。	30 歳代	男	長島町
○ リニア開通にともなう騒音や電磁波の害が非常に心配です。JR、国、県と恵那市がどのようなやりとりをしているのか、計画を逐一報告してもらいたいです。住民に不満が残らないような手順をふんで、経過に問題があれば修正して行って下さい。	30 歳代	女	大井町
○ 里山整備を。猿やイノシシ被害が増加している、近所では鹿も。	40 歳代	男	長島町
○ 恵那市で誇れるのは大自然のみ。熊・猪を退治して市内を貫く遊歩道を兼ねるサイクル道の整備。山歩き、自転車道を目的とした観光の PR。イノシシの肉、クマの胆は道の駅で販売し、名物にする。	50 歳代	男	明智町
○ 人口減少とか企業がこないとか、リニアに期待して…とか「ないものねだり」をしてみても、都会に勝てるわけがない。今恵那市にある材、財、在を生かしたまちづくりを進めるべき。恵那市の木、水、田畑など「地域にちょうどいい暮らし」「恵那にちょうどいい暮らし」をみんなで作って出すことが大事だと思います。	60 歳代	男	三郷町
○ 棚田を中心として里山の整備と農家民宿の普及	60 歳代	男	中野方町
○ 健康里山「中野方」の整備。中野方川沿いにウォーキングロードの整備。	60 歳代	男	中野方町
○ イノシシ対策をしてほしい。	60 歳代	男	山岡町
○ 中央部より山間地の見直しを。	60 歳代	男	上矢作町
○ 山が汚い、山林が荒れている。	60 歳代	女	長島町
○ 里山の環境を少しでも守りたい。4 月～10 月まで田畑や山の入口、道の脇の草刈りをしています。家の近くを通っている県道、農道の草刈り、自治会でも年 2 回行いますが、あと 2 回は私個人で行っています。毎日使う道にゴミ、草があると嫌な気分になります。27 年中に新東雲橋が完成し、これから草刈りも大変だと思いますが、道路の管理者が県、市、農業団体などといってはられない、自分達の使う道であることを、使う人々に考えてほしいです。きれいにしましょう。	60 歳代	女	笠置町
○ 毎年冬になると特に感じる事ですが、道路の日陰になっている樹木を切っていただくと非常にありがたいと思います。路側の針葉樹を伐ってもらえば冬期のスリップ事故の防止はもちろん、景観整備の面からも大変有用であると思います。現在は材木の価格も非常に低価であり、地権者との話し合いもスムーズにいくと思いますし、予算も少なくすむと思います。隣接の白川町では一昨年から広い範囲でこうした事業を行っており、大変よいことだと思っています。道路も明るく、見通しも良くなる所もあり、日当たりがよくなれば凍結の不安も解消され一石二鳥の事業だと思うので、御一考をお願いいたします。	70 歳以上	男	中野方町
○ 人の命の大切さ、物の大切さ、友達を大切にすること等、人間倫理の根本をたたきこんでもらいたい。道徳教育こそ世の中をよくする、一番大事な事ではないでしょうか。学校でどうしても教えていただきたい。	70 歳以上	男	中野方町
○ 田舎をもっと大切に、力を入れて下さい。	70 歳以上	女	岩村町

○ 恵那（エナ）＝胞、天照大神の子宮を埋めたともいわれる不思議な響きの地名、日本のおへそ、真ん中ともいわれていますね。恵那山や笠置山、木曾川、紅岩、巨岩、メンヒル、ペトログラフなどなど魅力的な自然の宝がいっぱい詰まっています。中央アルプスの山々をはるかに望む絶景の数々、こちらに引越してから、いつもいつも周囲の自然環境のすばらしさに、ただただ感激しております。そして飾らない人懐っこいまちの人たちの情、それがじわーっと染み出したまちなみ、地味で古めかしいのに、歩くとお腹の中から、まるで子供の時にかえったようにわくわくする迷路のような道、ひと1人が通ることができる幅の道、そんな恵那のまちなみの真ん中には、昔の日本のところがずっと続いていると思うのです。この宝を大切にまちづくりをしていってほしいのです。新しさと古さがうまく混じり合った恵那が大好きです。	70歳以上	女	大井町
---	-------	---	-----

2. 快適な都市環境づくり、まち並み景観整備の推進

意見	年齢	性別	居住地
○ 公園の充実にも力を入れてほしい。外に出て遊ぶ子供が減り、幼児遊具など恵那市で1つでも安心して遊べる場所を見たことがない。	20歳代	女	大井町
○ 市街地に子どもを遊ばせられる公園が少ない。阿木川公園も工場の煙が気になり、利用していない。天候、風向きによっては公園に煙がおりてくるので、遊ぶ気になれない。	20歳代	女	長島町
○ 子供の公園、ゆうぐを増やしてほしい。	20歳代	女	東野
○ 近場に公園がない。もっと子供が遊べる場所がほしい。	20歳代	女	三郷町
○ 駅前駐車場の料金が安い。防犯など理由はあると思いますが、24時間ではないから不便。24時間利用できるスペース、コインパーキングなどがあるととても助かります。	20歳代	女	中野方町
○ 夜間でも安心してウォーキングやジョギングのできる場所がほしい。阿木川公園の19号線側に外灯があると違ってくと思う。	30歳代	男	大井町
○ 近所に公園や広場がない為、隣近所の小学生や幼児が路上で遊んでいる。事故を起こさないか不安。幼児が遊んでいる所に自転車をつっこむ小学生も多く、非常に危険なので野畑にも公園を造って下さい。	30歳代	女	大井町
○ 大井町自体のそれぞれの地域での公園の場所がとて少なく、子供がのびのびとするために、公園をつくってほしい。	30歳代	女	大井町
○ 駅～市役所には、公園はたくさんあるが、野畑地区には公園がなく、子供達の遊び場が道路である。	30歳代	女	大井町
○ 野畑地区のリニアの問題が心配である。	30歳代	女	大井町
○ 以前は遊具がある公園がなく困っていましたが、図書館横の公園や阿木川公園ができて嬉しく思います。阿木川公園にももう少し日差しをよけられる場所があるととてもよいと思います。	30歳代	女	大井町
○ 小さい子供が満身に遊べる遊具がそろった公園が少ない、1つや2つでは足りない。散歩メインの公園では子供は物足りない。小さくてもいいのでしっかりと囲われた敷地の公園がほしい。	30歳代	女	東野
○ 岩村町には、子どもが遊べる場所、公園がありません。広くて誰もが利用できる場所があるといいです。	30歳代	女	岩村町
○ 明智町では子供の遊ぶ場が少なく残念です…。ブランコ、すべり台、砂場、シーソーなど、ごく普通の遊具がある公園があると小さい子を持つ親はとても助かります。場所はいくらでもあるので造ってほしいなと思います。毎日あいている児童館のようなものでもいいですが。	30歳代	女	明智町
○ 近くに公園がないので、遊べる広場を増やしていただきたいです。	30歳代	女	明智町
○ 浪漫亭前の広場はまったく利用されていない。いつ見ても親子の人影は見られん。車社会で町外の人が安心して車が駐車できたありがたい駐車場でしたが。	40歳代	男	明智町
○ 市民が集う憩いの場、施設等が少ない感じがします。財政面でも厳しいとは思いますが、市民が集う心休まる所を増やしていただけるよう努力してください。	50歳代	男	大井町
○ 山岡町原区東濃けい粉～測量所東方面の道路の側溝を整備してほしい。側溝にたまっている木や葉は誰がとり除くのですが、見た目も大変悪いです。街灯もつけて欲しい。何年も前に要望を出していますが、無視されるか、どこかで止まってしまいます。	50歳代	男	山岡町
○ 平日は職場（名古屋）と家の往復でほぼ留守の状態なので、休日等に感じていることですが、遠くの景色として自然豊かで緑が多いが、居住範囲（恵那駅前～19号にかけて）の緑がない。街路樹も日影もないので、夏歩くのがつらい。	50歳代	女	大井町
○ 市民プールとかアスレチック公園など子供を中心としたファミリーであそべる施設が恵那市にあればいいと思います。	50歳代	女	中野方町
○ 空き家も多くなり、防犯などの面からも心配です。更地を市が活用できるような助成が必要だと思います。	50歳代	女	岩村町
○ 子供が遊べ、犬の散歩ができ、イベントなどができる公園があるといいです。	50歳代	女	岩村町

○ この10年で恵那市の中心的市街地は店舗など充実し、数km範囲内で生活に必要な用事をすべて足せる事が可能になり、恵那市以外にでかける事も減ったような気がする。この便利さは、周辺のまちにとっては20~30km車の移動をした上でという条件つきだ。ここに不自由さを感じる高齢者も多くなっている。車の運転のままならぬ人々への配慮、中心地と遠隔地の固定資産税などで差をつけるなど、地方にもやさしい気持ちがあってこそその市街地の発達にしないと、地方は不満に思うようになる。人口の少ない市で一ヶ所集中は、やむを得ない事ではあると思うけど	50歳代	女	山岡町
○ 駅前道路から国道19号線までの間の『恵那市役所』の案内表示(ポールに掲げてある表示)が小さくて見づらい。大きくして見やすい表示か標識にすぐ改善して下さい。市庁舎の増築に合わせて改善すべきだったと考えます。今からでも遅くないです。	60歳代	男	大井町
○ 公園はもっと大きいものが1つあるといいと思います。	60歳代	女	長島町
○ リニア新幹線工事開始にあたり、私どもの地域はリニア新幹線の地上走行となる地域です。これを機会にして、江戸時代以来の歴史的な景観をさらに活かした地域を進めたいと考えています。こうしたことについての市の計画と私たちの考えについて交流し、「広重」の浮世絵以来の景観意識をさらに高めていきたいと考えています。こういうことについて力をかけて下さい、援助して下さい。そして子孫にリニアも入れた「地域景観意識」を持ち続けてくれると願っています。ご指導下さい、ご意見下さい。リニアにとっても1ヵ所しかない地域連帯の場になると思っています。	70歳以上	男	大井町
○ 市役所付近、駅前は恵那市の顔である。充実、整備されていてありがたい。	70歳以上	男	山岡町
○ 各地区の特色を活かしたまちづくりを期待している。	70歳以上	男	山岡町
○ 当地では10数年前から段々空き家が増え、現在はまちの中で家屋も取り壊され、昔のまちの情緒は失われた。中央線と併設してリニアの開設される地域はこれから開発の夢も大きい、山の中の町は夢も乏しい。	70歳以上	男	上矢作町
○ 近所に空き家、荒れた田畑が多くなったと思います。なんとかしないと恵那市がなくなるのではないかと心配しています。我が家も老人2人になってしまいます。子供達も帰って来ません、困ったことだと思います。	70歳以上	女	長島町
○ 街路道の植木を都会の様にある程度大きくしてほしい。まちに緑があると景観が目にも良く、違うと思います。	70歳以上	女	武並町
○ どんな人も楽しく喜んで歩けるまちづくりをして下さい。	70歳以上	女	中野方町
○ 児童館、図書館、室内体育、学習等できる大きな施設があって、そばに公園などあれば、自然と大人、子供が集り、家でのゲームで1日が終わる不健康な体から、健康な体が成長し、未来のまちづくりの基本となる1つだと思います。恵那市町地域の小規模でなく、広い施設を1箇所ですべてまとめた建設で利用でき、活性する事があるとよいと思います	70歳以上	女	明智町
○ 私が暮らしている地域は明智町ですが、年末から道の拡張工事に伴って、道にそって植えられていた桜の木(植林されて50年位にはなると思われる木)が見事に全部根から切られてしまいました。近くに暮らす私どもには言葉もありませんでした。桜を切らなくても片側は山林なのでなぜ・・・という思いです。春の花を楽しみにしている町内の皆さんも言葉がないです。50年の年月をかけて育った木を切れば、貴重な美観が失われて残念な思いでいっぱいです。もっと年月をかけて育った桜、たとえば滝坂の桜等、大事にしていてもらいたいと思います。広報等でなぜだったか、観光等で1本の桜がどれほど集客しているか。説明をしていただきたい。	70歳以上	女	明智町
○ 恵那市は毎月人口が減って消滅すると思うほどです。自然豊かで災害のない住みやすい市ですが、大きい働く会社、工場がないので、仕方がないと思います。こういう地域は大切です。	—	—	—

3. 移住・定住対策の推進

意見	年齢	性別	居住地
○ 若者世代が地元に戻ってきて、2世代・3世代で暮らすようになれば少子化も止められるし、恵那市も活性化すると思います。この町がもっと盛り上がることを期待しています。	20歳代	女	明智町
○ 恵那市外に出ていってしまう人が少なくなるようなまちづくりをおこなってもらえたらと思います。	30歳代	男	三郷町
○ 県外から引っ越してきましたが、固定資産税、定住奨励金等非常に助かっています。	30歳代	男	岩村町
○ 定住者の確保。	30歳代	女	大井町
○ 中途半端な都会を目指すのではなく、田舎をアピールしたほうがいい。	30歳代	女	大井町
○ もっと真剣に人口減少、少子化対策に取り組んで下さい。そのためには雇用・住居・子育ての大胆な支援策が必要だと思います。とにかく若い世代に対する経済的支援をお願いします。なぜ若者が市外へ出ていくかをよく考えて下さい。人口減少、少子化対策の国のモデル地区になるように期待します。	30歳代	女	明智町

○ 空き家が増えているので、少しリフォーム等して売り出したりすれば、若い人も呼び込めるのではないかと思います。合併してから何年もたちますが、良くなっているような実感はありません。こども園の事もすごく不快に思いました。（親の意見を反映しない…）	30 歳代	女	明智町
○ 人口減少対策に力を入れるべきだと思う。	40 歳代	男	長島町
○ 明智の中心部は、空き家が多いと思います。有効活用して、若い人達らに住んでいただき、活気あるまちがつかれるといいと思います。その為に空き家の持ち主がリフォームできるように、援助等があればと思います。	40 歳代	男	明智町
○ ふるさと納税でもらえるものをもっと種類を増やしてほしいなど思わせるものにする。今のものは魅力が少ない。	40 歳代	女	大井町
○ 市外からお嫁に来て、アパートに住んでいると、恵那市に「溶けこめない」と感じることもある。移住を進める考えがあるなら、もともと恵那市で生まれ育った人たちだけで盛り上がるのではなく、外からの人たちも溶けこみやすい環境をつくるとよいと思う。自治会に入れられないアパート住まいの人たちにも広報がいきわたるようにしたり、地域の行事に参加できるようにするなど、工夫をするとよいと思う。	40 歳代	女	長島町
○ 人口を増やすための移住定住促進はさらに力を入れるとよいと思います。	40 歳代	女	飯地町
○ 数年前になるかもしれませんが、移住希望の方が、「恵那の一番田舎に住みたい」と市役所で話したら、職員が「一番田舎は飯地ですが、飯地は絶対やめたほうがいいです！」と言い、笠置と中野方をすすめたそうです。はっきり言ってそんなことありえません。飯地でも移住定住を促進していますので、今後、そんなことを言われては困ります。	40 歳代	女	飯地町
○ へき地の人口減少対策として、若者の移住者には優遇税制が必要だと思います。	50 歳代	男	
○ 人口減少は必ずくる。その環境に対応できるまちづくりを。リニアによる効果は、“あればよし”くらいの気持ちで過剰に期待しない。高齢者女性独居の増加、要介護者の増、若い世代の減少、総じて経済活動の縮小、空き家の増加。あらゆるマイナス面を想定して、それに対応していく事業を。	50 歳代	女	大井町
○ 独身者でも市営住宅に入れるようにしてほしい。空き家の活用を。	50 歳代	女	明智町
○ 若い人の働く場所、住居の確保、古い空き家の再利用等をしてほしいです。	50 歳代	女	明智町
○ テレビ番組で今まで農業とまったく関係ない仕事をしていた若者が引っ越して近所のおじさんお婆さんのアドバイスをもらって生活し、地域に入っていた。人が増えるように受け入れをボランティアと市が協力するのいいと思う。	50 歳代	女	明智町
○ 串原は住みにくい。雪が降っても融雪剤もまいてもらえない。串原には何もないので、車がないと生活できない。その車を通る道をもっと管理してくれないと。せっかく温泉があっても、雪があったらお客も来てもらえない。市が経営するコンビニでもあれば不自由しない。住民をもっと大切にしてほしい。いつかは串原を出るかもしれない。	50 歳代	女	串原
○ 新たに結婚を予定するカップルに移住をうながすために子供の出産費用無料化と医療無料化。	60 歳代	男	大井町
○ 人口減少問題に力を入れるべきだ。	60 歳代	男	長島町
○ 若い人達（20代～30代）が定住しやすい環境づくり、子育て、買い物、就職等の条件を充実させる。武並には工業団地があり、増設の動きがあると聞くが、市民、住民が定住するため地の対応、対策が必要である。	60 歳代	男	武並町
○ 都会の人からみると、すごい田舎というイメージがある。田舎は仕方ないとしても、魅力のある田舎にするにはどうするか考えないといけない。若者が出て行ってしまっは、過疎化に拍車がかかってしまう。	60 歳代	男	武並町
○ 若者の定着・定住のため、経済的支援。具体的には子育て助成（月5万/一人）。	60 歳代	男	中野方町
○ 中野方町は人口減対策が急務。その対策として住民への危機意識の浸透を。	60 歳代	男	中野方町
○ 人口減少対策第一に考えてほしい。飯地町は何も対策をしなければ何年か先には人口が0人になると聞く。市営住宅など移住、定住対策を。	60 歳代	男	飯地町
○ 人口が、子供が増えれば、恵那市は元気になり、すべての問題が解決して行くように思います。だから予算はここに投資すべき。	60 歳代	女	大井町
○ 空き家の活用	60 歳代	女	大井町
○ 移住者支援と言うが、恵那市は移住してきた者には大変冷たいと感じたことがよくある。市役所の対応、業者の対応いろいろ…	60 歳代	女	長島町
○ 人口を増やすため、外国人の住みやすい方法を考える。（仕事、表示、相談窓口）	60 歳代	女	東野
○ 過疎化が進み、空き家も多くなり、ガソリンスタンド、お店もなくなり段々と魅力のないまちになってしまっている。若者達に魅力あるまちとなるよう考えていただきたいと思います。	60 歳代	女	三郷町
○ 少子化、過疎化、嫁不足等、田舎が発展できない問題が多々あります。病院も道路も大事だとは思いますが、前の3点を深く考えていただきたいと思いました。どうすればと言われればこれと言って思いつく意見もないですが、人口が減少するのは寂しく感じました。	60 歳代	女	笠置町
○ 若者の近隣市への移転・定住を耳にしますが、これは市の住宅地の不備と税金が高いためとの話を聞きます。この点を是正すれば若い人が市内に定住するのではないのでしょうか。	60 歳代	女	中野方町

○ 若い世代が減り、年寄りが残るようになり今後家の後継ぎがなくなることに不安。若者が田舎でも生活できるような活気あるまちができることを願うのみ。	60歳代	女	山岡町
○ 若い人が定住できるように仕事ができる環境を。	60歳代	女	明智町
○ 独身の人が多く、そのため、子供の数も減少してきています。まず、人口を増やす事が、まちづくりの第一歩だと思います。男性が定年まで安心して稼げるような仕事場があって、女性が働かなくても安心して子育てでき、食べていけるような社会になるといいと思います。	60歳代	女	明智町
○ 人口減少の問題。	70歳以上	男	大井町

4. 災害に強く、安心・安全なまちづくり

意見	年齢	性別	居住地
○ 外灯がまったくないので、子供を安心して学校に登下校させる事ができない。	30歳代	女	長島町
○ 消防団の活動に皆が参加したくなる様にしてほしい。ムダな活動はやめて、本当に必要な活動だけにしてほしい。若い団員には小さい子がいる場合もあり、毎晩いないのは困る。	30歳代	女	長島町
○ 防災ハザードマップを見かけない。	40歳代	男	長島町
○ 街外れなので外灯をもっと増やしてほしいです。また、霜をなんとかしてほしいです。冬の朝はすっかり役立たずです。	40歳代	女	大井町
○ 西中への通学路が危険すぎるので、長島町からのバスがあるとよい。子どもたちが心配です。	40歳代	女	長島町
○ 雪が降った時に大きい道だけでなく、細い道も雪かきをする車をだしてほしい。	40歳代	女	長島町
○ 他の市と比べて、子供たちの交通マナーや、通学時のルールはとてもよいと思います。今後も事故などが起こらないような指導が続けられるとよいと思います。	40歳代	女	三郷町
○ 夜、歩いてみて電灯が少ないと思いました。	50歳代	女	大井町
○ 避難行動について我が家は主人が市外の会社で（往復3時間）、義父、義母がおり、万一のときは私の判断になります。中学生の子供たちもいますが、避難はむずかしく、以前防災の講演で話されていた「自助」を考えています。そういうことを話し合える場所があるとありがたいと思います。	50歳代	女	大井町
○ 我が町では、消防団への入団がネックとなって若い男性が町外へ出る方向にあります。特に操法大会が大きな原因であるかと思われます。そろそろ恵那市でも県大会出場も、順番制にしても良いのではないのでしょうか。あるいは恵那市で希望者を募集し、1チームを作って、恵那市本部で育成されてはどうでしょうか。入団しない事が、操法大会ばかりが原因ではないですが、そろそろ市で考えないと、消防団は維持できないと思います。	50歳代	女	中野方町
○ 市内で予想される災害は阿木川の氾濫であるが、避難場所の指定が阿木川を渡らなければいけない場所と指定しているのはおかしい。大井町、長島町の地域をわけず、氾濫の予想図をまず作成、発表し、最も安全な場所を地域ごとに作成して発表すべき。	60歳代	男	大井町
○ 細いひろひろとした木が密集しており、集中豪雨がきたらすぐに流れそうに山が弱っている。道路沿いにある木が傾いて、今にも倒れそうになっている所がある。強風で倒れたら、通りがかった人や車はどうなるのか。	60歳代	女	長島町
○ カーマ恵那店～大崎交差点～美容室）を児童が登校していますが、道路が狭く、歩道もありません。児童は登校に大変難航しています。三郷街道を横断しなければなりません。いつ事故が起きてても不思議ではありません。一刻も早く児童が安心して登校できる様にご配慮をお願いします。事故が起きてからでは遅すぎます。	70歳以上	男	長島町
○ 交通安全大学は今後も続けていただきたい。	70歳以上	男	笠置町
○ 白川線の県道等、峠部分の工事がゆっくりなことと、冬期の雪道となる県道の雪かきが遅いため、峠の道が凍ってしまっって早く溶けない。峠の道がすべらない様にしてほしい。	70歳以上	女	中野方町
○ 中野方町市道中切～洞線の拡幅、小学校の東側から東上へ200m程なのに、なぜ実現しないのでしょうか。もう何十年も前から地元市民の要望です。通学路です。車が通る時、雨の日等は畑に入ってよけなければならず、路肩も崩れている所もあります。道も曲がっていて大変です。夜は外灯も無く、道がとても暗く、中高生は帰りが遅いのでとても大変です。小さい所から直していくことが住みよいまちになるのではないのでしょうか。1日も早い実現を希望します。	70歳以上	女	中野方町
○ 現在恵那市では大きな災害もなく住むのに良い所だと思っております。	70歳以上	女	岩村町
○ 県道の歩道整備、雨による増水、地震による山崩れに対する対策等ご検討下さるようお願いいたします。	70歳以上	女	山岡町
○ 登下校の見守りは地域でできること。人材が足りている地域ではぜひ実行すべき。今少子化で地域の子供が少なくなりました。大切な宝です。	70歳以上	女	山岡町
○ 消火栓設置していただいたが、本番に活用できなかった。その為消火活動が遅れるので見直す必要あり。	70歳以上	女	山岡町

○ 災害時の避難について不安な点があります。後期高齢の二人暮らしですが、車もなければ歩行困難な者が市の指定の場所までどうやって行けばよいのか？どこへ頼めばよいのか不安です。緊急時の避難誘導マニュアル等をつくってほしいと思います。	70歳以上	女	明智町
--	-------	---	-----

5. 環境衛生対策の充実

意見	年齢	性別	居住地
○ 時々側溝の落葉の掃除をして下さってご苦労様です。その時ですが、近くにあるゴミまでは片づけていただけないでしょうか？勝手言っているのはわかっていますが、心ない人のポイ捨てがたえません。できれば一緒に片づけて下されば少しでも助かります。よろしくお願いします	20歳代	女	笠置町
○ 動物火葬を一度利用したことがあります。他の動物達との合同火葬とのことで、火葬後も数日立ち会いもできないとのことでした。合同火葬が嫌とかではないのですが、最後まで見送りたいので、立ち会いできたらよいなと思いますし、また個々の火葬ができるようになるといいなと思いました。	20歳代	女	中野方町
○ マルチシート、肥料袋等畑で出たゴミが捨てられないです。市に問い合わせても、業者に頼んでくださいと言われました。業者を紹介してもらえるかと思ったのですが、市役所ではわからないと言われました。販売元（JA）に問い合わせると、年に1回だけ回収を行っていますとのこと。これだけ、畑、田んぼがあり、推進もしている恵那市でありながら、農業で出たゴミが年に1度しか捨てられないのでは困ります。現状では、畑をやっている人のほとんどが可燃ゴミに隠して捨てたり、たき火と一緒に燃やしたりしています。これでは環境にも悪く、元も子もありません。捨てる方法や、回収方法等の検討をおねがひします。	30歳代	男	長島町
○ 去年からマイマイガの発生で困っています。自宅は各自で対応するのですが、通学路にある街灯の巣は処理できません。自治会長等を通じて市にお願いしているのですが、全く何もしてくれません。子供が通る道なので春に毛虫だらけでは心配です。早く何とかしてほしいです。	30歳代	女	明智町
○ 環境保全等については登録型でのボランティアとし、必要に応じメール配信等で協力依頼できる様にしてはどうか。	40歳代	男	大井町
○ 下水道の完備。今の時代これくらいやらないと。	40歳代	男	武並町
○ 三郷町では可燃ゴミを自宅の庭先で燃やす方が多い。飛んでくる灰や臭いで大変困っています。改めて広報などで呼びかけて、適切な処理をしていただけるようにしてほしい。	40歳代	女	三郷町
○ 恵那市に引越して3年目になりますが、ゴミ袋が高すぎることにびっくりしました。下水道にされていない家が多いことにまたびっくりです。	50歳代	女	大井町
○ 野焼きの臭いと灰をなんとかしてほしい。外に物も干せなくていつもコインランドリーです	50歳代	女	長島町
○ リニア工事での残土処理地を上平地区にしないで下さい。下流域に住む住民は特に不安です。	60歳代	男	岩村町
○ ゴミ収集は週1回（市街地は現状通り）でも可	60歳代	女	長島町
○ 住民がおだやかに暮らせるまちがよい。恵那にあるエコセンターの仕事（スチロールやダンボール等を引き取ってくれるとか）を月に一度でも良いから岩村でもやってほしい。	60歳代	女	岩村町
○ 私は串原で1人でボランティアをやっています。缶を集めています。恵那市の方は缶が落ちていませんか、落ちていたら拾って下さい。串原の方は何も進んでいないので合併はしたくありませんでした。ささゆり温泉だけですなあとは何とも言えません。	60歳代	女	串原
○ 汚水が気になります。川を汚し、悪臭もひどく近所の方々は大変であろうと思います。水や自然を汚したり傷つけたりしないよう規準を厳しくしていくことが大切だと思います。川ではかわせみが見られたのですが、この冬は見る事ができません。美しい水、空気を大切にしたいと思います。	70歳以上	男	長島町
○ どうしてこんなにゴミが落ちているのか気になります。タバコの吸いながら、ペットボトル、弁当の食べた空、この頃はマスクも落ちております。拾っても、拾っても落ちております。また、除草剤をまかないでほしい。子供や孫にきれいな地球を残したい。草が生い茂っていてもいいと思います。	70歳以上	女	大井町
○ 除草剤をまかないでほしい。子供や孫にきれいな地球を残したい。草が生い茂っていてもいいと思います。	70歳以上	女	大井町
○ エコセンターでは大変助かっていますが、ナイロン系が回収できなくなったのが残念に思います。	70歳以上	女	大井町
○ 犬のフンをかたづけられない人が多いので、広報等を利用して一週間に一度くらい放送してほしい。犬を飼う人の常識がなさすぎる。	70歳以上	女	明智町
○ 野焼きをする人がとても多く、日中時間関係なく、乾燥注意報が発令されたり、風が強くてもする人がみえます。火災の心配もありますので、ぜひとも広報、告知などで注意して下さい。	—	—	—

6. 地球温暖化対策の取り組み

意見	年齢	性別	居住地
○ 地域の自然資源（太陽光発電など）を利用して学校、医療施設、地域の集会所、外灯など、市を明るくする。	70歳以上	女	明智町

(5) 自由意見 ～ 快適に暮らせる便利で美しいまち（都市・交流基盤）～

1. 計画的な土地利用

意見	年齢	性別	居住地
○ 恵那駅のロータリーを広くしてほしい。	20歳代	男	大井町
○ 空き農地を地主から借りうけ、そばなどを育てるのはどうか。	20歳代	男	武並町
○ 空き家をもっと活用するべきだと思う。市営住宅の跡地を市民に分譲することと、古い建物をきれいにしてほしい。	20歳代	女	明智町
○ 中野方や笠置にアパートを造ってもらえると出ていく人が多少なりとも減ると思います。土地はたくさんあると思うのでお願いしたいと思います。	30歳代	男	中野方町
○ 地籍調査を迅速にやってもらいたい。	30歳代	男	
○ 武並駅付近の開発。駐車場をまとめて立体化し、コンビニ、クリーニングなどが入る小規模な商業ビルを建てる。駅から利便性の良い場所に住宅開発。駅から少し距離があっても、山の上じゃない平地に。	40歳代	男	武並町
○ 駅前のロータリーの所に無駄がある。駐車スペースは造れないか。観光スポットなど他県からの人の流れを作って恵那市を豊かにしましょう	40歳代	女	大井町
○ リニアのトンネル工事で出た土などを捨てる谷があると聞きました。そこが埋め立てられた後にできる土地をいろんな県から人がたくさん来るような施設を造られたらどうでしょうか。実家のほうで、同じようなことがあり、その時は、道路のトンネルでしたが、その埋め立て地にレジャー施設をつくる計画がありました。結局は、温泉掘削の時、有害物質がでたので造られませんでした…、かわりに近くのダムの下を遊水公園に変え、今では一年中川遊びやキャンプでにぎわっています。そういったものができる、人が来るだけでなく、雇用も増えますし、地域活性につながるのではないのでしょうか。買い物するにも、子どもと遊ぶような時でも、他の地域からの客人に案内するにも、恵那は中途半端な感じでもったいないです。こういった市民からの意見も取り入れ、もっともっと魅力的な恵那になってほしいです。	40歳代	女	武並町
○ 駅前における一般車の送迎による混雑を何とか解決してほしい。一時駐車スペースが少ないのでは…	50歳代	女	大井町
○ 市役所周辺の駐車場は台数が少なすぎて、子供の検診に行くのに駐車場さがして大変。子供3人も連れて遠い駐車場からベビーカーで行くのはけっこう大変です。体育館の行事も一緒、駐車できないので行かない。市役所の建物ばかり良くしても…どこか変です。駐車場を立体駐車場にするとかできませんか。バスで行ったらと言う意見も聞きますが、ベビーカーを持って3人も連れてバスは無理です。知人の中には、だから他市へ引越していくという人もいます。恵那市には良いところもいっぱいあります。不便じゃない、楽しく住めるまちにしてほしい、見かけなんて別にいい、田舎は田舎らしくあればいいし、若い人もお年寄りも笑って住めるそんなまちであってほしい、住みやすいまちになりますように。	50歳代	女	長島町
○ 少子化対策、人口増加を狙い小、中、高までの子供がいる移住世帯に空き家を無料で提供してはどうか。	60歳代	男	大井町
○ 恵那駅の南側は諸々の対策と費用が投入されている。一方北側は殆んど費用が投入されず、狭い道路のまま、駐車場も無い。例えば、駅北側は住宅地として整備して、道路も整備し、交通利便性も向上させて、人口拡大を狙っていくのも良いと考える。当該地域の住民は都市計画税と云う税金を支払っており、これをリターンさせるのも行政の仕事である。都市計画税の使用内容の開示をお願いしたい。	60歳代	男	大井町
○ 武並駅は、北地区、南地区からの通勤者が多くあるが、そのために駅周辺の駐車場を増やす対策が必要と思う。	60歳代	男	武並町
○ 恵那市はこのまちをどうしていきたいのかよくわからない。銀座商店街たくさんシャッターがおり、時々車で通るのですが殺風景です。駅で迎えに行っても車を停める場所がないです。私たち主婦は、雑貨から服から食品から薬品から買える大型店が1つあるといいと思います。	60歳代	女	長島町
○ 駅前の発展を願っています。	70歳以上	女	中野方町
○ 恵那駅裏は昔と全然変わっていません。何か買い物施設などができるとよい。	—	—	—

2. 地域内外の交流を支える道路体系の強化

意見	年齢	性別	居住地
○ 中央道恵那インターの混雑を緩和する。	20 歳代	男	武並町
○ 野尻辺りの道路がとにかく狭いです。アパート、住宅がたくさんあるのに、あんなに狭いと事故も増えると思います。	20 歳代	女	大井町
○ 文化センター周辺の歩道が段差などが多く、歩きにくい。ベビーカーを押していると、車輪をとられ危険です。その他にも、横断歩道と歩道との段差が多く、ヒヤリとすることもある。段差をなくすなどの歩道のバリアフリー化も必要。	20 歳代	女	長島町
○ 恵那 IC 前は初めて来た人が非常にわかりにくく、事故を起こしそうになる事がよくあるので、方向別通行区分の標識等を設置した方がよいと思う。	30 歳代	男	長島町
○ 旧恵南地区、特に山間部道路いたんでもなかなか補修できない。ガードレールも少ない。	30 歳代	男	明智町
○ 恵那市内特に大井町内の道幅が狭く、舗装もでこぼこで走行しにくい。	30 歳代	女	大井町
○ 大洞に上がる道に、歩道を整備して欲しい。	30 歳代	女	長島町
○ 恵那インターの出入口からの一般道路の道幅をどうにかしてほしい（特に高速道路の下所）。大型連休や通勤時間は車が多いのに狭いためすごく混む。救急車が来ても避けられず、トラックも多いので本当どうにかしてほしい。	30 歳代	女	中野方町
○ 市道の整備（路面のヒビ割れ、U字溝の枯れ葉除去。正家交差点～恵那駅までの信号の連動）	40 歳代	男	長島町
○ 19 号線沿い（特に武並周辺）の整備	40 歳代	男	武並町
○ 武並、三郷地区住民の利便性向上と、武並テクノパークへのアクセス向上、さらには恵那 IC の渋滞緩和のために中央道のインターを武並付近につくる。用地も限られるので、スマート IC が有効と思います。	40 歳代	男	武並町
○ 若者が今後少なくなる中、恵那市に残る若者も少なくなります。働く場所の確保は、他都市との交通の利便性が大切です。豊田市などへの交通のよさを考える必要もあると思います。	50 歳代	男	岩村町
○ 地域自治区制度を導入しながら、中央へ機能を集中させ、利用者の利便性を図っている状況であれば、アクセスの整備がより必要になってきます。今以上に県への働きかけを。	50 歳代	男	串原
○ 市道の整備が不十分だと思います。	50 歳代	女	大井町
○ 車必須の土地柄のせいか車優先となっており、横断歩道で何度も恐れ思いをしています。道交法を守るよう、指導していただきたい。	50 歳代	女	大井町
○ 市役所周辺はよくなっているが、ちょっと外へでるとひらけていない。雪が降ってもそのまま。もっと道路を整備して住みやすいまちにしてほしい。	50 歳代	女	上矢作町
○ リニアは一過性。国の補助を活かし、インフラ整備に活かす。	50 歳代		東野
○ 生活道路（国道・県道・市道）のメンテの充実を至急やってもらいたい。まず、通行区分、白線を早く引く。消えそうや消えている白線はすぐ引き直して下さい。次に標識の見づらい、見えにくい所をすぐ直して下さい。選挙でお金を使うような事があったが、そうしたお金を国民、県民、市民のため、生活のために使して下さい	60 歳代	男	大井町
○ 岩村より恵那駅方面に向かうと、正家交差点で渋滞してしまうので、大崎、恵那大橋西交差点に抜ける道を検討してほしい。	60 歳代	男	長島町
○ 生活道路、特に通学道路の歩道を確保すべきである。瑞浪、恵那道路を早急に進めてほしい。	60 歳代	男	長島町
○ 市内での各振興事務所、恵那市役所への車での移動の所要時間については不公平、不平等がないでしょうか。特に串原には国道などないため、冬期の安全確保の初動が遅れがちになるように思います。串原から恵那市街地へ行く道と、豊田方面に行く道と、それぞれ整備してほしいと願います。市長の当初お話しされていた各地から中心地への 30 分構想はとても素晴らしいと思います。	60 歳代	男	串原
○ 道へ鹿、猪が夜道に出てきて、安心して車の運転ができない（257 号線）	60 歳代	女	上矢作町
○ 我が家は明治大正時代は交通の不便な地ではなかったが、現在はまちの中央に道路ができて我が家は中心地から放り出された形。非常の場合でもタクシーも嫌がる辺地となっている。	70 歳以上	男	笠置町
○ 国道 19 号線、恵那～瑞浪片側 2 車線化を望みます。	70 歳以上	男	笠置町
○ 道路整備を進めてほしい。	70 歳以上	男	飯地町
○ 私の地域は中心部から離れており通学、通勤等非常に不便です。道路も一車線、なかなか改修されません。行政はそうした地域にも目を向けてほしい。	70 歳以上	男	飯地町
○ 国道 363 号山岡町馬場山田地内の工事早期着工する。	70 歳以上	男	山岡町
○ 道路両側にある立木、特に櫻の木の電柱電線等に、る自動車等の障害の出そうな所が全線にあります。至急これらの除去に急いでいただくようお願い申し上げます。	70 歳以上	男	上矢作町
○ 恵那市の中心だけでなく、へき地にも力を入れて下さい。だいぶよい道ができてきましたが、交通量の少ない道でも、そこで生活する人にとっては毎日使う道です。	70 歳以上	女	三郷町
○ 主要道で田舎の方へ入ると外灯が少ないので車でも夜道は気味が悪いです。	70 歳以上	女	笠置町
○ 町道の悪さ、生活道路の整備、学路の街灯の暗さ、要望がなかなか聞き入れられない。	70 歳以上	女	岩村町

○ 私は飯地に住んでいます。恵那で行事があっても、道中が大変です。川合坂が問題です。道路を改善していただきたいです。	—	女	飯地町
--	---	---	-----

3. 公共交通の充実・強化

意見	年齢	性別	居住地
○ 恵那からでも名古屋までの電車を増やせば、恵那に住みながら働きに行く家庭が増え、人口の増加になると思う。せっかく乗り換えなしで名古屋にいける便利なまちはずなのに、電車が少なすぎて発展の足かせとなっていると思う。	20 歳代	女	大井町
○ 高齢者が多いのに、公共交通機関が充実していないので、利用しやすいコミュニティーバスなどを導入すれば、高齢者の方がでかけやすくなると思います。	20 歳代	女	武並町
○ 明智は中央線が通っていないので、車で来てもらうしかないで、交通が不便。	20 歳代	女	明智町
○ 旧恵南地域全体を廻るコミュニティーバスの運行を希望する。	30 歳代	男	明智町
○ 明知鉄道や市バスを利用し、今後の高齢者の交通問題に取り組む。DMV の活用など。福祉政策や観光政策を総合的に考える。各部署がそれぞれ考えるのではなく、協同でアイデアを出し合う。	30 歳代	女	大井町
○ JR で中津川ー恵那の最終がとても早いのが残念です。あとバスの利用者も少ないように思います。恵那駅から 23 時くらいにあつたら、利用者も少しは増えるのかなと思います。タクシーだと料金がかかるので…	30 歳代	女	三郷町
○ 明知鉄道は 1 時間に 1 本、昼どきは電車に乗れない。しかも、学割でも 1 ヶ月 1 万円の定期代になる。自宅から専門学校に通うと大人の定期代で 1 万 6 千円だったら、恵那駅まで車で送って行った方がガソリン代の方が安い。	30 歳代	女	岩村町
○ 公共交通機関が高い。高すぎて全く使わない。補助もしくは自主運行バスをもっと細く運行して欲しい。一部地域だけだとかなり不公平。税金でやっているのに。	30 歳代	女	明智町
○ 企業と協力し、電車・バスを多くの方が活用できる工夫を考える。	40 歳代	男	武並町
○ 大型店舗、病院が旧恵那市よりにあるため、旧恵南地区からの交通手段を多くしてほしい。	40 歳代	男	山岡町
○ 大井町に住んでいるから思うのかもしれませんが…明知鉄道は本当に必要なのでしょうか？バス路線で運行したらいいのではないのでしょうか。採算のとれていない明知鉄道に新たに DMV を導入とかありえませんか。これからの子育て世代に恵那に住み続ける希望が持てるよう、税金の使いみちを市民にしっかり考えさせてから、明知鉄道に対し意見する場をもうけて下さい。	40 歳代	女	大井町
○ 100 円くらいでバスを巡回させること以前住んでいた吉祥寺では 1 日中バスが回っており、若者～老人まで活用していました。	40 歳代	女	長島町
○ 明知鉄道の利用を地域の人、学生に利用促進したいと聞きますが、学割、JR との乗り継ぎなどもっと考えるべき。学割についてですが、市民のほとんどの人が学生証があれば学割されると思っている。学生の利用を考えるなら高校生以外、大学等の学生証明のみでも学割を実施するとよい。さらに、JR との乗り継ぎを良くするなど地元の人に優しい明知鉄道にする。今のままでは学生などの地元の利用者は減るばかりである。通学には必要な手段ですのでよく考えるべきだと思います。	40 歳代	女	岩村町
○ 東鉄バスの補助金は必要なし、営業、目的がない。恵那駅発の時刻表を確認して下さい。JR とリンクしていない。	50 歳代	男	大井町
○ 小中学校はまだ地域に学校もあり、スクールバス等での送迎も可能ですが、高校、大学は本当に大変だと思う。名古屋までなら通えるのに、駅までの交通が原因で、下宿やアパート住まいが多くなれば、就職も大都市に集中してしまう気がする。毎日送迎で 160km 程車を使っている人がいるが、そんな事でよいのかと思う。	50 歳代	男	東野
○ 私の住んでいる山岡では買い物をするのも大きなスーパーマーケットもなくて不便です。今は車の運転ができるのでいいですが、今後運転もできなくなると、その店まで行く足が必要となります。老人が増える中、そういった手段の取りくみを充実してほしいです。	50 歳代	女	山岡町
○ 上矢作から高校に通うのに、バスの本数は少ない、運賃高い、明知鉄道も運賃高い。高い交通費で 2 人～3 人子供がみえる人は本当に大変だそうです。期末試験時も、早く帰りたくてもバスがない。何とかしてあげて下さい。	50 歳代	女	上矢作町
○ 名古屋市内への通勤圏である事を周知する。JR 東海と交渉し瑞浪、多治見止りの列車を恵那、中津川まで延伸し、交通の利便性を向上させるプランを考える。	60 歳代	男	大井町
○ 高校通学生へのコミュニティーバスの無料化。帰宅時の増車。	60 歳代	男	中野方町
○ 町内巡回バスの利用者さんは、ほとんどが自力で自動車に乗れないお年寄りを中心で。運転手の言葉使いやお年寄りへの配慮がない人がおります。運転手への教育をお願いします。	60 歳代	男	山岡町
○ 名古屋への通勤圏になるよう、JR の快速電車の本数を増やす。瑞浪、多治見止まりが多い。	60 歳代	女	大井町
○ バスが少ないので、もっとバスをいろんなところに走らせてほしいです。	60 歳代	女	長島町

○ 駅やバス停も遠く、息子たちも共働きです。今は自分で運転して買物や病院にでも行けませんが、将来運転ができなくなったらと思うと不安になります。将来自主運行バス等があらこちらに通るようになるとういと思ひます。	60 歳代	女	長島町
○ バス運行について、市中心部以外は高いし、不便。本数も少ない。100 円とか 200 円とか 300 円くらいまでの均一料金にし、日祭日は子どもも 100 円にし、楽しく回れるようなコースを作るとかをして利用率を高めたらどうか。また、いくらなら乗るか、どういふコースを作ってほしいかアンケートをとってみるとかはどうか。	60 歳代	女	三郷町
○ 中野方は空気、水、人もよいですが、買物、通学、病院には時間がかかり、また、生涯学習をしたくてもおっくうになってしまい、どうしても家にこもりがちになります。	60 歳代	女	中野方町
○ 車の運転ができなくなっても買物、病院、図書館、プール等々、出かけられるように交通の手段を充実してほしい。	60 歳代	女	岩村町
○ 私の地域は通学バスがありますが、大人が利用するには時間帯が悪くて、朝 7 : 10 に乗ると、帰りは午後 3 : 45 に着くものが一番早くて、乗る事ができず、タクシー代も ¥3,200 と高くなります。せめて昼頃の運行があれば、お年寄りも助かると考えます。週一度でもよいのでお願いしたいです。	60 歳代	女	明智町
○ 人口減少に歯止めをかけるには、若者の外部への流出を防ぐ必要がある。それには工業団地の整備、企業誘致はもとより、名古屋への通勤が便利であれば若者も恵那から出ていかないようになると考えられる。(JRの本数を増加)	70 歳以上	男	大井町
○ 地域巡回バス(小型)を JR 恵那駅と武並駅、そして恵那病院、市役所等の拠点を配慮した運行を考えて欲しい	70 歳以上	男	三郷町
○ 病院、買物など行き先・時間を申請することでタクシーの乗り合わせができる制度ができるとよい。	70 歳以上	男	笠置町
○ 若い人は勤め、病院、買物などまちに出ることに困っています。何か良い方法はないでしょうか。地域で定年になった方達に運転をお願いできる方があれば地域の方にお願ひし私達もお金を出す等、良い考えができないでしょうか?ある地域ではそうしたこともやってみる話を聞いています。また、バスは通っていますが、時間的に困っています。	70 歳以上	女	笠置町
○ 車や乗り物がない人は行きたくても行くことができない人が多いです。たまには細かくわけて乗り物をまわしてもらふ事も大切と思う、行きたかったが乗り物がないので行かなかったという人がたくさんいます、もっと考えてやってもらいたい。私もその 1 人です。	70 歳以上	女	岩村町
○ 特に愛宕橋に 100 円バスが停車するとよい。	—	—	—

4. 高度情報通信基盤の整備

意見	年齢	性別	居住地
○ ほぼ毎日振込詐欺の広報が流れていますが、それより大事な情報が流れなくて困りました。大事な情報を流してほしい。	20 歳代	女	大井町
○ ケーブルテレビの普及率はどの位ですか。全ての家にあり逐次情報が入手できると思ひます。	60 歳代	男	東野
○ ケーブル TV の内容の多様化	60 歳代	女	長島町
○ 年金生活者にはお金のいるインターネットには加入できません。インターネットに加入する費用を市で補助していただければ非常にありがたいです。本当に年金生活者は生活を切り詰めてやっています。私達低所得者に光をあてて下さい。	70 歳以上	男	武並町

(6) 自由意見 ～ 活力と創造性あふれる魅力あるまち(産業振興)～

1. にぎわいのある商業・サービス業の振興

意見	年齢	性別	居住地
○ 恵那市は住んでいる人の人柄がまず素晴らしいし、施設や買物等に関しても最低限度の便利さはあると思うので、現時点で文句はあまり無いのですが、1つ挙げるとすれば夜になって色々な店が閉まるのが早すぎるかなと思ひます。人口的に考えれば仕方ないかもしれませんが、仕事帰りに寄れない事があつたりして少し困ります。市としてはどうしようもないと思ひますが、意見の 1 つとしてお願いしたいです。	20 歳代	男	大井町
○ 恵那市はパチンコ店が多すぎる。パチンコ店に土地を利用させても、何の付加価値を生み出さない。健全な施設、企業を誘致する活動をしてほしい。	20 歳代	男	大井町
○ もっともっと婚活できる出会いの場の提供をしてほしいです。3 か月に 1 回とか、4 か月に 1 回では少ないと思ひます。	20 歳代	男	武並町
○ 恵那の駅は周辺の町の駅より、一番明るく一番きれいだと思ひています。ですが、駅にある「えなてらす」には、具体的に何が売られているのかよく知りません。「えなてらす」で売られている人気のものなどを、もっと市民などに紹介するのはどうでしょう。そうすれば、もっと学生からお年寄りまでがお店に立ち寄りやすくなると思ひます。	20 歳代	女	大井町

○ 映画館を造ってほしい。	20 歳代	女	長島町
○ アウトレットを誘致する。	30 歳代	男	東野
○ アイドルグループのように、12 歳～40 歳の男女問わず 16 人ぐらいでチームを作ってみたい。全国のイベントに参加する。	30 歳代	男	岩村町
○ 岩村町の美しいまち並みをもっと活かせる商店や、事業を立ち上げてほしいです。観光客が来ても、今のままでは行き場がないので、空いている土地などを活用しては。まち中にもっと商売につながる活動を促進してほしいです。	30 歳代	男	岩村町
○ 旧恵那市は大型商業施設の進出が進んでいるが、旧恵南地区は商店街が衰退し、交通弱者（特に高齢者）は買い物ができない。	30 歳代	男	明智町
○ 大型ショッピングモールを建ててほしい。家族で出掛けられるし、子供が遊べる場にもなる。	30 歳代	女	大井町
○ 大型店舗が誘致できれば他地域からのたくさんの人が恵那市に来てまちが活気づくと思います。	30 歳代	女	大井町
○ 商店街でも『まちなか市』などのイベントにより、以前より商店街に足を運ぶ事が多くなり、とてもよいと思います。	30 歳代	女	大井町
○ 大型ショッピングモールもなく、買い物も困ります。百貨店もなく不満。	30 歳代	女	長島町
○ 休日営業の店が多い。店を閉める時間が早い。	40 歳代	男	大井町
○ 大型ショッピングモールの誘致にて利便性の向上と若い人の雇用の拡大を	40 歳代	男	大井町
○ 市民生活の利便性の向上のため、大型ショッピングセンターの誘致をしてほしい。	40 歳代	男	長島町
○ もっと市民や市外の人が集まれるような催し物を増やせられればよいと思います。	40 歳代	女	大井町
○ 駅前にオープンカフェ、バル（居酒屋）、パン屋、お菓子屋入れ、それらを中心としたマルシェ、フリーマーケットをする。駅前～図書館エリアまでもっと活用した方がよい。野菜の市場などを週 1～2 回くらいおこなってはどうか。とにかく駅前がさびしすぎます。図書館から駅まで人が行き交い、歩いてまわりたくなるような、まわれるようなシステムづくりが必要です。恵那の魅力の 1 つである、和菓子を全面に押し出してもいいかもしれません。	40 歳代	女	長島町
○ 元気（活気）のあるまちづくりを望んでいます。若者、子供たちに目を向けていただきたい。	50 歳代	男	岩村町
○ ガソリン代が異常に高い。どのスタンドも価格が同じなのはどういう理由でしょうか。名古屋等他所より 15～20 円程度高いのは解せません。輸送料という話も聞きますが、同じ山国の長野、山梨はもっと安い。市から指導のようなことを行えないでしょうか。	50 歳代	女	大井町
○ 大型ショッピングセンターを誘致し、生活の快適さを向上させる。	60 歳代	男	大井町
○ 私は商店街の活性化を望んでいますが、駐車場が狭かったり、少なかったりして、ついつい大型スーパーに足が向いてしまいます。個性ある商店街があればお客様は戻ってくると思います。高齢化にともない利便性も重要なのではないかと。	60 歳代	女	長島町
○ 昨年、平日に久しぶりに西銀座通りを歩いてびっくりしました。あまりにも寂れており、静かすぎます。	60 歳代	女	長島町
○ まちなか（特に駅周辺）の商店の元気がない、人通りがない。夕方早い時間に商店閉まってしまい、ちょっと買い物しようと思っても開いてなくて、どうしても大型スーパーでしか買い物できない。全店営業時間の延長がダメなら、交替で営業時間を延長するとか、せめて 7 時半頃までは開いている店があるとよいと思います。	60 歳代	女	長島町
○ いくつかのスーパーマーケット等生活に必要な物を買うことはできるが、買い物をして楽しむお店や、遊び場、他の市からも来てもらえる様な場所があるとよい。夜 8 時までで閉まってしまうのは、早すぎます。（お店）高齢になった方でも、その人がそこへ行けば、大体のことができるお店や、施設があるとよいと思う。今はあっちこっちと若い人でも車で何回も行かなければいけません、不便です。老人でも安心して、便利に暮らせる町を考えてくださいますようお願いいたします。	60 歳代	女	長島町
○ まちなか市も少しまんねり化してきたような気がします。これといったアイデアはうかびませんが、子供が参加できる様な事ができれば、人も多く集まるかなと思います。	60 歳代	女	三郷町
○ 小手先のことではなく、特色のある商業施設（大型店舗など）の誘致や企業誘致、起業家の支援、医療施設の充実など幅広い視野に立って、住みよい街づくりを目指して、積極的に取り組むことが必要である。市人口の増加並びに交流人口の増加、促進を図ることが急務である。	70 歳以上	男	長島町
○ 自分の年齢からして、数年後には買物難民になりはしないか不安である。	70 歳以上	男	三郷町
○ 今日どこへ行っても大型店が進出している。そのために在来の店舗がシャッターを下ろさずにはいられない状況になっている。大型店の進出により、小店舗は、大きな犠牲を払っている。我々消費者にとってはよいことだが、町の活力が低下していることが寂しい。	70 歳以上	男	飯地町

○ 全国的に見ても農村地域にガソリンスタンドが消えつつある。田舎こそ車がないと動きが取れない。原因はスタンドの老朽化により多額の費用が入り、採算が合わなく経営ができないことにある。地下タンクでなく以前やられていた地上タンクでも販売できるようにする。灯油のようにタンクローリーでも販売できるようにするなどの法改正を行うことをしないと地域は消滅する。ガソリンスタンドのないような地域には到底人口は増えない。	70歳以上	男	飯地町
○ 市民のための複合施設など、恵那峡界限につくってほしいです。	70歳以上	女	大井町
○ 旧恵那市の中心が移っていく感じがしていますが、恵那駅の近く、銀座通りは歩いて楽しめるまちになるとよいですね。	70歳以上	女	長島町
○ 銀座通りがさびれてしまっているように見えるが、これも大型スーパーの影響と悪い仕方がない。	70歳以上	女	長島町
○ 恵那市玄関駅前通りが夜8時過ぎればもう暗く淋しい通りとなる。駅前通りに活気が有るまちにどうしたらできるでしょうか。	70歳以上	女	東野
○ 生活に必要な店もなく、買い物に不便です。	70歳以上	女	武並町
○ 産業、観光、交通、人の交流等全てにおいて停滞している。特に駅前通りをはじめ、恵那峡、また各地区における特徴が無く人の交流も少ない。手がたく活気のある“市”に発展させるには、先ず“若者の集う街”にする必要がある。日本中から“活気”がうすれていく現況の中、恵那市の未来を担う若者達が魅力を感じるまちにする必要がある。スポーツ、文化、産業、観光等やるべき事はたくさんあると考えられる。市民全体で知恵を出し合い、語り合っこの地を大切に、この地で生きていきたい。	70歳以上	女	中野方町
○ 明智のまちも年々淋しくなっています。明知鉄道も頑張っていますが、何かでまちを明るくできるよいと思います。	70歳以上	女	明智町
○ 駅前のにぎわいを取り戻すための商店街で買い物を。市に金を落とすこと。大井町や中野は何もないし、買い物も不便。	—	—	—

2. 新たな活力を生み出す工業の振興と新産業の育成

意見	年齢	性別	居住地
○ リニアがくる事をふまえて、今ある資源（建物、空き地、文化など）を活用した産業の発展。	30歳代	女	大井町
○ 企業誘致に頼ることなく、自ら会社を起こすような仕組みづくり・支援をもっと積極的に行うべき。	40歳代	男	長島町
○ 今後の恵那市の将来は、見通しが暗くなり20～30年後には人口が現在の半分ぐらになり、人口の少ない地域では消滅してしまうであろう。大井・長島・岩村の中心部が潤い続け、生き残る形となる。今以上の潤いのある地域づくりが必要となる。商業と工業が活気づけることが第一ではないかと思えます。	40歳代	男	串原
○ 企業誘致を積極的にこない、人を集めることが大切ではないでしょうか。	50歳代	女	中野方町
○ 上場企業の誘致をすすめる。恵那市に限り、社員の住宅取得に支援金を提供してはどうか。	60歳代	男	大井町
○ 企業誘致はあまり高度でない仕事が良いと思います。中津川市は企業の下請け、孫請けが多くあるように聞きます。現在シルバーの中でも健康でもすることがない人があふれています。金銭のことよりも仕事があれば責任感もでき、いきいきとした生活ができ、病も少なくなり、医療費削減にも役に立つと思います。	70歳以上	男	山岡町
○ 工場を誘致し、若者の雇用を確保して、若者の定住を促進しないと。	70歳以上	男	上矢作町
○ 若者が安心して働くところを造って工場を増やすようにしてほしい。	70歳以上	女	東野

3. 農林水産業の支援・高度化

意見	年齢	性別	居住地
○ 中津川市と協力して、リニア開業に間に合わせるように農業大学を設立したらどうか。大学がないことは、人材が流出する要因の1つである。ではどういう大学が良いのかそれは農業大学である。地元の農業、林業、水産業と有機的に結びついて国の成長戦略の一つにしてもらうよう、TPP後の輸出産業にできるよう、ブランド化や流通経済も学べる農業大学にするべき。単独での大学設立は困難であるから、現在ある農業大学のキャンパスを造るのがベストな選択である。リニアが通れば東京から講師教授を招きやすい。また、農業に携わりたい若者をこの地域で受け入れれば人の流入がおき、交流がおき、地域の活性化になる。首長や商工会、準備委員にも提示していただきたい。	30歳代	男	長島町
○ 最新技術を取り入れたり、大学と連携したり農業をもっと特徴あるものにしてはどうか。	40歳代	男	長島町
○ 愛知県と三重県では、岐阜県の3カ所の発電所より大規模な木質バイオマス発電所の建設が進んでいるようです。間伐材などの木材チップの需要が伸びると考えます。山林所有者が、利用できない木材などを持ち寄ることはできないでしょうか。	50歳代	男	山岡町
○ 農業で生活している人々を守ってほしい。耕作放棄地が今以上増えないように考えてほしい。	60歳代	男	長島町

○ 宅地として売りたいが、農振が5年かかると遅すぎると思います。	60歳代	男	三郷町
○ 今どの地域でも地産地商（消）での地域活性化を目指しているが、地産地消だけでなく、新鮮で値打ちなものを提供してもらえる流通をぜひ実現してほしい。	60歳代	男	武並町
○ 森林の有効利用を本気で考え、市単位で収益を出せるような事業を計画する。	60歳代	男	明智町
○ 農業が安心してできるように、米の価格の安定が必要。地元で取れた米をおいしく食べて、喜んでいただけるようにご指導下さい。	60歳代	女	山岡町
○ 残りの人生農業を頑張ってみようと思っています。なかなか農業で生活して行くことは難しい世の中ですが、農業者は生産の方はどうかできるものの、販売方面となると大変な思いをします。地産地消といわれています。行政、農協、そして農業者がもっと手を組み考え、少しでも多くの収入がある仕方を勉強しなければならないと思います。	60歳代	女	明智町
○ 農業・林業の育成推進。若い世代の人達が農業・林業に取り組めるような仕組みづくりが必要ではないかと思います。	70歳以上	男	大井町
○ 農業農村の荒廃が恵那市の力量の衰退に関連してくると思います。農業農村の振興を望みます。	70歳以上	男	岩村町
○ 水田稲作を大事にする。	70歳以上	女	三郷町
○ このままでは農地の保全ができなくなる。食糧の自給率が40%以下という現状をいま一つ考えてもらいたいです。	70歳以上	女	明智町
○ この頃の恵那市内は全てきれいに改良され、若者を呼びこんでいるように思います。周辺部の住民は害獣などと戦っています。少しばかりの物作りの農業も荒らされて気分も落ちこんでしまいます。ささやかでも老人が物作りに励み農業も楽しいと若者に教えていこうと思っています。机上で考えず、小さなことでも行動してほしい。	70歳以上	女	上矢作町

4. 魅力ある就労環境の充実

意見	年齢	性別	居住地
○ 若者が安心して働けるような職業、就業支援を充実していただきたい。地元で働きたくても、働けない場合が多いので。	20歳代	男	大井町
○ 人口減少が問題になっているが、労働力人口の確保と定住者の増加につなげるため、プログラマなどのオフィス設置に対する優遇措置を実施してもよいと思う。IT業界において知識をフルに使う仕事を行う人々や管理者は都市部にいる必要性が高いが、プログラマやコードを書く人々の中には単純作業でオフィスも小さなものでよい方もいる。そのような人々の中には恵まれた自然環境の中で休息を望む人も少なくない。恵那市は交通の便も車さえあれば悪くないし、JR駅前も地価はそれほど高くないので、そういうIT系の労働力とよばれる人々を誘うような優遇措置（住宅供給など）をやってみてはどうだろうか。ネットさえつながればいいという人は多いはず。	20歳代	男	武並町
○ 住む場所、働く場所などを充実させれば人口も増えると思う。	20歳代	女	長島町
○ 子供達が将来働く場所がなく、都会に出てしまう。もう少し企業を増やし、雇用を増してほしい。	30歳代	女	長島町
○ 人口減少の歯止めのための企業誘致。	40歳代	男	大井町
○ 大手企業並みのビジネスマナー研修（電話、窓口対応等々）が必要。友人がある企業で電話を取ることができるまでに3ヶ月もの研修を受けて初めてできると言っていたが、個人のスキルに任せ、数時間の研修をした自分とはずいぶん違い、適確で気持ちよく、とても勉強させられた事がある。更に多様化する今後を考えると3ヶ月と言わないまでも、しっかり研修をしてから誰もが対応できる力が必要となってくるのではと思う。	40歳代	女	大井町
○ 若者の働く場所を作ることが必要だと思います。働く場所があれば住み続けることができるのではないかと思います。住み続けたいと思う気持ちを持ちつづけていけるようにしていくべきだと思います。	40歳代	女	串原
○ 合併後は何かと不自由さを感じます。市内で働かせてもらってますが、職場も社会もうるおいがなく、10年後、20年後を思うと不安です。	40歳代	女	上矢作町
○ 若い世代の働き場所がほしい。	50歳代	男	串原
○ まちの若者にとって今や働く場が福寿苑と病院のみ。それもなくなったらもう誰も残らないでしょう。	50歳代	女	上矢作町
○ 言い古された言葉ですが、企業をどう誘致するのが一番の重要課題と考えます。そのためには将来の「リニア」を見込んだ大手企業への働きかけができる組織作りが必要です。市の中に別部門を設け、上場企業を訪問し、例えば薬品会社であれば水、緑、空気などの最高の環境をPRし、新薬の研究所の開設を推進する。また日本から見た時、恵那市は中心に位置し、日本を揺るがすような大災害を予想し、国の災害の重要省庁の誘致の提案を。県、災害対策の専門家のご意見もお聞きして、日本全域を視野に入れたリスク管理の提案をしていけたらと思います。どんな良い環境を作っても働く場所、つまり企業が存在しなければ始まりません。	60歳代	男	大井町

○ 雇用の場を増やし、市外流出が少なくなる様に図るべきである。	60 歳代	男	長島町
○ 自然環境や森林資源を産業につなげ、雇用に創出しないと活力は産まれないと思う。住みたいと思っても産業がないから外部へ出てしまう、この悪循環を変えないと今のままでしょう。行政の本気を見せてもらいたい。このアンケートもポーズだけで終わらないようにしてほしい。	60 歳代	男	岩村町
○ 若い人の働く場所をもっとつくること。その為に多くの優良企業を誘致する。	60 歳代	男	山岡町
○ 人口を減少させないため、雇用の創造は不可欠です。	60 歳代	男	串原
○ パートタイム労働法が改定されると聞く。改正法では仕事内容や異動の有無、範囲が正社員と同じであれば契約社員であっても正社員と待遇に差を付けることが禁止されるとある。現在ではあまりに格差があると思う。若い人達が希望を持って張り合いある生活のできる様に、恵那市から率先して取り組んでいただきたい。雇用が充実してこそ何事も始まる気がする。	60 歳代	女	大井町
○ 少子化の現在、子供達が大都市で就職するのではなく、地域に密着でき残られる様な職場や環境を充実してほしい。	60 歳代	女	三郷町
○ 若い人の「働く場」を作り、人口の流出を防ぐ。仕事面、また人間性においても上司は部下を育ててほしい。	60 歳代	女	武並町
○ 働く場所がないから、結婚して都会へ行ってしまふことがあり、人口も減り、子供も減っています。住んでみたいまちづくりをPRしていただきたいと思います。	60 歳代	女	山岡町
○ 道や山にごみや不燃物があります。気持ちの良いものではありません。気づけば美しくしていますが…	60 歳代	女	山岡町
○ 若者が希望をもって働ける市にするためには、働ける場をつくることを。基本給が安いので結婚もできず、子どももできないのが現状です。	60 歳代	女	明智町
○ Uターンを考えている若い子がいますが、もう少し魅力ある仕事が増えるよう、努力してほしいと思います。	70 歳以上	男	武並町
○ 大正時代初期の様に周辺に水力発電所が建設されて、桑畑が商店街に発展したように若者たちが働ける企業誘致を考えてほしい。	70 歳以上	男	上矢作町
○ 昔にくらべると子供の数が減少しているように思われます。若い人が都会に働きにいかなくてもよいようにしてほしいです。恵那へ帰ってきたくても、働く所がありません。	70 歳以上	女	大井町
○ 恵那市を活性化することが、『まちづくり』となります。その為には、市内各地に安心して、楽しく働く場所があることだと思います。その職場は、男性も女性も、その特性に合った仕事内容で、男女共に平等に働くことのできる職場であるとよいです。そんな仕事場、職種を起業したり、誘致したりすることに、市は全精力を傾けるべきだと思います。	70 歳以上	女	大井町
○ 恵那に帰って恵那市で就職しても所得が低いので、固定資産税も支払うこと不可。それゆえに地域離れとなるケースがある。	70 歳以上	女	山岡町

5. 地域資源の連携による個性的な観光の振興

意見	年齢	性別	居住地
○ 「エーナちゃん」をもっと活用してほしい。エーナちゃんダンス（体操）みたいなのがあってもよい。	30 歳代	男	大井町
○ ゆるキャラブームに乗るべき。失敗すれば非難等はあると思うが、当たれば大きい収入になる。	30 歳代	男	長島町
○ 岩村町には多くの観光資源があるのにもかかわらず、他市では知られていません。恵那市の魅力をもっと発信していただけたらと思います。	30 歳代	男	岩村町
○ 岩村町を全国にPRアピールするために、SL蒸気機関車を走らせる。	30 歳代	男	岩村町
○ ゆるキャラの着ぐるみを作る。ふなっしーのようにPRアピールができるゆるキャラを作りたい。	30 歳代	男	岩村町
○ 既にある財産（歴史的財産、建物、自然、観光地、文化）等を強固に守り、積極的なアピールをする。新しい物を何でもとり入れていくよりも、ある物をしっかりと見つめて、取り上げてアピールすることが大切。外にアピールするために、市自体のディレクションセンスが必要。ありきたりな対策よりも、アイデアのある取り組みが必要。良いものは既にたくさんあるので、一つ一つ失われぬように、光をあてて市の個性にしていけるべき。中途半端に新しい事をするよりも、深く深く恵那市の良さをみつめてほしい。観光にチャンスがある。外国人に人気の古川での自転車ツアー等、恵那市でもすぐにできそうである。	30 歳代	女	大井町
○ 恵那市に観光面でも人がたくさん集まる様なまちづくりをおこなっていただきたいです。人が集まる様なまちは活気が生まれます。	40 歳代	男	大井町
○ 南北に長い恵那の地域ごとの特色（観光、産業等）があまり認知されてない。地域ごとの地産名物をもっと開発PRしてはどうか。	40 歳代	男	長島町

○ 明知鉄道のイベントが増えているのは集客につながるので、どんどん行っくべきだと思う。田舎ならではのPR、移住を進める。地産地消を推進するために、産直市場的なお店を造るとよいと思う。	40歳代	女	大井町
○ 明知鉄道は恵那の宝です。全国にはいろいろなローカル線がありますが、明知鉄道は企画列車もあり、よく頑張っていると思います。市として観光客を呼び込むのではなく、市民が明知鉄道で楽しめるような施策、ローカル鉄道があることを誇りに思えるような施策、支援を是非お願いしたいです。そうなれば観光客も必ず増えます。この意見を列車の中で決めています。	50歳代	男	大井町
○ 八月の夏祭り、阿木川沿いでの花火大会、年末・クリスマスシーズンの駅前通りのライトアップの充実を。	50歳代	男	大井町
○ 3年前前に名古屋都心のマンションから転居しました。毎朝5時半に起きての通勤と予想以上の寒さには閉口しましたが、人の優しさにこのまちの長所を感じています。都会の人にとっては魅力的な自然や観光資源がたくさんあります。人の優しさはおもてなしの心につながると思います。市民が自分たちのふるさとに自信を持って、官民一体のPRができれば、もっと多くの人が恵那のよさに気づいてくれるはずですよ。	50歳代	男	大井町
○ 明知線を利用して、明智から恵那駅までのサイクリングコースの整備、恵那駅には貸出し自転車を用意する。(各駅からの短コース、中コース、最長コースは明智から恵那まで。阿木川ダム、周りの観光化、東濃牧場の高台牧草地からの東南の景観は見応えがあるので、何か有効活用できないものか。(ここで青空会議をしてみたらどうでしょうか。) 緑に囲まれた恵那市は広さと、良い位置にあるのでは。	50歳代	男	岩村町
○ 恵那峡の整備やPRなどに力を入れるのはどうですか? 現在はさびれた観光地というイメージです。おしゃれなカフェや子供の遊び場など、名古屋近辺からの集客ができれば活性化につながると思います。	50歳代	女	大井町
○ リニアの開通に向けて、坂本駅で下車した人が恵那へ行こうと思うような場所やイベントなどいろいろ考えて行かなければいけないと思います。自然を活かせる事など、何か目玉になるような。みのり祭りは、多少の盛り上がりはあるようですが、もう少し月ごとにイベントを行なうとか、いろいろ試してみるのもよいと思います。他の地域のイベントなども、もっと参考にしてみるとよいのでは。	50歳代	女	大井町
○ 恵那峡は春、秋と楽しめますが、桜はもう少しあちらこちらに少しずつ植えていくことはできないでしょうか。	50歳代	女	三郷町
○ 岩村町や明智町のまち並みや古い建物を利用して、休日限定の時代村テーマパークとする。パーク内では皆昔の衣装、生活を再現して、お客様をおもてなしする。	50歳代	女	岩村町
○ 新たな観光資源の掘り起こしや開拓をする。恵那市ならではの特化したものは何かを考える。	50歳代	女	岩村町
○ 観光で来てくれた若いカップル達が自然の多い恵那で生活したい、子供をのびのび育てたいと思ってもらえる様に観光を充実してほしい。	50歳代	女	明智町
○ 誰もが立ち寄れることができる道の駅をもっと利用してまちおこし、まちづくりができないかなと思います。近くの稲武の道の駅はとても魅力的でまた行きたいなと感じます。残念ながら上矢作の道の駅はそれを感じません。せっかくの道の駅なので、魅力的な道の駅であってほしいですね。お客様が何を求めているのか考えたら、いっぱいアイデアが浮かんでくるのではないのでしょうか。この道の駅でしか食べられない物とか、限定商品を買ってみるとか、田舎らしく、そのままいい所を出せばすてきな道の駅になると思います。	50歳代	女	上矢作町
○ 観光里山中野方の発信	60歳代	男	中野方町
○ 発展している所と取り残された感のある所との格差があります。銀座通り商店街は大きな店舗に客を奪われ、客足は遠のくばかりです。恵那峡は花火時以外人は来ません。恵那峡に県内外の人が足を運んで来れる魅力ある場所にしてほしいですね。	60歳代	女	大井町
○ 旅行会社と組み、明知鉄道、ツアーでバスを利用する。	60歳代	女	明智町
○ 恵那地域のそれぞれの特色を活かした企画で、他県から人を集める。(農業体験、里山づくり体験、特産物づくり体験)	60歳代	女	明智町
○ 天災も少なく住みよいまちですが、観光地を始め恵南地方、また、中野方地区の棚田など魅力ある地域の活性を後世に残し、よいまちづくりを願う。	70歳以上	男	大井町
○ 恵那峡を観光の目玉になるような取り組みをお願いしたい。花菖蒲、ボタン、芝桜を植えて花の街恵那としてアピールする。	70歳以上	男	大井町
○ 観光資源の見直し整備。例えば旧中仙道の整備をすると共に、観光客が日帰りでも可能なアクセスを整備する。また、大井宿地内の廃屋を活用し、ボランティアによる土産物売り場や、食事処や、観光案内の整備を推進する。地域特産品の見直し及び新商品の開発を推進する。	70歳以上	男	大井町
○ 恵那峡全体のPRを強化し観光客の増大を図る。	70歳以上	男	長島町

○ 集客について恵那市はまちの形としてはできていますが、恵那峡にもう少し客が集るよう種々工夫をしたらどうかと思います。恵那峡の恵まれた景観を活かし、ダムを中心とし、周辺に客が集る施設を造ったらどうかと思います。資金も多く必要としますので、長期間の計画で考えないといけないと思います	70歳以上	男	武並町
○ 東京の人間や名古屋の人間が恵那のまちに住めるような所を今の内に作っておくこととし日本一のものを一つ何かつくっていく。また、外国人が大勢来れるような所をつくって日本一の町をつくることを考えます。これからは外国人をいかに多く取りこむかが一番の作業だと考えます。	70歳以上	男	飯地町
○ 恵那峡を整備して、親子や家族で見たり、遊んだり、食事等をして半日位楽しめるようになってほしいと思う。さびれた恵那峡を見ると悲しくなる。	70歳以上	男	岩村町
○ 恵那峡開発ですが、田舎の人、都会の人皆さん自然が大好きです。ぜひ残して開発して下さい。温泉と緑の芽ぶきの時、桜とつつじを見に行きます。恵那峡、広重美術館をもっと市外の人達が来てくれるように宣伝して下さい。	70歳以上	女	武並町
○ 他の市や県に住んでいる友達が、恵那はおいしいものがいっぱいあるし、行きたい所がたくさんあると言います。住んでいると気がつかない面が多くありますが、秋等TVの放映には東濃、信州方面が多くあり、うれしいです。もうちょっと、にぎやかなまち、休憩できる所、見る所、食べる所があると思いますが。	70歳以上	女	武並町
○ ④下本郷の町営住宅の前を通るたびに思う。今時はどこのまちへ行っても、あのような住宅を見ることはない。観光、観光と表だけ飾るのは、家庭において四角屋敷をまるく掃除をするのと同じである。	70歳以上	女	岩村町
○ 大正村駐車場、広場の広い所で道の駅的なものをつくり、農業の人も商店会の人も高齢者も働けるようになればまちの活性、観光の振興にもつながるのではないか。	70歳以上	女	明智町

(7) 自由意見 ～ 思いやりと文化を育む人づくりのまち (教育・文化) ～

1. 学校教育の充実

意見	年齢	性別	居住地
○ 恵南地区の中学校統合はほしくないです。それぞれの学校で学べる事が多いはず。人数が多くなればなるほど問題は山積みです。少ない人数で学習したいです。	20歳代	女	岩村町
○ 中学の同窓会が開かれないのが残念。同窓会があれば、地元へ帰省するきっかけにもなると思う。友達が泊まりに来て遊ぶ場所がない。	20歳代	女	明智町
○ 子供の学力向上。塾ではなく学校でもっと実力をつけてほしい。	30歳代	女	長島町
○ 岩村から高校がなくなり、保育園も民営化され、中学校は統合される。将来自分の子供達がバスで通学になるのか不安。	30歳代	女	岩村町
○ 教育の充実に一番お金をかけたらよいと思う。その中で育った子供が恵那に帰ってきて、またその子供を育てたいと思えるような。	40歳代	男	山岡町
○ 以前、TVで見た事があるのですが、東京のある学校で放課後か夜に、勉強を教えてもらえる勉強会のような事をやっている学校があるようです。そういう事は、恵那市ではできないのでしょうか？格差がひろがっていると思うので、塾に行けない子もいるのではないかと思います。青森県での家庭での勉強の仕方とかをできる所は恵那市も、真似できないでしょうか？子供の医療費を中3まで無料にしてもらえたのは、とても助かりました。	40歳代	女	大井町
○ 小学校と中学校をまとめたり、統合して組織は1つになっても、分校でいまの場所に残すなど、経費が下がって親や子への負担の少ない方法を探っていただきたいです。通学のために引越すなら都会へというようなこともでてくる。	40歳代	女	明智町
○ 小中学校の統合を早く進めるべきだ	60歳代	男	長島町
○ 子ども達が健やかに育つために教職員の多忙化を解消する。また、教育委員会の質の向上、給食費の無償化、自校、自園調理、経済的に困難な児童生徒への援助などが必要	60歳代	女	大井町
○ 人数制限のアンケートではなく、全市民を対象にしないと幅広い意見の収集は無理だと思います。既成事実づくりのための調査になるのではないのでしょうか？	60歳代	女	大井町
○ 人口減少により、山間部においては学校統合になりつつある。	60歳代	女	岩村町

○ 現状では学校教育は最も大切。しかし、それ以前に家庭と教育あるべき行動が大切である。私は教育者ではありませんが、これから出す事例に留まらず、事例の水平展開をしてこそ恵那市役所の知識人集団としての資質と思います。親からの教育と学校教育、そして学校と親の補助役である学童保育所のあり方について。保育園も含む小学校低学年から特に親からのコミュニケーションが必要とされ、将来像が予想されると言われている。すなわち「良性の人間性のある人のこと」である。なぜか恵那市には「仕事をしている母親」や「シングルマザー」が多く見受けられる。その子供達は学校から家に帰っても親が不在なため、ゲーム機を持って友達の所を歩き渡し、そのゲームで時間を費やし、親が帰って来るまでは指導の無いまま遊び放題である。また、ある親は学童保育所に預け他人任せにしてしまう。この様な現状に対して、「こんな事例があった」と放り出さず、前向きに水平展開してほしい。何年後から実施するのではなく、そのいろいろな分野の実態調査と分析、抜けがあれば今からでも手を打つ事が大切。	70歳以上	男	大井町
○ 教師の資質向上、教師の採用の適正化。	70歳以上	男	長島町
○ 少子化で児童数もだんだん少なくなっているが、通学バスの利便性にあわせて校区の見直しを望む。	70歳以上	男	笠置町
○ 甘いかもしれないが、「教育に力を入れる」ことが人口減につながると思う。	70歳以上	男	岩村町
○ 今、中学校の合併の話が出ているが、必要ない。岩村町は現在恵南地区では子供も一番多くなり、環境も良い地域にある。もし他の町へということになれば、子供達の姿を朝夕見ることできない寂しいまちになってしまう。観光で人を寄せる事よりもまず地元の人を外へ出さない事が大事ではないか、それによって商店街も発展するのではないか。	70歳以上	女	岩村町
○ 学校教育で土曜日休日だが、土曜日を復活してはどうか。	70歳以上	女	山岡町

2. 生涯学習の推進

意見	年齢	性別	居住地
○ 恵那市の学生は勉強熱心な人が多く、平日や休日の図書館は常に人がいっぱい、自分が勉強しようとしてもスペースがないので、今ある図書館以外にも集中して勉強や読書ができるような場所を設けてほしい。インターネットの活用がもっとできるようにしてほしい。	20歳代	男	東野
○ 山岡町公民館をもっと子供達が集える場所にしてほしいです、中央図書館のように。	30歳代	女	山岡町
○ 子どもの頃からまちづくり意識を醸成する。	50歳代	女	大井町
○ 生涯学習等の回数を増やす。また、積極的に参加できるような時間帯に開催する。専門家の講師多く呼んで開く。	60歳代	男	明智町
○ 移動図書館があるといいです。	60歳代	女	中野方町
○ 乳幼児教育から高齢者教育まで生涯学習の充実。	70歳以上	男	岩村町
○ 小中学校での学力を向上し、学力日本一を目指す。郷土学習、先人学習により郷土愛と誇りを持たせる教育。そして一番今必要なのは「親の学び」と思う。	70歳以上	男	岩村町
○ どちらかというと恵那市街中心にいろいろと文化施設、その他学習の場が整理されているような気がいたします。	70歳以上	女	山岡町

3. 人を育み、人を生かす教育

意見	年齢	性別	居住地
○ 2世代、3世代同居を奨励することで、改善しそうなこともあります。	40歳代	女	岩村町
○ 地域振興のためには、人が大切。	60歳代	男	串原
○ 私は教育が大切だと思います。子供には人としてのマナーを守ること、平和の大切さ、読み書き算数をしっかり身に付けてほしいです。大人には老年期になる前の元気うちに健康方面の教育、運動、精神面の教育などを通して自分でできることはできるだけ自分の力でするような早期予防教育が必要だと思います。また誰でも安心して暮らせるまちづくりが大切だと考えます。人々が自然に助け合えるような優しい人が多くいるようなまちでなら、子供をここで育てたいと感じる人が増えるのではないのでしょうか。	60歳代	女	大井町
○ 成人式について、南部北部一緒では大変です。特に女性は着付等に時間がかかり気の毒です。会場で知らない方達ばかり集まれば気持ちも入らない。	60歳代	女	長島町
○ これからの時代を担う若者の組織が少ない。以前には各地域に青年団があり共同活動、意見交換等活発に活動をしていた時代があった。今は個人個人の活動が多い。青年層、女性の組織が地域で活発に活動すればもっと地域に活力が生まれると思う。今後組織の育成が必要と思う。	70歳以上	男	飯地町
○ これからの若者に期待し、恵那市民の力で子供達に最高の教育を受けさせ、個々に合うものを見つけ出し、その芽を伸ばしてやる手助けをすることが、恵那が発展する一番近道だと思う。そして互いに隣の人と助け合う心をもたせることがよいと思います。恵那からノーベル賞をもらう人が出るとよい。	70歳以上	男	串原

4. 文化・芸術活動の振興

意見	年齢	性別	居住地
○ コンサート、市民の意見を聞く場等文化会館での催しを充実させる。	50 歳代	男	大井町
○ 祭りについて毎年感じていることですが、大人だけでなく子供も参加して盛り立てるイベントがいつもないのかなと思います。例えば明智町の祭りで、子供中心の祭りが神社で行なわれると、大人も子供も楽しんで人も集まりにぎやかです。中津川のような大人、子供一体となれるような行事はそれぞれの家族全員楽しんで盛りあがると思います。地域の子供の神輿は子供の数が減り、みじめなので恵那市一体となってやった方が子供が喜ぶと思います。	60 歳代	女	長島町
○ 七日市にて大変にぎやかですばらしい町だとあらためて思いました。人口減少があるのかなと思ったりしますが、お祭り等行事を続けることでくい止められると思います。	60 歳代	女	長島町
○ 小・中学生の子供達に日本古来の伝統文化を継承できるようにしてほしい。例えば着物が着られる様に習える事とか、お茶を習うとか。もう一度日本文化の良いところを見なおして継承できるようにしてほしい。	60 歳代	女	三郷町
○ 歴史夜分かななどの古き良きものを後世に残すため、指導者の育成や財源の確保が大切だと思っています。	60 歳代	女	岩村町
○ 1年を通して各地域で行われる祭りに参加できる体験等をおこなう。	60 歳代	女	明智町
○ 将来大事業ではありますが、岩村城を再興再建できればますます岩村町が発展して、市としてもますます観光市になると思います。	70 歳以上	女	岩村町
○ 文化活動、講演会など各地区でやってほしい。中央公民館まではなかなか行けない。特に夜の部は行けない	70 歳以上	女	串原

5. 文化財の保護

意見	年齢	性別	居住地
○ 地歌舞伎の保存に力を入れていただきたい。役者も裏方も忙しい中、時間をとり、お金を出して上演している。大変だが、自分達で守っていかねばとの責任感で（半ば義務感で）続けているのが現状である。補助金を増やしてもらえば保存会員の経済的負担も軽くなり、それ以外の興味のある人が参加しやすくなるのではないかと。上演のPRもしていただきたい。素人の演じる地歌舞伎の好演を広く地域外の方にも知ってほしい。歴史ある地歌舞伎が次世代以降も長く続くことを願っている。	40 歳代	女	串原
○ 高齢者の力を引き出して、地域の担い手として活躍してもらおう。裏山の（里山）整備から伝統技術の伝承まで。お年寄りの智恵こそ恵那の宝物です。	60 歳代	男	三郷町
○ 昔から伝わってきた話を聞くのも楽しいものです。	70 歳以上	女	武並町

6. スポーツ活動の振興

意見	年齢	性別	居住地
○ 高地を活かしたスポーツ施設（宿泊できる施設）をつくり、高校、大学などスポーツ団体の練習の場として誘致する。	20 歳代	男	武並町
○ スポーツでのまちづくりをするなら、陸上競技場、硬式野球場等の施設を造ってもらいたい。地籍調査を迅速にやってもらいたい。	30 歳代	男	
○ 子供がサッカーをしています、芝のサッカー場があるといいです。まきがねのグラウンドは駐車場から遠いので、近くに駐車できるようにしてほしいです。	40 歳代	女	長島町
○ スケート場への来客を増やす工夫が必要。インターチェンジがあると遠方から来やすい。看板が少なくわかりにくい。スケートのみで1日すごすことは難しいのでスケート場に加え、温泉やショッピングモール等があるとよい。	50 歳代	女	武並町

(8) 自由意見 ～ 健全で心の通った協働のまち（市民参画）～

1. 新しい自治の仕組みの確立

意見	年齢	性別	居住地
○ 地域のまとまりがない。	20 歳代	男	中野方町
○ 興味が無い人にも伝えられなければよいまちづくり等はできないと思います。実際、恵那市がまちのためにどんな活動をしているのかよくわかりません。こういった興味を持っていない人にはどうすれば伝わるのかを考えることも重要なのではないのでしょうか。	20 歳代	女	武並町
○ 自分にどんな権利や義務があるのか知らずにいる人が意外と多いのではないのでしょうか。どうすれば生活を豊かにできるか、権利を活かせるのかを、「どこで」知ればいいのかを明確にもらえたらありがたいと思います。	20 歳代	女	山岡町

○ 区長、自治会長の仕事が多すぎる。行政で広報を配ってほしい。	30 歳代	男	大井町
○ 市役所の窓口を土・日も開いてほしい。フルタイムでなくてよいから開けてほしい。	30 歳代	男	長島町
○ 恵那市の場合、決まったことを市民に報告する体制をととても強く感じます。住みやすく、若者も年配の方も楽しいまちとは、双方の理解、尊重、安心だと思えます。市民の声を聞く場が、もう少し多くあっても良いのではと思います。	30 歳代	男	上矢作町
○ 恵那市は周辺の市などとくらべて介護保険料やごみ袋が高いと言われますが、なぜ、このように高額なのかを市民にしっかり説明してほしい。	30 歳代	女	大井町
○ 都市計画税を大井と長島だけに負担させるのはおかしい話。	30 歳代	女	大井町
○ 市議会議員の給料をもう少し上げて、若い人が市議員になれる環境づくりをしてほしい。	30 歳代	女	大井町
○ まちづくり協議委員会などの催しに子供と参加させてもらってます。地域の方とふれあうことができたり、中山道の古い建物にふれることができ、よい体験をさせてもらってます。	30 歳代	女	大井町
○ 机上の口論ではなく、体感して市政に取り組むために、市政に関わる方は・市内のごみ拾い・保育、介護体験（食事をあげる、おむつかえ、入浴など）を実際にやってみるとよいと思います。	30 歳代	女	三郷町
○ エーナちゃんの仮面をかぶったコメンテーターに市議会の中継をしてもらいたいと思います。市民からツイッター等の SNS を使って、コメントをリアルタイムで議会の会場に表示したりしてほしいです。また議員は専門職ではなく、学生や主婦、会社員も参加できるように、夜市議会を行ったり工夫してほしいです。	30 歳代	女	三郷町
○ 情報を知らないことが多い。くわしい内容をすぐに知ることができるとうれしい。お問い合わせは〇〇までと言われると、わざわざ面倒と思ひ、そのままにしてしまうことが多い。	30 歳代	女	武並町
○ 市議会議員は市民のために働くことを願いたい。	30 歳代	女	岩村町
○ 市民の意見をしっかり市政に反映させて下さい。	30 歳代	女	上矢作町
○ 税収が多く見込めない中、自分たちでできることは自分たちである程度はすべきであると考えます。	40 歳代	男	大井町
○ 市内での地域活性化が局所ではできているが、周辺地域への発信が不足している。このままだと恵那にずっと住みたい人は減ると思います。僕もその 1 人です。住んでいる魅力がありません。活動している人だけが盛り上がっているが、周囲の人はさめているような気がします。	40 歳代	男	大井町
○ 外への発信力が弱い	40 歳代	男	武並町
○ 学校・企業・市が連携してコミュニティの場づくりを。	40 歳代	男	武並町
○ こういったアンケートなどの情報公開。	40 歳代	男	武並町
○ 市外、県外の広い視野を持つ人の意見を聞き、古い物を大切にしながらも、外の風をいれた方がよい時もあると思う。	40 歳代	女	長島町
○ 市長が中学生と語る会に出席されていますが、これからの恵那市を任せていくためにも、中学生の子が良い意見を出してくれていますので、その意見をもっと取り入れてみたいと思います。TV（アミックス）や広報で拝見しますが、本当に素晴らしい意見で感心しています。私も賛同できる所がたくさんあります。子どもたちの声を大切にして下さい。	40 歳代	女	岩村町
○ 恵那の中心地に居住している方々に比べ、上矢作に住んでいることがとても損をしているように感じる時がある。交通の不便さは子どもたちが高校へ行く時に、とても影響してきます。何とか上矢作に住んでいたいと思える様にするためにも中心地から外れたまちづくりにも目を向けてほしいです。車に乗れる今は良いのですが、乗れなくなったら困ってしまいます。子どもたちが出て行ってしまっても、地域で協力し合いながら生活していける環境をつくっていききたいなと思います。行政にまかせるだけでなく、隣同士から協力していくことが地域の人たちが始められることではないでしょうか…	40 歳代	女	上矢作町
○ 問いをどんどん投げかけてくれる恵那市版白熱教室の定期開催、色々な意味での弱者を見落さないまちであることを願う。	50 歳代	男	岩村町
○ 地域住民自治力の強化。市民が自ら学び、解決する力を育成する。	50 歳代	女	大井町
○ 地域行事・活動など市が地域におろしてきているもの（まちづくり自治協議会活動）への市職員の参加が非常に少ない。市の行事や地域懇談会には多数の市職員を見ますが、市職員が住んでいる地域の活動への参加がほとんどみられない。市長の言われていることとは、反対の現状と思われま。地域の人が、福祉、子育て、健康などのボランティアをしているのに、市職員はボランティア参加どころか、一般参加者としても参加しない。市が進める協働のまちづくりに 1 番非協力的なのではないかと思ってしまいます。市職員は、まず自分が地域住民であることを自覚し、それぞれの町を活性化する活動に対してもっと積極的に参加することができないのでしょうか？私たち地域のボランティアは無償で、仕事以外の時間をさいています。まず市職員の意識改革を願います。市の進む方向にみんなが同じ方向を向いていることが大事。	50 歳代	女	長島町
○ 広報えなの印刷が他市で行われていると聞きました。これが事実なら地産地商ではなくなります。市内に印刷会社はいくつもあるはずですが。広報えなの後ろのページに印刷会社を掲載してほしい。	50 歳代	女	長島町

○ えなっこチャンネルをたまに観ると、お子さんの写真とか、行ったことのない場所の絵が写ったりして楽しめますが、市の天気予報はがっかりします。当たる外れるではなく、更新されていない。	50 歳代	女	三郷町
○ 公務員は市民に奉仕する立場であることを市議員さんも自覚し、お手本になるような言動を取っていただきたい。	50 歳代	女	串原
○ こども園、エコセンターの今後の問題、工業団地、恵那病院等の計画、予定を発表してほしい。	60 歳代	男	長島町
○ 市の職員の持っているスキルをもっと活用するためにも、各町のまちづくりを推進するためにも、どの課の職員もどの課に移動しても、まちの要請に答えられるようにして、勤務中に地域へ出て行けるようにしてほしいと思います。市民と市が協働でまちづくりを推進していくには大切なことです。	60 歳代	男	武並町
○ イベントや文化活動には積極的な地域であるが、身内同志の楽しみの範囲で終わっている気がする。	60 歳代	男	岩村町
○ 合併に伴い地域の集約と、地域の特性を何にするかで、産業、観光、住居と地域分けをすべきです。地域にこだわらず、若者、母子などのコミュニケーションのとれる機会を設けることも重要と思います。	60 歳代	男	串原
○ 広報は内容の見直し充実を計って、月 1 回でお願いします。	60 歳代	女	大井町
○ 給食費への補助を行うのはどうか。	60 歳代	女	大井町
○ 昨年こども園の説明会に参加しました。説明会だから仕方なかったかもしれませんが、こども園についていいことばかりを言われて、参加した人達の不安や意見は聞いてもらえる感じはうけませんでした。ちゃんと市民の声も聞いてほしいと思いました。	60 歳代	女	大井町
○ 恵那市役所の方はとても真面目に、誠実に対応して下さいと思います。ただ高齢化が加速していますし、人口減少の中すべてに対応できないと思いますので、もっと民間との協働をすすめるとよいと思います。市民同士がお互いに助け合えるまち、恵那の自然環境や農作物など特徴を活かせるまちづくり、小さいまちだけれど小まわりがきいて住みやすいまち、何かが光るまちがよいと思います	60 歳代	女	大井町
○ 市広報は月 1 回で可	60 歳代	女	長島町
○ 都市計画税について長島町、大井町に限定するのではなく、中心地はその周りの方も利用するので、バランス良く全地域で徴収してほしいと思います。一地域だけで払うのは不公平だと感じます。	60 歳代	女	長島町
○ 環境整備、ボランティア活動など、市民のためのまちづくりにもっと協力してほしいと思います。	60 歳代	女	三郷町
○ 地域の行事が多い。昔からの行事はまったく改善されず、増えるばかり。なくしてよい活動を地域で話し合える場を市が提案してほしい。個人的意見を自治会で発言することは批判対象者となることもありうる。	60 歳代	女	三郷町
○ 各振興事務所にも資料を送っておいて下さい。どんな内容でアンケートが取られているか知っていただくことも必要と思います。	60 歳代	女	飯地町
○ 市議会議員の方は、もっとこまめに地域に。報告が少ないです。	60 歳代	女	山岡町
○ 成人式、出初め式等すべて恵那市街地で行事を行うとすると家族がすべて（特に高齢者）参加できない場合があります。各地域で開催した方がそこで生活している市民みんなが参加し、活力ある原動力になる場合もあると思います。参加できないどうしても他人事になり、市政等無感心になりがちになると思います。市民みんなが参加して、みんなでよりよいまちにしていってらうでしょうか。	60 歳代	女	明智町
○ 若者の意見を行動につなげることでできる環境に。発想の転換をしながら全体を考え話し合い、大勢の声を聞き入れながら事を進めてほしい。なぜと思うことが多く決められ、意味のない費用が無駄使いになり不満の多い現状である。	60 歳代	女	明智町
○ 我々が参画できる環境作りをもっともっと広げてほしい。特に若い人の参加が大切だと思う	70 歳以上	男	武並町
○ もっと心のつながり合う地区、市にしていける活動を。	70 歳以上	男	飯地町
○ 市内各地の総会の折にこの様な事について話しあったら良いアイデアがたくさん出るのではと思います。	70 歳以上	男	岩村町
○ 地域の要望等を聞いて、結果を知らせてほしい。	70 歳以上	男	岩村町
○ 中心の恵那（大井、長島）は栄えて行くが、旧町村は人口減により、ますます元気がなくなりつつある。何もかも効率一辺倒ではだめ。地域にある程度予算を与え、元気になる様愛を与える。	70 歳以上	男	明智町
○ 現在のまちづくりの会は、どういう人々が活動されているのですか、大方の市民はその人々を知りません。公表されていますか？	70 歳以上	女	大井町
○ 市民の人々がもう少しいろいろの行事等に力を合わせてほしいです。	70 歳以上	女	三郷町
○ まちづくり行事の助成金を一部のものにあてるものでなく住民が得ることのできる事業にしてほしい。	70 歳以上	女	飯地町

○ まちづくりに力を入れる事より田舎を大切に力を入れて下さい。期待しています、お願いいたします。	70歳以上	女	岩村町
○ 合併から10年、何が変わったかと思う時、ああよかったなと思うことは1つも無い。町村の振興事務所で一度にかたづくことが少ない。	70歳以上	女	岩村町
○ 実際社会参加機会がないため、ただ家族を守ることで精一杯です。でも地域のつながりは大事なので、その都度できることは協力したいと思います。	70歳以上	女	岩村町
○ 恵那市の告知放送をもっと活用したらどうか。1年に1回とか開催されるものについては情報として放送してほしい。	70歳以上	女	山岡町

2. 男女共同参画の推進

意見	年齢	性別	居住地
○ 女性が社会に進んで参加できる行事、意見が発言できる行政参加を増やしてほしい。	60歳代	女	大井町
○ 恵那市も女性部長などもっと女性を活用すべきだと思います。男性よりもっと細かな所の目が届くのではないのでしょうか。	60歳代	女	上矢作町
○ 女性はいろんな事を考えてはいるがなかなか話せる機会がない、たまにはいろいろの人が集まっている話合ってみる事もいいと思う。	70歳以上	女	岩村町

3. 国際・都市・地域間交流の推進

意見	年齢	性別	居住地
○ 市民に意見や提案を聞いている様ではだめ。	50歳代	男	大井町
○ 地域、仕事で現場にいる者として、人との交流が大切と感じています。これから増える高齢者、独居、核家族の子育てなど、孤立化の傾向です。地域主体で気づかいのできる環境があればいいと思います。世代間交流、支援、ボランティアなどが身近に参加できるようになればよいと思います。男性の地域参加がもっとあれば活性化すると思います。	50歳代	女	大井町
○ 恵那市に合併して10年、旧恵南地区と恵那地区との交流とかもっとあったらよいと思います。	50歳代	女	岩村町
○ 世界各地（アフリカ、欧米、中近東、東南亜、中国、韓国等）の小中高校と姉妹校になる。市民の家庭でホームステイを受け入れてもらう。こちらからも各地を訪問し、家ぐるみの交流もできるように。行政の介入は少なくするよう努力して、市民の自負的力を引き出すよう、時間をかけて努力する。	70歳以上	男	東野

4. 時代に対応した行財政基盤の確立

意見	年齢	性別	居住地
○ 26年9月に地元である恵那に戻り転居届を提出する際、市職員の品位のない言葉遣い、対応に失望しました。市民課でこの対応では他の市から移って来た方の心情を察するに恥ずかしくてしょうがなかった。当然丁寧な対応をしておられる方もいましたが、その差も残念に思いました。	20歳代	男	長島町
○ 平成22年から調査を行われているという事でしたが、どう活かされるのでしょうか。また、このような設問数の多いアンケートを送付し、催促のようなハガキを送るのであれば少額でもカード式のような謝礼を用意した方がよいのではと感じました。市民の声を聞く意見交換会のようなものがあるのは知っていますが、他の市を知っている人、アイデアがある人を半分は入れて、新しい意見と現状の大事な所は残し、今後につなげてほしい。10年で恵那は衰退化したように感じてならない。同級生も大半が市外にでた。恥ずかしくない市政でお願いしたい。	20歳代	男	長島町
○ 市街地ばかりではなく他にもお金を使う。	20歳代	男	上矢作町
○ 市役所が土日のどちらかでよいのでやっていたほしい。	20歳代	女	三郷町
○ 地域格差を解消すべきである。	20歳代	女	明智町
○ 市の職員の態度を改めてほしい。手続き等でうかがっても対応が悪く、非常に不愉快である。	30歳代	男	大井町
○ 恵那市にはいろいろな審議会、検討会がありますが、選出の手順が納得がいけない部分がある。職員の方々の努力には敬意を表しております。今後も市のため、頑張ってください。	30歳代	男	武並町
○ 市職員の住民への態度、姿勢が崩れている。それをまず直すこと。特に電話対応は最悪だった。まちづくり以前の話である。まちづくりをしたければ、そこをよく考えること。それは今始まったことではなく、すでに何十年と続いている話である。それが少しの改善もできていないのにまちづくりの話とは、まったくずれている。	30歳代	男	岩村町

○ 公民館等の施設を営利目的の使用も認めることにより維持管理費にあてることができ、施設の有効利用にもなる。	30 歳代	男	明智町
○ 市役所の方の電話対応が悪いと思います。特に高齢福祉課の方。	30 歳代	女	大井町
○ 市役所であっちこっちに行かされるのが大変。書類がいちいち多く、長い時間待たされるのも嫌。	30 歳代	女	武並町
○ 数年前にも自分の名でアンケートがきた。本当に無作為なのか疑う。住みたくて恵那市に住んでいない、持ち家じゃなきゃこんな不便で税金高く、市民の声も聞いてくれず、産院もない市なんて住まない。特にこども園の件、あれだけ署名集めたのがっかり。	30 歳代	女	—
○ 財政の健全化（黒字化）、職員の給与の観直し、人員削減	40 歳代	男	大井町
○ 本当に必要な活動であるのか疑問を持つ団体もある。また予算が適正であるか、活動の結果を検証しているか？無駄な活動や、無駄な予算ばかり気になります。	40 歳代	男	三郷町
○ 市の変革を。土・日が休みでは働く人は利用できない。	40 歳代	男	武並町
○ 市の給与を上げてでも優秀な人材を確保して、本気で取り組みが実現できる体制をつくる。	40 歳代	男	武並町
○ 過去のことで、市の職員をしばらく採用しなかったのは失敗だった。職員それぞれの給料減らしてでも、人材は確保すべき。	40 歳代	男	山岡町
○ 恵那市街に力を入れるもよいが、恵那市の隅々までもう少し見てほしい	40 歳代	男	上矢作町
○ まちづくりと言いつつながら学校を減らし、振興事務所の人員を減らしなどの方向性は、周辺部を住むのに魅力のない地域にしてしまい、まちがこわれていく。周辺部をさびれさせないためにも、まず削減ありきをやめてほしい。	40 歳代	男	上矢作町
○ いつも恵那市民のためにありがとうございます。今回このような機会をいただき、あらためて考えましたが、アンケートに回答しない人、行事や集会に参加しない人にこそ何か問題を抱えていることが多いのではないのでしょうか。足を使って、市民の毎日の生活の現状を見て、何が必要なか考えていただけたらと思います。大学に進学した人達のほとんどは、恵那の地にもどってきません。リーダー的存在となる人達の確保についても考えていただけたらと思います。元気な町になりますように。	40 歳代	女	大井町
○ 長く住んでいますが、色々な意味において風通しがよいとはいえないと感じます。まちづくりとひと言っても難しいのですが、他の自治体の二番煎じばかりのように思います。たとえ二番煎じでもよいことや効果的なことはどんどん真似をしてしかるべきですが、そして効果もみられないようなことに、やってみなければわからないから、というような安易な理由で税金を投じるべきではないと思います。ゆるキャラが最たる例です。誰があのようなものに賛成したのか理解に苦しみます。そんなもの作ってる場合かという声が私の周囲ではほとんどです。このような税金のむだ使いには本当に憤りさえ感じるし、とても残念です。お役所のやることだからと市民にあきらめられるようではいけないと思います。もっと発信力をつけ、市民の声にさらなる聞き耳を傾けるようにしていただきたいです。	40 歳代	女	大井町
○ 市議会に関して、議員の数をさらに減らしてもいいのでは。	40 歳代	女	大井町
○ 給食センター等、民間に委託するのは仕方がないですが、以前市民病院の介護の面接を受けた際、恵那病院も民間委託だけれど、市民は市の職員だと思っているので、そのようにふるまって下さいというような事を言われました。給食センターでも、同じような事を言われたことがあります。市民にきちんと民間委託したことをわかってもらうべきではないですか？恵那市の財政が切迫している事をわかってもらうべきでは。保育園や給食センターが民間委託されている事を知らない人もいます。	40 歳代	女	大井町
○ 魅力のないまちで育った若者たちは、何が魅力かも知らないまま受け入れ、この先ずっと街が魅力的に生まれかわることもなくなるでしょう。外部からの意見や他を知っている人の意見も大切にしたい方がよいと思う。	40 歳代	女	長島町
○ 少子高齢化で人は減ります。これは恵那市だけではないです。施設を「造る」ことばかり考えず、「売る」「壊す」ことも、まちづくりとして考えてください。合併してむだな施設は処分してください。生産人口は確実に減ります。湯水のようにお金は無いです。今のままでは、数年後は恥ずかしいことになっていると思いますし、将来の恵那市がなくなるようなまちづくりは避けたいものです。	50 歳代	男	大井町
○ 交通事故の被害にあっていて、保険会社と加害者がみてくれない。市に相談の場所をつくってほしい。	50 歳代	男	大井町
○ 大型のショッピングモールや大手企業の工場などを誘致し、市民の働き先を確保するとともに、その企業が入る区画整理事業にも誘致先企業を参加させ、二重投資を無くすよう検討願いたい。	50 歳代	男	長島町
○ 今後人口減少が予想されるわけですから、人が移住、定住してくれる魅力のあるまちづくりが必要なのは言うまでもありませんが、いろいろな施策をするにも財政的には厳しくなっていくと思います。ならば、いかに民間の力や市民のボランティアをうまく活用するかを考えること。恵那の自然やこの土地の財産を活かした、観光資源の開発、バイオマスなどの利用で、少しでも財政を豊かにする方策を考えることが必要だと思います。	50 歳代	男	長島町
○ 何をすることも財政の健全化が最も大事だと思います。	50 歳代	男	三郷町

○ 役所が土休日休みのため、役所の都合で休みを取らなければならない。せめて証明書関係は土休日に取得できるようにするべきである。	50 歳代	男	武並町
○ 財政の健全化が何よりである。例えば市役所の土地は未だに個人等に支払いをしていると聞く。まず、そういったムダをなくすことから行っていくべきであると思います。	50 歳代	男	岩村町
○ この、20 歳以上、2500 人無作為の調査で調査の意味があるのだろうか。調査内容も疑問が残りました。世代別（男女別無作別）でのもっと踏み込んだ調査を試みたらどうか。転出される方へのアンケート、転入された方（元々育ちが恵那市以外の方）全員へのアンケート、中学生、高校生へのアンケート（全員）など。	50 歳代	男	岩村町
○ 恵那市サイドの考え方に基づいた調査、質問、解答例であり、自由な意見を提供するものとなっていない。結果はもうわかっているのではないか、もう少し新しい考え方を持って行政を施行するべきであり、無意味である。	50 歳代	男	山岡町
○ 何をすることも、中・長期的な視野をもって決めてほしいです。例えば道路工事数年で同じ所を何度も行ったり、ガードレールの取り付け方を少し変えれば、車がこする回数が減るのではないかと思えたりする。病院や駅前も、前回直す時にもっと考えれば、こんなに建て替えや、使いにくい状態をほっておくことにはならなかったと思えます。貴重なお金を使うのだから、何度もやりなおさなくてよいように、きちんと考えてほしいです。そして今回の「こども園」の様に、市民への説明や意見を聞く機会が間際になって行われないう、人の気持ちのわかる恵那市になってほしいと思います。	50 歳代	女	長島町
○ 何が必要なかを見極めて、必要であるところに財源を投入することが適切にできているか。もう少し財源の使い道を見直してほしい。施設の人員が多すぎではないかなど少し気になります。	50 歳代	女	三郷町
○ 旧恵那市ばかり整備されて、他地区は置き去りです。もっと他地区を活性化してほしいです。中学校の統合、恵那南高校の廃止は絶対にするべきではありません。ますます、地域が衰退してしまいます。田舎でも活気が出るようにすることを考えるのが行政の役割だと思います。振興事務所の職員も、その地域の人々を配置することがよいと思います。何でもかんでも簡素化や統廃合することは行政の怠慢ではないでしょうか。	50 歳代	女	明智町
○ 恵那市になってから今まで“良かった”と思った事はない。	50 歳代	女	明智町
○ まちの中心は何もしなくてもいろいろが集まって来ます。末端はどうしても何も出来ず、交通の便もなく…と分かり切っている事、なのに何も対策がとられていない、不便なため若者も来ない、市の職員も中心に集合され、末端の様子は分からない、振興事務所の職員は、他から来た職員のためなじみがうすれてくる。窓口は市役所の顔。すべてが分かる人でないと、サービスも低下してくる。まちづくりのまちは中心だけではない。はずれの地区にも目を向けて下さい。	50 歳代	女	明智町
○ 市の中枢部が市役所へと一極集中してしまったため、それ以外のまちは寂れる一方です。サービスを受けたくても、市役所まで公共交通機関を使って 1 時間もかかります。役場から振興事務所に変わった時には、まさか職員が 2、3 人になってしまうなんて思ってもみなかった。手足を切るような政策ばかりの恵那市に希望の光が見えません。地方再生（町村再生）に力を入れて下さい。	50 歳代	女	上矢作町
○ 行財政改革を進めて下さい。	60 歳代	男	長島町
○ ふるさと納税はかつて住んでいた故郷、思い出の場所、興味のある地域などの自治体に、どこに住んでいても関係なく寄付することができます。寄付する際に使い道を指定できる自治体や、金額に応じて特典を進呈する自治体も数多くあり、ふるさと納税は、ふるさとと納税者の新しい関係づくりを促進する制度であります。何よりこの人口減少局面に移っているなかで、どのように税収を確保するかというのは行政の課題でもあり責任でもあります。単純に税金や借金を増やすだけでは根本的解決にまったくならず、たとえば県内の複数の自治体が事業展開している寄付金額に応じて地域の特産品を特典として進呈する制度を積極的にアピールし品揃えに対して「納めてもらう」という姿勢が大切でしょう。また、このような政策が功をそうして人口の流動につながるかもしれませんし、市民が増えれば必然的に税収も増え、まちも活性化してくるでしょう。まさに良いことのスパイラルに入るわけで行政の決断と発想の転換を切望します。私も寄付の実績がありますが、神戸市の隣の三田市はふるさと納税による税収アップが凄いことになっています。参考までに。	60 歳代	男	三郷町
○ 人口減少に伴い、特に行政間の再合併が必要になると考えている。今後特に医療行政、ごみ行政に係る財政負担は大きくなり、早い段階で広域で取り組む必要がある。今回新市民病院が建設中であるが、グローバル的には小さな自治体の医療経営は困難であり、医療行政全般的には民営化、同時に廃棄物行政も民営化するべきだと考える。	60 歳代	男	三郷町
○ 行政にかかわる市職員等がもっと仕事をしなくてはいけない。責任を持って判断して仕事を進めていくこと。各立場の職員が市民の意見を吸い上げて行くよう行動し、仕事を進め、責任ある決断をして仕事を進めるよう努力して下さい。	60 歳代	男	武並町

○ 地元で市に提案しても、決まった型どりの返答しかない。地域の問題を真剣に考えているのか疑わしい。市にもそれなりの理由はあると思うが、もう少し詳しい説明、指導、返答をしてほしい。不信感がある。	60 歳代	男	笠置町
○ 恵那市及び日本での中期的問題は、少子高齢化解決と財政改革と思う。高齢化は私も含め団塊世代の多くが去れば一つ区切りがつく。少子化の問題は解決策が難しく感じる。日本と同じフランスは経済面も含めた国民的サポートでよくなっている。権利主張が義務行動に先行して自由の解釈がズレている感じがする日本。だがまずは義務教育過程のすべての無償化、心から暖かく見守る国民の増加。政治が一つ一つ計画して進めていく事だと思います。世界的には人口増に対応すべく、食料確保がますます重要です。財政については良くわかりませんが、富める人から多く税を徴収すべきです。恵那市の活性化は成功事例を取り入れるのも方法だと思います。スーパー公務員の出現する土壌づくり、ベンチャー魂の人を育てる工夫、観光客が増加する環境整備など。	60 歳代	男	笠置町
○ 市役所業務の改革に対する職員の意識が低く、過去の慣例に甘んじた考え方が根強い。組織の統廃合、施設の統廃合を強力に進めると共に、年功序列の体質を大きく変え、能力に重点に置く能力主義に変え、真に頑張った者が方針を決め、断行できる組織にすべきです。今のままでは数年先には先づまりになってしまいます。市長をはじめ役所全体が考え方を換え、大きく舵を取らないと手遅れになってしまいます。	60 歳代	男	笠置町
○ 一部の市だけの恵那市のような気がする。もっと皆に市の方は目を向けてほしい。	60 歳代	男	山岡町
○ すぐやる課ができませんか。	60 歳代	男	明智町
○ 恵那市は東濃一綺麗なまちだと思います。地元明智はひと山越えれば瑞浪市。瑞浪市内の数々の店が地理的にみても必要頻度が高く、こちら方面にきてしまいます。自宅から恵那駅行く距離で土岐市駅までいってしまうのです。吹越の道路は数年先だけど広くなります。数年先だけど工業団地へ行くトラックの運転者や土日親を見に来る子供の笑顔がみえるかもしれませんが、拡張が遅いため地元の工場も小牧、土岐、藤岡インター付近に移転してしまうかも。そうすれば若者は移動し、高校もなくなり、私学の瑞浪へ。人がいなければまちづくりはありません	60 歳代	男	明智町
○ この調査は、大変けっこうな事と思います。人の考え方は大きく分けて理数系の人と、発想系の人がいると思います。この二つはどちらが欠けてもいいまちづくりはできないと考えます。残念な事に発想系の人意見は、一般の人には受け入れられにくいのが現状です。どうしても現実的な理数系の考えの人の意見が取り上げられやすいと思われれます。その結果は現状とあまり変わらない事になるのではないかと考えます。真に恵那市の発展のためには互いの良い所を合わせて、恵那市の隅々まで目の届く、地域づくりを進めて下さる事を期待します。	60 歳代	男	明智町
○ e-tax はその環境をととのえるための手順が複雑です。多様な PC 環境を含めて柔軟にとりあつかえるソフトに改良するのを感じます。恵那市からも県、国に対して普及のため声を上げて下さい。	60 歳代	男	串原
○ e-tax を岐阜県でも、恵那市でも使えるようですが、電子納税には未だ対応していないと思われれます。愛知県豊田市では電子納税まで出来るそうですが、恵那市でも早急に整備していただきたい。串原では金融窓口が遠くて不便です。	60 歳代	男	串原
○ アンケート結果を市職員皆で共有し、市政に反映していただきたい。また、結果は総合的に判断するのではなく、地域ではどのような意見があるのか公表してください。	60 歳代	男	串原
○ 職員、議員人数削減で、少しでも住民、市民税を下げてください。	60 歳代	男	上矢作町
○ 住民票をとるとか、何か用事のある時にしか行くことはありませんが、市役所の「敷居」は意外と高いものです。そんな市民が多いと思いますが、その「敷居」を低くする方法はありませんか？	60 歳代	女	大井町
○ 市役所で働いている方の意識改革、公務員としての自覚が足りないと思います。中には素晴らしい方もいらっしゃるでしょうが、民間の会社はもっともっと厳しいです。民間の会社の手本となるよう、職員教育をなさった方がいいと思います。恵那に住んで6~7年になりますが、「ずっと住みたい」と思える市になられることを願っております。	60 歳代	女	大井町
○ 窓口の対応は親切でとてもよい。	60 歳代	女	長島町
○ アンケートの答えがそぐわないところもあり、年齢にあわせて解答を求めてほしい。	60 歳代	女	長島町
○ 恵那市に合併して10年になりますが、良くなった事は何一つない様に思います。恵那市街はとてもきれいになりましたが、他の地域は何一つ良くなっていません。道路もがたがた雨がふれば水が道のまん中を流れ放題です。地域から出ている市議会議員さんは地元の人の意見をもっと聞いて動いて下さい。	60 歳代	女	岩村町
○ 合理化という名のもとに、市のすみずみまで行政がゆき届いていない。不便この上ないことばかり。予算を理由にしないで、どうにかしてほしい。	60 歳代	女	山岡町
○ 意識調査も大切ですが、行政のプロとして市民に心配りを願う。	60 歳代	女	山岡町
○ 振興事務所の窓口の市の職員の対応が無愛想です。今回のアンケートも一家で1件では良いのでは。紙、経費の節約です。	60 歳代	女	山岡町

○ 恵那市も人口減少で近い将来消滅するかも知れません。職員、議員さんリーダーシップを発揮して下さい。	60 歳代	女	明智町
○ 「市民意識調査」の中で各市民の皆様から各種アイデアが提案される事を期待します。現状では物質文化が発達し、「使い捨て」「薄利多売」なる商売、「大型量販店」など恵那市内にも拡大され、その文化が定着している事は否めない事実。今後、精神文化の導入、反映と物質文化の保持、調和が不可欠である事は言うまでもない。限りあるエネルギーの中で私達は未来を担う子供達にどう伝えて行くのか最大の課題となってくる。恵那市も近辺にリニア新幹線の車輛基地、メンテナンス基地などの一部になる以上、リニア新幹線から発信される技術的財産の保持、拡大、拡充などの多くの項目にいまから直に真剣に取り組む人材の必要性が迫ってくることは当然である。恵那市内のまちづくりも大いに必要と思いますが、恵那市が上記の精神、物質文化発信地である事の宣言をしてほしい。この地から周辺都市に、世界に向けて大きなまちづくりをやってほしい	70 歳以上	男	大井町
○ 市税の使い方は大いに議論して大きな効果、成果を出して下さい。市役所内部では横の連携を密にして活動することが大切。特に「子育て支援課」は業務拡大し「子育て管理課」と名変して力を注いで下さい。「恵那市を担う子供達」である以上精神面、物質面について健全な子育て教育が必要であると断言できます。例えば「支援」される側は書類一枚で良い事ばかり提出するのみです。どこの世界にも「いい報告」しかありません。本来の管理とは自らコントロールすることです（自分の行った事を他人に見せて成功例、失敗例を示す）。「Plan, Do, Check, Action」が何回もやられて改善することであり、その手段として 4M(Man, Machine, Material, Method) の活用と使いこなし。Planning 時は 6W2H(Who, Where, When, What, Why, Whom, How, How much) を明確にして下さい。恵那市内はいろいろな産業、工業、商店など多岐にわたり活動しています。しからば「異業種交流」を恵那市役所が率先して管理、コントロールし、より多くのアイデアの創出を期待します。	70 歳以上	男	大井町
○ 昨年末、長島町の地域懇談会に出席させていただきました。そこで、まず市側から「第 2 次総合計画の策定について」の説明がありました。しかし、その説明の中味は“人口の減少・高齢化”だとか、“歳入の減少”とか、暗い話ばかりでした。こうした現象に対応する市の施策についての言及はありませんでした。“人口減少・高齢化”・“歳入の減少”などは、地方の市町村について共通の課題です。それぞれの市町村は、この現象を少しでも緩和しようと必死の努力をしています。しかし、人口・財源には限りがあります。したがって、各市町村の間では生き残りの為の、激しい競争となることは必至の状況です。この競争に負ければ、それこそ“消滅市町村”になってしまいます。恵那市はこの現象に対応するビジョン・施策（総合計画とは別物）はないのでしょうか。これは私だけの感想ではなく、参加者の多くの人たちの感想です。ぜひビジョン・施策をお示し下さい。経営学の本の第 1 ページに“将来の企業像”明確にし、役員から一般社員に至るまで、この“将来像を共有し”、一丸となって前進することとあります。恵那市も一つの企業体です。“将来の恵那市像”を市の職員も市民も共有し、前進する必要があるのではないのでしょうか。“将来の恵那市像”を描くのは、市の仕事です。そのために企画課や総合政策課があるのではないのでしょうか。総合計画とは別の次元問題です。	70 歳以上	男	長島町
○ すばらしい市役所ができてこそここまで行くことができなくなりはないか。	70 歳以上	男	三郷町
○ 市の職員はまだ多いと思っている。仕事をしている人とならない人の差がありすぎる。	70 歳以上	男	中野方町
○ 私は妻（70 才）と二人暮らしです。恵那市の中心から離れているため、何事にも色々感心が薄く思います。他市町村の情報の方がよく入ります。	70 歳以上	男	山岡町
○ 合併してからのまちづくりが恵那駅を中心とした整備が多く、旧各郡部の衰退が顕著です。この格差をなくす政策が急務です。	70 歳以上	男	明智町
○ 地方創生はできそうもないから市の方から進んでやるべし。	70 歳以上	男	串原
○ 合併は周辺への地域を疲弊させた。今さら「地域創生」とは何をやるのか見えてこない。ここまで地域を落しめた原因、検証、責任があいまいである。	70 歳以上	男	上矢作町
○ 職員についてもっと素直な心、気持ちで接するをお願いします。どんな小さな事でも常に気をつけて毎日を見極めて出勤、帰宅してほしい。このような事について話をしても、答えが返ってこない。振興事務所では返答ができないのか？ならば話のよくわかる方をお願いします。	70 歳以上	男	上矢作町
○ 行政にたずさわっている人は同じ市民として手を取りあえるような姿勢を希望します。	70 歳以上	女	大井町
○ 市の職員数が多すぎる、市役所に行くとなばかりだ。一生懸命仕事してほしい。	70 歳以上	女	大井町
○ 公務時間帯にダム湖周辺でのジョギングや、喫茶で雑誌をする姿をこの頃見かける。意識を高めて、市民から指摘のない、さわやかな職場を維持してほしい。	70 歳以上	女	長島町
○ 今の世の中すべてがもったいないことばかりに思います。この先の子孫の将来が心配でなりません。	70 歳以上	女	長島町
○ 毛呂窪公民館を利用する事が少なくなったように思います。そこを他の方法で活用したらと思います。	70 歳以上	女	笠置町
○ 市内中心部の開発がいつも早くてスムーズに進められるのに対して、山間部、人数の少ない地域はいつも後まわしの感じがする。市民はどこに住んでいても平等に扱ってほしい。	70 歳以上	女	中野方町

○ 私の思うには、恵那市は良いまちづくりになりつつあります。私達は良き所で感謝の日々で暮らしております。	70歳以上	女	中野方町
○ 大井町にお金を使いすぎており、思いやりがかけていませんか。	70歳以上	女	岩村町
○ 恵那まで行くことができない老人のために今生活している土地の事務所で手続きができるようにしてほしい。	70歳以上	女	岩村町
○ 年配の方が多くなってきていますので、できるだけ振興事務内に大きな文字で案内を書いてあると良いかと思います。～課、～課だけでなく、～時は～課の方へとか、具体的に書かれると行きやすくなると思います。恵那庁舎の方は西庁舎ができて良くなってきたと思いますが、各振興事務所についても小さくてもわかりやすくはできるかと思います。	70歳以上	女	山岡町
○ 合併により、かなり行政サービスが悪くなっています。今さらサービスの向上を…と言っても振興事務所の職員も少なく、無理なこと。	70歳以上	女	明智町
○ 建物を造っても後の手入れが必要だと思います。塗装など。	70歳以上	女	明智町
○ 合併してからは、例えば町民運動会にしても補助が出ないので、町民運動会も廃止。恵那市にちなんで細々した事が恵那中心、という町の声を聞きます。もう少し周りの町村まで行き届いた行政を行ってほしい。	70歳以上	—	明智町
○ 新しく何かを造るのではなく、現在あるものを大切に、活用していくことが大切だと思います。近くに新しい道路が大々的にできましたが、1日に通る台数は数えられる程です。近くの生活道路はアスファルトが落ち、車でも歩いても大変使いづらいです。町の中心に公園が新しく造られましたが、人はほとんど見かけません。近くの小さな公園はベンチをなおしたり、トイレの整備をしたり、立派な消防器庫も見かけますが、どうしてあれほどの建物が必要なのでしょう。地にしっかり根づいている「まちづくり」とは思えないことが多すぎます。税金、水道料はとても高いのに、市の職員の方の中にはモラルに欠ける人もいます。まず自身を見直すことから始めて下さい。	—	—	—
○ アンケートは大切と思いますが、眼の悪い者にとって読めないし、意味も分かりづらく、わからないという項目がないので記せません。	—	—	—

平成26年度
市民意識調査結果報告書
恵那市役所 総合政策課
